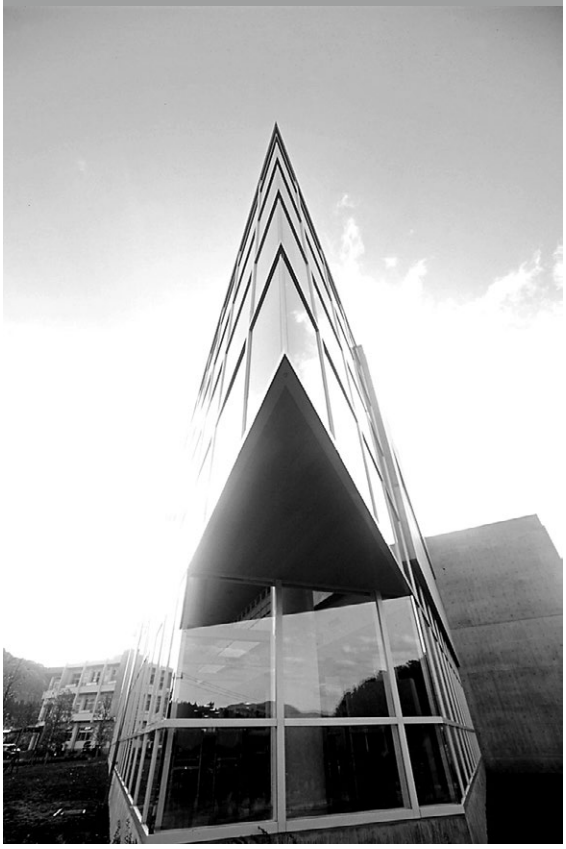
JIN-AI UNIVERSITY
2020 SYLLABUS

令和２年度
人間学部
シラバス



仁愛大学
JIN-AI UNIVERSITY

目　　次

Ⅰ．１年生

＜学部共通科目＞

仏教の人間観 …… 田代　俊孝 …… 1
生命の倫理 …… 橋本　武志 …… 4
人間の教育 …… 高野　秀晴 …… 7
芸術の世界 …… 中野　研也 …… 10
人間と環境Ａ …… 鳴瀬　　碧 …… 13
人間と環境Ｃ …… サンドロヴィッチ ティムール …… 16
スポーツと健康 …… 野田　政弘 …… 19
スポーツＢ …… 山村　恵子 …… 22
英語Ⅰａ …… 加藤優子・Mハウカ・R ダイクス・フッド晴美・山口和代 …… 25
英語Ⅰｂ …… 加藤優子・Mハウカ・R ダイクス・フッド晴美・山口和代 …… 28
フランス語a …… 大竹口麻里 …… 31
フランス語ｂ …… 大竹口麻里 …… 34
ドイツ語a …… 橋本　武志 …… 37
ドイツ語ｂ …… 橋本　武志 …… 40
中国語a …… ショウ　ロ …… 43
中国語ｂ …… ショウ　ロ …… 45
ポルトガル語a …… 坂東　照啓 …… 47
ポルトガル語b …… 坂東　照啓 …… 49
情報リテラシーa …… 森本　文人・安彦　智史・佐々木裕子 …… 51
情報リテラシーｂ …… 森本　文人・安彦　智史 …… 54
情報活用ａ …… 佐々木裕子 …… 57
情報活用ｂ …… 竹村　順吾 …… 60
基礎演習（心理） …… 稲木・坂井・竹村・山本・渡辺・森本 …… 63
基礎演習（コミュニケーション） …… 加藤・橋本・安彦・江南・織田・升田 …… 66
日本語文章表現 …… 國久　繁雄 …… 69
キャリア・デザインⅠ …… 植月　百枝 …… 72

＜心理学科専門科目＞

心理学概論Ⅰ …… 大森　慈子 …… 75
心理学概論Ⅱ …… 大森　慈子 …… 78
心理学研究法Ⅰ …… 杉島　一郎 …… 81
心理学研究法Ⅱ …… 杉島　一郎 …… 84
心理学統計法Ⅰ …… 森本　文人・山岸　厚仁 …… 87

心理学統計法Ⅱ …… 水田　敏郎・大森　慈子 …… 90
感情・人格心理学 …… 森　　俊之 …… 93
精神分析学 …… 西村　則昭 …… 96
学習・言語心理学 …… 杉島　一郎 …… 99

＜コミュニケーション学科専門科目＞

人間関係論 …… 橋本　武志 …… 102
コミュニケーション概論 …… 升田　法継 …… 105
異文化理解ａ …… 加藤　優子 …… 108
日本語概論 …… 門屋　飛央 …… 111
日本語口頭表現 …… 植月　百枝 …… 114
情報メディア …… 安彦　智史 …… 117
デジタル・デザイン …… 吉村　正照 …… 120
オーラル・コミュニケーションⅠａ …… Ｍ　ハウカ …… 123
オーラル・コミュニケーションⅠｂ …… Ｍ　ハウカ …… 126
企画開発基礎演習 …… 冨永　良史 …… 129
地域研究概論 …… 江南　健志 …… 132
社会学入門 …… 江南　健志 …… 135
共生社会論 …… 織田　暁子 …… 138
異文化理解ｂ …… 加藤　優子 …… 141
英語学Ⅰ …… 矢橋　知枝 …… 144
英語音声学 …… 矢橋　知枝 …… 147

Ⅱ．２年生

＜学部共通科目＞

人間と宗教 …… 門脇　　健 …… 150
哲学の世界観 …… 橋本　武志 …… 153
文学の世界 …… 大河　晴美 …… 156
歴史と地域文化 …… 久保　智康 …… 159
日本国憲法 …… 早川　秋子 …… 162
人間と環境Ｂ …… 大久保嘉雄 …… 165
ふくい総合学 …… 高野　秀晴・杉島　一郎・橋本　武志・細田　耕平 …… 168
英語Ⅱａ …… 矢橋知枝・Ｍハウカ・Ｒダイクス・フッド晴美・山口和代 …… 171
英語Ⅱｂ …… 矢橋知枝・Ｍハウカ・Ｒダイクス・フッド晴美・山口和代 …… 174
フランス語Ⅱａ …… 大竹口麻里 …… 177
フランス語Ⅱｂ …… 大竹口麻里 …… 179
ドイツ語Ⅱａ …… 橋本　武志 …… 182

ドイツ語Ⅱb……橋本　武志……185
中国語Ⅱa……ショウ　ロ……188
中国語Ⅱb……ショウ　ロ……190
情報活用ａ……佐々木裕子……192
情報活用ｂ……竹村　順吾……195
情報処理演習ａ……竹村　順吾……198
情報処理演習ｂ……竹村　順吾……201
キャリア・デザインⅡ……升田　法継……204

＜心理学科専門科目＞

心理学実験……山本雅代・森本文人・山岸厚仁・青井利哉・田中千晶……207
心理測定実習……大森　慈子・森本　文人・山岸　厚仁・伏田　幸平……210
心理的アセスメント……森　　俊之……213
心理調査法……竹村　明子……216
臨床心理学概論Ⅰ……稲木康一郎……219
臨床心理学概論Ⅱ……稲木康一郎……222
健康・医療心理学……渡辺　克徳……225
発達心理学Ⅰ……竹村　明子……228
発達心理学Ⅱ……竹村　明子……231
知覚・認知心理学……杉島　一郎……234
神経・生理心理学……水田　敏郎……237
社会・集団・家族心理学Ⅰ……山本　雅代……240
社会・集団・家族心理学Ⅱ……山本　雅代……243
産業・組織心理学Ⅰ……重森　雅嘉……246
産業・組織心理学Ⅱ……山本　雅代……249
心理学特別講義……複数で担当……252

＜コミュニケーション学科専門科目＞

日本の言語文化a……大河　晴美……255
言語コミュニケーション論……矢橋　知枝……258
情報社会論……安彦　智史……261
公共政策……竹内　直人……264
企画開発論Ⅰ……野尻　昌明……267
地域経済論……江南　健志……270
情報システム論……安彦　智史……273
日本の言語文化ｂ……大河　晴美……276
英語学Ⅱ……矢橋　知枝……279

英文講読ａ……紺渡　弘幸……282
英文講読ｂ……紺渡　弘幸……285
英米文化論……加藤　優子……288
企画開発演習Ⅰ……冨永　良史……291
コミュニケーション技法Ⅰ……大河　晴美……294
コミュニケーション技法Ⅱ……植月　百枝……297
ライティング技法……野尻　昌明……300
メディア･コミュニケーション論……升田　法継……303
メディア・デザイン……吉村　正照……306
プロジェクト・デザイン基礎……升田　法継……309
オーラル・コミュニケーションⅡａ……Ｍ　ハウカ……312
オーラル・コミュニケーションⅡｂ……Ｍ　ハウカ……315
TOEIC英語Ⅰ……矢橋　知枝……318
メディア英語……加藤　優子……321
英作文演習……Ｍ　ハウカ……324
家族社会学……織田　暁子……327
社会調査法……織田　暁子……330
情報・社会調査基礎……織田　暁子・江南　健志……333
社会調査方法論……織田　暁子……336
統計学……織田　暁子……339
データ解析法a……江南　健志……342
観光社会学……江南　健志……345

Ⅲ．３年生

＜学部共通科目＞

英語Ⅲａ……Ｒダイクス……348
英語Ⅲｂ……Ｒダイクス……351
情報処理演習ａ……竹村　順吾……354
情報処理演習ｂ……竹村　順吾……357
フィールドワーク演習（インターンシップ）……升田　法継・稲木康一郎……360

＜心理学科専門科目＞

心理検査演習……吉水ちひろ・坂井　祐円・青井　利哉……362
心理面接演習……稲木康一郎・坂井　祐円……365
司法・犯罪心理学……廣井　亮一……368
教育・学校心理学……竹村　明子……371
交通心理学……森本　文人……374

スポーツ心理学……野田　政弘……377
臨床心理学演習……渡辺　克徳・坂井　祐円……380
心理学的支援法……西村　則昭……383
精神疾患とその治療Ⅰ……三脇　康生……386
精神疾患とその治療Ⅱ……三脇　康生……389
深層心理学……西村　則昭……392
生理心理学実習……水田　敏郎・大森　慈子……395
行動解析実習……大森　慈子・森本　文人・山岸　厚仁……398
人体の構造と機能及び疾病……岸　　愼治……401
比較心理学……山岸　厚仁……404
障害者・障害児心理学……水田　敏郎……406
福祉心理学……坂井　祐円……409
社会心理学演習……山本　雅代・竹村　明子……412
多変量解析演習……杉島　一郎……416
消費者心理学……山本　雅代……419
産業カウンセリング……黒田　優希……422
関係行政論……岸野　　徹・白崎俊一郎……424
心理学特別演習Ⅰ……複数で担当……427

＜コミュニケーション学科専門科目＞

ビジネス能力論……野尻　昌明……429
ビジネスコミュニケーション研究……升田　法継……432
日本文化論……大河　晴美……435
企画開発論Ⅱ……浅野　桃子……438
企画開発演習Ⅱ……浅野　桃子……441
マルチメディア演習……吉村　正照……444
デザイン実務演習……橋本　洋子……447
プロジェクト・デザイン演習……吉村　正照……450
英語コミュニケーションa……M　ハウカ……453
英語コミュニケーションｂ……M　ハウカ……456
TOEIC英語Ⅱ……矢橋　知枝……459
ビジネス英語a……加藤　優子……462
ビジネス英語ｂ……加藤　優子……465
英語文章表現法……紺渡　弘幸……468
英語学研究……矢橋　知枝……471
英米文学研究……原口　　治……474
現代社会研究……織田　暁子……477

データ解析法ｂ……織田　暁子……480
プログラミング……安彦　智史……483
情報・社会調査演習a……織田暁子・江南健志・サンドロヴィッチ ティムール……486
情報・社会調査演習b……織田暁子・江南健志・サンドロヴィッチ ティムール……489
企業と情報……升田　法継……492
コミュニケーション特別演習Ⅰａ……複数で担当……495
コミュニケーション特別演習Ⅰｂ……複数で担当……498

Ⅳ．４年生

＜心理学科専門科目＞

学校臨床心理学……廣澤　愛子……501
障害者心理学……水田　敏郎……504
社会福祉概論……下山　久之……507
心理学特別演習Ⅱ……複数で担当……510
卒業研究……複数で担当……512

＜コミュニケーション学科専門科目＞

デザインマネジメント論……浅野　桃子……514
プロジェクト・デザイン研究……野尻　昌明……517
異文化コミュニケーション……Ｍ　ハウカ……520
現代文化研究……江南　健志……523
コミュニケーション特別演習Ⅱａ……複数で担当……526
コミュニケーション特別演習Ⅱｂ……複数で担当……529
卒業研究……複数で担当……532

Ⅴ．特設科目

教職論……高野　秀晴……534
教育原理……高野　秀晴……537
教育心理学……杉島　一郎……540
教育経営論……奥谷　　崇……543
特別支援教育論……乙部　貴幸……546
教育課程論……高野　秀晴……549
英語科教育法Ⅰ……フッド晴美……552
英語科教育法Ⅱ……フッド晴美……555
英語科教育法Ⅲ……紺渡　弘幸……558
英語科教育法Ⅳ……紺渡　弘幸……561
道徳教育の理論と方法……高野　秀晴……564

特別活動及び総合的な学習時間の指導法 ……伊禮　三之 ……567
教育の方法と技術 ……篭谷　隆弘 ……570
生徒・進路指導論 ……小林　仁章 ……573
教育相談……佐々木雅代 ……576
事前・事後指導 ……紺渡　弘幸 ……579
教育実習Ⅰ ……紺渡　弘幸 ……582
教育実習Ⅱ ……紺渡　弘幸 ……584
教職実践演習 ……紺渡　弘幸・奥谷　　崇・フッド晴美 ……586

仏教の人間観 (Views on the Humanity of Buddhism)			担当教員	田代　俊孝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1110	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　全学共通科目

求める学習成果(教育目標)

人生に対する思索を深め、考える能力と豊かな人間性を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本授業の目的は、建学の精神「仁愛兼済」のこころを育て、自分の人生をいきいきと生きていく力を身に付けることである。そのため、釈尊・親鸞の生涯やその教えにおける人間観を学ぶことを通して「本当の自分とは何か」を尋ねていく。

授 業 の 到 達 目 標

釈尊・親鸞の生涯とその教えについて述べることができる。
仏教における人間観を学び、「本当の自分とは何か」を考察し、表現することができる。
「仁愛兼済」を生きる学生像について、具体的に自分の考えを述べることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（コメントペーパーの記載）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：建学の精神を学ぶ　①仁愛兼済とは
　事前学習：建学の精神について調べておく。（2時間）
　事後学習：テキスト「和」16p～21pを読んでノートに整理しておく。（2時間）
第2回：建学の精神を学ぶ　②学業とキャンパスモニュメント
　事前学習：キャンパスの中のモニュメントについてノートに整理する。（2時間）
　事後学習：テキスト「和」1p～15pを読んでノートに整理しておく。（2時間）
第3回：釈尊の生涯　①釈尊という人　ただ独り尊し
　事前学習：釈尊の伝記を調べる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第4回：釈尊の生涯　②王宮での生活　四門出遊・出家
　事前学習：仏教に関する本で「釈尊の出家の意味」を調べてくる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第5回：仏陀の生涯　③修業・降魔・成道・転法輪
　事前学習：身近にある仏教の本やインターネットで釈尊の修行・成道について調べる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第6回：仏陀の生涯　④四諦八正道・対機説法・弟子たちの学び
　事前学習：仏陀のさとりの内容をインターネットで調べる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第7回：仏陀の生涯　⑤釈尊の入滅・涅槃、私たちの課題
　事前学習：仏陀の入滅・涅槃についてインターネットで調べる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第8回：親鸞の生涯とその教え
　事前学習：親鸞の伝記と思想について整理する。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第9回：『歎異抄』に学ぶ　①歎異抄とは
　事前学習：『歎異抄』について調べてくる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）

第10回：『歎異抄』に学ぶ　②歎異精神-真理に異なる自己-
事前学習：有名な「歎異精神」とはどんな考え方か、参考書で調べてくる。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（２時間）
第11回：『歎異抄』に学ぶ　③弥陀の誓願不思議-大いなる願いの中に-
事前学習：有名な「本願に救われる」とはどんな考え方か、参考書で調べてくる。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（２時間）
第12回：『歎異抄』に学ぶ　④おのおの十余か国を経て
事前学習：歎異抄について参考書、インターネットで『歎異抄』第二章について調べる。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートにまとめる。（２時間）
第13回：『歎異抄』に学ぶ　⑤いわんや悪人をや-自己との出遇い-
事前学習：『歎異抄』の中の「悪人正機」についてインターネット等で調べる。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートにまとめる。（２時間）
第14回：『歎異抄』に学ぶ　⑥有縁を渡すべきなり-道徳を超える-
事前学習：道徳と宗教の違いを考える。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートにまとめる。（２時間）
第15回：『歎異抄』に学ぶ　⑦親鸞一人がためなりけり-火宅の危機-
事前学習：宗教とは何かをインターネット等の資料を見て考える。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートにまとめる。
東京新聞「いのちを考える」上・下の記事を読んで感想をノートに書く。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

３回の小テスト（各20%）コメントペーパーの記載内容（20%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、発表などの状況を総合的に判断して決める。

成　績　評　価　基　準

親鸞の生涯と思想について述べることができるか。
仏教における人間観を学び、「本当の自分とは何か」を考察し、表現することができるか。
「仁愛兼済」を生きる学生像について、具体的に自分の考えを述べることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小テストに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）コメントペーパーに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキスト:福井仁愛学園編『礼讃抄』『和』福井仁愛学園発行　2018年
参考書:田代俊孝著『ビハーラ往生のすすめ ―― 悲しみからのメッセージ-』京都・法藏館　2005年　￥1800

その他（受講上の注意）
私語は他の受講者の迷惑となるので厳禁。私語の目立つものはその場で注意するが、注意によっても改まらない場合は当日、欠席扱いとするので注意されたい。また、寝ている者も欠席扱いとする。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

生命の倫理 (Bioethics)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1121	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

技術の進歩によって、従来不可能であった治療ができるようになっている。だが、それにともなって、われわれの従来の死生観・人間観を揺さぶるようなさまざまな倫理問題が発生している。本講義では、先端医療の現状を知ったうえで、こうした倫理問題に対する、日本を含む諸外国の考え方の違い、ガイドラインや政策の相違について知り、こうした問題についての現在までのさまざまな議論を紹介する。

授　業　の　到　達　目　標

・生命をめぐるさまざまな倫理問題について認識する。
・QOLやインフォームド・コンセント、滑りやすい坂、など、生命倫理学の基礎的な用語を習得する。
・生命倫理問題について、国内外のさまざまな議論を知る。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション～生命倫理学という学問について
　事前学習：「倫理」「規範」の語義について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（2時間）
第2回：生命倫理学（バイオエシックス）の発祥
　事前学習：「バイオエシックス」の語義について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（2時間）
第3回：患者の自己決定権とインフォームド・コンセント
　事前学習：「優生思想」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（2時間）
第4回：人はいつ人になるのか1
　事前学習：「パーソン論」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（2時間）
第5回：人はいつ人になるのか2
　事前学習：「パーソン論」への批判について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（2時間）
第6回：臓器移植の問題1
　事前学習：現在の日本の臓器移植法について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（2時間）
第7回：臓器移植の問題2
　事前学習：「脳死」と「心臓死」の違いについて調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（2時間）
第8回：臓器移植の問題3
　事前学習：「脳死」概念についての合意が得られない理由について考えてくること（2時間）
　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（2時間）
第9回：安楽死の世界事情
　事前学習：安楽死が合法となっている諸国について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（2時間）

第10回：自己決定権と治療停止
　　事前学習：横浜地裁「安楽死の４要件」について調べノートしておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（２時間）
第11回：安楽死をめぐる議論～法律家・患者団体・医師それぞれの立場
　　事前学習：札幌医科大学「和田事件」について調べノートしておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（２時間）
第12回：社会科学の倫理理解１
　　事前学習：「エミール・デュルケーム」について調べノートしておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（２時間）
第13回：社会科学の倫理理解２
　　事前学習：「社会の集合意識」について調べノートしておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（２時間）
第14回：種差別
　　事前学習：「ピーター・シンガー」について調べノートしておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（２時間）
第15回：これまでのまとめ
　　事前学習：これまでの資料・ノートを見直し、わからない箇所の質問を考えておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningでの小テストに解答すること（２時間）

毎回の講義を受けた後でその部分の資料とノートを見直して復習をし、次の授業に臨んでください。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（80%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況、毎回の授業内小レポートの提出状況を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・生命をめぐるさまざまな倫理問題、およびその歴史的経緯について認識しているか。
・QOLやインフォームド・コンセント、滑りやすい坂、など、生命倫理学の基礎的な用語を習得しているか。
・生命倫理問題について、国内外のさまざまな議論を習得しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキストはとくに使用せず、オンラインで資料をを配布する。 参考図書・参考映像については授業内でも適宜紹介する。
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間の教育 (Human Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1122	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ヒトが人になるためには教育が必要だと言われる。こうして私たちも教育を受けてきたわけだが、私たちがこれまで学んできたことは、そもそも一体何だったのだろうか？　そして、今、大学で学んでいることには一体何の意味があるのか？　これからの人生にいかに寄与するのか？　しないのか？　この授業では、有史以来の人間の教育の様々なあり方を通観することを通じて、上記の問いを考察していく。

授　業　の　到　達　目　標

「教育によって形成されてきた／されつつある自己」の成り立ちとゆくえについて理解を深め、自ら考察する力を身につけること。これがこの授業の到達目標である。したがって、この授業では下記の成果が求められる。
・自らがこれまで受けてきた教育の意味について説明することができる。
・現代における教育の社会的役割を分析することができる。
・自らの今後のあり方を、教育の観点から展望することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、授業内容に関連する図書を検索したうえで、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：検索した図書の概要を吟味したうえで、読書計画を立てる。（2時間）
第2回：子どもとは誰のことか――子ども観の歴史的変遷――
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：子どもの面倒は誰が見るのか――子育て環境の現在――
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：学校とはどのような空間なのか
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：「学校知」の解剖学
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：学校化社会について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：大学とは何か――その歴史的変遷――
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：激動のなかの大学
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第９回：職能はどこで形成するか（１）── その歴史的変遷 ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第10回：職能はどこで形成するか（２）── 日本型企業中心社会の場合 ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第11回：日本型企業中心社会の変容とキャリア教育の導入
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：意欲の競争社会化？ ── 教育の平等と格差と ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：能力主義とは何か ── これまでのまとめ ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：老い衰えることと教育
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：看取ることと教育
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（70％）　授業時の課題（30％）

成　績　評　価　基　準

現代における教育の社会的役割を分析的に記述することができるか。
教育に関する諸問題を自己と関連付けながら記述することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト：必要に応じて、プリントを配布する。 参考図書：授業時に紹介する。
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

芸術の世界 (The World of Art)			担当教員	中野　研也
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1120	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

さまざまな音楽および美術作品の魅力や特徴を探り、生み出された背景を知る。

授 業 の 到 達 目 標

音楽と美術について、通論的な知識と通史的な知識を身に付け、作品に対する自分の考えを持つことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：音とは何か　～私たちを取り巻くさまざまな音（グループワーク）
　事前学習：身近で聞こえる音を書き出しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業後にオンライン配布された資料を読んでおくこと。（2時間）
第2回：音楽の誕生　～いつ・なぜ・どのようにして生まれたのか
　事前学習：音楽がいつ・なぜ・どのようにして生まれたのか、自分の考えをまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業後にオンライン配布された資料を読んでおくこと。（2時間）
第3回：音楽の3要素　1　～旋律を中心として
　事前学習：旋律が美しいと感じたことのある曲を書き出しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業後にオンライン配布された資料を読んでおくこと。（2時間）
第4回：音楽の3要素　2　～拍子やリズムを中心として
　事前学習：リズムや拍子がおもしろいと感じたことのある曲を書き出しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業後にオンライン配布された資料を読んでおくこと。（2時間）
第5回：音楽の3要素　3　～和声を中心として
　事前学習：和声とは何か辞書等を参考に調べ、書き出しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業後にオンライン配布された資料を読んでおくこと。（2時間）
第6回：西洋の音楽史　1　クラシック音楽の誕生と発展
　事前学習：西洋クラシック音楽で、知っている作曲家を書き出しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業後にオンライン配布された資料を読んでおくこと。（2時間）
第7回：西洋の音楽史　2　クラシック音楽の落日とその後（グループワーク）
　事前学習：小学校、中学校、および高校の音楽の授業で聴いたことのある曲を書き出しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業後にオンライン配布された資料を読んでおくこと。（2時間）
第8回：音楽鑑賞・視聴　1 ～器楽作品（予定）　鑑賞レポート提出
　事前学習：音楽鑑賞・視聴の題材として予告された作品について、Web等の情報を参考に下調べを行い、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で鑑賞・視聴した作品のレポートを作成し、次回授業時に提出すること。（2時間）
第9回：世界の民族音楽
　事前学習：民族音楽とは何か、Web,等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業後にオンライン配布された資料を読んでおくこと。（2時間）
第10回：音楽と美術　1　～美術作品の見どころ
　事前学習：音楽と美術との違いについて、自分の考えを書き出しておくこと。（2時間）
　事後学習：時代とともに変化する美的感覚は何に基づいているか、自分の考えをまとめておくこと（2時間）

第11回：音楽と美術 2 ～音楽と美術の関係
事前学習：音楽と美術との関係についてWeb等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：ロマン主義と印象派の違い、キュービズム等の20世紀美術について、自分の考えをまとめておくこと。（2時間）
第12回：ジャズ 1 ～誕生の背景と音楽的特徴（グループワーク）
事前学習：ジャズについて、Web等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：ジャズの生まれた背景と音楽的特徴をまとめておくこと。（2時間）
第13回：ジャズ 2 ～モダン・ジャズの世界
事前学習：モダン・ジャズとは何か、Web等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：ジャズが他のジャンルの音楽に与えた影響についてまとめておくこと。（2時間）
第14回：音楽を記録するということ
事前学習：録音・再生を行う機材にはどのような物があるのか、Web等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：音楽が記録できるようになったことで、音楽の世界にはどのような変化がもたらされたか、まとめておくこと。（2時間）
第15回：音楽鑑賞・視聴 2 ～ミュージカル作品（予定） 鑑賞レポート提出
事前学習：音楽鑑賞・視聴の題材として予告された作品について、Web等の情報を参考に下調べを行い、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で鑑賞・視聴した作品のレポートを作成し、指定の日時までに提出すること。（2時間）
第16回：定期試験

授業で配布された資料と宿題プリント、授業でお話した内容のメモを見返して下さい。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

2度のレポート（20%）、定期試験（50%）、授業への参加状況（30%）で評価する。

成 績 評 価 基 準

音楽や美術に関しての通論および通史的な知識が身につき、作品に対する自分の考えを持つことができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時 ■仁大eラーニング □メール □その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時 ■仁大eラーニング □メール □その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時 ■仁大eラーニング □メール □その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時 □仁大eラーニング □メール □その他
5）その他
□授業時 □仁大eラーニング □メール □その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
特定のテキストは使用しない。授業ごとに資料（プリント）を配布する。
その他（受講上の注意）
試験問題は、配布資料（プリント）と授業で話した内容とを合わせて出題する。配布物と自分でメモをとったものは試験までは紛失しないように所持おくこと。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と環境A (Human Beings and the Environment A)			担当教員	鳴瀬　碧
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2130	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ヒトの健康の保持・増進における食・栄養の重要性を理解し、私たちを取り巻く生活環境や様々な情報、そして食生活の変化が、人体の持つ特性（恒常性）を妨げ、私たちの健康維持にどのような影響を与えているかについて学習する。
これらのことを通して、食品、サプリメント、薬等、普段私たちの身近にあるものに関して、その必要性や効果を正しく理解し、情報に惑わされることなく自らの判断で必要な情報や商品を選択・活用し、個々の健康な生活に役立てることができる。

授 業 の 到 達 目 標

・健康についての基本的な概念や制度、健康の維持・増進のために重要な事項、問題点等について説明できる。
・世界と日本の食文化や現在の食糧事情について説明ができる。
・食生活について栄養の重要性や食品の安全性、運動との関わり等ついて理解し、説明ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（DVD視聴）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：健康とは何か？
　事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、フードマイレージ・仮想水についてまとめておくこと（2時間）
第2回：食の歴史
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習しておくこと（2時間）
第3回：健康に関する社会制度
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、健康に関する社会制度についてまとめておくこと（2時間）
第4回：世界の食（DVD視聴）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、世界の食文化に対する興味を深めておくこと（2時間）
　事後学修：課題レポートの作成（2時間）
第5回：日本の食①（日本の食文化）（講義・DVD視聴）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、日本の食文化に対する興味を深めておくこと（2時間）
　事後学習：日本の行事食の持つ意味について、レポートを作成し提出すること（2時間）
第6回：日本の食②（日本各地の食文化）（講義・DVD視聴）
　事前学習：授業前に自身の出身地の食文化について調べておくこと（2時間）
　事後学習：福井県の郷土料理について、レポートを作成し提出すること（2時間）
第7回：栄養と健康①（自分の食生活を見つめてみよう）（講義・実習：BDHQによる自身の食事摂取状況の把握）
　事前学習：授業前に自身の食生活・生活習慣の振り返りをすること（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、食生活・生活習慣がなぜ大切かをノートにまとめておくこと（2時間）
第8回：栄養と健康②（栄養学の基礎）
　事前学習：授業前にテキストの第5章p.59~73を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、栄養学の基礎項目をノートにまとめておくこと（2時間）

第９回：健康と栄養③（栄養学の基礎Vol.2）
事前学習：授業前にテキストの第５章p.76~97を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、疾病予防のための食生活についてノートにまとめておくこと（２時間）
第10回：栄養と健康④（栄養と運動）
事前学習：授業前に栄養と運動に関する気になるニュース・情報を収集しておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、健康保持・増進のために必要な栄養と運動についてノートにまとめておくこと（２時間）
第11回　健康と栄養⑤（運動と栄養）
事前学習：授業前に健康のための運動と健康について情報を収集しておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、運動と栄養についてノートにまとめておくこと（２時間）
第12回：食品の安全と健康②（食と健康をめぐる情報）（フィールドワーク）
事前学習：授業前に食品表示に関するニュース・情報を収集しておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ食品表示方法を、スーパーマーケット等で実際に確認し、レポートにまとめ提出すること（２時間）
第13回：食品の安全と健康②（食品の安全と健康被害）
事前学習：授業前に食品による健康被害に関するニュース・情報を収集しておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、食品の安全性と健康被害についてノートにまとめておくこと（２時間）
第14回：食品の安全と健康③（サプリメントと医薬品～情報に惑わされないために～）
事前学習：授業前に医薬品の種類・医薬品とサプリメントの違いについて調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、医薬品の種類・医薬品とサプリメントの違いについてノートにまとめておくこと（２時間）
第15回：大麻･麻薬･覚せい剤の基礎知識と乱用防止（DVD視聴）
事前学習：授業前に薬物乱用に関する社会問題について調べておくこと（２時間）
事後学習：薬物乱用の危険性について課題レポートの作成（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、課題レポート（20%）、平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・健康の概念、健康の維持・増進について理解できているか。
・食の歴史や文化、日本の食糧事情や食を取り巻く環境について理解できているか。
・栄養素の機能、食品の安全性、栄養と運動の関わりについて理解できているか。
・食品、サプリメント、医薬品、麻薬・覚せい剤について正しく理解できているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　■その他（Teams）
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　■その他（Teams）
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　■その他（Teams）
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　■その他（Teams）
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（薬剤師・健康運動指導士・ピラティストレーナー）

・実務経験と授業内容との関連性
（薬剤師としての医療提供施設での実務経験と健康運動指導士・ピラティストレーナーとしてのスポーツ・健康増進関連施設での実務経験を活かし、国が展開する健康づくりに関する施策、医療保険をはじめとする社会保障の仕組み、生活習慣病予防・改善のための運動と栄養、サプリメントや健康食品、医薬品の分類やその違い、麻薬・覚醒剤･デザイナーズドラックに関する基本的知識や危険性などについて解説する。）

テキスト、参考図書

吉田勉監修 『私たちの食と健康－食生活の諸相－』 三共出版　2011年
必要に応じて、講義用資料を出席者に配布する。

その他(受講上の注意)

・新聞・ニュース等で報じられる食糧事情、食を取り巻く環境、健康の維持・増進に関する項目について日頃から興味を持つように努めること。
・各回の講義内容についてよく復習し、各自が書籍や新聞などから積極的に情報を収集し、自己学習すること。
・授業中の不明な点は、授業の前後に教員に質問するなどして理解を深めること。
・「自身の健康とは何か」「心身ともに健康に生きていくために重要なこと」等についてよく考えてください。
・授業中の私語や携帯電話など、他の学習の妨げとなる場合には退室させるので留意すること。
・課題レポートなどは、提出期限を必ず守ること。提出遅延は減点の対象となる。また、提出期限後は受領しない場合があるので注意すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と環境C (Human Beings and the Environment C)			担当教員	サンドロヴィッチ　ティムール
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2131	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

この授業では、「ウクライナおよび日本の原発事故」、「現代ウクライナが抱える諸問題」、「国際比較の視点から見た現代日本」という三つのテーマを軸にしながら、日々おきているニュースの流れを追う。日本社会のイメージ変容にふれるとともに、ウクライナと日本社会の諸課題を比較しながら検討することによってグローバルな視点に基づいた考え方の特徴を明らかにする。

授　業　の　到　達　目　標

・歴史的な観点で考えることによって、国際関係についての理解を深める。
・社説・論説など、新聞によって異なる見方や主張をしているケースは多い。読み比べ、ニュースを多角的に読むことができるようになる。
・客観的なものの見方ができる。一方で、さまざまな情報を入手し自分の考え方を確立する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、授業の進め方。時の話題を取り上げ、歴史的な見方を考える
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：1986年のチェルノブイリ原発事故およびメディアの報道
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：2011年の福島第一原発事故およびメディア報道
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：原発事故の一般市民への影響
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：チェルノブイリおよびフクシマの未来
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：現代ウクライナ社会の概要
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第７回：ソ連崩壊とウクライナ共和国
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：ウクライナとEU加盟諸国との関係
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：現代ウクライナが直面する領土問題
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：異文化理解とその難しさ
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：日本人の自画像の系譜
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：国際比較の視点から見る日本：「日本人論」を乗り越える
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：21世紀日本の諸課題（１）
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：21世紀日本の諸課題（２）
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ、時事問題から考える歴史と未来
事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

日常、新聞をはじめとしたメディアのニュースに疑問を持ちながら考える習慣を身につける。「なぜこうなったのか」を考え、自分の関心を持ったニュースを追いかける楽しみを覚える。また、海外のニュースにも積極的に関心を持つ。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、質問用紙等の状況を総合的に判断します。）

成 績 評 価 基 準

1．国際関係の諸課題についての見解を述べることができるか。（定期試験）
2．様々なニュースを多角的に読み取ることができるか。（定期試験、コミュニケーション・カード）
3．学術的な情報にアクセスしながら各自の問題意識を深め、自身の考察を論理的に記述できるようになっているか。
（コミュニケーション・カード）

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　■その他（希望者にメールにてフィードバックする）
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

毎回資料を配布する
＊参考書
井上俊・永井良和編著、『今どきコトバ事情』ミネルヴァ書房, 2016.
セルゲイ・パスケービッチ/デニス・ビセネブスキー（後藤隆雄訳）『チェルノブイリ、現実の世界』本の泉社, 2013.
河田昌東『チェルノブイリと福島』緑風出版, 2011.
エレナ・フィラトワ（池田紫訳）『ゴーストタウン チェルノブイリを走る』集英社, 2011.
尾内隆之、摩佐志編『科学者に委ねてはいけないこと 科学から「生」をとりもどす』岩波書店, 2013.
東浩紀編『チェルノブイリ・ダークツーリズム・ガイド 思想地図β vo.4-1』株式会社ゲンロン, 2013.
東浩紀編『福島第一原発観光地化計画 思想地図β vo.4-2』株式会社ゲンロン, 2013.

その他（受講上の注意）

日常生活の中で新聞を読み、テレビやラジオ、ネットなどメディアに接し、ニュースに敏感になるよう努力する。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

スポーツと健康 (Sports and Health)			担当教員	野田　政弘
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2132	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

現代社会においてスポーツや運動など日常生活におけるさまざまな身体活動は、人々が健康な生活を送るうえで重要な役割を果たしている。スポーツや運動にみられる身体現象を運動生理学やスポーツ心理学、スポーツ社会学などの観点から科学的に探求し理解を深める。

授　業　の　到　達　目　標

健康、生活習慣病、体力、運動のしくみなどに関する理論について理解できる。スポーツや運動などの身体活動が人の心身に及ぼす影響について理解できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（授業の最後に今回の内容について意見を交換する）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：健康の捉え方と獲得するためのポイント
　事前学習：テキストの第1章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：生活習慣病と関連する要因
　事前学習：テキストの第2章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：体力とは何か
　事前学習：テキストの第3章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：体力とは何か
　事前学習：テキストの第3章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：運動のしくみ
　事前学習：テキストの第4章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：運動のしくみ
　事前学習：テキストの第4章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（2時間）
第7回：トレーニング理論、トレーニング方法
　事前学習：テキストの第5、6章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（2時間）
第8回：健康を維持・増進するための運動、ダイエット計画
　事前学習：テキストの第7、8章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（2時間）
第9回：運動と水分補給、熱中症
　事前学習：テキストの第9章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（2時間）

第10回：ウォーミングアップとクーリングダウン、応急手当
　　事前学習：テキストの第10、11章を読み、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（２時間）
第11回：スポーツと心理のかかわり
　　事前学習：テキストの第12を読み、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：今日の学校保健の問題
　　事前学習：テキストの第13章を読み、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：欲求、ストレスと疲労への対処法
　　事前学習：テキストの第14章を読み、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：地域とスポーツのかかわり、社会におけるスポーツの役割
　　事前学習：テキストの第15、16章を読み、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：まとめ
　　事後学習：定期試験に向けテキスト等の見直しや関連項目につてノートにまとめておくこと。（４時間）
第16回：定期試験

各回の講義の前にテキストを読んで概要を把握し、疑問点を整理しておく。
講義の後は、ノートや配布資料を見直して復習しておく。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、平常点（30%）。平常点は授業への参加状況、出席課題の提出及びその内容を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

健康、生活習慣病、体力、運動のしくみなどに関する理論について理解できている。スポーツや運動などの身体活動が人の心身に及ぼす影響について理解できている。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
出村慎一編著、「健康・スポーツ科学講義 第2版」、杏林書院 2017
その他（受講上の注意）
講義で学んだ知識を日常の生活や身体運動に活用できるように。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

スポーツB (Sports B)			担当教員	山村　恵子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2134	1単位	1年後期	実技	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

バスケットボールを楽しむことを目指し、健康維持増進、体力の向上をねらいとする。

授 業 の 到 達 目 標

自他の理解能力、コミュニケーション能力、計画をたて実行できる能力を養成する。
バスケットボールのスピードあるボールコントロール・フォーメーションプレーなどがスムーズにできることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：バスケットボールの歴史・変遷のまとめ
　事前学習：バスケットの歴史、変遷をまとめる（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第2回：コートの大きさ、ゴールの大きさを知る
　事前学習：コート、ゴールの大きさをノートに作成する。（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第3回：ボールコントロールの実技
　事前学習：実技のための個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：ボールコントロールの向上、個人技を習得しておくこと。（0.5時間）
第4回：ボールの重さ、大きさ、持ち方を調べる
　事前学習：授業内容について、高校の教科書、図書館等で調べ、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第5回：ジグザグドリブルの実技
　事前学習：実技のための個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：ジグザグドリブルの向上、個人技を習得しておくこと。（0.5時間）
第6回：ジグザグドリブルのタイムを上げる為の練習
　事前学習：体力、個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第7回：戦術レポート作成
　事前学習：コンビネーションプレーについて調べておくこと。（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第8回：ゴール下30秒シュート実技
　事前学習：実技のための個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第9回：ゴール下30秒シート数を上げる為の練習
　事前学習：ゴール下シュートの習得（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第10回：シュート、パスの種類を調べる
　事前学習：個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）

第11回：コンビネーションプレー３対３の守り方、攻め方
　　事前学習：コンビネーション３対３について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：授業の内容を整理し、からだの動きを確認すること。（0.5時間）
第12回：試合の進め方を調べる、試合時間など
　　事前学習：コンビネーションプレー５対５について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第13回：反則を調べる
　　事前学習：基本的な攻防、戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第14回：５対５全面の攻防10分ゲーム、作戦、戦略、審判法について学習する
　　事前学習：基本的な攻防の戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第15回：ゲームまとめ、個人技評価
　　事前学習：基本的な攻防の戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を評価しておくこと。（0.5時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：面接授業
第２回：面接授業
第３回：面接授業
第４回：面接授業
第５回：面接授業
第６回：面接授業
第７回：面接授業
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

技術の習得（70%）、平常点（30%）。平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

スピードのあるボールコントロール・フォーメーションプレーなどがスムーズにできるか。
中学校、高校までに習ったバスケットを理解出来ているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

必要に応じて授業内で配付する

その他（受講上の注意）
原則として全出席を求め、遅刻、早退は認めない。 トレーニングウェア着用のこと。 原則として見学の場合もトレーニングウェア着用のこと。 授業中の水分補給は各自行う。 新聞、テレビのメディアなどで東京オリンピック前の世界大会、県内の大会に関心を持ち情報を得るようにする。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅰa (English Ⅰa)			担当教員	加藤　優子、M　ハウカ、R ダイクス、 フッド晴美、山口　和代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2140	1単位	1年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading, writing, and presentation exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授 業 の 到 達 目 標

Upon finishing the course, students will be able to express themselves freely in general conversation through exchanging personal information and talking about their daily lives. Additionally, students will be able to listen for key words and specific information in a variety of situations. The ability to scan for general information and read for specific information will be enhanced as well as the ability to write short letters, descriptions, and articles on a variety of subjects.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Unit 1 - Jobs ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Unit 1 - Jobs ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：Unit 2 - Daily activities ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：Unit 2 - Daily activities ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Unit 3 - At the moment ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Unit 3 - At the moment ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第8回：Review（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第9回：Unit 4 - Feelings ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第10回：Unit 4 - Feelings ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 5 - On the weekend ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 5 - On the weekend（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 6 - Downtown ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 6 - Downtown ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Cumulative Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination

Before starting each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the writing assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.
Furthermore, students will be tasked with self-study activities in preparation for the TOEIC through the use of NetAcademy 2 software.

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用

成　績　評　価　方　法

Outside-class Activities (i.e., 'Grammar Talk' pages & other homework assignments, NetAcademy2 usage, etc.) - 20%【授業外課題 20%（［例］文法参照ページ & 宿題・NetAcademy2（オンライン学習）・他】
Proactive In-class Participation - 20%　【積極的な授業参加度 20%】
Examination - 60%　【試験 60%】

成　績　評　価　基　準

Students' ability to understand and participate in general conversation on everyday topics will be evaluated, as well the ability to read and comprehend short, written passages.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stempleski, Susan. Stretch 1 (First Edition) . 2014. Oxford University Press ISBN 978-0-19-460312-6.
TEXT加藤 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

その他(受講上の注意)

Prior to the beginning of the semester, a mandatory general English pre-evaluation test will be administered. 【入学時にプレースメントテストを実施する】Also, during the semester, a number of classes will be held in the Computer Assisted Language Learning laboratory (E-303) for the purpose of familiarizing students with the use of NetAcademy2 software.

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅰb (English Ⅰb)			担当教員	加藤　優子、M　ハウカ、R ダイクス、 フッド晴美、山口　和代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2141	1単位	1年後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading, writing, and presentation exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授 業 の 到 達 目 標

Upon finishing the course, students will be able to express themselves freely in general conversation through exchanging personal information and talking about their daily lives. Additionally, students will be able to listen for key words and specific information in a variety of situations. The ability to scan for general information and read for specific information will be enhanced as well as the ability to write short letters, descriptions, and articles on a variety of subjects.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction（ディスカッション）
　事前学習：前期の学習を振り返っておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Unit 7 - People we admire ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Unit 7 - People we admire ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：Unit 8 - At a supermarket ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：Unit 8 - At a supermarket ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Unit 9 - Health problems ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Unit 9 - Health problems ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第8回：Review（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第9回：Unit 10 - Cities ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第10回：Unit 10 - Cities ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 11 - Music ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 11 - Music ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 12 - Travel plans ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 12 - Travel plans ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Cumulative Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination

Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the writing assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.
Furthermore, students will be tasked with self-study activities in preparation for the TOEIC through the use of NetAcademy 2 software.

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

Outside-class Activities (i.e., 'Grammar Talk' pages & other homework assignments, NetAcademy2 usage, etc.) - 20%【授業外課題 20%（[例] 文法参照ページ & 宿題・NetAcademy2（オンライン学習）・他】
Proactive In-class Participation - 20% 【積極的な授業参加度 20%】
Examination - 60% 【試験 60%】

成　績　評　価　基　準

Students' ability to understand and participate in general conversation on everyday topics will be evaluated, as well the ability to read and comprehend short, written passages.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stempleski, Susan. Stretch 1（First Edition）. 2014. Oxford University Press ISBN 978-0-19-460312-6.
TEXT加藤 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

その他(受講上の注意)

During the semester, a number of classes will be held in the Computer Assisted Language Learning laboratory（E-303）for the purpose of familiarizing students with the use of NetAcademy2 software.
An additional mandatory general English post-evaluation test to monitor achievement will be given at the end of the semester.【アチーブメントテスト受験が単位取得条件である】

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フランス語a (French a)			担当教員	大竹口　麻里
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2142	1単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

「フランス語技能検定試験（仏検）」の4級程度の、フランス語の発音と単語及び文の構造を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

1）綴り字と発音の関係を学び、早い段階で臆することなくフランス語を発音できる。
2）初級文法を学び簡単な会話文が読み書くことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：フランス語について．ABCの発音．あいさつ
　事前学習：CDでアルファベを聞いておくこと。(0.5時間)
　事後学習：自分の名前をノートに書いて発音し、すらすら言えるようにしておく。(0.5時間)
第2回：第1課 綴り字の読み方・自己紹介する
　事前学習：テキスト第1課の単語を調べておくこと。(0.5時間)
　事後学習：綴り字の短母音字についてまとめておくこと。動詞?treの活用をまとめておき、覚えること。(0.5時間)
第3回：第1課 自己紹介する
　事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。(0.5時間)
　事後学習：テキストp12の練習問題とプリントの練習問題を解いておくこと。(0.5時間)
第4回：第2課 物を指し示す①
　事前学習：テキスト第2課の単語を調べておくこと。(0.5時間)
　事後学習：テキストp16の練習問題を解いておくこと。(0.5時間)
第5回：第2課 物を指し示す②
　事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。(0.5時間)
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。(0.5時間)
第6回：第3課 尋ねる①
　事前学習：テキスト第3課の単語を調べておくこと。(0.5時間)
　事後学習：-er動詞parler aimer活用させ、まとめておき覚えてくること。(0.5時間)
第7回：第3課 尋ねる②
　事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。(0.5時間)
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。テキストp22仏検5級をめざして1を解いておくこと。(0.5時間)
第8回：第4課 買い物をする①
　事前学習：テキスト第4課の単語調べをしておくこと。(0.5時間)
　事後学習：テキストp26の練習問題を解いておくこと。(0.5時間)
第9回：第4課 買い物をする②
　事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。(0.5時間)
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。(0.5時間)
第10回：第5課　物事や人について尋ねる
　事前学習：テキスト第5課の単語を調べておくこと。(0.5時間)
　事後学習：テキストp30の練習問題を解いておくこと。(0.5時間)

第11回：第５課　物事や人についてたずねる
　　事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第12回：第６課　場所を尋ねる
　　事前学習：テキスト第６課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：テキストｐ34の練習問題を解いておくこと。所有形容詞を使って自分の家族の名前を作文しておくこと。（0.5時間）
第13回：第６課　場所を尋ねる
　　事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第14回：第７課　～したいと言う
　　事前学習：テキスト第７課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：テキストｐ38の練習問題を解いておくこと。自分がどこにいきたいかを作文しておくこと。（0.5時間）
第15回：第７課～したいと言う
　　事前学習：DialogueとLectureを訳して、CDを聞き発音しておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解いておくこと（0.5時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験60％、平常点40％（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

１）綴り字と発音の関係を理解し、早い段階で臆することなくフランス語を発音できるか。
２）初級文法及び簡単な会話文が読み書きができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

藤田裕二著『パリ－ボルドー』 朝日出版社　2016
『ベーシッククラウン仏和和仏辞典』三省堂

その他（受講上の注意）
仏和辞書を毎回持ってくること。辞書については初回の授業で説明します。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フランス語b (French b)			担当教員	大竹口　麻里
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2143	1単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

「フランス語技能検定試験（仏検）」の4級程度の、フランス語の発音と単語及び文の構造を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

1）テキストの内容について滑らかにフランス語を発音できるようになること。
2）テキストの内容や自分自身について質問されたことについてフランス語で書くことができるようになること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：第8課　興味を述べる
　事前学習：テキスト第8課の単語を調べておくこと。（0.5時間）
　事後学習：テキストp44の練習問題を解いておくこと。課題に取り組む（0.5時間）
第2回：第8課 興味を述べる。
　事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと　前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
　事後学習：課題に取り組む。（0.5時間）
第3回：第9課　誘う
　事前学習：テキスト第9課の単語を調べておくこと。前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
　事後学習：テキストp48の練習問題を解いておくこと。代名動詞を使い自分の興味のあるものについて作文しておくこと。課題に取り組む（0.5時間）
第4回：第9課　誘う
　事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと　前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
　事後学習：課題に取り組む（0.5時間）
第5回：第10課　天候と時刻を言う
　事前学習：テキスト第10課の単語を調べておくこと。前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
　事後学習：テキストp52の練習問題を解いておくこと。都市の時刻と天候について作文しておくこと。課題に取り組む（0.5時間）
第6回：第10課　天候と時刻を言う
　事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと　前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
　事後学習：課題に取り組む（0.5時間）
第7回：第11課　数量を表す
　事前学習：テキスト第11課の単語を調べておくこと。前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
　事後学習：テキストp58の練習問題を解いておくこと。自分が朝食に取るものについて作文しておくこと。課題に取り組む（0.5時間）

第８回：第11課数量を表す
事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと　前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
事後学習：課題に取り組む（0.5時間）
第９回：第12課　比較する
事前学習：テキスト第12課の単語を調べておくこと。前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
事後学習：テキストｐ62の練習問題を解いておくこと。エッフェル塔と東京タワーを比較する文を作っておくこと。課題に取り組む（0.5時間）
第10回：第12課　比較する
事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと　前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
事後学習：課題に取り組む（0.5時間）
第11回：第13課　過去のことを話す
事前学習：テキスト第13課の単語を調べておくこと。前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
事後学習：テキストｐ66の練習問題を解いておくこと。仏検４級を目指して２を解いておくこと。課題に取り組む（0.5時間）
第12回：第13課　過去のことを話す
事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと　前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
事後学習：課題に取り組む（0.5時間）
第13回：第14課　仮定する
事前学習：14課の単語を調べておくこと。前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
事後学習：ｐ72の練習問題を解いておくこと。時間があったら何をするかを条件法を使い作文しておくこと。課題に取り組む（0.5時間）
第14回：第14課　仮定する
事前学習：DialogueとLectureを訳し、CDを聞いて発音練習をしておくこと　前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
事後学習：課題に取り組む（0.5時間）
第15回：総復習
事前学習：テキスト第８課～第14課の内容を整理する。前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
事後学習：授業の中で取り上げた最重要項目についてよく復習しておくこと。課題に取り組む（0.5時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験60％　平常点40％（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

１）フランス語の滑らかな発音ができるか。
２）簡単な質問に対してフランス語で回答できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

藤田裕二著『パリ－ボルドー』 朝日出版社　2016
『ベーシッククラウン仏和和仏辞典』三省堂

その他(受講上の注意)

辞書は毎回持ってくること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ドイツ語a (German a)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2144	1単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ドイツ語の発音と単語、文の構造を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

ドイツ語のアルファベートの発音、単語の読み方、規則的な動詞変化（現在形）、定冠詞・不定冠詞の格変化を習得し、簡単なドイツ語のあいさつや、ドイツ語の単文をある程度読み、書き、発音することができるようになることを目的とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ペアワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

毎回練習問題を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせから始める。間違った問題は、必ず復習しておくこと。

第1回：Lektion 1　ドイツ語という言語の説明・アルファベート
　事前学習：テキストのアルファベートのページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解いて、e-learning上の小テストを解いて、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第2回：Lektion 1　いろいろな単語を発音してみよう
　事前学習：テキストの単語の発音のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第3回：Lektion 1　単語と簡単なあいさつをしてみよう
　事前学習：テキストの単語の発音のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第4回：Lektion 2　動詞の人称変化1
　事前学習：動詞の人称変化のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第5回：Lektion 2　動詞の人称変化2
　事前学習：動詞の人称変化のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第6回：Lektion 2　動詞の人称変化3
　事前学習：動詞の不規則な人称変化のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第7回：Lektion 3　名詞の性
　事前学習：名詞の性のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第8回：Lektion 3　定冠詞の格変化1（1・4格）
　事前学習：定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）

第９回：Lektion３　定冠詞の格変化２（２・３格）
　　事前学習：定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第10回：これまでの復習
　　事前学習：定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第11回：Lektion３　不定冠詞の格変化１（１・４格）
　　事前学習：不定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第12回：Lektion３　不定冠詞の格変化２（２・３格）
　　事前学習：不定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第13回：Lektion３　定冠詞・不定冠詞の復習
　　事前学習：定冠詞・不定冠詞の資料を見直しておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第14回：Lektion３　不定冠詞の復習
　　事前学習：不定冠詞の資料を見直しておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第15回：Lektion１　アルファベートの発音、単語の発音の復習
　　事前学習：アルファベートの発音、単語の発音の復習をしておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況小テストへの取り組みなどを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・ドイツ語の発音の規則を理解し、知らない単語にも応用することができるか。
・動詞変化の基本的規則を理解し、自分で動詞を変化させることができるか。
・英語にはない動詞の「性および格」について理解し、冠詞変化規則を応用することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
（1）西村祐子　ルドルフ・ペトリック　『新・行ってみたいなドイツ』 郁文堂　2013年 （2）在間進　『新キャンパス独和辞典』 郁文堂 2011年 初学者には電子辞書は不向きなので、書籍版を購入すること。すでに書籍版の辞書を持っている人は、自分の持っている辞書でもよい。辞書の種類や使い方については初回の授業で説明します。
その他（受講上の注意）
語学の授業は、出席しないことには身につかない。できるかぎり出席すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ドイツ語b (German b)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2145	1単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ドイツ語aにつづいて、ドイツ語のやや高次な初級文法について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

ドイツ語の定冠詞・不定冠詞類の格変化、前置詞、助動詞を習得し、英語とは異なるドイツ語独自の「ワク構造」について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他（ペアワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

毎回練習問題を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせから始める。間違った問題は、必ず復習しておくこと。

第1回：ドイツ語aの復習
　事前学習：テキスト13ページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第2回：Lektion 5　定冠詞類・不定冠詞類1
　事事前学習：テキストの不定冠詞類のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第3回：Lektion 5　定冠詞類・不定冠詞類2
　事前学習：テキストの不定冠詞類のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第4回：Lektion 5　定冠詞類・不定冠詞類3
　事前学習：テキストの定冠詞類のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第5回：Lektion 5　定冠詞類・不定冠詞類4
　事前学習：テキストの定冠詞類のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第6回：Lektion 4　名詞の複数形
　事前学習：テキストの名詞の複数形のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第7回：Lektion 3　人称代名詞
　事前学習：テキストの人称代名詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第8回：Lektion 4　不規則な現在変化動詞
　事前学習：テキストの不規則変化動詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第9回：Lektion 4　数詞・日付など
　事前学習：テキストの数詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）

第10回：Lektion 6　前置詞 1
　　事前学習：テキストの前置詞（3 格支配）のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第11回：Lektion 6　前置詞 2
　　事前学習：テキストの前置詞（4 格支配）のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第12回：Lektion 6　前置詞 3
　　事前学習：テキストの前置詞（3 / 4 格支配）のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第13回：Lektion 6　前置詞 4
　　事前学習：テキストの前置詞（これまでの全体）のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第14回：Lektion 7　話法の助動詞とワク構造
　　事前学習：テキストの話法の助動詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：e-learning上の小テストを解き、動画で指定した宿題をやっておくこと（0.5時間）
第15回：Lektion10　動詞の 3 基本形と過去形
　　事前学習：テキストの動詞の動詞の 3 基本形・過去形のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：返却された小テストの間違い直しをし、定期試験に備えること（0.5時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第 1 回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 2 回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 3 回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 4 回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 5 回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 6 回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 7 回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 8 回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 9 回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、小テストへの取り組みを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・冠詞類、動詞の不規則変化、前置詞、話法の助動詞、過去形について理解し、ある程度応用できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
（1）西村祐子　ルドルフ・ペトリック　『新・行ってみたいなドイツ』 郁文堂 2013年 （2）在間進　　『新キャンパス独和辞典』 郁文堂 2011年 初学者には電子辞書は不向きなので、書籍版を購入すること。すでに書籍版の辞書を持っている人は、自分の持っている辞書でもよい。辞書の種類や使い方については初回の授業で説明します。
その他（受講上の注意）
語学の授業は、出席しないことには身につかない。できるかぎり出席すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

中国語a (Chinese a)			担当教員	ショウ　ロ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2146	1単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。中国語の学習を進めていく上で基礎知識を学習し、中国語の検定試験準4級のレベルをめざす。

授 業 の 到 達 目 標

1、中国語の発音に関して、表音ローマ字の読み方と綴り方を取得する。
2、中国語の簡略字を正しく読み取れる。
3、基礎単語300語程度を覚える。
4、簡単な日常あいさつ用語30語程度を聞き取れる、応答ができる。
5、簡単な基本文型20語程度を取得し、基本的な事項の確認や、自分の意思を伝えられる。
6、演習会話を通してコミュニケーション能力を高めることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：発音とピンイン1。一字一音、ピンイン、声調、母音。
　　事後学習：録音を聞きながら、発音を練習すること。（1時間）
第2回：発音とピンイン2。子音、中国語の数字を言う、よく使う日常挨拶用語Ⅰ。
　　事後学習：録音を聞きながら、発音を練習すること。（1時間）
第3回：発音とピンイン3。声調の変化、軽声、声調の組合せ。
　　事後学習：録音を聞きながら、発音を練習すること。（1時間）
第4回：人称代名詞。判断動詞“是”。疑問詞を表わす“吗”。
　　事後学習：録音を聞きながら、繰り返し発音を練習すること。（1時間）
第5回：中国語の基本語順。省略疑問文“呢”。名前の言い方。
　　事前学習：録音を聞きながら、繰り返し発音を練習すること。課題1。（1時間）
第6回：疑問詞疑問文。動詞“在”－存在を表わす。助詞“的”de。
　　事前学習：録音を聞きながら、繰り返し発音を練習すること。課題2。（1時間）
第7回：スマートフォン、パソコンに簡体中文の入力を設定する。簡体中文で入力する。
　　事前学習：練習問題を簡体中文で打って友達に送ってみましょう。課題3。（1時間）
第8回：所有を表す“有”。連動文。“好き”の表現“喜欢”。
　　事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題4。（1時間）
第9回：形容詞述語文。語気助詞“吧”。
　　事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題5。（1時間）
第10回：数詞、量詞。“几”と“多少”の区別。存在を表わす“有”。
　　事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題6。（1時間）
第11回：指示代名詞。名詞述語文。中国のお金。
　　事前学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題7。（1時間）
第12回：語気助詞“了”。比較文。年齢の聞き方。
　　事前学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題8。（1時間）
第13回：介詞“在”。反復疑問文。離合詞。
　　事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題9。（1時間）

第14回：動態助詞“了”。否定を表わす“没有”。
　　事前学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題10。（１時間）
第15回：助動詞“想”。動詞の重ね型。
　　事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題11。（１時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）課題練習の成績（30％）平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

１、表音のローマ字の読みと綴りをすることができるか。
２、常用簡略字が読み取れるか。
３、基礎単語300語程度が話せるか。
４、簡単日常あいさつ語を聞き、応答できるか。
５、簡単な言葉で事項の確認や自分の意思を伝えられるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

佐藤　晴彦　監修　徐　送迎　著　『たのしくできる　Ｗｅ　Ｃａｎ！　中国語（初級）』 朝日出版社

その他（受講上の注意）

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

中国語b (Chinese b)			担当教員	ショウ　ロ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2147	1単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。中国語を読むこと、話すことを重点において学習し、中国語の検定試験準4級合格をめざす。

授 業 の 到 達 目 標

1、中国語表音ローマ字による発音ができる。
2、基礎単語500語程度を使って、簡単な中国語の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。
3、日常あいさつ用語50語程度を聞き取れる、応答ができる。
4、簡単な基本文型50語程度を利用し、基本的な事項の確認や、自分の意思を自然に伝えられる。
5、演習会話を通してコミュニケーション能力を高めることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ペアワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：中国語aの復習。年月日の言い方、中国の祭日の映像を見る。
　事後学習：中国語aの復習プリントを配る、次週に提出すること。（1時間）
第2回：主述述語文。体調を訴えることができる。会話作り及び発表《病院で》。（ペアワーク）
　事前学習：病名の単語を調べること。（1時間）
第3回：時量補語、時刻の言い方。予定やスケジュールが言える。会話作り及び発表《日曜日の計画》。（ペアワーク）
　事後学習：時量、時刻の復習プリントを配る、次週に提出すること。（1時間）
第4回：選択疑問文。人を誘ったり誘われたりの表現ができる。会話作り及び発表《中国に行く》。（ペアワーク）
　事前学習：中国の有名な都市を調べること。（1時間）
第5回：助動詞“会”と“能”。中国南北料理の映像をみる。会話作り及び発表《日本の寿司》。（ペアワーク）
　事後学習：助動詞の使い方のプリントを配る、次週に提出すること。（1時間）
第6回：副詞“在”。電話であいさつ、応対する、連絡することができる。（ペアワーク）
　事後学習：挨拶用語のプリントを配る、次週に提出すること。（1時間）
第7回：中国の映画を鑑賞する。中国語で50〜100字の感想文を書く。（ペアワーク）
　事後学習：感想文を見直すこと、次週に提出すること。（1時間）
第8回：助動詞“可以”。自分で食事を注文することができる。会話作り及び発表《レストランで》。（ペアワーク）
　事前学習：中国料理の単語を調べること。（1時間）
第9回：禁止の表現。電車の乗り方を聞くことができる。会話作り及び発表《東京に行く》。（ペアワーク）
　事前学習：東京に行く乗り物の時刻、運賃を調べること。（1時間）
第10回：助詞“从〜”。タクシーの乗り方を聞くことができる。会話作り及び発表《タクシーで駅に行く》。（ペアワーク）
　事後学習：乗り物の乗り方を宿題し、次週に提出すること。（1時間）
第11回：助動詞“要”。《中国の二十歳の若者》の映像を見る。会話作り及び発表《成人式》。（ペアワーク）
　事後学習：《成人式》のテーマで50字くらいをまとめ、次週に提出すること。（1時間）
第12回：挿入語《中国人の生活習慣》の映像を見る。日本と中国の生活習慣について感想を述べる。（ペアワーク）
　事前学習：日本の生活習慣を調べること。（1時間）

第13回：使役表現。緊急時の連絡する、避難する方法を言える。会話作り及び発表《地震》。（ペアワーク）
事前学習：日本で緊急時の連絡する、避難する単語を調べること。（１時間）
第14回：二重目的語。自分の就職先を紹介する。選んだ理由を説明することができる。（ペアワーク）
事後学習：作文《私がしたい仕事》を題し50字をまとめ、次週に提出すること。（１時間）
第15回：総まとめ。①単語のリレー。②テーマ別の中国語表現のリレー。③中国語を聞いて、動作で答える。（発表）
事後学習：定期試験の準備。（１時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）課題練習の成績（30％）平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

１、表音のローマ字による発音ができるか。
２、簡単な中国語と日本語の訳ができるか。
３、簡単日常あいさつ語を聞き、応答できるか。
４、簡単な言葉で事項の確認や自分の意思を伝えられるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

佐藤　晴彦　監修、 徐　送迎　著 『たのしくできる　Ｗｅ　Ｃａｎ！　中国語（初級）』 朝日出版社

その他（受講上の注意）

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ポルトガル語a (Portuguese a)			担当教員	坂東　照啓
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2148	1単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ポルトガル語の基礎を習得していく。受講生が初めてポルトガル語に接することを前提に、文字、発音に慣れ、簡単な日常の事柄を表すポルトガル語の文章を理解しつつ、ポルトガル語の仕組みの理解が進むように基本を学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

1．ポルトガル語の単語の発音(・音読)がおおよそでき、基礎語彙を習得し、簡単な日常表現や文章が理解できること。
2．ポルトガル語で自分自身のことや身の回りの(身近な)基本的なことをおおまかに表現できるようになること。
3．ポルトガル語の学習を通して、ブラジル文化について理解し、考えるきっかけをつかむこと。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ポルトガル語の概要とポルトガル語が使用されている国・地域について
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)
第2回：文字と発音とあいさつ表現
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)
第3回：語の音節とアクセント(強勢)。日常基本表現と数詞(1−10)
　事後学習：配布コピーを読み、単語の音読をする(1時間)
第4回：名詞、冠詞、数詞(11−30)
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)
第5回：「私」、「あなた」などの代名詞を学び、「〜は〜です」といった意味を動詞serで表現する
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)
第6回：動詞ser を使った文章。疑問文、否定文
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)
第7回：動詞ser を使ったさまざまな表現
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)
第8回：形容詞と指示詞(1)
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)
第9回：形容詞と指示詞(2)、所有表現
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)
第10回：今学期前半のまとめと、動詞の現在時制・活用
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)
第11回：一般動詞の使い方と規則動詞の活用
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)
第12回：前置詞
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)
第13回：動詞ir・ter・fazer(1)
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること(1時間)

第14回：動詞ir・ter・fazer（２）、疑問詞
　　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（１時間）
第15回：今学期全体のまとめ
　　事後学習：配布コピーを読み、定期試験に備えた復習をすること（１時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）　　平常点（40%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙への回答状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

１．ポルトガル語の単語の発音（・音読）ができ、基礎語彙を習得して、簡単な日常表現や文章が理解できていること。
２．ポルトガル語で自分自身のことや身の回りの（身近な）ことについて簡単な文を作り、表現できること。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

「ブラジル・ポルトガル語を話そう！改訂版」 朝日出版社　重松由美、瀧藤千恵美、Felipe Ferrari

コピーを配布します。
辞書は最初は不要です。ポルトガル語に慣れてくれば、電子辞書を使うとよいでしょう。

その他（受講上の注意）

e-ラーニングをチェックしてください。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ポルトガル語b (Portuguese b)			担当教員	坂東　照啓
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2149	1単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ポルトガル語の基礎を前学期に引き続き習得していく。日本語を母語とする受講生にとってポルトガル語習得における難しい点にも注意しながら、ポルトガル語の文章を理解し、多少の誤りがあってもポルトガル語で自分の伝えたいと思うことを表現できるように学習を進める。基本語彙と基本文法に習熟し、ポルトガル語の輪郭をつかんでいく。

授 業 の 到 達 目 標

1．ポルトガル語の基礎語彙を習得し、文章についても、複雑な構文でなければ理解できること。
2．ポルトガル語で日常の身近なことであれば、多少の間違い、ぎこちなさがあっても表現し、伝えられること。
3．ポルトガル語の学習を通して、ブラジル文化についての理解を深め、さらに日本におけるブラジル人との対話を一例とする異文化コミュニケーションについて考察できるようになること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

注意：遠隔授業実施となったため、シラバスはこの項目だけでなく、全項目に関し、全面的に変更される。

第1回：前学期において既習の事項を確認し、今学期学習する事柄の概略を提示する
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）
第2回：動詞poder、querer、日付と曜日の表現、数詞（31−100）（1）
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）
第3回：動詞poder、querer、日付と曜日の表現、数詞（31−100）（2）
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）
第4回：動詞estar と現在進行形
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）
第5回：直説法完全過去（1）、時間表現と数詞の復習
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）
第6回：直説法完全過去（2）、人称代名詞
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）
第7回：不定代名詞、不定形容詞。感嘆文
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）
第8回：直説法不完全過去（1）
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）
第9回：直説法不完全過去（2）、縮小辞と増大辞
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）
第10回：今学期前半のまとめ。再帰動詞（1）
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）
第11回：再帰動詞（2）。直説法現在完了。不規則動詞活用形
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）
第12回：再帰動詞（3）。比較級と最上級（1）
　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（1時間）

第13回：比較級と最上級（２）。数字（101－1000000）
　　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（１時間）
第14回：既習項目の復習と文法事項の補足
　　事後学習：配布コピーを読み、復習をすること（１時間）
第15回：これまでのポルトガル語学習の総括と今後のポルトガル語学習について大枠を提示する
　　事後学習：配布コピーを読み、定期試験に備えた復習をすること（１時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）　　平常点（40%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙への回答状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

１．ポルトガル語の基礎語彙を習得しており、文章についても、複雑な構文でなければ理解できること。
２．ポルトガル語で日常の身近なことであれば、多少の間違い、ぎこちなさがあっても表現し、伝えられること。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

「ブラジル・ポルトガル語を話そう！改訂版」 朝日出版社　重松由美、瀧藤千恵美、Felipe Ferrari

辞書について：ポルトガル語学習が進めば、電子辞書を使用すればよいでしょう。

その他（受講上の注意）

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。
音声通話で対応します。

情報リテラシーa (Information Literacy a)			担当教員	森本　文人、安彦　智史、佐々木　裕子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2150	2単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学(および一般社会)において、学習や研究を進めるうえで必要となるコンピュータの基本的知識及び操作法を身につける。
特に、キーボードを見ずにキー入力ができるタッチタイピング技能、および日本語文書作成能力を身に付けることを主眼とする。

授 業 の 到 達 目 標

パソコンに関する基礎的な知識と学内ネットワークの利用、インターネットなどの基本的な使い方を理解する。
文書作成ソフトWordを使い、基本的な日本語文書作成ができる。
タッチタイピングができる。
10分間で300文字以上の日本語文章を入力する能力を身に付けている。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：学内ネットワーク、Office365の利用、Windows10の基礎1、タッチタイピング1
　　事後学習：タッチタイピング練習(4時間)
第2回：各種設定、Office365の利用、Windows10の基礎2、タッチタイピング2
　　事後学習：タッチタイピング練習(4時間)
第3回：Word入門 p.33〜47、タッチタイピング3
　　事前学習：テキストp.33〜47を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学習：タッチタイピング練習(3時間)
第4回：文書の作成 p.48〜70、タッチタイピング4
　　事前学習：テキストp.48〜70を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学習：実習問題(1〜12)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第5回：編集機能 p.71〜84、タッチタイピング5
　　事前学習：テキストp.70〜84を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学習：実習問題(13〜17)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第6回：文章入力問題、画像の利用 p.85〜94、タッチタイピング6
　　事前学習：テキストp.85〜94を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学習：実習問題(18〜19)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第7回：Wordの活用1 画像の利用 p.95〜101、タッチタイピング7
　　事前学習：テキストp.95〜101を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学習：実習問題(20〜22)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第8回：Wordの活用2 ワードアート・図形描画 p.102〜117
　　事前学習：テキストp.102〜117を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学習：実習問題(23〜25)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第9回：スマートアートほか p.118〜133
　　事前学習：テキストp.118〜133を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　　事後学習：実習問題(26〜28)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)

第10回：Wordの応用　はがき・差し込み印刷　p.134～147
　　事前学習：テキストp.134～147を読み、操作に関して予習・確認する（1時間）
　　事後学習：実習問題（29）などで復習、タッチタイピンク練習（3時間）
第11回：Wordの応用2　グラフ　p.148～161
　　事前学習：テキストp.148～161を読み、操作に関して予習・確認する（1時間）
　　事後学習：実習問題（30～36）などで復習（3時間）
第12回：プレゼンテーション p.162～172、パワーポイントによるプレゼンテーション1
　　事前学習：テキストp.162～172を読み、操作に関して予習・確認する（1時間）
　　事後学習：実習問題（37）などで復習、タッチタイピンク練習（3時間）
第13回：パワーポイントによるプレゼンテーション2、ビジネス文書作成復習問題1
　　事後学習：作品の完成、タッチタイピンク練習（4時間）
第14回：ビジネス文書作成復習問題2
　　事前学習：テキストを読み直して、不明なところを解消させておく（2時間）
　　事後学習：文書を完成させる、タッチタイピンク練習（2時間）
第15回：ビジネス文書作成復習問題3・まとめ
　　事前学習：テキストを読み直して、不明なところを解消させておく（2時間）
　　事後学習：文書を完成させる、タッチタイピンク練習（2時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（約70%）　タイピング練習（約10%）　提出課題（約10%）　平常点（約10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ワープロソフトWordの基本的な操作ができるか。
基本的なビジネス文書の作成・編集ができるか。
タッチタイピングができるか。
タイピング練習を10時間以上したか。

10分間で300文字以上の日本語文章を入力する能力があるか。
（能力がないと判断した場合は、単位認定をしない）

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（タッチタイピング技能に対するフィードバックについて）
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
『30時間でマスター　Word2016』 実教出版　2016 教材：『Type Quick Professional USB版』 日本データパシフィック
その他（受講上の注意）
この授業は、Word初心者を対象とした内容であるので、経験を有する者は情報活用aを受講すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報リテラシーb (Information Literacy b)			担当教員	森本　文人、安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2151	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学(および一般社会)において、学習や研究を進めるうえで必要となるコンピュータの基本的知識及び操作法を身につける。
特に、表計算ソフトの基本的な使用法を習得して、データの集計処理や活用法を身に付けることを主眼とする。
併せて、タッチタイピング技能の向上を目指す。

授　業　の　到　達　目　標

表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフの作成ができる。
基本的な関数の使い方が理解できる。
表計算ソフトとワープロソフトの連携処理ができる。
タッチタイピングができる。
10分間で350文字以上の日本語文章を入力する能力を身に付けている。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：文章入力問題(以降第9回まで)、Excel 1(データ入力、集計、印刷) p.33まで
　事前学習：テキストp.1〜33を読み、操作に関して予習・確認する(0.5時間)
　事後学習：練習問題(1〜5)などで復習、タッチタイピング練習(3.5時間)
第2回：Excel 2(グラフ作成、表の編集) p.55まで
　事前学習：テキストp.34〜55を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(1〜4)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第3回：Excel 3(平均、表示形式) p.66まで
　事前学習：テキストp.56〜66を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(5〜6)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第4回：Excel 4(罫線、ワークシートの活用) p.79まで
　事前学習：テキストp.67〜79を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(7〜12)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第5回：Excel 5(いろいろな関数) p.97まで
　事前学習：テキストp.80〜97を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(13〜18)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第6回：Excel 6(条件付き書式、グラフ1) p.112まで
　事前学習：テキストp.98〜112を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(19〜22)問題などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第7回：Excel 7(グラフ2) p.133まで
　事前学習：テキストp.113〜133を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(23〜29)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)
第8回：Excel 8(グラフ3) p.145まで
　事前学習：テキストp.134〜145を読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題(30〜33)などで復習、タッチタイピング練習(3時間)

第９回：Excel ９（データベース、並べ替え）p.171まで
　　事前学習：テキストp.146～171を読み、操作に関して予習・確認する（１時間）
　　事後学習：実習問題（34～35）などで復習、タッチタイピング練習（３時間）
第10回：Excel 10（集計、関数の活用１）p.193まで
　　事前学習：テキストp.172～193を読み、操作に関して予習・確認する（１時間）
　　事後学習：実習問題（36～42）などで復習、タッチタイピング練習（３時間）
第11回：Excel 11（関数の活用２）p.215まで
　　事前学習：テキストp.194～215を読み、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：実習問題（43～47）などで復習（２時間）
第12回：Excel 12（３D集計、WordとExcelの連携）p.229まで
　　事前学習：テキストp.216～229を読み、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：実習問題（48～49）などで復習（２時間）
第13回：Excel & Word復習問題１
　　事前学習：テキスト全体を読み返し、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：未完成の練習問題などを完成し、復習（２時間）
第14回：Excel & Word復習問題２
　　事前学習：テキスト全体を読み返し、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：未完成の練習問題などを完成し、復習（２時間）
第15回：Excel & Word復習問題３
　　事前学習：テキスト全体を読み返し、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：未完成の練習問題などを完成し、復習（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（約80%）　提出課題（約10%）　平常点（約10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフの作成ができるか。
基本的な関数の使い方を理解しているか。
表計算ソフトとワープロソフトの連携処理ができるか。
タッチタイピングができるか。

10分間で350文字以上の日本語文章を入力する能力を身に付けているか。
（能力がないと判断した場合は、単位認定をしない）

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

『30時間でマスター　Excel 2016』　実教出版　2016年
教材：『Type Quick Professional USB版』　日本データパシフィック

その他(受講上の注意)

この授業は、Excel初心者を対象とした内容であるので、経験を有する者は情報活用bを受講すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用 a (Exercises in Information Literacy a)			担当教員	佐々木　裕子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2152	2 単位	1 年前期・ 2 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

オフィスソフトの 1 つであるWordを採り上げる。例題を基に、その機能や操作方法を理解し、大学生活やビジネス場面においても難なく活用できる能力を獲得することを目指す。

授 業 の 到 達 目 標

オフィスソフトWordに関する知識とその機能を深く理解し、一般社会においても十分な情報活用能力を発揮できるようにマイクロソフト社のOffice Specialist試験（Word2016）や、日本商工会議所の日商PC検定試験 2 級（文書作成）に合格できる能力レベルを目標としている。

文書作成ソフトを使い、基本的な文書を速やかに作成できる。
さらに、複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書を難なく作成できる。
既存の文書に対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：文書処理に関する資格や検定試験概要、授業の進め方、実力診断用練習問題
　事前学習：情報リテラシーaのテキスト等を読み直し、Wordについて復習しておく（3 時間）
　事後学習：練習問題について復習（1 時間）
第 2 回：文書の作成、書式設定p.1～47
　事前学習：テキストp.1～47を読み、Wordを操作に関して予習する（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2 時間）
第 3 回：文章のオプション、印刷、保存p.48～86
　事前学習：テキストp.48～86を読み、Wordを操作に関して予習する（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2 時間）
第 4 回：文字列、段落p.87～121
　事前学習：テキストp.87～121を読み、Wordを操作に関して予習する（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2 時間）
第 5 回：文字列段落の並び替え、表作成p.122～157
　事前学習：テキストp.122～157を読み、Wordを操作に関して予習する（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2 時間）
第 6 回：表の設定、リスト作成・変更p.158～198
　事前学習：テキストp.158～198を読み、Wordを操作に関して予習する（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2 時間）
第 7 回：参考資料の作成と管理、グラフィック要素の挿入p.199～244
　事前学習：テキストp.199～244を読み、Wordを操作に関して予習する（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2 時間）
第 8 回：グラフィック要素の書式設定、SmartArt、模擬テストについてp.245～285
　事前学習：テキストp.245～285を読み、Wordを操作に関して予習する（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2 時間）

第９回：総合練習問題１
　　事前学習：模擬テスト問題１を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題１を実行して復習（２時間）
第10回：総合練習問題２
　　事前学習：模擬テスト問題２を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題２を実行して復習（２時間）
第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）　課題（20%）平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

限定した時間内（50分）で、文書作成ソフトウェアWordを使って下記のような処理などができるか。
関連する検定試験（日商PC検定　MOS試験）の合格者については、定期試験の合格と同等以上とする。

文書作成ソフトを使い、基本的な文書を速やかに作成できるか。
複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書を難なく作成できるか。
既存の文書に対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

『MOS攻略問題集 Word 2016』 日経BP 2018年

その他(受講上の注意)

情報リテラシーa の受講を終えていることを前提とします。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用ｂ (Exercises in Information Literacy b)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2153	2単位	1年後期・ 2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

オフィスソフトの1つであるExcelを採り上げる。例題を基に、その機能や操作方法を理解し、大学生活やビジネス場面においても難なく活用できる能力を獲得することを目指す。

授 業 の 到 達 目 標

オフィスソフトExcelに関する知識とその機能を深く理解し、一般社会においても十分な情報活用能力を発揮できるようにマイクロソフト社のOffice Specialist試験（Excel2016）や、日本商工会議所の日商PC検定試験2級（データ活用）に合格できる能力レベルを目標としている。

表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフを速やかに作成できる。
既存の表やグラフに対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができる。
さらに、複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書への展開ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：授業の進め方、実力診断用練習問題（日商PC検定試験問題）
　事前学習：情報リテラシーｂのテキスト等を読み直し、Excelについて復習しておく（3時間）
　事後学習：練習問題について復習（1時間）
第2回：ワークシートやブックの作成・書式設定p.1～46
　事前学習：テキストp.1～46を読み、Excelを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第3回：ワークシートやブックのオプション、印刷設定p.47～83
　事前学習：テキストp.47～83を読み、Excelを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第4回：ブックの検査、セルやセル範囲の作成・書式設定p.84～122
　事前学習：テキストp.84～122を読み、Excelを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第5回：セル書式、データのまとめと整理p.123～166
　事前学習：テキストp.123～166を読み、Excelを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第6回：テーブル、関数による集計p.167～209
　事前学習：テキストp.167～209を読み、Excelを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第7回：関数を使用した論理演算、文字列操作、グラフ作成p.210～251
　事前学習：テキストp.210～251を読み、Excelを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第8回：グラフ書式、オブジェクト、模擬テストについてp.252～274
　事前学習：テキストp.252～274を読み、Excelを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）

第９回：総合練習問題１
　　事前学習：模擬テスト問題１を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題１を実行して復習（２時間）
第10回：総合練習問題２
　　事前学習：模擬テスト問題２を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題２を実行して復習（２時間）
第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）　提出課題（20%）平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

限定した時間内（50分）で、表計算ソフトウェアExcelを使って下記のような処理などができるか。
関連する検定試験（日商PC検定　MOS試験）の合格者については、定期試験の合格と同等以上とする。

表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフを速やかに作成できるか。
既存の表やグラフに対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができるか。
複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書への展開ができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

『MOS攻略問題集 Excel 2016』　日経BP　2018年

その他(受講上の注意)

情報リテラシーb　の受講を終えていることを前提とします。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

基礎演習(心理) (Basic Seminar)			担当教員	稲木康一郎、坂井　祐円、竹村　明子、 山本　雅代、渡辺　克徳、森本　文人
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2160	2単位	1年	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

大学生としての最初の1年は、4年間にわたる学修をスムーズに開始できるための重要な期間として位置づけられる。このため、まず学科の教育目標および教育課程を理解するとともに、主体的な学びを軸とする大学での修学や将来のための基盤づくりに重点を置き、授業を展開する。

授 業 の 到 達 目 標

■本授業の内容や達成すべき目標について理解する。
■学科の教育課程や教育制度、授業形態について説明を受け理解する。
■履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成できるようにする。
■大学での学び方を知るための講座、専門分野の基礎的な事柄についての演習を通して、自主学習を中心とした学習スタイルを確立し、学習に対する積極的な態度を身につける。
■附属図書館において図書館利用に関するセミナーを受講し、文献の検索方法等を理解し、学習や研究に必要な図書館利用法を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成（グループワーク）
　事前学習：学生便覧などを参考に，仁愛大学での授業や学生生活に関する疑問点などをまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（2時間）
第2回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
　事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（2時間）
第3回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学習状況などを確認
　事前学習：大学の授業や学生生活に関して個人的に質問・相談したいことをまとめておくこと（2時間）
　事後学習：担当教員から個別に指導された内容について振り返り今後の大学生活にどのように役立てるか考えること（2時間）
第4回：学習や研究に必要な文献検索方法（附属図書館利用法）
　事前学習：学生便覧などを参考に付属図書館に関する予備知識を得て，疑問点などをまとめておくこと（2時間）
　事後学習：図書館見学時に配布された資料を見直し，学んだ内容についてまとめておくこと（2時間）
第5回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
　事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（2時間）
第6回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
　事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（2時間）

第７回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第８回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第９回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第10回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第11回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学習状況などを確認
事前学習：大学の授業や学生生活に関して個人的に質問・相談したいことをまとめておくこと（２時間）
事後学習：担当教員から個別に指導された内容について振り返り今後の大学生活にどのように役立てるか考えること（２時間）
第12回：地域学習
事前学習：地域に関連する書籍や新聞等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：地域学習で配布された資料を見直し，学んだ内容についてまとめておくこと（２時間）
第13回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第14回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第15回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第16回：専門分野の基礎学習（グループワーク）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：面接授業
第７回：面接授業
第８回：面接授業

※後期は、全６クラスを３クラスずつ２つのグループに分けて、面接授業と遠隔授業を交互に実施する。
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業
第16回：面接授業

成　績　評　価　方　法

提出課題の内容（50％）および平常点（50％）
（平常点は、授業への参加状況と態度、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

基礎的なアカデミック・スキル（学習に対する積極的な態度・技術、レジュメの作成・報告、討論方法）が修得できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（各グループ内で課される課題に対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

テキストは使用しない

その他（受講上の注意）

■学生19名程度を１グループとして１名の担当教員を置く
（この担当教員は、２年間の指導教員として、本授業終了後も引き続き指導や助言を行う）
■授業の実施は、原則としてグループ単位で行い、前期８回と後期８回の計16回実施を予定している
■2020年度後期は、第11回と12回はリアルタイム（同時双方向）の遠隔授業で個人面談を行う。その他の回は、各グループで対面授業と遠隔授業が交互に実施されるので、ｅラーニングの学科掲示板にある「基礎演習（後期）のスケジュールについて」を必ず確認すること

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

基礎演習(コミュニケーション) (Basic Seminar)			担当教員	加藤　優子、橋本　武志、安彦　智史、 江南　健志、織田　暁子、升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2160	2単位	1年	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

大学生としての最初の1年は、4年間にわたる学修をスムーズに開始できるための重要な期間として位置づけられる。このため、まず学科の教育目標および教育課程を理解するとともに、主体的な学びを軸とする大学での修学や将来のための基盤づくりに重点を置き、授業を展開する。

授 業 の 到 達 目 標

■本授業の内容や達成すべき目標について理解する。
■学科の教育課程や教育制度、授業形態について説明を受け理解する。
■履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成できるようにする。
■大学での学び方を知るための講座、専門分野の基礎的な事柄についての演習を通して、
自主学習を中心とした学習スタイルを確立し、学習に対する積極的な態度を身につける。
■附属図書館において図書館利用に関するセミナーを受講し、文献の検索方法等を理解し、
学習や研究に必要な図書館利用法を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成
事前学習：大学の履修システムについて理解し、自分の履修計画を立てること（2時間）
事後学習：教科書の「ノートの取り方」について読み、理解を深めること（2時間）
第2回：専門分野の基礎学習（ノートのとり方、大学の試験）
事前学習：教科書「大学の試験」について読み、理解を深めること（2時間）
事後学習：学習した範囲の教科書をよく読み復習すること（2時間）
第3回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学修状況などを確認
事前学習：入学時アンケートに記載したこと自己目標や現在の自身の状況について整理して考えてくること（2時間）
事後学習：面談結果を踏まえ、自身の今後の大学生活について計画を立てること（2時間）
第4回：学修や研究に必要な文献検索方法（附属図書館利用法）
事前学習：大学附属図書館に赴き、図書館の基本的な学び方について理解すること（2時間）
事後学習：学習した内容について整理し、図書館の使い方についての理解を深めること（2時間）
第5回：専門分野の基礎学習（レポートの書き方、テキストの書き方）
事前学習：教科書「レポートの書き方、テキストの書き方」について読み、理解を深めること（2時間）
事後学習：学習した範囲の教科書をよく読み復習すること（2時間）
第6回：専門分野の基礎学習（学科コースの学びと理解）
事前学習：学生便覧について読み、学科の特性や専門コースについて理解を深めること（2時間）
事後学習：自己目標や現在の自身の状況を踏まえ、自分の履修計画について見直しを行うこと（2時間）
第7回：専門分野の基礎学習（コミュニケーション学科の研究室）
事前学習：仁愛大学HPのコミュニケーション学科のページをよく読み、学科のポリシーや活動について理解を深めること（2時間）
事後学習：各研究室の専門性や活動について理解し、ゼミの特性についてまとめること（2時間）

第８回：専門分野の基礎学習（プレゼンテーション発表の仕方）
　　事前学習：プレゼンテーション発表の仕方について事前に教科書を読み理解を深めること（２時間）
　　事後学習：講義内容について自身で調べ、自分の発表スタイルを身に着けること（２時間）
第９回：専門分野の基礎学習（専門科目の学び方）
　　事前学習：前期に学んだことを振り返り、各専門科目と興味があるコースについて学ぶこと（２時間）
　　事後学習：各専門分野の講義に触れ、２年次以降の履修計画の素案を作成すること（２時間）
第10回：越前市で学ぶ（フィールドワーク）
　　事前学習：越前市の伝統文化について調査し、理解を深めること（２時間）
　　事後学習：伝統文化に触れ、その成り立ちや現在の利活用方法について理解を深めること（２時間）
第11回：越前市で学ぶ（講演）
　　事前学習：地域への貢献活動やボランティア、伝統文化について学び、理解を深めること（２時間）
　　事後学習：実地での学びと座学での学びを通して、地域社会の活性化に向けて自身が取り組めることは何か考えること（２時間）
第12回：個別面談
　　事前学習：前後期の履修を踏まえ、来年度以降の専門コースを検討すること（２時間）
　　事後学習：面談を踏まえ、来年度以降の専門コースを検討すること（２時間）
第13回：発表会　プレゼンテーション
　　事前学習：プレゼンテーション発表の準備を行うこと（２時間）
　　事後学習：発表時に指摘された箇所を修正し、再提出を行うこと（２時間）
第14回：発表会　プレゼンテーション
　　事前学習：プレゼンテーション発表の準備を行うこと（２時間）
　　事後学習：発表時に指摘された箇所を修正し、再提出を行うこと（２時間）
第15回：総括
　　事前学習：後期課題を提出し、１年を通した自己省察を行うこと（２時間）
　　事後学習：２年次における専門コースを選択し、来年度の目標を立てること（２時間）

予習として、次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと。
復習として、授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：面接授業
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポートまたはプレゼンテーション（50%）　平常点（50%）
（平常点は、授業への参加状況と態度、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

基礎的なアカデミック・スキル（学習に対する積極的な態度・技術、レジュメの作成・報告、討論方法）が修得できているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他（提出された課題についてのアドバイスを行い、最終提出物を確認・採点する）
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

世界思想社編集部編『大学生学びのハンドブック』世界思想社　1200円

その他(受講上の注意)

■学生10名程度を１グループとして１名の担当教員を置く。
（この担当教員は、２年間の指導教員として、本授業終了後も引き続き指導や助言を行う）
■授業は、原則としてグループ単位で行う。
■授業の実施は、前期８回、後期７回を予定している。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本語文章表現 (Japanese Sentence Expression)			担当教員	國久　繁雄
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2161	1単位	1年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学生として身につけておくべき文章構成、推敲の方法、引用と要約のルールなどを中心に、実際に文章（作文・小論文など）を書くことを実践しながら学ぶ。また、福井仁愛学園が共催している「ふくい風花随筆文学賞」への応募を想定した作品を執筆する。

授　業　の　到　達　目　標

・与えられた課題に対して、自分の意見を組み立てた上で文章で表現し、相手に伝えることができる。
・さまざまな形式の表現に触れ、自分の考えを伝えるための作法や修辞法を理解している。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（作文・小論文等の文章作成）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、さまざまな文章
　事前学習：テキストの第1章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第2回：文章の構成
　事前学習：テキストの第2・3章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第3回：誤用文と推敲の方法
　事前学習：テキストの第4章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第4回：修辞法と慣用句
　事前学習：テキストの第5章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第5回：さまざまな熟語
　事前学習：テキストの第6章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第6回：敬語の種類
　事前学習：テキストの第7章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第7回：就職活動と書類
　事前学習：テキストの第8章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第8回：レポート・論文作成の手順
　事前学習：テキストの第9章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第9回：引用と要約のルール
　事前学習：テキストの第10章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）

第10回：400字・800字の小論文
　　事前学習：テキストの第11･12章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第11回：日常生活と言葉づかい
　　事前学習：テキストの第13章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第12回：ビジネス社会における敬語（１）（２）
　　事前学習：テキストの第14･15章を読み直し、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。最終課題の確認をする。（0.5時間）
第13回：学校・保育現場の保護者との話し方・通信文
　　事前学習：テキストの第16･19章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。最終課題のまとめをする。（0.5時間）
第14回：手紙とハガキ（１）（２）
　　事前学習：テキストの第17･18章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第15回：ビジネス文書
　　事前学習：テキストの19章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。最終課題の作成をする。（0.5時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

提出課題（40%）、期末レポート（20%）、小テスト（20%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、コメント用紙の提出状況などを総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

・与えられた課題に対し、自分の意見を組み立てたうえで文章で表現し、相手に伝えることができるか。
・さまざまな形式の表現に触れ、自分の考えを伝えるための作法や修辞法を理解しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

西尾宣明編著『新版　日本語表現法-「書く」「話す」「伝える」ための技法-』・樹村房・2013年

その他（受講上の注意）
文章表現は、実際に書くことによってのみ上達する。返却された提出課題をきちんと見直し、日頃からよりよい表現ができるように心がけること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

キャリア・デザインⅠ（Career Design Ⅰ）			担当教員	植月　百枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2162	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果（教育目標）

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

変化の激しい時代、これが正しいというキャリアモデルはない。知人・友人などのネットワークや、自ら考え学び自分は将来どのような仕事をしたいのか、どうありたいのかを常に探求していくことが重要である。
この授業では、キャリア形成と仕事へのアプローチのために必要なことは何かを自ら考え、挨拶・電話対応・ビジネス文書作成などの実践と、ビジネス社会での基本マナーとルールを身につけていく。

授　業　の　到　達　目　標

・自分自身のキャリア形成のため必要な意識と知識を修得する。
・社会人のマナーやルールを理解する。
・他者に敬意をはらい、円滑なコミュニケーションを修得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：学生時代に学ぶこと、考えること
　事前学習：大学時代にやるべきことは沢山ある。自分のなすべきこと、やりたいことを考えまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：自身の未来に思いをはせ、具体的に挑戦したいことをまとめ、ノートに記入することを課す。（2時間）
第2回：コミュニケーションの基本
　事前学習：授業前にテキストの第1編第1章を読み、社会が求める期待される社会人について考えておくこと。（2時間）
　事後学習：良好なコミュニケーションのために気をつけることをまとめ、ノートに記入することを課す。（2時間）
第3回：ビジネスマナーの基本①
　事前学習：授業前にテキストの第1編第3章を熟読し、なぜ社会人になるとビジネスマナーが必要なのか考えておくこと。（2時間）
　事後学習：ビジネスマナーの心と形について具体的にまとめておくこと。（2時間）
第4回：ビジネスマナーの基本②
　事前学習：ビジネスマナーの心をあらわす形の具体例は身近にある。今一度自分の周りのマナーについて考えをまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：お辞儀や挨拶を実践しよう。マスクをしてのコミュニケションのとり方を考え実践すること。（2時間）
第5回：指示の受け方と、報告・連絡・相談
　事前学習：テキスト第1編第4章を熟読し、理解を深めること。（2時間）
　事後学習：本日の授業の内容を報告してみよう。ワードで提出のこと。（2時間）
第6回：話し方ときき方のポイント
　事前学習：授業前にテキスト、第1編第5章を熟読し理解を深めること。（2時間）
　事後学習：きき方には3種類ある。きき方について学んだことをまとめ、ノートに記入することを課す。（2時間）

第７回：ビジネス文書、ビジネスメール①
事前学習：授業前にテキストの第２編第２章を熟読し理解を深めること。（２時間）
事後学習：ビジネス文書の役割、特徴、種類などをノートにまとめておくこと。（２時間）
第８回：ビジネス文書、ビジネスメール②
事前学習：仕事のメールとプライベートなメールの違いを改めて考え、同じ内容で、ビジネス用、プライベート用を作成してみること。（２時間）
事後学習：身のまわりの文書（書類、手紙，はがき）を点検し、書き方を確認すること。復習課題を課す。（２時間）
第９回：電話応対の基本と重要性
事前学習：授業前にテキストの第２編第３章を熟読し理解を深めること。電話応対に関することをまとめておくこと。（２時間）
事後学習：プリントを熟読し、声に出して電話応対の仕方を練習すること。復習課題を課す。（２時間）
第10回：敬語の種類と必要性
事前学習：授業前にテキストの第１編第５章を読み理解を深めること。敬語の使い方の最近の傾向について調べること。（２時間）
事後学習：敬語についての復習問題の課題を課す。（２時間）
第11回：情報収集と効果的な活用法
事前学習：授業前にテキストの第２編第５章を熟読し、さまざまな情報源について調べ理解を深めること。（２時間）
事後学習：情報源の活用について復習課題を課す。（２時間）
第12回：新聞の読み方・コンプライアンス
事前学習：テキスト第２編第５章を熟読し、日ごろから新聞を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：コンプライアンスに抵触する事例を調べてワードで提出することを課す。（２時間）
第13回：面談・訪問の基本マナーと名刺交換
事前学習：テキスト第１編第６章を熟読すること。（２時間）
事後学習：訪問から面談への流れをまとめ、実際に名刺を作成し名刺交換の練習をすること。（２時間）
第14回：仕事への取り組み方
事前学習：テキスト第１編第１章を改めて熟読すること。仕事への取り組みは大学での学習への取り組みともいえる。どのように学習のやり方に取り入れられるか考えてみること。（２時間）
事後学習：自身の学習を、効率的に、合理的に進めるためには具体的にどのようにすればよいかまとめておくこと。（２時間）
第15回：会社を取り巻く環境と経済の基本
事前学習：第２編第６章を熟読し、巻末のビジネス用語にも目を通しておくこと。（２時間）
事後学習：コロナ禍の今年を起点に経済環境の変化が加速することは間違いない。その中で求められる人材はどのような人物か、そして「人に敬意を払う」ということはどういうことかを考え続けて欲しい。（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）、平常点（50％）
＊平常点は課題の提出回数、内容などを総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・自分自身のキャリア形成のため必要な意識と知識を修得しているか。
・社会人のマナーやルールを理解しているか。
・遠隔授業に真摯に取り組んでいるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
フリーアナウンサー

・実務経験と授業内容との関連性
（民間放送局のアナウンサー（社員）として永年勤務した経験を有する教員が、卒業後のキャリア形成を見据えて学生時代に探求、考察すべきことや実践方法、ビジネスマナー等について講義する。）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

『2020年版ビジネス能力検定ジョブパス３級公式テキスト』日本能率協会マネジメントセンター

その他(受講上の注意)

上記の授業計画は予定である。授業の進行状況によって変更することもある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学概論Ⅰ (Introduction to Psychology Ⅰ)			担当教員	大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2101	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心とは何か、心はどこにあるのか、という疑問からはじめ、人がどのように感じ、何を考え、どのように行動するのかを捉えることで、心の働きやシステムについて学ぶ。心理学の歴史を紹介し、心理学における主要なテーマといえる知覚や学習といった基礎的分野を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

■心の働きやシステムについて理解する
■心理学の歴史や主要な人物および研究成果に関する知識を得る
■心理学の基礎的分野における基本的な用語や内容の説明ができる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：心理学とは
　事前学習：授業前にテキストの1-1-1を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：心理学の領域
　事前学習：授業前にテキストの1-1-2, 1-3を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：心理学の歴史
　事前学習：授業前にテキストの1-2を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：感覚と知覚（1）
　事前学習：授業前にテキストの8-1から8-4までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：感覚と知覚（2）
　事前学習：授業前にテキストの8-5から8-9までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：生得的行動
　事前学習：授業前にテキストの3-1を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：初期経験
　事前学習：授業前にテキストの3-2から3-3までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：学習（１）
事前学習：授業前にテキストの４-１から４-２までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：学習（２）
事前学習：授業前にテキストの４-３から４-４までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：学習（３）
事前学習：授業前にテキストの５-１と５-３を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：学習理論と行動療法
事前学習：授業前にテキストの５-２を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：パーソナリティ（１）
事前学習：授業前にテキストの11-１を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：パーソナリティ（２）
事前学習：授業前にテキストの11-２を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：パーソナリティ（３）
事前学習：授業前にテキストの11-３から11-５までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業で学んだテキストの箇所とノートなどを見直し、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回の課題に対する評価点（90%）　出席点（10%）

成　績　評　価　基　準

■心の働きやシステムについて理解しているか
■心理学の歴史や主要な人物および研究成果を知っているか
■心理学の基礎的分野における基本的な用語や内容の説明ができるか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：『心理学の基礎』　今田寛・宮田洋・賀集寛共編　培風館
参考図書については適宜紹介する

その他(受講上の注意)

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学概論Ⅱ (Introduction to Psychology Ⅱ)			担当教員	大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2102	2単位	1年後期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心とは何か、心はどこにあるのか、という疑問に対し、人がどのように感じ、何を考え、どのように行動するのかを捉えることで、心の働きやシステムについて学ぶ。記憶や動機づけなど、心理学における主要なテーマに加え、ストレスや感情、さらに脳の働きを理解する。

授　業　の　到　達　目　標

■心の働きやシステムについて理解を深める
■心理学の研究における主要な人物および成果に関する知識を高める
■心理学の基礎的または応用的分野における基本的な用語や内容の説明ができる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：記憶と忘却（1）
　事前学習：授業前にテキストの9-1と9-2を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：記憶と忘却（2）
　事前学習：授業前にテキストの9-3から9-5までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：記憶と忘却（3）
　事前学習：授業前にテキストの9-6から9-8までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：動機づけ
　事前学習：授業前にテキストの6を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：欲求不満とストレス（1）
　事前学習：授業前にテキストの7-1-1を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：欲求不満とストレス（2）
　事前学習：授業前にテキストの7-1-2と7-1-3を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：欲求不満とストレス（3）
　事前学習：授業前にテキストの7-2を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：感情と情動（１）
事前学習：授業前にテキストの７−３-１を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：感情と情動（２）
事前学習：授業前にテキストの７-３-２と７-３-３を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：脳と心（１）
事前学習：授業前にテキストの２-１から２-４までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：脳と心（２）
事前学習：授業前にテキストの２-５-４と２-５-５までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：睡眠と覚醒（１）
事前学習：授業前にテキストの２-５-１を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：睡眠と覚醒（２）
事前学習：授業前にテキストの２-５-２を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：睡眠と覚醒（３）
事前学習：授業前にテキストの２-５-３を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業で学んだテキストの箇所とノートなどを見直し、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回の課題に対する評価点（90%）　出席点（10%）

成　績　評　価　基　準

■心の働きやシステムについて深く理解しているか
■心理学の研究における主要な人物および成果を詳しく知っているか
■心理学の基礎的または応用的分野における基本的な用語や内容の説明ができるか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：『心理学の基礎』　今田寛・宮田洋・賀集寛共編　培風館
参考図書については適宜紹介する

その他(受講上の注意)

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学研究法Ⅰ (Psychological Research Methods Ⅰ)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2103	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

様々な主観的で直観的な心理現象を、量的データとして客観的に分析する量的研究法の基礎的側面を概説する。主に実験的方法と観察法を主として講義を進める。また研究倫理についても解説する。

授 業 の 到 達 目 標

・心理学における実証的研究法が理解できる。
・行動 (behavior) を数量化する方法を身につける。
・研究における倫理を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：科学的心理学とは－科学と実証－
　事前学習：授業前に「科学的であるための条件」について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第2回：心理学研究の歴史
　事前学習：科学的心理学の歴史の流れを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第3回：実験的方法と観察的方法
　事前学習：実験とはなにかについて考えておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第4回：定性的研究から定量的研究へ
　事前学習：定性的研究から定量的研究について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第5回：データの統計的記述
　事前学習：心理学統計法Iで学んでいる記述統計について見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第6回：行動観察法
　事前学習：行動観察法について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第7回：面接法
　事前学習：面接法について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）

第８回：実験的手法と実験計画
事前学習：実験計画について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第９回：動物実験の手法（動物実験の必要性についてディスカッション）
事前学習：授業中にディスカッションをするので、動物実験の必要性について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第10回：認知心理学における研究法
事前学習：反応時間について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第11回：生理心理学における研究法
事前学習：脳波について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第12回：発達心理学における研究法
事前学習：ピアジェの行った実験について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第13回：社会心理学における研究法
事前学習：集団力学について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第14回：研究倫理－人権尊重とインフォームドコンセント－
事前学習：事前に配布する資料をよく読んでおくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第15回：研究倫理－研究の不正の禁止－（研究不正の例についてディスカッション）
事前学習：事前に配布する資料をよく読んでおくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回行う課題（50％）と期末レポート（50％）。

成　績　評　価　基　準

・心理学における実証的研究法を説明することができるか。
・行動（behavior）を数量化する方法を身につけたか。
・研究における倫理を身につけたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは使用せず、その都度資料等を配布する。
参考図書は適宜紹介する。

その他(受講上の注意)

出席は毎回行う課題をもとにとるので、必ず書いて提出すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学研究法Ⅱ (Psychological Research Methods Ⅱ)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2104	2単位	1年後期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理検査や質問紙などの調査的手法を中心とした心理学研究法を概観し、尺度構成や測定法、データの信頼性などの基本的知識を習得する。またデータを用いた実証的な思考方法についても講義をおこなう。

授 業 の 到 達 目 標

・心理学調査における、主観的な心理現象を客観的に測定する方法を身につける。
・質問紙法などの心理検査の成り立ちを理解する。
・尺度構成について理解し活用できるようにする。
・データの信頼性・妥当性について理解する。
・心理検査や知能テストを測定の観点から理解する。
・データを用いた実証的な思考方法を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：心理学における調査的手法
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（4時間）
第2回：心理検査と測定法
　事前学習：Y-G性格検査について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：尺度構成
　事前学習：「尺度」について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：性格検査の成り立ち
　事前学習：ビッグ・ファイブ理論について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：知能検査の成り立ち
　事前学習：ビネーの行った知能検査作成について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：投影法検査の成り立ち（バウムテストの実技）
　事前学習：バウムテストについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：質問紙の作成法
　事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：データの信頼性と妥当性
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：質問紙の分析法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：心理検査を用いた研究法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：心理検査を用いた分析法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：相関関係から因果関係へ
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：複雑な心理事象のモデリングー多変量解析ー
事前学習：SD法およびクラスター分析について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：調査法の実際と問題点
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめと研究倫理（ディスカッションを含む）
事前学習：授業中にでディスカッションを行うので、調査実施上の倫理的問題を考えておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回授業時に提出する課題（50％）と期末レポート（50％）。

成　績　評　価　基　準

・心理学調査における、主観的な心理現象を客観的に測定する方法を身につけたか。
・質問紙法などの心理検査の成り立ちを説明することができるか。
・尺度構成について理解し活用できるような知識を得たか。
・データの信頼性・妥当性について理解したか。
・心理検査や知能テストを測定の観点から説明することができるか。
・データを用いた実証的な思考方法を身につけたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは特に使用しない。適宜参考図書などを紹介する。

その他(受講上の注意)

出席は毎回行う課題をもとにとるので、授業中に課された内容を必ず書いて提出すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学統計法Ⅰ (Psychological Statistics Ⅰ)			担当教員	森本　文人、山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2107	2単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学の実験や調査研究において必要となる統計的な基礎知識のうち、測定尺度に関する知識や、グラフや代表値などを用いてのデータの整理など、そのデータがどのようなデータであるかを明らかにするための解析の初歩である、記述統計の方法について学習します。
実際のデータを用いた説明を行い、求めた値の意味を理解し、自分でもそれらが求められるように演習を行います。

授　業　の　到　達　目　標

■統計的なデータの整理・記述ができる。
■尺度の概念を理解できる。
■記述統計の概念を理解し計算を行える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：概説（心理学における統計の意味）1
　事前学習：なし
　事後学習：授業で扱った範囲について確認し，質問事項をまとめておく．（2時間）
第2回：概説（心理学における統計の意味）2
　事前学習：前回の授業で呈示された，心理学における統計法の利用に基づいて，現実場面での適用例を考える（2時間）.
　事後学習：授業で扱った範囲について確認し，質問事項をまとめておく．（2時間）
第3回：統計学の基礎（変数の概念、色々な測定尺度）1
　事前学習：テキスト第1章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
　事後学習：授業で扱った範囲について確認し，質問事項をまとめておく．（2時間）
第4回：統計学の基礎（変数の概念、色々な測定尺度）2
　事前学習：テキスト第1章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（2時間）
第5回：データ整理の方法（度数分布とその図示法）1
　事前学習：テキスト第2章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（2時間）
第6回：データ整理の方法（度数分布とその図示法）2
　事前学習：テキスト第2章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（2時間）
第7回：代表値と散布度1
　事前学習：テキスト第3章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（2時間）

第８回：代表値と散布度２
　　事前学習：テキスト第４章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（２時間）
第９回：正規分布１
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（２時間）
第10回：正規分布２
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（２時間）
第11回：測定値の変換（得点の標準化）１
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（２時間）
第12回：測定値の変換（得点の標準化）２
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（２時間）
第13回：相関関係１
　　事前学習：テキスト第６章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．復習課題（オンデマンドで実施）に取り組む．（２時間）
第14回：相関関係２
　　事前学習：テキスト第６章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．復習課題（オンデマンドで実施）に取り組む．（２時間）
第15回：回帰
　　事前学習：テキスト第６章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（４時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．復習課題（オンデマンドで実施）に取り組む．（２時間）

週２回開設される学科のヘルプデスク（６月より実施）を利用すれば，授業に関する疑問点などは先輩のSAに相談できます。予習・復習のために、積極的に活用してください。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100%）
（平常点は、授業への参加状況・毎回の授業での課題の成績・復習課題の成績などを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

■統計的なデータの整理・記述ができるか。
■尺度の概念を理解できるか。
■記述統計の概念を理解し計算を行えるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：『心理・教育のための統計法〈第３版〉』　山内光哉著　サイエンス社

その他(受講上の注意)

１年次後期に開講される「心理学統計法Ⅱ」は、本授業で得られる基礎的知識が前提となります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学統計法Ⅱ (Psychological StatisticsⅡ)			担当教員	水田　敏郎、大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2108	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学統計法Ⅰ(記述統計)の内容をふまえて、さらに進んだ推測統計学の方法を解説し、演習します。具体的には、統計的仮説検定のうち、t検定、分散分析の考え方について詳しく説明し、実際に自分でもデータの分析や検定ができるようにPCを使用した演習も行います。

授　業　の　到　達　目　標

■統計的仮説検定の基本的な考え方を理解する。
■実際の仮説検定を行い、結果を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：母集団と標本①(標本抽出、標準誤差)
　事前学習：テキスト第7章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第2回：母集団と標本②(標本抽出、標準誤差)
　事前学習：テキスト第7章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第3回：統計的仮説検定の考え方①
　事前学習：テキスト第8章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第4回：統計的仮説検定の考え方②
　事前学習：テキスト第8章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第5回：2つの平均値の差の検定①(t検定)
　事前学習：テキスト第9章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第6回：2つの平均値の差の検定②(t検定)
　事前学習：テキスト第9章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)
第7回：2つの平均値の差の検定③(t検定)
　事前学習：テキスト第9章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．(2時間)
　事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む．(2時間)

第８回：分散分析①（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第10章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第９回：分散分析②（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第10章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第10回：分散分析③（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第11章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第11回：分散分析④（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第11章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第12回：分散分析⑤（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第11章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第13回：SPSSを用いたデータ分析①（実技）
事前学習：これまでの授業で紹介された仮説検定の理論・方法（特にt検定）について，配布プリント・テキストを利用してまとめる．（２時間）
事後学習：授業で実習したSPSSを用いた検定の操作について復習し，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第14回：SPSSを用いたデータ分析②（実技）
事前学習：これまでの授業で紹介された仮説検定の理論・方法（特に分散分析）について，配布プリント・テキストを利用してまとめる．（２時間）
事後学習：授業で実習したSPSSを用いた検定の操作について復習し，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：まとめの練習問題プリントの問題について解答する．（４時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第16回：定期試験

心理学統計法Ⅰの内容の理解が前提となるので、復習が必要です。週２回開設される学科のヘルプデスクを利用すれば，授業に関する疑問点などは先輩のSAに相談できます。予習・復習のために、積極的に活用してください。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：面接授業
第２回：面接授業
第３回：面接授業
第４回：面接授業
第５回：面接授業
第６回：面接授業
第７回：面接授業
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

定期試験（80％）　平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

■統計的仮説検定の基本的な考え方を説明することができるか。
■実際の仮説検定を行い、結果を解釈することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキスト：『心理・教育のための統計法〈第３版〉』 山内光哉著　サイエンス社

参考図書：『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』 森敏昭・吉田寿夫編著　北大路出版
『統計学のはなし』 蓑谷千凰彦著　東京図書
『SPSSにおける分散分析の手順』 遠藤健治著　北樹出版

その他(受講上の注意)

原則として「心理学統計法Ⅰ（心理統計Ⅰ）」の単位を履修していることが必要です。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

感情・人格心理学 (Psychology of Emotion and Personality)			担当教員	森　俊之
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2125	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

感情および性格に関する諸理論や研究を概観し、感情や性格を理解するための枠組みについて学ぶ。その上で、自己や他者の感情や性格をどのように理解し、対人関係の問題にどのように対処したらよいかを考える。

授 業 の 到 達 目 標

・感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できる。
・感情や性格に関する心理学研究について説明できる。
・自分の感情や性格について心理学的に考察し評価できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：感情とは
　事後学習：授業で指定されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べるとともに、授業で理解したことも含め自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（4時間）
第2回：感情の生理過程
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
第3回：感情の起源と発達
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
第4回：感情が認知や行動にもたらす影響
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
第5回：感情の障害
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
第6回：性格とは
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）

第７回：性格の類型論
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第８回：性格の特性論
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第９回：脳と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第10回：性格の遺伝
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第11回：ライフサイクルと性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第12回：家族関係・対人関係・文化と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第13回：健康と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第14回：性格の病気：人格障害
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第15回：性格の測定
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第16回：期末試験

※各回（初回を除く）とも、授業の前半に前回の事後学習の成果をグループで紹介しあう時間を設ける。
（グループワーク）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

学期末に実施する筆記試験（80%）と授業中に指示する課題・授業時の態度等（20%）をもとに評価する。

成　績　評　価　基　準

・感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できるか。
・感情や性格に関する心理学研究について説明できるか。
・自分の感情や性格について心理学的に評価できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）

・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、感情および性格に関する諸理論や研究について講義し、自己や他者の理解と対人関係の問題への対処に関して解説する。）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
参考書は授業中、随時、紹介する。

そ　の　他（受　講　上　の　注　意）

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

精神分析学 (Psychoanalysis)			担当教員	西村　則昭
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2126	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

無意識を考えるフロイト以来の精神分析学を概説する。

授 業 の 到 達 目 標

・人間の心には意識できない無意識の部分があることを理解し、無意識の産物である夢や空想や神話を分析することができる。
・自分とタイプの異なる他者あるいは異性を理解し、尊重する精神をもつことができる。
・心を病んだ人々を理解し、その心に寄り添うことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：「河合隼雄」、「箱庭療法」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：フロイトの生涯
　事前学習：「フロイト」と「精神分析」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：ユングの生涯
　事前学習：「ユング」と「分析心理学」について、インターネット等で調べていくこと。（2時間）
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：フロイトの夢分析1
　事前学習：フロイトの著作『夢の解釈』について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：夢分析2
　事前学習：「ヴィクトリア朝文化」と「フロイトの症例ドーラ」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：コンプレックス（言語連想検査の実習）
　事前学習：ユングの「言語連想検査」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料を見直して、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：エディプス・コンプレックス1
　事前学習：ギリシア神話の「オィディプスの物語」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：エディプス・コンプレックス２
事前学習：「フロイトの症例小さなハンス」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：母娘コンプレックス１
事前学習：ギリシア神話の「デーメテールとコレーの物語」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：母娘コンプレックス２
事前学習：「摂食障害」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：フロイトにおける心の構造論（「星と波テスト」の実習）
事前学習：フロイトの「自我」「超自我」「エス」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：ユングの普遍的無意識１
事前学習：ユングの「影」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：ユングの普遍的無意識２
事前学習：ユングの「アニマ」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：ユングの普遍的無意識３
事前学習：ユングの「アニムス」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：ユングの普遍的無意識４
事前学習：ユングの「自己」と「個性化」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
講義で説明したことを、自分のことを振り返つつ、自分のことに重ね合わせ、理解を深めるようにしてください。できれば夢を記録し、分析してみて下さい。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）、小レポート（30%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・精神分析やユング心理学の用語、概念を正しく理解し、夢や空想や神話を分析することができるか。
・自分の心理傾向やタイプを理解し、他者の立場に立って、感じたり考えたりできるか。
・心の病理を理解し、共に生きる者として、心を病む人に寄り添う姿勢を持つことができているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

特にテキストは使用しない。プリント資料を配布する。また参考文献は適宜、紹介する。

その他(受講上の注意)

質問はメールでも受け付けます（nisimura@jindai.ac.jp）。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

学習・言語心理学 (Psychology of Learning and Language)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2129	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

学習による行動変容の法則を学び、臨床や教育、産業、日常生活に応用することを目指す。
学習とは経験により行動が変容する過程のことである。学校における勉学だけでなく、生活のあらゆる場面で私たちは学習し、自分の行動を変容させている。こうした行動変容は、環境に存在する刺激との関係で法則化することができる。これまで明らかにされているさまざまな学習の方法について学び、日常生活に見られる色々な行動や、臨床的に問題のある行動、社会問題について理解を深め、社会において心理学が果たすべき意味を考えていく。また、言語の習得における機序についても概説し、ヒトがコミュニケーションを取るために何を学習するべきかを考える。

授 業 の 到 達 目 標

・種々の学習理論をその時代背景や社会的・臨床的問題とともに理解することができる。
・さまざまな行動について、学習理論による説明を試みることができる。
・言語の習得における機序を理解する。
・心理学が社会に対していかに貢献できるかを考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：学習とは
　事後学習：講義内容でわからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（4時間）
第2回：こころの概念と学習
　事前学習：授業前に前期に受講した授業のノートを見返し、心理学におけるこころの概念を確認しておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：生得的行動と学習された行動
　事前学習：刷り込みや反射など、生得的行動について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：ワトソンの行動主義と学習理論
　事前学習：行動主義と学習理論について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：古典的条件づけの基本
　事前学習：講義で冒頭に質問するので、パブロフの条件反射の例を考えておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：オペラント条件づけの基本
　事後学習：オペラント条件付けの日常的な例を探しておくこと。（4時間）

第７回：強化スケジュール
事前学習：講義で冒頭に質問するので、オペラント条件づけ強化スケジュールの例を考えておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：行動変容と行動療法
事前学習：行動療法について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：回避（逃避）学習（回避学習が適応される例についてのディスカッション）
事前学習：回避学習について調べておくこと。（２時間）
事後学習：不登校や適応障害について調べ、回避学習との関係を考えておくこと（２時間）
第10回：Learned Helplessness（あきらめの学習）
事前学習：回避学習において回避不能な場合どのようなことが起こるか、考えておくこと。（２時間）
事後学習：うつについて調べ、Learned Helplessnessとの関係を考えておくこと（２時間）
第11回：現代社会の諸問題と学習理論（ディスカッション）
事前学習：現代社会における心理的問題を調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：学習・行動研究と心理学における言語研究
事前学習：オペラント条件付けについて再度確認しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：言語領域の心理学と言語発達の研究
事前学習：心理言語学がどういうものかを調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：語彙能力の獲得と文法能力の獲得
事前学習：チョムスキーの生成変形文法理論について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：語用論的能力の発達
事前学習：語用論について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

毎回行うブリーフレポートあるいは課題（20%）、期末レポート（80%）

成　績　評　価　基　準

・種々の学習理論をその時代背景や社会的・臨床的問題とともに説明することができるか。
・さまざまな行動について、学習理論による説明することができるか。
・言語の習得における機序を説明することができるか。
・心理学が社会に対していかに貢献できるかを考えることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
参考書は授業中、随時、紹介する。

その他(受講上の注意)

授業には積極的に参加し、指示された内容や自分の意見をブリーフレポートあるいは課題に書きこむようにしてください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間関係論 (Human Relations)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2101	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

「自分と他人と関わるとはどういうことか」について熟考することにより、具体的な企画や表現を実践する基礎となっていながらも、見過ごされがちなタイプの「自己理解・他者理解」について考察する。
身近な自他関係について、人間関係についての社会学、哲学関係のテキストを読みながら、人間関係の横軸（友人・家族・世間）と縦軸（倫理や規範）について講義する。

授 業 の 到 達 目 標

自分や他人との関わりをもつときに、特に意識していない要素（儀礼的無関心、距離の取り方、世間の圧力）などについて理解し、またそうした関わり全体を支配している、エートスや規範についても理解することを通じて、「自分」「他人」「関わり」という要素を掘り下げて考える。
この講義を通して、具体的な「企画や自己表現」の実践の土台となる自己や他者のより深い理解を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション～人間関係の横軸と縦軸
　事前学習：辞書などを基に「人間関係」という言葉の由来を調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（2時間）
第2回：人間の本性についての諸説～自己の多面性
　事前学習：「人間」についてのさまざまな定義（例：理性的動物）調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（2時間）
第3回：他人との距離感①～世間、世間体、人目
　事前学習：「アーヴィング・ゴフマン」（人名）について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（2時間）
第4回：他人との距離感②～アクセサリーや髪型が気になる理由
　事前学習：「ゲオルグ・ジンメル」（人名）について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（2時間）
第5回：面目による行動方針
　事前学習：ゴフマンの「面目行為」の語義について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（2時間）
第6回：他人への気遣いの制度化
　事前学習：「シャドウ・ワーク」「感情労働」の語義について調べておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（2時間）
第7回：なぜ人のものが欲しくなるのか？
　事前学習：ジラールの「欲望の三角形」について調べておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（2時間）
第8回：他人にどこまで口出しできるのか。
　事前学習：「相対主義」の語義について調べておくこと（2時間）
　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（2時間）

第９回：多数に基づくルール１
　　事前学習：物事の決定の際に、多数決が採用される理由について考えておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（２時間）
第10回：多数に基づくルール２
　　事前学習：功利主義の弱点について考えておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（２時間）
第11回：利己主義に基づくルール
　　事前学習：トマス・ホッブズについて調べておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（２時間）
第12回：利己主義に基づくルール２
　　事前学習：社会契約論について調べておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（２時間）
第13回：他者の立場に立つことはなぜできるのか。
　　事前学習：「黄金律」「役割取得」について調べておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（２時間）
第14回：「居場所」について
　　事前学習：「自分の居場所」はどこかについて考え、列挙しておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：これまでのプリント・ノートを見直し、復習しておくこと（２時間）
　　事後学習：e-learningの小テストや課題に解答しておくこと（２時間）

毎回の講義を受けた後でその部分の配布資料とノートを見直して復習をし、次の授業に臨んでください。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（50パーセント）、レポート（50パーセント）
（平常点は、授業への参加状況、毎回の課題や小テスト提出状況を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・「自己」「他人」「関わり」といった言葉を表層的にではなく、深く理解しているか。
・日常特に意識していないが、人間関係を構成する基礎的な要素（儀礼的無関心、距離の取り方、世間の同調圧力、嫉妬、公平など）について理解しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキストは使用せず、毎回e-learningに資料を配布する。参考書については授業内で適宜示す。
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション概論 (Introduction to Communication)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2102	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義は、コミュニケーションに関する基本的な考え方を学ぶとともに、実社会と繋がるコミュニケーションのあり方について理解を深めることを目的としています。

授 業 の 到 達 目 標

・主なコミュニケーション理論を理解する。
・コミュニケーションと他者理解および社会との繋がりについて、講義の内容を踏まえながら、自身の考えを述べる。
・場や他者を考慮したコミュニケーションを日常生活で実践する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスを読み、興味・関心のあるテーマについて調べたり、質問事項をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：コミュニケーションの学びについて
　事前学習：次回の授業ではコミュニケーションを学ぶ意義・意味について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：家族とのコミュニケーションについて
　事前学習：次回の授業では家族とのコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：社会とコミュニケーション
　事前学習：次回の授業では社会とコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：対人コミュニケーション
　事前学習：次回の授業では対人コミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：集団と場のコミュニケーション
　事前学習：次回の授業では集団と場のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：非言語コミュニケーション
　事前学習：次回の授業では非言語コミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：「わかりやすい」とは
　事前学習：次回の授業では「わかる」メカニズムについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：合意形成①
　事前学習：次回の授業では合意形成について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：合意形成②（グループワーク）
　事前学習：次回の授業ではアイデア出し・合意形成ワークを実施するので、これまでの授業内容を確認しておくこと。（２時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：リーダーシップ
　事前学習：次回の授業ではリーダーシップについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：メディア・コミュニケーション
　事前学習：次回の授業ではメディア・コミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：メディア・リテラシー
　事前学習：次回の授業ではメディア・リテラシーについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：コミュニケーションの現状と課題
　事前学習：次回の授業では コミュニケーションの現状と課題について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
　事前学習：次回の授業では確認問題などを通して授業全体のまとめを行うので、これまでの授業内容を確認しておくこと。（２時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する取組み内容・提出物（70%）、平常点（30%）
※課題：確認問題と授業中に提示するものがあります。
※平常点：授業への参加状況および受講態度から判断します。

成　績　評　価　基　準

・主なコミュニケーション理論を理解しているか。
・コミュニケーションと他者理解および社会との繋がりについて、講義の内容を踏まえながら、自身の考えを述べられるか。
・場や他者を考慮したコミュニケーションを日常生活で実践できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（自リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

必要に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業計画」は、学生の反応・理解度や事業の進捗に応じて、前後したり変更する場合があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

異文化理解 a (Cross-Cultural Understanding a)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2103	2 単位	1 年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

異文化コミュニケーション学の入門として、異文化理解に関する基礎的な事柄を学ぶ。言語と文化の関係性を学び、様々な国の歴史・社会・文化と、言語の関係性についての基本的な内容を理解する。ロールプレイのようなグループ・トレーニングや海外出身者(学内教員を含む)との交流等による学習を通して、多様な文化的背景を持った人々との交流を体験し、文化の多様性及び異文化交流の意義を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

社会や世界との関わりの中で、他者とのコミュニケーションを行う力を育成する観点から、外国語やその背景にある文化の多様性及び異文化コミュニケーションの現状と課題について学ぶ。言語と文化の関係性を学び、英語やその他の言語が使われている国や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解する。ロールプレイのようなグループ・トレーニングや、海外出身者(学内教員を含む)との交流等による学習を通して、多様な文化的背景を持った人々との交流を体験し、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解する。本授業を通し、外国語教育に資する知見を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(eラーニング上に設置した学習支援システムによるロールプレイなどのグループ・トレーニング)

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：異文化コミュニケーションの世界(異文化を理解する意義の説明と、海外出身者との交流をレポート課題とする)
　事前学習：参考図書に目を通すこと。(2 時間)
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)
第 2 回：異文化コミュニケーションとは(異文化コミュニケーション学における文化の定義)
　事前学習：参考図書に目を通すこと。(2 時間)
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)
第 3 回：言語と文化の関係性(特に英語圏の歴史・社会・文化と、言語との関係について)
　事前学習：参考図書に目を通すこと。(2 時間)
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)
第 4 回：「常識」に関するグループ・トレーニングと講義
　事前学習：参考図書に目を通すこと。(2 時間)
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)
第 5 回：コミュニケーションモデル(異文化コミュニケーション学におけるコミュニケーションモデル)
　事前学習：参考図書に目を通すこと。(2 時間)
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)

第６回：非言語的コミュニケーション（非言語的コミュニケーション行動の種類）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第７回：異文化コミュニケーションの特性（異文化コミュニケーションにおける文化衝突の心理的背景）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：「価値観」に関するグループ・トレーニングと講義
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：コミュニケーションスタイルズ（言語や文化によって異なるコミュニケーションスタイルの基礎的理解）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：ホフステードの文化次元について（五つの文化次元の理解）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：翻訳と通訳・異文化コミュニケーションと教育について（文化的背景の理解の重要性と、異文化コミュニケーション学に関わる領域の教育学について）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：「自文化中心主義」に関するグループ・トレーニングと講義
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：異文化コミュニケーション能力と改善について（異文化適応の過程）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：海外出身者との交流について（レポート課題の提出と検討）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：授業で課された内容について、レポートにまとめておくこと。わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：よりよい理解を目指して（異文化適性を養うことの重要性と、異文化接触時のメンタルヘルスについての理解）
事前学習：授業で課された内容について、レポートにまとめておくこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50％）、授業内レポート（30％）、授業の積極的参加（20％）

成　績　評　価　基　準

・異文化コミュニケーション学の基礎的な用語について説明することができるか。
・異文化コミュニケーションについて、学んだ知識に基づいて説明することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

参考図書

中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他(受講上の注意)

５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本語概論 (Introduction to the Japanese Language)			担当教員	門屋　飛央
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2104	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

・日本語学の基礎を、発音・語彙・表記法・文法などの分野にわたって紹介する。
・各回とも原則として次の順序で展開する。
[出欠確認→前回の授業に出された「授業メモ」をもとに質問や意見に回答→当日取り上げる項目の提示→個々の新出事項の説明・課題についての解説→次回の予告→「授業メモ」の記述(質問・感想・意見など)]

授業の到達目標

・日本語学の基礎知識を用いて、日本語の音声・文法・語彙等の特色を説明できる。
・世界の言語のなかで日本語をみたときに、留意すべき日本語の特徴を理解することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(授業メモ)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス
　事前学習：テキストの「まえがき」「目次」を読み、自分の興味のある章を一読する。(2時間)
　事後学習：授業時の説明を踏まえて、本書の構成を概観する。(2時間)
第2回：「かわいい」と「きれい」は違う　その1(現代日本語の音声と音韻：音声と音素)
　事前学習：テキストp.2〜26を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)
第3回：「かわいい」と「きれい」は違う その2(現代日本語の音声と音韻：母音と子音)
　事前学習：自分の発音の調音位置と調音方法を、実際に発音しながら確認する。(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)
第4回：「おじさん」と「おじいさん」も違う その1(現代日本語の音声と音韻：音節とモーラ)
　事前学習：テキストp.27〜33を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)
第5回：「おじさん」と「おじいさん」も違う その2(現代日本語の音声と音韻：アクセントとイントネーション)
　事前学習：テキストp.33〜40を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)
第6回：昔の「はは」は「パパ」だった？ その1(音韻の歴史変化)
　事前学習：テキストp.42〜56を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)
第7回：昔の「はは」は「パパ」だった？ その2(音韻の歴史変化)
　事前学習：テキストp.57〜67を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)
第8回：「食う」は子音で、「食べる」は母音 その1(現代日本語の文法：形態論)
　事前学習：テキストp.68〜80を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)
第9回：「食う」は子音で、「食べる」は母音 その2(文法の歴史変化)
　事前学習：テキストp.96〜111を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。(2時間)
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)

第10回：先生、もういかれてますか？ その１（現代日本語の文法：意味論）
事前学習：テキストp.80～94を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）
第11回：先生、もういかれてますか？ その２（文法の歴史変化）
事前学習：テキストp.111～121を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）
第12回：メシとゴハンのゲンギョ学 その１（現代日本語の語彙）
事前学習：テキストp.122～145を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）
第13回：メシとゴハンのゲンギョ学　その２（語と語彙の歴史変化）
事前学習：テキストp.146～167を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）
第14回：『万葉集』を夜露四苦　その１（文体差と文体史）
事前学習：テキストp.188～211を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）
第15回：『万葉集』を夜露四苦　その２（日本語学史）
事前学習：テキストp.284～309を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート、平常点（Formsへの回答等）により評価する。
レポート（80%）・平常点（20%）

成　績　評　価　基　準

・日本語学の基礎知識を用いて、日本語の音声・文法・語彙等の特色を説明できるか。
・世界の言語のなかで日本語をみたときに、留意すべき日本語の特徴を理解することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

衣畑智秀編『基礎日本語学』（ひつじ書房・2019年）

その他（受講上の注意）
予告範囲を予習してきていることを前提に授業を進める。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本語口頭表現 (Oral Expression in Japanese)			担当教員	植月　百枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2109	2単位	1年前期･後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

日本語表現の基礎「話す」「きく」ことの基本を、講義と演習を繰り返すことにより理解し体得していく。
演習では、人前で明瞭な言葉と声で自分の意見や思いを的確に伝えられるようになることを目的に、自身で動画を作成し、自己紹介(自己PR)、スピーチを行う。

授 業 の 到 達 目 標

人前で、「言葉」を使って自分の意見や思いを過不足なく的確に相手に伝え、相手の考えをきちんと理解して聴くことができるよう「スピーキング能力」、「コミュニケーション能力」、「会話力」を高めることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション　「話すということ」
　事前学習：授業開始にあたり、公的な場で話す時と私的にしゃべる時の違いについて考えをまとめておくこと(2時間)
　事後学修：授業内容を振り返り、内容をまとめ、約1分間で口頭表現で発表できるようにしておくこと(2時間)
第2回：効果的に話す
　事前学習：次回は自己紹介の演習を行う。自分自身の性格、趣味、特技、信条などを考えまとめておくこと(2時間)
　事後学修：過不足なく自分のことを伝えられたか振り返り、できなかった場合はその理由を考えること(2時間)
第3回：自己紹介①
　事前学習：自分自身の自己紹介が自己PRに繋がるよう、自分の強み・弱みを具体的にあげて考察すること(2時間)
　事後学修：自身の作成した自己紹介の動画を振り返り、口頭表現として良い点、気になる点をまとめ発表できるようにしておくこと(2時間)
第4回：「きく」ことの重要性
　事前学習：「きく」を漢字で書くと3種類ある。意味がどのように違うか調べ、まとめておくこと(2時間)
　事後学修：人の話を「聴く」トレーニングとして、TVなどのニュース解説などを聴き、話をまとめる学習をすること(2時間)
第5回：自己紹介②　振り返り
　事前学習：鏡の前で再度自己紹介動画を撮ること。内容と共に表情、視線などにも気を配って作成すること(2時間)
　事後学修：授業の内容を踏まえて、自身の再度の動画を振り返ること。良い点、悪い点を客観的に考察する(2時間)
第6回：「きく」ということ　ゲストの話を聴く
　事前学習：テキストP127〜P140を熟読し、聞くから聴くにするためにはどのような工夫が大切か考えること(2時間)
　事後学修：ゲストの話をまとめ、内容を理解すること。質問項目を整理して提出すること(2時間)

第７回：話の材料の集め方
事前学習：人前でのスピーチは話す材料がなくては話せない。話の材料はどこにあるのか考えまとめておくこと（２時間）
事後学修：話の材料を探し出し、周りの人に口頭で話してみよう。どのような話題が受容されるか実践すること（２時間）
第８回：話の材料のまとめ方
事前学習：周りの人に口頭で話した時、理解してもらえないことが多い。その要因は何か考え、まとめておくこと（２時間）
事後学修：話をまとめる５つの法則を復習し、要点列挙のあらすじを作成し、口頭で練習をすること（２時間）
第９回：新聞の記事を読んで～スピーチに挑戦～①
事前学習：第11回で新聞の記事を元にスピーチをする。日頃から新聞記事に目を通し、声を出して読み、記事内容を理解するように心がけること（２時間）
事後学修：学習した新聞の読み方を参考に、一つの記事を取り上げ題材にしてスピーチを考えること（２時間）
第10回：心をつかむ話し方
事前学習：同じことを話しても心に響く人と響かない人がいるのは何故だろうか。考えてまとめておくこと（２時間）
事後学修：心をつかむ話し方の原則を復習し、次回の発表で実践できるよう、言葉で絵を描いてみること（２時間）
第11回：新聞の記事を読んで～スピーチに挑戦～②
事前学習：新聞の記事に目を通し、自身で記事を選びスピーチの準備をすること（２時間）
事後学修：友人の発表を聴き、他人の良い点は参考にし、自身の改善点を考察すること。何度も口頭表現で復習すること（２時間）
第12回：心をつかむ話し方②
事前学習：話し方に熱意を感じる人を具体的にあげてみよう。なぜ、その人の言葉は胸にささるのか考察すること（２時間）
事後学修：授業をふり返り、自身の体験をもとに心をつかむ話し方を実践してみよう。動画に撮り、熱意を伝えることができたか自身で振り返ること（２時間）
第13回：話す力をみがく
事前学習：イソップ物語の「北風と太陽」を調べ、肯定的な言葉、否定的な言葉の違いをまとめておくこと（２時間）
事後学修：「聞き手の決定権」を意識して、周りの人に自分の話の真意が伝わっているか実践すること（２時間）
第14回：きれいな発音・発声を身につける
事前学習：テキストP43～44を熟読し、自身の発音・発声、話し癖、イントネーションについて考察すること（２時間）
事後学修：自分の発声・発音は明瞭か、話し癖はないか点検しよう。「あいうえお」の口の運動を音読し、録音して確かめること（２時間）
第15回：あがりを克服しよう
事前学習：テキストP106～108を熟読し、自身の人前でのあがりを考えてみよう。どういう場合にどのように表れるか考察すること（２時間）
事後学修：あがりの克服は慣れることが重要である。新聞やテキストの音読を、聞く人を想定し鏡の前などで練習するとよい（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）演習（20%）平常点（20%）＊平常点は授業への参加状況、受講態度、演習への取り組み方等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

スピーキングの録画実習において、自分の考えや意見を、きき手にわかりやすく的確・明瞭に伝えているか。
遠隔授業であるが、真摯に人の話をきき、理解して心に受け入れ聴いているか。
「言葉」の役割を理解し、積極的に周りの人や講師とコミュニケーションをとり、会話力をみがいているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業の課題に対するフィードバックについての課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

『コミュニケーション技法』株式会社ウイネット　プレゼンテーション学研究会

その他（受講上の注意）

上記の授業計画は予定である。授業の進行状況によって変更することもある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報メディア (Information Media)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2110	2単位	1年後期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本授業では、情報化社会の中で必要となる基礎知識の習得を目的とし、自学自習を中心とした反転学習を行う。本授業を通して、通信の仕組みやコンピュータの仕組み等のコンピュータサイエンスに関する基礎知識のほか、ITを業務やビジネスに活かすために必要な知識の習得を行う。

授 業 の 到 達 目 標

①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリに関する知識を習得する。
②情報システムの開発や運用に関する基礎知識を習得する。
③コンピュータシステムやネットワークに関する知識を習得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ＩＴパスポート試験に関連するＣＢＴを実施）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：チュートリアル，授業の進め方，成績評価について
　事前学習：シラバスを読み、ＩＴパスポート資格について学習すること（2時間）
　事後学習：テキストを購入し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第2回：反転学習 ── 第1章：業務 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第3回：反転学習 ── 第2章：法務 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第4回：理解テスト ── 業務と法律 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第5回：反転学習 ── 第3章：コンピュータシステム ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第6回：反転学習 ── 第4章：システム開発 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第7回：理解テスト ── コンピュータシステムとシステム開発 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第8回：反転学習 ── 第5章：ハードウェア ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第9回：反転学習 ── 第6章：基礎理論 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）

第10回：理解テスト ── ハードウェアと基礎理論 ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第11回：反転学習 ── 第７章：ソフトウェア ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第12回：反転学習 ── 第８章：ネットワーク ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第13回：理解テスト ── ソフトウェアとネットワーク ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第14回：反転学習 ── 第９章：セキュリティ ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第15回：理解テスト ── セキュリティ ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、全範囲について学習すること（２時間）
第16回：期末試験

本授業は、国家資格であるITパスポートの獲得を目指した授業である。ITパスポートの教材は様々な出版社から出版され、試験の過去問題も公開されている。各自、自分に合った教材を選択し、自学自習を行うこと。また、推奨学習時間は復習２時間、予習２時間である。また、本授業で利用する教材は大学以外のインターネットアクセス環境からも学習可能である。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

期末の試験（40%）、全５回の理解度テスト（50%）、大福帳の記入内容（10%）

成　績　評　価　基　準

ITの基礎知識をえ、それを説明することができるか。
特に、授業の到達目標にも挙げた以下の項目についての知識を身についていることが評価基準となる。
①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリ
②情報システムの開発や運用に関する基礎知識
③コンピュータシステムやネットワークに関する知識

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（反転学習に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（週に１度ヘルプデスクを設置し、自学自習を行いながら、わからない箇所を解決可能な環境を整える）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

平成31年/01年 ＩＴパスポート合格教本を利用する。
また、ＩＴパスポートドットコムというＷｅｂサイトを利用する。

その他(受講上の注意)

私語等、講義を妨害する学生には退出してもらう。単位を与えない場合もある。受講生の理解度によって授業計画には変更を加える可能性がある。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

デジタル・デザイン (Digital Design)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2111	2単位	1年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

視覚的なコミュニケーションのための表現方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。グラフィックデザインの基本ルールの理解と平行して、コンピュータ（Mac）のアプリケーション（Photoshop、Illustrator）を用いたグラフィックデザインの技法を習得していく。

授 業 の 到 達 目 標

社会においてデザインが必要とされている理由を理解する。デザインの基本ルール（色、文字、レイアウト）について理解する。コンピュータを用いたグラフィックデザインの技法を習得する。デザインを駆使してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：デザインとは（実習）
　事前学習（2時間）：教科書の目次を読み、教科書中の図案を閲覧する
　事後学習（2時間）：身の回りのデザインを観察し写真を撮る
第2回：文字を使ってデザインする（実習）
　事前学習（2時間）：教科書6～16ページを読む
　事後学習（2時間）：制作ツールの使い方を復習する
第3回：文字を組んでデザインする（実習）
　事前学習（2時間）：教科書18～28ページを読む
　事後学習（2時間）：制作ツールの使い方を復習する
第4回：色でデザインする（実習）
　事前学習（2時間）：教科書30～42ページを読む
　事後学習（2時間）：制作ツールの使い方を復習する
第5回：写真でデザインする（実習）
　事前学習（2時間）：教科書44～56ページを読む
　事後学習（2時間）：制作ツールの使い方を復習する
第6回：図でデザインする（実習）
　事前学習（2時間）：教科書58～68ページを読む
　事後学習（2時間）：制作ツールの使い方を復習する
第7回：調べたことをもとにデザインする（実習）
　事前学習（2時間）：教科書80～92ページを読む
　事後学習（2時間）：制作ツールの使い方を復習する
第8回：複数ページをデザインする（実習）
　事前学習（2時間）：教科書80～92ページを読む
　事後学習（2時間）：制作ツールの使い方を復習する
第9回：映像表現の基礎①撮影・編集の基礎（実習）
　事前学習（2時間）：ほかの人の作品を閲覧する
　事後学習（2時間）：制作ツールの使い方を復習する

第10回：映像表現の基礎②アイデアスケッチ（グループワーク、実習）
　　事前学習（２時間）：ほかの人の作品を閲覧する
　　事後学習（２時間）：グループでレビューを行い、作品の完成度を高める
第11回：映像表現の基礎③絵コンテ（グループワーク、実習）
　　事前学習（２時間）：ほかの人の作品を閲覧する
　　事後学習（２時間）：グループでレビューを行い、作品の完成度を高める
第12回：映像表現の基礎④計画的に撮影・編集する（実習）
　　事前学習（２時間）：ほかの人の作品を閲覧する
　　事後学習（２時間）：映像作品を仕上げる
第13回：ロゴをデザインする①アイデアスケッチ（課題解決型学習、実習）
　　事前学習（２時間）：さまざまなロゴの成り立ちを調べる
　　事後学習（２時間）：アイデアを練る
第14回：ロゴをデザインする②ツールでかたちにする（グループワーク、実習）
　　事前学習（２時間）：アイデアを練る
　　事後学習（２時間）：グループでレビューを行い、作品の完成度を高める
第15回：ロゴをデザインする③完成、プレゼンテーション（発表）
　　事前学習（２時間）：データをEラーニングより提出する、プレゼンテーションを準備する
　　事後学習（２時間）：他の学生の作品を鑑賞し批評する

その他、１～15回目を通して授業外で学習してほしいこと
・「デザイン」を意識して生活する。日常を観察し「デザイン」を発見する。
・センスを鍛えるために自主制作をする。
・疑問や知りたいことがあればチャットやオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末課題作品（40%）　授業毎の作品（30%）　授業毎の小テスト・レポート（30%）

成　績　評　価　基　準

・デザインの基本ルールが理解できているか。
・ツールを適切に使用できているか。
・デザインの基本ルールを理解した上で、課題作品の制作ができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （WEBデザイナー） ・実務経験と授業内容との関連性 （WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、グラフィックデザインの技法について演習を行う。）
テキスト、参考図書
テキスト：細山田デザイン事務所「誰も教えてくれないデザインの基本」エクスナレッジ, 2018年 参考図書：授業内で紹介する
その他（受講上の注意）
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅠa (Oral Communication Ⅰa)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2113	2単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初に、ペアや少人数グループに分かれ、各授業のQ&Aトピックを話し、それらの内容を書き出して相手に話し伝える。そして語彙、リスニング、発音練習、等の活動を行う。最後に、各ユニットの内容をまとめる。

授 業 の 到 達 目 標

基本的な英語で自分の考えを表現できるようにする。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるようにする。他人の話を聞いて理解できるようにする。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特にリスニング・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：好きなこと嫌いなこと（文章ストレス（発音）, 聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第1ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された好きなこと嫌いなことについて、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第2回：好きなこと嫌いなこと（確認の為に繰り返しを求めること, 話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第1ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された好きなこと嫌いなことについて、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第3回：お金と値段（弱母音、聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第2ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたお金と値段について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第4回：お金と値段（確認の為に質問を聞く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたお金と値段について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第5回：家族について（文章ストレス（発音）, 聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第3ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された家族について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第6回：家族について（確認の為に主な情報を繰り返す、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第3ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された家族について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第1～3ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第1～3ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：行ったことについて（消えそうな音、聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第4ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたとについて、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第9回：行ったことについて（会話を参加する為に質問を聞く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたことについて、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第10回：職業の説明（文章ストレス（発音）, 聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第5ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された職業の説明について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）

第11回：職業の説明（明確にする為に例文を使う）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第５ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された職業の説明について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第12回：日常生活（弱母音、聴取）（グループワーク　討議）
事前学習：授業前にテキストの第６ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された日常生活について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第13回：日常生活（確認の為に主な情報を繰り返す、話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第６ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された日常生活について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第14回：聴取（パターンから予想すること、聴取）（グループワーク　討議）
事前学習：授業前にテキストの第７ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された聴取について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第15回：聴取（シャドーイング、話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第７ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキストの第４～７ユニットを復習する。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

基本的な英語で自分の考えを表現できるか。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるか。他人の話を聞いて理解できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills. (Third Edition) Graham-Marr, Alastair. ABAX ELT Publishers. 2019. ISBN: 978- 1 -78547-029-5. 参考図書 中学校学習指導要領（平成29年 3 月公示　文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年 3 月公示　文部科学省）
その他（受講上の注意）
This course requires proactively participating in pair-work and group exercises.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅠb (Oral Communication Ⅰb)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2114	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初に、ペアや少人数グループに分かれ、各授業のQ&Aトピックを話し、それらの内容を書き出して相手に話し伝える。そして語彙、リスニング、発音練習、等の活動を行う。最後に、各ユニットの内容をまとめる。

授 業 の 到 達 目 標

基本的な英語で自分を表現できるようにする。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるようにする。他人の話を聞いて理解できるようにする。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特にリスニング・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：好きな科目について（混合音、聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第8ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された好きな科目について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第2回：好きな科目について（言い換え、書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第8ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された好きな科目について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第3回：説明する/料理の方法（弱母音、聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第9ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された説明する/料理の方法について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第4回：説明する/料理の方法（婉曲な表現 、書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された説明する/料理の方法について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第5回：現在について（文章ストレス, 聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第10ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された現在について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第6回：現在について（繰り返しと言い換え、書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された現在について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）
　事前学習：授業前にテキストの第8～10ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第8～10ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：未来について（カジュアルな英語、聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第11ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された未来について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）
第9回：未来について（会話を参加する為に質問を聞く、書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された未来について、教科書に付いているCDを聞く。（2時間）

第10回：物の説明（文章ストレス, 聴取）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第12ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された物の説明について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第11回：物の説明（繰り返しと言い換え, 話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された物の説明について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第12回：数字に慣れる（トーングループの区別、聴取）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第13ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された数字に慣れるについて、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第13回：数字に慣れる（会話ストラテジー、書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第13ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された数字に慣れるについて、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第14回：道案内（母音の侵入、聴取）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第14ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された道案内について、教科書に付いているCDを聞く。（２時間）
第15回：道案内（シャドーイング、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第14ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの第11～14ユニットを復習する。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

基本的な英語で自分を表現できるか。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるか。他人の話を聞いて理解できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills. (Third Edition) Graham-Marr, Alastair. ABAX ELT Publishers. 2019. ISBN: 978-1-78547-029-5. 参考図書 中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
その他（受講上の注意）
This course requires proactively participating in pair-work and group exercises.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発基礎演習 (Basic Practice in Plannning and Development)			担当教員	冨永　良史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2115	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

全てオンデマンドで進行します。
e-Learningを通じて提供される毎回の授業資料とフィードバックを熟読しながら学びを進めてください。
授業で扱う主な内容は以下の通りです。
・新しいモノゴトを生み出すための、ココロとカラダの使い方を、多様な試行を通じて探索する。
・狭い常識を打ち破り、視野を拡げ、捕われずに柔軟に考えるための、試行錯誤の場。失敗から学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

1．未知の他者、世界、歴史に対して謙虚な姿勢を持ち、創造的な関わり方を学ぶ。
2．発想したことを、すぐに試行／試作につなげ、そこから学びを生み出せる。
3．自分の大学生活を、主体的に企画開発できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：これからの学び・答えのない問いに向きあう
　事前学習：シラバスを読み、授業で自分は学びたいのかの見通しを持っておく（2時間）
　事後学習：授業をふりかえり、学生生活において、何を企画開発したいのかを構想し、ミニレポートにする（2時間）
第2回：ブレーキを探り当て、解除する
　事前学習：新たな一歩・挑戦を阻害する要因を自分の体験から推察しまとめる（2時間）
　事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（2時間）
第3回：多様な世界にアンテナを広げる
　事前学習：自分の未知の領域について、調査対象と項目、方法を検討しておく（2時間）
　事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（2時間）
第4回：挑戦から学び続ける
　事前学習：学生生活をふりかえり、挑戦とその成果を列挙しておく（2時間）
　事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（2時間）
第5回：失敗との向き合い方を考える
　事前学習：日常生活において「失敗」リストを作成しておく（2時間）
　事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（2時間）
第6回：欲求を掘り下げる
　事前学習：これまでの生活をふりかえり、自分が根本的に欲求するものとは何かを考える（2時間）
　事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（2時間）
第7回：モノゴトの背後に時間の流れを感じる
　事前学習：身近なモノゴトの誕生から現在までの歴史を調べるための準備をする（2時間）
　事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（2時間）
第8回：世界を学び、世界を創る存在として
　事前学習：普段は見過ごしている生活における解決したい不満（潜在欲求）を列挙しておく（2時間）
　事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（2時間）

第９回：丁寧に暮らしてみる
事前学習：日常生活がどんな要素で成り立っているのかを細部に至るまで再確認しておく（２時間）
事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（２時間）
第10回：モノゴトの背後に多様な人の働きを感じる
事前学習：身近にあるモノゴトが、どのような人のどんな労働の成果としてあるのかの調査に着手する（２時間）
事後学習：授業資料に示される問いに答え、ミニレポートを作成する（２時間）
第11回：物語の力
事前学習：自分がこれまで触れてきた物語の具体例と、それが持つ力についてまとめる（２時間）
事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（２時間）
第12回：他者の目線になる
事前学習：世界に対する自分の視線と、異質な他者が持つ視線の違いを考察しまとめる（２時間）
事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（２時間）
第13回：引き算で考える
事前学習：便利さから何かを取り除くことで得られる効用について考察しまとめる（２時間）
事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（２時間）
第14回：ふりかえり、大局的に見る
事前学習：これまでのすべての授業資料と提出レポートを再読し、学びの足跡を確認する（２時間）
事後学習：授業資料に示された問いに答え、ミニレポートを作成する（２時間）
第15回：絞り込んだり、膨らませたり
事前学習：前回提出したレポートを再読し、学びがいかに深まるのかを考察する（２時間）
事後学習：授業資料の視点を取り込みながら、最終レポートを作成する（２時間）

授業各回において、事前準備と事後ふりかえり・実践が必須となる。
授業で生まれた学び、ヒラメキは、「必ず」実行すること。アタマで理解できることは、この授業の成果として十分ではないない。ココロとカラダで結果を感じ取って、次の授業にその成果を持ち寄って欲しい。授業で気づいたことを頼りに日常を新たな目で眺め発見し、次の行動を生み出すこと。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

以下の２点をもとに、総合的に評価します。
１．毎回のレポートの提出状況（期限内の提出を出席とみなし、期限後は遅刻扱い）
２．レポートの内容
・指定された問いに答えているか
・自分なりの思考を展開しているか
・伝わりやすい表現の工夫を試みているか

成　績　評　価　基　準

１．多面的な視点から企画開発を段階的に学んでいるか（毎回のミニレポート提出）
２．未知の領域について謙虚に調べ、自前の考えを組み立て、わかりやすい表現を試みているか（ミニレポート内容）
３．授業での学びを、自分の成長、変化、深化に結びつけようとしているか。（各回のふりかえり）

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

毎回、e-Learningを通じて授業資料を配布します。

その他(受講上の注意)

この授業に、正解と不正解の区別はない。どんな発言、発想にも可能性がある。あらゆる常識ハズレを歓迎する。この授業の究極のルールは「バカバカしさを否定しない、面白がる、そこから発展させる」。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

地域研究概論 (Introduction to Area Studies)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−AOC−2120	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

今日の地域社会において諸問題が生起する要因と背景について理解し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
上記の構想力と判断力を身につけた上で、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義は、地域特有の歴史と実情を概観し、他地域との比較をおこなう。そして、具体的事例の分析、考察を通して、人文・社会科学のさまざまな学問領域の考え方に触れる「アカデミック・ガイダンス」を行う。

授 業 の 到 達 目 標

この講義を通して、人文・社会科学的な知に触れ、各学問領域の基礎的スキルを獲得する。そのうえで、自己の地域社会を対象化し、分析できる基礎的学力を修得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第2回：日本の地域社会にみる変動・変容（歴史学・人文地理学）
　事前学習：前回のノートを見直し、歴史に関する書物（福井県史など）を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語や県史・市史などを図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第3回：近代から現代へ── 地方分権の時代（社会史）
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第4回：都市・地方の格差問題と二極化（社会学、経済学）
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、過疎化高齢化に関する書籍を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第5回：地域づくり・地域おこしの時代へ（地域社会学）
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第6回：集合的記憶の継承をめぐって（文化人類学）
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第7回：ツーリズム・観光の現在と未来（メディア論①）
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）

第８回：ツーリズム・観光の現在と未来（メディア論②）
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第９回：情報統制　伝承と科学の複合を目指して（民俗学、歴史学、環境学）
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第10回：現地調査（フィールドワーク）①　（課題解決型学習（PBL））
事前学習：前回のノートを見直し、かつフィールドワークに関する参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークで得られたデータの整理に務めること。（２時間）
第11回：現地調査（フィールドワーク）②　（課題解決型学習（PBL））
事前学習：前回のノートを見直し、フィールドワークの手順や手法等の改善点を見つけること。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークで得られたデータの整理に務めること。（２時間）
第12回：他地域から学ぶ①京都にみる地域の伝統的景観の「保存」（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、京都に関する書籍や記事などを収集し、読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第13回：他地域から学ぶ②新幹線騒音問題にみる受益者と受苦者　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、騒音公害に関するデータをciniiなどで自分で探し、調べておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第14回：他地域から学ぶ③コンテンツ・ツーリズムの活用　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第15回：まとめ（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：これまで全てのノートを見直し、講義全体の内容を網羅的に理解しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、理解した点・不明な点・疑問点などを自分で洗い出し、覚えておくこと。（４時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（70％）　平常点（30％）
・平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します（出席点ではありません）。
・internet上のデータを安易に引用したり、他者の論文・レポートなどを盗用・剽窃したりした場合は、不可になります。

成　績　評　価　基　準

・与えられたテーマの範疇で独自の問題を設定し、それを解くために必要なデータを収集することが出来るか。
・事実に基づいて意見を述べ、かつ批判的に考察できているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（担当教員の研究室（E104B）にて）
5）その他（「ディスカッション・ディベート」に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（担当教員の研究室（E104B）にて）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テーマが多岐にわたるため、設定はしません。講義中に随時指示します。

その他(受講上の注意)

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。
授業の性格上、学外で活動することもありますので、交通費等がかかることがあります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会学入門 (Introduction to Sociology)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2121	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

この講義では、社会学の研究において社会調査とはどのようなものか、何のために行うのかを概説する。そのためにも、まず社会学の考え方とその学説史を確認したうえで、社会調査についてレクチャーを行う。次に、社会調査の目的、社会調査の歴史、社会調査の倫理について学び、さまざまな社会調査の種類とそれぞれの方法が持つ長所と問題点を理解する。なお、各回の講義は、社会調査の実践の背景にある社会科学の理論・知見に関するアカデミック・ガイダンスの要素を含む。

授 業 の 到 達 目 標

・社会調査の目的について理解する。
・対象に応じて、適切な手法を選択できるようになること。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：講義概要
　事後学習：授業に関連するテキストのページを読み、質問事項をまとめておくこと。（2時間）
第2回：社会学の考え方
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
第3回：社会学の学説史
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
第4回：社会調査の目的と歴史
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
第5回：社会調査の倫理
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
第6回：社会調査の種類と特性（1）質的調査
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
第7回：社会調査の種類と特性（2）量的調査
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）

第８回：質的調査の実践例 ── インタビュー、参与観察、アクション・リサーチ
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第９回：質的調査の意義と限界
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第10回：量的調査の実践例 ── アンケート、国勢調査、官庁統計、市場調査
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第11回：量的調査の基礎 ── 問題意識、仮説構成、調査票作成
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第12回：量的調査の基礎 ── 実査と分析、質問紙調査の意義と限界（課題解決型学習（PBL））
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第13回：社会調査の変容（１）
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第14回：社会調査の変容（２）
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（４時間）
第15回：まとめ ── 社会を深く探求するために（課題解決型学習（PBL））
事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめておくこと（２時間）
事後学習：本講義の全てのノートを見直して復習し整理すること。また、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

・レポート（70％）　・平常点（30％）
平常点は授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します（出席点ではありません）。

成　績　評　価　基　準

・社会調査の目的について理解できているか。
・対象に応じて、適切な手法を選択できるようになっているか。
・官庁統計やデータアーカイブなどの統計資料を利用できるようになっているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（MicrosoftTeamsにて）
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（MicrosoftTeamsにて）
5）その他（議論や討論に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（MicrosoftTeamsにて）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：大谷信介・後藤範章・小松洋・木下栄二編著『新・社会調査へのアプローチ── 論理と方法』ミネルヴァ書房

その他(受講上の注意)

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、「社会調査士」資格に必要とされる、社会調査の基本的事項に関して学ぶ標準カリキュラムのA科目に対応するものである。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

共生社会論 (Social Coexistence Studies)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−AOC−2122	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義では、現代社会でいかにして「共生社会」を築き上げるかを考える。マジョリティとして生きることは一種の「特権」であるという立場に立って、マイノリティや社会的劣位に置かれている人々をめぐる問題について学ぶ。とくに、ジェンダー論と社会階層論を中心に扱う。平等や差別、ダイバーシティ（多様性）に関する理論や、LGBT、ケア、教育格差、貧困といった具体的なテーマを通して、公正な社会とはどのような社会か、考えを深めていく。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です。

授　業　の　到　達　目　標

社会的強者であるマジョリティにとって、マイノリティの問題は「他人事」になりがちである。マイノリティが置かれている状況を知り、問題を正しく理解することをめざす。一方で、マイノリティの不利益だけではなく、マジョリティが有している特権にも目を向ける必要がある。これらを通じて、共生社会の理念や、その実現のためには何が必要か、考えを深めていく。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（リアクションペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション ── 共生社会とは何か
　事前学習：「共生社会」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第2回：合理的な選択とは何か ── 囚人のジレンマ
　事前学習：「合理的」ということについて、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第3回：ダイバーシティと「特権集団」
　事前学習：「特権」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第4回：社会階層論①機会の平等と結果の平等
　事前学習：「平等と不平等」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第5回：社会階層論②教育と労働
　事前学習：「教育格差」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第6回：共生社会とジェンダー①教育とジェンダー
　事前学習：「教育とジェンダー」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第7回：共生社会とジェンダー②労働とジェンダー
　事前学習：「労働とジェンダー」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）

第８回：労働の権利①日本的雇用慣行と非正規雇用
　　事前学習：「日本的雇用慣行」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第９回：労働の権利②若者の労働問題
　　事前学習：「労働」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第10回：労働の権利③若者の労働問題：ブラックバイト
　　事前学習：「労働の権利」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第11回：労働の権利④若者の労働問題：ケアと労働
　　事前学習：「ケア労働」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第12回：性の多様性について①
　　事前学習：「性の多様性」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第13回：多様性について②／レポートペアワークの実施
　　事前学習：「セクシュアルマイノリティ」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第14回：ハラスメントについて
　　事前学習：「ハラスメント」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第15回：共生社会の実現に向けて ── 社会的公正活動の実践へ
　　事前学習：「社会的公正活動」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）　中間レポート（25 %）　平常点（25 %）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

現代社会のマジョリティとマイノリティをめぐる状況について、正しく理解できたか。
共生社会の理念とその実践について理解を深めることができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキストは指定しない。講義中に、参考文献および論文を明示する。
その他（受講上の注意）
真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。目に余る場合は、退室を命じる。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

異文化理解b (Cross-Cultural Understanding b)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−ABC−2128	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

異文化コミュニケーション学の基礎的知識を踏まえ、異文化コミュニケーションと多文化共生に関連する重要な事柄について学ぶ。これにより、異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションについての多角的な理解を深める。

授 業 の 到 達 目 標

・異文化コミュニケーションと多文化共生に関する用語について説明することができる。
・異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーション現象について、学んだ知識に基づき、論理的に分析し説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（事前の調べ学習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　事前学習：テーマについて図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：多文化共生社会における異文化コミュニケーション研究の目的
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：多文化共生社会の定義①
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：多文化共生社会の定義②
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：移民と非移民の歴史①
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：移民と非移民の歴史②
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：国籍法について①
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第8回：国籍法について②
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（2時間）

第９回：文化相対主義について①
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：文化相対主義について②
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：多文化共生社会と価値観①
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：多文化共生社会と価値観②
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：国内の現状①日本語教育
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：国内の現状②医療
　　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
　　事後学習：授業で課された課題について、レポートをまとめておくこと。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：授業で課された課題について、レポートをまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50％）、授業内レポート（30％）、平常点（20％）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・異文化コミュニケーションと多文化共生に関する用語について説明することができるか。
・異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーション現象について、学んだ知識に基づき、
論理的に分析し説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト：特になし。 参考図書：参考文献は適宜授業内で告知する。
その他（受講上の注意）
本講義を受ける前に「異文化理解a」の単位を取得すること。 ５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。 20分以上の遅刻は欠席とみなす。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語学Ⅰ (English Linguistics Ⅰ)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2129	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

英語学を基礎から学び、英語を体系的に把握する。ネィティブ・スピーカーの英語から国際共通語としての英語へと「英語」に対する認識を新たにするため、日英対照的観点を盛り込む。

授 業 の 到 達 目 標

英語の概要・背景を学び、異文化理解力を育み、英語力を多面的に育成する。中学校および高等学校での英語教育において必要な英語学的知見を身につける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第2回：身近にある「英語」とは（学校の英語・資格としての英語・英語にまつわる広告）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第3回：3種類のことば（ことばの3分類とは・母語と第一言語・第二言語・外国語）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第4回：3種類の英語（母語英語とInner Circleの国々・第二言語としての英語とOuter Circleの国々・外国語としての英語とExpanding Circleの国々）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第5回：イギリス英語（1）歴史（古英語・中英語・近代英語・現代英語）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第6回：イギリス英語（2）方言と標準語（地域方言・社会方言）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第7回：イギリス英語（3）発音・語彙・文法（容認発音と河口域英語・アメリカ英語との違い）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第8回：オーストラリア英語（1）歴史（ジュームズ・クック、ゴールド・ラッシュ）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第9回：オーストラリア英語（2）発音・語彙・文法（一般オーストリア英語・教養人オーストラリア英語）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）

第10回：アメリカ英語（1）歴史（移民の英語・アメリカ英語の発展・世界語としてのアメリカ英語・アメリカ英語の言語政策）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第11回：アメリカ英語（2）発音・語彙・文法（使用地域・方言と標準語・社会方言としてのエスニックバラエティ）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第12回：アメリカ英語とイギリス英語（Rhoticの使用・綴り字の違い・Textingの英語）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第13回：カナダ英語（1）歴史（移民の英語・英米戦争・フランス語の影響）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第14回：カナダ英語（2）特徴（混在するイギリス英語とアメリカ英語・無声子音の前の二重母音）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第16回：定期試験

予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ疑問点等をまとめておく。講義を受けた後は、教科書の当該部分を見直した上で、興味をもったことを調べる。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）　授業内レポート（30%）　平常点（20%）
（平常点は、課題・質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

英語学の基礎が理解できているのか。
世界英語の観点より、異文化への理解ができているのか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキスト：平賀正子（著）『ベーシック新しい英語学概論』 ひつじ書房 2016年 参考図書：英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史（堀田隆一著、研究社 平成28年）
その他（受講上の注意）
・遅刻３回で欠席１回とみなす。 ・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語音声学 (English Phonetics)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2131	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

英語の発音のメカニズムを理解し、英語音声の基礎的な知識を得る。テキスト附属の音声を繰り返し聴いて練習することで、音声器官の仕組みと個々の音の発音の仕方をリンクさせる。

授 業 の 到 達 目 標

英語の発音のメカニズムを理解し、英語音声の基礎的な知識を得るとともに、正しい発音でコミュニケーションをとることができ、また、聞き取りができることを目指す。中学校および高等学校での英語教育において必要な音声学的知見を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（CALL演習室の機器操作および英語教育ソフトガイダンス）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第2回：現代英語と音声学（英語の方言・綴り字と発音・音素）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第3回：子音（1）子音の特徴（子音の分類基準・英語の子音）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第4回：子音（2）閉鎖音・摩擦音①（気音・開放の省略・無声化）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第5回：子音（3）摩擦音②・破擦音（調音位置・無声化・母音との組み合わせ）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第6回：子音（4）鼻音・側音・半母音（日本語の「ン」・明るいLと暗いL・無声化）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第7回：母音（1）母音の特徴（母音の分類基準・基本母音）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第8回：母音（2）短母音（母音記号・抑止母音）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（2時間）
第9回：母音（3）二重母音（母音記号・開放母音）（実技）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（2時間）

第10回：母音（４）弱母音（日本語の弱母音・音色）（実技）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（２時間）
第11回：音の連続（音節・きこえ度・子音結合・単語間の連続・脱落・同化）（実技）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（２時間）
第12回：アクセント（語・接辞・複合語・句・文）（実技）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（２時間）
第13回：リズム（音節・アクセント・アクセントの移動）（実技）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（２時間）
第14回：イントネーション（音調の構成・種類・用法・特殊なイントネーション）（実技）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（２時間）
第15回：まとめ（実技）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDを用いて復習をすること（２時間）
第16回：定期試験

予習・復習として、教科書付属のCDをよく聞き、何度も読む練習をし、モデルと同じような発音ができるよう、心がける。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）　授業内レポート（30％）　平常点（20％）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

英語発音の仕組みを理解し、音声学の基礎的な知識を得られたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
竹林滋・清水あつ子・斎藤弘子 『改訂新版　初級英語音声学』 大修館　2013年 参考図書　深沢俊昭 『改訂版　英語の発音パーフェクト学習事典』 アルク　2015年
その他（受講上の注意）
・この授業の履修希望者は、必ず第１回から出席すること。なお、第１回を欠席した者で「公認欠席届」を提出できる場合のみ、第２回からの出席を認める。 ・遅刻３回で欠席１回とみなす。 ・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と宗教 (Human Beings and Religion)			担当教員	門脇　健
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1212	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　全学共通科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

宗教という人間独自の現象を、動物との比較、言語や法そして貨幣という人間独自の制度との比較を通して考察します。

授 業 の 到 達 目 標

宗教という人間独自の現象を考察することによって、何気ないふだんの日々の意義深さ、面白さに気づくことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：人間と動物（「顔」について）
　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。（2時間）
第2回：人間と動物（想像力について）
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：人間と動物の違いを調べて、まとめておくこと。（2時間）
第3回：私の発生
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：グラフの読み方について調べて、まとめておくこと。（2時間）
第4回：言葉の習得
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：グラフの読み方について調べて、まとめておくこと。（2時間）
第5回：言葉と私
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：ラカンの論点について調べて、まとめておくこと。（2時間）
第6回：贈与と交換
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。（2時間）
第7回：視点の転換
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。（2時間）
第8回：時間の逆流
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。（2時間）
第9回：四苦八苦
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：四苦八苦について調べて、まとめておくこと。（2時間）
第10回：仏教とキリスト教
　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：両宗教の差異について調べて、まとめておくこと。（2時間）

第11回：神話を生きる
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：神話概念について調べて、まとめておくこと。（2時間）
第12回：対象喪失
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：自分における相性喪失について考察し、まとめておくこと。（2時間）
第13回：喪の作業
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：喪の作業の具体例について調べて、まとめておくこと。（2時間）
第14回：儀礼と宗教
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：日常のなかの宗教的儀礼について調べて、まとめておくこと。（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：ノート・配布資料等を基に講義内容について、まとめておくこと。（4時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

学期中に2，3回小レポートを実施します。
レポート試験（50%）　小レポート（30%）　平常点（20%）
平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

自分の関心がクリアに表現できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他（コメントを付けて返す）
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□　仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

門脇健『哲学入門　死ぬのは僕らだ！』角川SSC新書（参考図書、デジタルテキスト）

その他（受講上の注意）

講義の中で言及した文学作品や映画などに可能な限り接すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

哲学の世界観 (Philosophical Thinking)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1223	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

古代からの西洋の哲学・思想が生み出してきたさまざまなものの見方を紹介する。また、そうしたものの見方が現代に及ぼしている影響について講義する。

授 業 の 到 達 目 標

過去および現在の哲学独自の思考方法や批判的思考に慣れ親しむことを通じて、現代日本に生きる自分が歴史に制約された存在であることを認識すると同時に、大学生なら知っておくべき程度の、哲学・倫理学の基本的な概念を理解し、その術語を習得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーションと「世界観」概念の説明
　事前学習：参考文献などを基に「哲学」「世界観」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第2回：神話的世界観ではなぜ不十分なのか？
　事前学習：参考文献などを基に、日本や中国、ギリシャの「宇宙創成神話」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第3回：哲学的思考の発祥（プレソクラテス1）
　事前学習：参考文献などを基に「ピタゴラス」について調べてノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第4回：哲学的思考の展開（プレソクラテス2）
　事前学習：参考文献などを基に「ヘラクレイトス」「パルメニデス」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第5回：ソクラテス1
　事前学習：参考文献などを基に「ソクラテスの生涯」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第6回：ソクラテス2
　事前学習：参考文献などを基に「無知の知」「魂の配慮」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第7回：プラトン1
　事前学習：現代語のアイディア（idea）の語義を調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）

第８回：プラトン２
事前学習：「洞窟の比喩」について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第９回：アリストテレス１（可能態・現実態などの対概念）
事前学習：「可能・現実」「主語・述語」などの語義について調べ、ノートしておくこと（２時間）
事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第10回：アリストテレス２（目的論と実体概念）
事前学習：現代語の「目的論」の語義について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第11回：古代から中世の思想の流れ
事前学習：参考文献などを基に「地動説」の歴史を調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第12回：デカルト１（デカルトの知識論）
事前学習：参考文献などを基に「コペルニクス」「ガリレイ裁判」について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第13回：デカルト２（デカルトの自我論・方法的懐疑）
事前学習：参考文献などを基にパスカルの「人間は考える葦である」という箴言について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第14回：ヘラクレイトスとロゴス
事前学習：参考文献などを基に「ロゴス」の語義について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：美や芸術の歴史について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：e-learning上の小テストを解き、講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（80%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況、毎回の小テスト・レポートの提出状況を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・哲学の基本的な用語や人名について、これを理解し、説明することができるか。
・授業で扱う西洋思想の流れを理解しているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストはとくに使用せず、e-learning上に資料を上げる。
参考図書については、安価かつ容易に入手できるものを以下に記載しておく。
・岩田靖夫『ヨーロッパ思想入門』（岩波ジュニア新書）　岩波書店　2003
・伊藤邦武『物語　哲学の歴史』（岩波新書）　岩波書店　2012
・熊野純彦『西洋哲学史　古代から中世へ』（岩波新書）　岩波書店　2006
・熊野純彦『西洋哲学史　近世から現代へ』（岩波新書）　岩波書店　2006

その他(受講上の注意)

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

文学の世界 (The World of Literature)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1224	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

昔話として知られる「桃太郎」「猿蟹合戦」「瘤取り」「浦島太郎」「かちかち山」「舌切雀」をテーマに、巌谷小波、芥川龍之介、太宰治の作品を取り上げる。各作品の表現・内容を文化的・社会的背景も踏まえて読解し、執筆・発表された時代における各作品の意義、現代につながる意義を考察する。

授 業 の 到 達 目 標

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景の関係が理解できる。
・文学作品を批評的に読解し、考察できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（課題提出）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスを確認し、テーマとする昔話の概要を把握しておく。（2時間）
　事後学習：ディスカッションの内容をまとめておく。（2時間）
第2回：巌谷小波「猿蟹合戦」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を確認し、課題を行う。（2時間）
第3回：芥川龍之介「猿蟹合戦」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を確認し、課題を行う。（2時間）
第4回：巌谷小波「桃太郎」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を確認し、課題を行う。（2時間）
第5回：芥川龍之介「桃太郎」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を確認し、課題を行う。（2時間）
第6回：巌谷小波「瘤取り」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を確認し、課題を行う。（2時間）
第7回：太宰治「瘤取り」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を確認し、課題を行う。（2時間）
第8回：巌谷小波「浦島太郎」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を確認し、課題を行う。（2時間）
第9回：太宰治「浦島さん」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を確認し、課題を行う。（2時間）
第10回：巌谷小波「かちかち山」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を確認し、課題を行う。（2時間）

第11回：太宰治「カチカチ山」
事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
事後学習：資料を確認し、課題を行う。（２時間）
第12回：太宰治『お伽草紙』ー書かれなかった「桃太郎」
事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
事後学習：資料を確認し、課題を行う。（２時間）
第13回：巌谷小波「舌切雀」
事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
事後学習：資料を確認し、課題を行う。（２時間）
第14回：太宰治「舌切雀」
事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
事後学習：資料を確認し、課題を行う。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：期末レポートのテーマ設定、準備を行う。（２時間）
事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40％）、課題（40％）、平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景が理解できるか。
・文学作品を批評的に読解し、考察できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

巌谷小波著・上田信道校訂『日本昔噺』（東洋文庫）　平凡社　2001年
芥川龍之介『蜘蛛の糸・杜子春・トロッコ 他十七篇』（岩波文庫）　岩波書店　1990年
太宰治『お伽草紙・新釈諸国噺』（岩波文庫）　岩波書店　2004年

その他（受講上の注意）
授業で使用するPowerPointの資料を配付するので、気づいたこと・考えたことをノートに取りながら受講すること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

歴史と地域文化 (History and Local Culture)			担当教員	久保　智康
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1225	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

地域の歴史・文化は、そこに住む人がかたち作っていくものである。と同時に、それは時代の経過とともにより豊かなものになり、次の世代へと受け継がれていくのが望ましい。すでに過去から蓄積された福井の地域文化を歴史の中にたずね、それを受け継ぎ発展させる具体的方策を考える。

授　業　の　到　達　目　標

・他者だけでなく自己も地域の歴史・文化をかたち作る主体であることを理解できる。
・そのために、地域の人々とのコミュニケーションが積極的に行える。
・地域の歴史・文化に関する情報収集・探索能力を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：「地域」、「文化」とは何か
　事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）
　事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）
第2回：地域の文化財を発見し学ぶ〜『文化財からみる越前市の歴史文化図鑑』の読み方、使い方〜
　事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）
　事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）
第3回：縄文・弥生土器からみる「地域」
　事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）
　事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）
第4回：律令時代の土器が示す「中央」と「地方」
　事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）
　事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）
第5回：古墳の分布が示す「地域」〜「郡」という地域概念の萌芽〜
　事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）
　事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第６回：土地と人の支配の歴史～徴税・納税の根拠～
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第７回：条里制と東大寺領荘園の痕跡を見つける
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第８回：近代、そして平成の市町村合併
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第９回：琉球、沖縄と越前～本土と沖縄の歴史と宗教～
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第10回：福井が「仏教王国」である理由
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第11回：各宗派の特徴と古代・中世越前における展開
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第12回：山寺と霊山
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第13回：越前の神と仏
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第14回：「念仏王国」、越前
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第15回：地域に住むこと、離れること
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第１回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第２回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第３回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第４回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第５回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第６回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第７回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第８回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第９回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第10回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第11回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第12回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第13回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第14回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第15回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)

成　績　評　価　方　法

定期試験 (80%) 平常点 (20%)
（平常点は授業への参加状況、受講態度等で総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

地域の歴史・文化に関する過去・現在の事例に関して、自己の問題として認識し、具体的な関わり方を想定できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（県立博物館・国立博物館学芸員）
・実務経験と授業内容との関連性
（県立博物館、次いで国立博物館で学芸員として歴史・文化財の調査・研究・展示に携わった経験を有する教員が、地元出身者が大半を占める学生に対して、福井を中心とする歴史と地域文化について解説し、それらを保存・継承が地域発展に資することを考えさせる。）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

テキスト：『文化財からみる　越前市の歴史文化図鑑』(監修) 橋本政宣・久保智康　越前市
※第２回目の授業時に販売

その他(受講上の注意)

できる限り前列の席で受講すること。画像を使用するが、漫然と見ているだけでなく、要点を極力ノートすること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本国憲法 (The Japanese Constitution)			担当教員	早川　秋子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1222	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

憲法の歴史を踏まえながら、憲法について判例を通して整理する。
平和主義については湾岸戦争以来の国際協調を軸として整理する。

授 業 の 到 達 目 標

立憲主義・法の支配の意味を理解し、憲法に関する基礎知識を修得する。実生活において、権利意識を持って問題解決を図ることができる能力を育成する。他者とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：憲法典の定義
　事前学修：授業前に法と自身との関わりについて考えておくこと。（2時間）
　事後学修：授業内容を振り返り、分からないことがあれば確認しておくこと。（2時間）
第2回：法の系統と立憲主義
　事前学修：明治憲法の特色について、整理しておくこと。（2時間）
　事後学修：授業内容を振り返り、立憲主義について理解を深めておくこと。（2時間）
第3回：権利の主体・特別な法律関係
　事前学修：テキストの1章・8章（憲法）で全体像を確認しておくこと。（2時間）
　事後学修：授業内容を振り返り、テキストの該当箇所を見直しておくこと。（2時間）
第4回：人権カタログ・新しい人権
　事前学修：憲法3章　国民の権利義務にどんな人権が保障されていたか、確認しておくこと。（2時間）
　事後学修：新しい人権には何があるか確認してみよう。（2時間）
第5回：正義の実現・裁判
　事前学修：正義とは何か、裁判の手続について確認しておこう。（2時間）
　事後学修：正義についてのあなたの考えをまとめて整理しておくこと。（2時間）
第6回：人身の自由
　事前学修：犯罪とは何か、刑罰とは何か整理しておこう。（2時間）
　事後学修：テキストを確認して、犯罪についてまとめておこう。（2時間）
第7回：死刑の是非
　事前学修：前回の授業で整理した事例の問題点を整理しておこう。残虐な刑罰は許されるのか？（2時間）
　事後学修：自身の考えをまとめておこう。（2時間）
第8回：法の下の平等
　事前学修：平等違反の違憲判決についてテキストを確認しておこう。（2時間）
　事後学修：講義で扱った判例だけでなく、他の判例も確認しておこう。（2時間）
第9回：表現の自由
　事前学修：表現の自由としてどんな問題があるか確認しておこう。（2時間）
　事後学修：行き過ぎた表現活動を如何に制限するか、身近な例で考えてみよう。（2時間）
第10回：信教の自由・政教分離
　事前学修：政治と宗教のあり方について、また、どんな問題が起こっているか調べてみよう。（2時間）
　事後学修：靖国神社公式参拝事件について、しっかり整理しておこう。（2時間）

第11回：平和主義
事前学修：湾岸戦争以後の国際情勢の動きを確認しておこう。（２時間）
事後学修：平和の実現のために何をすべきか、憲法改正も含めて考えておこう。（２時間）
第12回：社会権
事前学修：社会福祉の現場で、どんな問題が起こっているか整理しておこう。（２時間）
事後学修：生活保護やその他の行政行為による問題について、授業で扱った判例以外も調べてみよう。（２時間）
第13回：統治機構
事前学修：憲法条文４章から６章までを読み込んで、分からない部分は質問できるようにしておこう（２時間）
事後学修：国を動かす、法律を作ってみよう（２時間）
第14回：地方自治の本旨
事前学修：地方公共団体に求められる活動や役割について整理しておくこと。（２時間）
事後学修：授業の内容を元に地域に必要なルール等について整理してみよう。（２時間）
第15回：憲法改正
事前学修：今、議論となっている改正問題について整理しておくこと。（２時間）
事後学修：改正について、自分の視点で問い直してみよう。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

総まとめのレポート80% 小テスト20%

成　績　評　価　基　準

憲法の基本事項を踏まえ、日常生活において起こる様々な事柄やニュースを法的に理解し、自分の言葉で他者に適切に説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

田中敦子・大野正博編『法学入門』成文堂 2018年 1,800円

その他（受講上の注意）
積極的に参加する意識をもって受講して下さい。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と環境B (Human Beings and the Environment B)			担当教員	大久保　嘉雄
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2231	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

生態系の一員である人間が自然環境とどのように関わってきたのかを学び、これからどうあるべきかを考える。その基礎として、生物の生活や行動、からだのしくみを、進化の視点も交えて学ぶことにより、生物そのものと生態系の理解を深める。

授 業 の 到 達 目 標

人間がどのように自然環境と関わっていけばよいかを説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：コウノトリと福井県
　事前学習：コウノトリはどんな鳥か調べておくこと。（2時間）
　事後学習：他県のコウノトリの放鳥についてまとめておくこと。（2時間）
第2回：コウノトリの復活と生態系の保全
　事前学習：トキの放鳥について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：コウノトリが福井県に定着するために必要な施策をまとめておくこと。（2時間）
第3回：ニホンオオカミの絶滅とツキノワグマの捕殺問題（アンブレラ種、キーストーン種）
　事前学習：ツキノワグマとヒグマのちがいを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：絶滅危惧種1種以上を例に、生態系で果たす役割をまとめておくこと。（2時間）
第4回：外来生物と生態系の保全（生態的地位、遺伝子交雑）
　事前学習：外来生物を3種類あげ、その移入経緯や影響などを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：日本から外国へ広がった外来生物1種以上を例に、その移入経緯や影響ついてまとめておくこと。（2時間）
第5回：生物多様性の確保（国際条約、遺伝子かく乱）
　事前学習：出身県または福井県のラムサール条約の湿地について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：身近で生物多様性に取り組んでいる活動をまとめておくこと。（2時間）
第6回：視覚と行動（眼の進化、白目と意思疎通）
　事前学習：第1回から第5回までの講義内容をまとめておき、小レポートに備える。（2時間）
　事後学習：イヌやネコなどの身近な動物の白日の有無や、目と目を合わせたときの反応や行動をまとめておくこと。（2時間）
第7回：色覚と進化（色覚と行動様式）
　事前学習：ヒトの色を感じるしくみについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：2色型色覚動物の日常生活を疑似体験して起きたことをまとめておくこと。（2時間）
第8回：動物の生活と行動（食べる心配、食べられる心配）
　事前学習：食物連鎖におけるエネルギーの流れや生態ピラミッドを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：食物連鎖における一次消費者から高次の消費者をそれぞれ1種以上を例に、その生き方を食べる心配と食べられる心配という観点から説明できるようにまとめておくこと。（2時間）
第9回：生物を理解する視点（形態、生活場所、生活のしかた）
　事前学習：主な進化論について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：野外の動物1種以上を例に、その形態と生活場所、生活のしかたを関連させて説明できるようにまとめておくこと。（2時間）

第10回：骨格と進化（外骨格と内骨格、気管と循環系）
事前学習：この１週間に出会った生き物を、内骨格と外骨格、無脊椎動物に分類しておくこと。（２時間）
事後学習：事前学習であげた動物を動物の系統樹にあてはめ、身体を支えるしくみを説明できるようにまとめておくこと。（２時間）
第11回：動物の社会、人間の社会（社会性動物、利己的な遺伝子）
事前学習：群れをつくる動物１種以上を例に、その社会構造を調べておくこと。（２時間）
事後学習：ハダカデバネズミの社会構造をまとめておくこと。（２時間）
第12回：人間と食物（栽培植物の起源、発酵食品）
事前学習：身近な野菜の原産地を調べておくこと。（２時間）
事後学習：日本原産の野菜や果物をそれぞれ１種以上を例に、その原種や品種などをまとめておくこと。（２時間）
第13回：人間は科学をどのように生かすのか（バイオテクノロジー、ノーベル賞医学生理学賞）
事前学習：遺伝子組み換え不使用の表示のある食品とその原料を調べておくこと。（２時間）
事後学習：発酵食品１種以上の作り方や、ｉＰＳ細胞の臨床的な応用をまとめておくこと。（２時間）
第14回：日本人の起源とヒトの進化
事前学習：縄文時代と弥生時代の年代や特徴を調べておくこと。（２時間）
事後学習：縄文人顔と弥生人顔の特徴から、家族や友人などを観察してまとめておくこと。（２時間）
第15回：地球の環境問題、身近な植物の利用
事前学習：COP25の動向を調べておくこと。（２時間）
事後学習：地球の温暖化の原因とその対をまとめておくこと。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

各回の課題（80%）レポート（20%）

成　績　評　価　基　準

生物の生活や行動、社会、からだのしくみを説明することができるか。その際に、進化の視点が入っているか。
生態系における、生物と自然環境の関係を説明することができるか。
人間の自然環境への影響を説明し、今後の関わり方を論じることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （元高校教諭） ・実務経験と授業内容との関連性 （学校現場における教員経験を有する教員が、「人間はどのようの自然環境と関わるべきか」を、生物の生活や行動、生態系、生物多様性などを進化の視点を交えて解説する。）
テキスト、参考図書
必要に応じて、講義用資料を配付したり、参考図書等を指示します。
その他（受講上の注意）
講義資料にはコメントを書いて返却します。遅刻の時間や回数に応じて欠席と見なすことがあります。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ふくい総合学 (General Studies of Fukui)			担当教員	高野　秀晴、杉島　一郎、橋本　武志、 細田　耕平
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2232	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

様々な分野・専門領域における「ふくい」についての現況の課題や行政施策等の理解促進を目的とする授業です。本授業では特に「ふくい」の中の「越前市」に焦点をあて、市職員を招聘し、学生へ市計画等の事業の現状、将来構想、施策の特徴を講義し、「市を取り巻く状況」に始まり、「戦略的取組」「行政課題」や「今後の展望」などを取り上げます。
後半は、本学各学科各領域からの視点で越前市や地域との関連性について取り上げ、大学の立地自治体の特徴、文化の理解を深めてもらえるような内容となっています。

授　業　の　到　達　目　標

本学が立地する自治体である「越前市」の特徴や行政全般、さらには独自の文化等に対しての理解が深まる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：「ふくい総合学」趣旨説明＜ 総論＞越前市を取り巻く状況
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を振り返り、e-learningを通じてリフレクションを実施すること。（2時間）
第2回：戦略的取り組み＜まちづくり編＞コウノトリと里山の人たちとの共生、かこさとしさんと読書のまち宣言
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第3回：戦略的取り組み＜福祉編＞検診を受けよう　新しい健康づくり、子どもの笑顔が輝く環境づくり
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第4回：戦略的取り組み＜文化編＞国府が置かれた歴史あるまちづくり、たけふ菊人形のあゆみ
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第5回：戦略的取り組み＜産業編＞越前市の産業活性化（産業活性化プラン・工芸の里構想）
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第6回：戦略的取り組み＜環境編＞下水道事業で人と環境のネットワークづくり、もったいない！捨てないで資源回収しよう
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第7回：行政課題（1）地域が支える災害に強いまちづくり、まちづくりと交通体系
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第8回：行政課題（2）越前市の財政、越前市で暮らそう！～新生活を始めるなら中心市街地がおすすめ～
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）

第９回：行政課題（今後）オープンデータを利用したまち情報の発信、きくりんがちょっといいこと教えちゃうリン！～越前市の嬉しい情報をお届けします～
事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第10回：行政課題（展望）市民協働プロセスの確立、市民交流・ネットワークづくり
事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第11回：心理学の視点から（心理学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第12回：コミュニケーション学の視点から（コミュニケーション学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第13回：健康栄養学の視点から（健康栄養学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第14回：子ども教育学の視点から（子ども教育学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第15回：まとめ（とりまとめ教員）
事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（60％）　平常点（40％）
（平常点は、授業時のリアクションペーパー、受講態度等を総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

「越前市の人とまち、その文化」というテーマで、「越前市の取組み」についての現況の課題や今後の施策内容等を理解できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
毎回資料を配布。
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅱa (English Ⅱa)			担当教員	矢橋　知枝、M　ハウカ、Rダイクス、 フッド晴美、山口　和代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2241	1単位	2年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises.
Reading and writing exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授 業 の 到 達 目 標

Expanding upon the material covered in English I a and I b, further attention will be given to developing the four core skills of language proficiency.
Students will continue to develop the speaking skills necessary to express themselves in general areas of conversation, such as talking about their daily lives and exchanging personal information.
Listening practice will focus on listening for key words and specific information.
Reading exercises will focus on the important skills of scanning for general understanding as well as reading for specific content.
Writing activities will center on developing the student's ability to express his or her own thoughts and opinions in an easy-to-understand manner.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Unit 1 - Hobbies ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Unit 1 - Hobbies ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：Unit 2 - Clothes and Colors ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：Unit 2 - Clothes and Colors ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Unit 3 - An Active Life ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Unit 3 - An Active Life ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第８回：Review（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第９回：Unit ４ - Getting Around ①（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第10回：Unit ４ - Getting Around ②（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit ５ - Personality ①（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit ５ - Personality ②（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit ６ - Cooking ①（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit ６ - Cooking ②（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Review（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination（ディスカッション）

Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the written assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用

成　績　評　価　方　法

Outside-class Assignments - 20%
Proactive In-class Participation - 20%
Examination - 60%

成　績　評　価　基　準

Students' abilities to participate in conversations and express opinions on a variety of subjects will be evaluated as well as their abilities to express opinions in written form and to comprehend reading passages.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stempleski, Susan. Stretch 2. Oxford University Press. 2014.　ISBN 978-0-19-460313-3
TEXT加藤　『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

その他(受講上の注意)

Students are encouraged to take the TOEIC during their studies at the university. Also, at least one class will be held in the E-Lounge (E-301) or CALL (E-303) during the semester to familiarize the students with the latest available English self-study materials.
「英語Ⅱ再履修クラス」は2019年度が最終開講です。2020年度以降は開講されません。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅱb (English Ⅱb)			担当教員	矢橋　知枝、M　ハウカ、Rダイクス、 フッド晴美、山口　和代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2242	1単位	2年後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises.
Reading and writing exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授 業 の 到 達 目 標

Expanding upon the material covered in English I a and I b, further attention will be given to developing the four core skills of language proficiency.
Students will continue to develop the speaking skills necessary to express themselves in general areas of conversation, such as talking about their daily lives and exchanging personal information.
Listening practice will focus on listening for keywords and specific information.
Reading exercises will focus on the important skills of scanning forgeneral understanding as well as reading for specific content.
Writing activities will center on developing the student's ability to express his or her own thoughts and opinions in an easy-to-understand manner.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Unit 7 - Weather ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Unit 7 - Weather ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：Unit 8 - Everyday Activities ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：Unit 8 - Everyday Activities ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Unit 9 - Math, history, and art ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Unit 9 - Math, history, and art ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第８回：Review（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第９回：Unit 10 - A busy semester ①（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第10回：Unit 10 - A busy semester ②（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 11 - Favors and requests ①（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 11 - Favors and requests ②（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 12 - Before you travel ①（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 12 - Before you travel ②（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Review（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination

Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the written assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用

成　績　評　価　方　法

Outside-class Assignments - 20%
Proactive In-class Participation - 20%
Examination - 60%

成　績　評　価　基　準

Students' abilities to participate in conversations and express opinions on a variety of subjects will be evaluated as well as their abilities to express opinions in written form and to comprehend reading passages.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stempleski, Susan. Stretch 2. Oxford University Press. 2014.　ISBN 978-0-19-460313-3
TEXT加藤　『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』朝日新聞出版 2017年

その他(受講上の注意)

Students are encouraged to take the TOEIC during their studies at the university.

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フランス語Ⅱa (French Ⅱa)			担当教員	大竹口　麻里
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2243	1単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

フランス語Ia・bで習得した初級文法を復習しながら一歩進んで中級文法を学ぶ

授 業 の 到 達 目 標

中級文法を理解した上で、ある程度の長さの購読文を辞書を引きながら読むことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：1年生で学習したことの復習
　事前学習：1年次の内容を振り返り、質問事項をまとめておく（0.5時間）
　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第2回：綴りと発音のルールの確認　よく使われる動詞の現在形の活用の確認
　事前学習：テキスト1課を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第3回：第1課　複合過去について
　事前学習：テキスト1課を読み、質問事項をまとめておく（0.5時間）
　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第4回：複合過去の復習　第1課テクスト本文　直接・間接目的語　強勢形の代名詞について
　事前学習：テキスト2課を読み、質問事項をまとめておく（0.5時間）
　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第5回：第2課の復習
　事前学習：テキスト2課を振り返り、質問事項をまとめておく（0.5時間）
　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第6回：2課の本文テクスト　3課前半　代名詞動詞について
　事前学習：テキスト3課前半を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第7回：代名動詞の現在形の復習と代名動詞の複合過去形
　事前学習：テキスト3課後半を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第8回：中性代名詞en,y,leについて
　事前学習：テキスト4課前半を読み、質問事項をまとめておく（0.5時間）
　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第9回：指示代名詞について。
　事前学習：テキスト4課後半を読み、質問事項をまとめておく（0.5時間）
　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第10回：単純未来と前未来について
　事前学習：テキスト5課前半を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第11回：現在分詞とジェロンディフについて
　事前学習：文法補足1を読んで、質問事項をまとめておく（0.5時間）
　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）

第12回：過去分詞と受動態について
　　事前学習：文法補足２をよんで、質問事項をまとめておく（0.5時間）
　　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第13回：所有形容詞と半過去について
　　事前学習：文法補足３を読んで、質問事項をまとめておく（0.5時間）
　　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第14回：大過去について
　　事前学習：テキスト７課を読み、質問事項をまとめておく（0.5時間）
　　事後学習：授業の内容をノートにまとめる。課題をする。（0.5時間）
第15回：これまでのまとめ
　　事前学習：１～７課までを振り返り、質問事項をまとめておく（0.5時間）
　　事後学習：授業中に再確認した最重要ポイントを復習しておくこと。（0.5時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験50％ 平常点50％（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

中級フランス語文法の理解　ある程度の長さの購読文の読解力

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　■□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

クロワッサン２　朝日出版社　著者　松村博史　バンドロム・エディ

その他（受講上の注意）

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フランス語Ⅱb (French Ⅱb)			担当教員	大竹口　麻里
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2244	1単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

フランス語Ia・bで習得した初級文法を復習しながら様々な場面で使われる会話能力を養う。

授 業 の 到 達 目 標

中級文法を習得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（パワーポイントを自分で学習し、課題に取り組む）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：第8課　時を表す接続詞
　　事前学習：テキスト第8課の文法のまとめに目をとうしておく。(0.5時間)
　　事後学習：課題に取り組む(0.5時間)
第2回：第8課　理由を表す接続詞　条件を表す接続詞　本文テクスト
　　事前学習：前回の授業のパワーポイントにもう一度目を通しておく。(0.5時間)
　　事後学習：課題に取り組む(0.5時間)
第3回：第9課　条件法現在
　　事前学習：前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく(0.5時間)
　　事後学習：課題に取り組む(0.5時間)
第4回：第9課　条件法過去
　　事前学習：前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく(0.5時間)
　　事後学習：課題に取り組む(0.5時間)
第5回：第10課　関係代名詞 qui, que
　　事前学習：前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく(0.5時間)
　　事後学習：課題に取り組む(0.5時間)
第6回：第10課　関係代名詞o?, dont
　　事前学習：前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく(0.5時間)
　　事後学習：課題に取り組む(0.5時間)
第7回：第11課　強調構文　テクスト本文　練習問題
　　事前学習：前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく(0.5時間)
　　事後学習：課題に取り組む(0.5時間)
第8回：第11課　接続法の考え方
　　事前学習：前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく(0.5時間)
　　事後学習：課題に取り組む(0.5時間)
第9回：第11課　接続法現在の使い方
　　事前学習：前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく(0.5時間)
　　事後学習：課題に取り組む(0.5時間)
第10回：第12課　接続法過去
　　事前学習：前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく(0.5時間)
　　事後学習：課題に取り組む(0.5時間)

第11回：第13課　直接話法と間接話法
　　事前学習：前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
　　事後学習：課題に取り組む（0.5時間）
第12回：第13課　単純過去
　　事前学習：前回のパワーポイントにもう一度目を通しておく（0.5時間）
　　事後学習：課題に取り組む（0.5時間）
第13回：第14課：外国語の学習のテキストを読む
　　事前学習：テキストに目を通しておく（0.5時間）
　　事後学習：テクストを訳す（0.5時間）
第14回：第14課：人種差別のテクストをを読む
　　事前学習：テキストに目を通しておく（0.5時間）
　　事後学習：テキストを訳す（0.5時間）
第15回：総復習
　　事前学習：第８課～第14課までのDialogueをすらすら音読しておき質問事項をまとめておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：授業中に再確認した最重要ポイントを復習しておくこと。（0.5時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験50％ 平常点50％（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

日常的な場面で使われるフランス語での会話ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

レナ・ジュンタ 清岡智比古「ぜんぶ話して！」白水社 2015年

その他（受講上の注意）

毎回５問程度の書き取りを各回の授業の始めに行うので必ず勉強してくること。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ドイツ語Ⅱa (German Ⅱa)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2245	1単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初はドイツ語Ⅰでは習得していない文法知識からはじめ、その後簡単なドイツ語で書かれた童話を読みながら読解力を身につける。その回のテキスト内容に合わせて、文法事項をプリントで適宜補う。

授 業 の 到 達 目 標

現在完了、再帰動詞、分離動詞について理解し、それらを含め1年時で学んだドイツ語をもとに、テキスト程度の簡単なドイツ語の文章を理解し、日本語に訳すことができるようになることをめざす。また、訳出は文脈によって多様な一種の創造であり、必ずしも辞書の文言をあてはめる、という機械的作業ではないことを理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他（ペアワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

プリントによる練習問題やテキストの予習（単語調べ、訳の作成）を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせとその解説を行う。間違った問題は、必ず復習しておくこと。

第1回：オリエンテーションと1年次のドイツ語の復習
　事前学習：1年次のテキストとプリントを見直しておくこと（0.5時間）
　事後学習：本日の復習プリントの間違い直しをしておくこと（0.5時間）
第2回：動詞の過去形
　事前学習：1年次のテキストの特に現在完了形を見直しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning資料の宿題と小テストを解くこと（0.5時間）
第3回：現在完了形
　事前学習：1年次のテキストの特に現在完了形を見直しておくこと（0.5時間）
　事後学習：e-learning資料の宿題と小テストを解くこと（0.5時間）
第4回：ブレーメンの音楽隊1
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　事後学習：e-learning資料の宿題と小テストを解くこと（0.5時間）
第5回：ブレーメンの音楽隊2
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　事後学習：e-learning資料の宿題と小テストを解くこと（0.5時間）
第6回：ブレーメンの音楽隊3
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第7回：ブレーメンの音楽隊4
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）

第８回：ブレーメンの音楽隊５
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第９回：ブレーメンの音楽隊６
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第10回：ブレーメンの音楽隊７
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第11回：ブレーメンの音楽隊８
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第12回：ブレーメンの音楽隊９
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第13回：ブレーメンの音楽隊10
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第14回：ブレーメンの音楽隊11
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第15回：ブレーメンの音楽隊12
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：質問への回答を踏まえて、定期試験に備え復習しておくこと（0.5時間）
第16回：オンライン定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点50%、定期試験50%
（平常点は、毎回の出席、予習状況を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・現在完了、再帰動詞、分離動詞について理解し応用できるか。
・宿題をきちんとやり、当たった場合、その個所を訳出することができているかどうか。
・テキストのドイツ語文とその構造を理解しているかどうか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stefan Wundt　本橋右京　『グリム童話で学ぶドイツ語 partII』　郁文堂 2007年

その他(受講上の注意)

独和辞典および1年時に用いたテキストを持参すること。また、童話の読解に入ると、だれがいつ当たるかわからない。単語を辞書でよく調べ、きちんと日本語に直してくること。予習が大事である。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ドイツ語Ⅱb (German Ⅱb)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2246	1単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ドイツ語Ⅰaにつづいて、簡単なドイツ語で書かれた童話を読みながら読解力を身につける。その回のテキスト内容に合わせて、文法事項をプリントで適宜補う。

授 業 の 到 達 目 標

1年時およびドイツ語Iaで学んだ知識をもとに、テキスト程度の簡単なドイツ語の文章を理解し、日本語に訳すことができるようになることをめざす。また、訳出は文脈によって多様な一種の創造であり、必ずしも辞書の文言をあてはめる、という機械的作業ではないことを理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他（ペアワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

練習問題やテキストの予習（単語調べ、訳の作成）を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせとその解説を行う。間違った問題は、必ず復習しておくこと。

第1回：分離動詞など文法事項
　事前学習：テキストを基に分離動詞について復習しておくこと（0.5時間）
　事後学習：本日の復習問題の間違い直しをしておくこと（0.5時間）
第2回：ブレーメンの音楽隊（最終）
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第3回：盗賊の花嫁1
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第4回：盗賊の花嫁2
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第5回：盗賊の花嫁3
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第6回：盗賊の花嫁4
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第7回：盗賊の花嫁5
　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと（0.5時間）
　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）

第８回：盗賊の花嫁６
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第９回：盗賊の花嫁７
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第10回：盗賊の花嫁８
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第11回：盗賊の花嫁９
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第12回：盗賊の花嫁10
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第13回：盗賊の花嫁11
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第14回：盗賊の花嫁12
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第15回：盗賊の花嫁13
　　事前学習：前回指定したテキスト箇所の単語の意味を調べ、全文を日本語に訳しておくこと。わからなかった箇所は質問を考えておくこと（0.5時間）
　　事後学習：間違った箇所をノートし、正しい訳に直しておくこと（0.5時間）
第16回：オンライン定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点50%、定期試験50%
（平常点は、毎回の出席、予習状況を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・宿題をきちんとやり、当たった場合、その個所を訳出することができているかどうか。
・テキストのドイツ語文とその構造を理解しているかどうか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stefan Wundt　本橋右京　『グリム童話で学ぶドイツ語 part II』　郁文堂 2007年

その他(受講上の注意)

独和辞典および1年時に用いたテキストを持参すること。また、童話の読解に入ると、だれがいつ当たるかわからない。単語を辞書でよく調べ、きちんと日本語に直してくること。予習が大事である。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

中国語Ⅱa (Chinese Ⅱa)			担当教員	ショウ　ロ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2247	1単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。簡単な日常会話を聴くこと、話すことと、簡単な作文を書けることを重点において学習し、中国語の検定試験4級のレベルをめざす。

授 業 の 到 達 目 標

1、四声を意識して正しく発音することができる。
2、常用語500語程度を使って、単文及び簡単な複文の中国語の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。
3、100字程度の作文が書ける。
4、簡単な日常会話ができる。
5、簡単な依頼、買物、旅行の場面でのコミュニケーション能力を有する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：復習1。基本動詞、基本形容詞、基本副詞、基本文型Ⅰをチェックする。
　事後学習：復習した内容を中国語簡体字でパソコンに打込み練習すること。（1時間）
第2回：復習2。基本疑問詞、基本文型Ⅱ、基本前置詞、基本文型Ⅲをチェックする。
　事後学習：復習した内容を中国語簡体字でパソコンに打込み練習すること。（1時間）
第3回：復習3。基本助動詞、基本文型Ⅳ、動詞フォーム、基本文型Ⅴをチェックする。
　事後学習：復習した内容を中国語簡体字でパソコンに打込み練習すること。（1時間）
第4回：去中国Ⅰ・文法篇。助動詞“可以”と“能”。助動詞“要”、”得”、“不用”。“主述”述語文。目的語が“主述句”の時。
　事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。練習課題。（1時間）
第5回：去中国Ⅱ・会話篇。翻訳課題の確認。理解しながら会話を楽しむ。基本文型・日常用語の復習。聞きながら会話をする。
　事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。課題1。（1時間）
第6回：喝花茶吧・文法篇。前回練習問題の確認。“的”の用法。「原因・理由」を“因为”。文末助詞“吧”、“呢”のまとめ。
　事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。課題2。（1時間）
第7回：喝花茶吧・会話篇。前回練習・課題の確認。理解しながら会話を楽しむ。基本文型・日常用語の復習。聞きながら会話をする。
　事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。課題3。（1時間）
第8回：交朋友・文法篇。連動文。“是～的”の文。疑問詞“怎么”。
　事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。課題4。（1時間）
第9回：交朋友・会話篇。前回練習・課題の確認。理解しながら会話を楽しむ。基本文型・日常用語の復習。聞きながら会話をする。
　事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。課題5。（1時間）
第10回：爬长城・文法篇。“了”の三つの使い方。副詞“就”の二つの使い方。“了”と“就”の練習。
　事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。課題6。（1時間）
第11回：爬长城・会話篇。前回練習・課題の確認。理解しながら会話を楽しむ。基本文型・日常用語の復習。聞きながら会話をする。
　事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。課題7。（1時間）

第12回：打乒乓球・文法篇。様態補語。「可能性の予測」を表わす“会”。「仮定」を表わす“要是”。
事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。課題８。（１時間）
第13回：打乒乓球・会話篇。前回練習・課題の確認。理解しながら会話を楽しむ。基本文型・日常用語の復習。聞きながら会話をする。
事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。課題９。（１時間）
第14回：记汉字・文法篇。結果補語（１）。副詞“一点儿”と“有点儿”。
事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。課題10。（１時間）
第15回：记汉字・会話篇。前回練習・課題の確認。理解しながら会話を楽しむ。基本文型・日常用語の復習。聞きながら会話をする。
事後学習：練習問題をパソコンに打込み練習すること。課題11。（１時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）課題練習の成績（30％）平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

１、四声を正しく発音することができるか。
２、単文及び簡単な複文の中国語訳と日本語訳ができるか。
３、100字程度の作文が書けるか。
４、簡単な依頼、買物、旅行の場面での事項確認や自分の意思を伝えられるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

佐藤　晴彦　監修　徐　送迎　著　『たのしくできる　Ｗｅ　Ｃａｎ！　中国語（初級）』　朝日出版社

その他（受講上の注意）

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

中国語Ⅱb (Chinese Ⅱb)			担当教員	ショウ　ロ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2248	1単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。少々長い会話聴く、話す、書くことを重点において学習し、中国語の検定試験3級のレベルをめざす。

授 業 の 到 達 目 標

1、多音語、軽声を正しく発音することができる。
2、常用語500～1000語を使って、複文の中国語の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。
3、200字程度の作文が書ける。
4、簡単な依頼、買物、旅行の場面での演習を通して、相手に自分の意思を正確に伝え、「会話力」を高めることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ペアワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス、中国Ⅱaの重要事項の確認
　　事後学習：「中国に関する質問」のプリントを配る、次週に提出すること。（1時間）
第2回：第13課《ねむいです》。時量補語。一日の流れの表現練習（ペアワーク）
　　事後学習：会話・講読練習ドリル13。50文字作文。（1時間）
第3回：第14課《万里の長城》。選択疑問文。日本の名勝古跡紹介の表現練習（ペアワーク）事後学習：会話・講読練習ドリル14。50文字作文。（1時間）
第4回：第15課《誕生日》。 結果補語のまとめ。誕生日についての表現練習（ペアワーク）事後学習：会話・講読練習ドリル15。50文字作文。（1時間）
第5回：第16課《料理をつくる》。助動詞“会”と“能”の区別。日本料理の作り方の表現練習（ペアワーク）
　　事後学習：会話・講読練習ドリル16。50文字作文。（1時間）
第6回：第17課《趣味》。副詞のまとめ。趣味についての表現練習（ペアワーク）
　　事後学習：会話・講読練習ドリル17。50文字作文。（1時間）
第7回：第18課《電話をかける》。接続詞のまとめ。携帯の使い方の表現練習（ペアワーク）
　　事後学習：会話・講読練習ドリル18。50文字作文。（1時間）
第8回：第19課《注文する》。数字詞のまとめ。“的”の構文。人に依頼する表現練習（ペアワーク）
　　事後学習：会話・講読練習ドリル19。50文字作文。（1時間）
第9回：第20課《携帯電話》。”是～的”の構文。禁止事について表現練習（ペアワーク）
　　事後学習：会話・講読練習ドリル20。50文字作文。（1時間）
第10回：第21課《タクシーを呼ぶ》。様態補語“得”の使い方。タクシーの乗り方の表現練習（ペアワーク）
　　事後学習：会話・講読練習ドリル21。50文字作文。（1時間）
第11回：第22課《展覧会》。単純方向補語。美術館等の紹介の表現練習（ペアワーク）
　　事後学習：会話・講読練習ドリル22。50文字作文。（1時間）
第12回：第23課《サッカーの試合》。 挿入語のまとめ。好きな試合についての表現練習（ペアワーク）
　　事後学習：会話・講読練習ドリル23。50文字作文。（1時間）
第13回：第24課《スポーツジム》。 動量補語のまとめ。運動についての表現練習（ペアワーク）
　　事後学習：会話・講読練習ドリル24。50文字作文。（1時間）
第14回：第25課《いいニュース》。二重目的語、使役表現。旅行についての表現練習（ペアワーク）
　　事後学習：会話・講読練習ドリル25。50文字作文。（1時間）

第15回：今学期の内容のまとめ。（発表）
　　事後学習：100文字作文。（１時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）課題練習の成績（30％）平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

１、多音語、軽声を正しく発音することができるか。
２、少々長い中国語訳と日本語訳ができるか。
３、200字程度の作文が書けるか。
４、相手の話を聞き取れる、自分の意思を正確的に伝えられるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

佐藤　晴彦　監修、 徐　送迎　著 『たのしくできる　Ｗｅ　Ｃａｎ！　中国語（初級）』 朝日出版社

その他（受講上の注意）

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用a (Exercises in Information Literacy a)			担当教員	佐々木　裕子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2152	2単位	1年前期・ 2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

オフィスソフトの1つであるWordを採り上げる。例題を基に、その機能や操作方法を理解し、大学生活やビジネス場面においても難なく活用できる能力を獲得することを目指す。

授 業 の 到 達 目 標

オフィスソフトWordに関する知識とその機能を深く理解し、一般社会においても十分な情報活用能力を発揮できるようにマイクロソフト社のOffice Specialist試験（Word2016）や、日本商工会議所の日商PC検定試験2級（文書作成）に合格できる能力レベルを目標としている。

文書作成ソフトを使い、基本的な文書を速やかに作成できる。
さらに、複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書を難なく作成できる。
既存の文書に対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：文書処理に関する資格や検定試験概要、授業の進め方、実力診断用練習問題
　事前学習：情報リテラシーaのテキスト等を読み直し、Wordについて復習しておく（3時間）
　事後学習：練習問題について復習（1時間）
第2回：文書の作成、書式設定p.1～47
　事前学習：テキストp.1～47を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第3回：文章のオプション、印刷、保存p.48～86
　事前学習：テキストp.48～86を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第4回：文字列、段落p.87～121
　事前学習：テキストp.87～121を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第5回：文字列段落の並び替え、表作成p.122～157
　事前学習：テキストp.122～157を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第6回：表の設定、リスト作成・変更p.158～198
　事前学習：テキストp.158～198を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第7回：参考資料の作成と管理、グラフィック要素の挿入p.199～244
　事前学習：テキストp.199～244を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）
第8回：グラフィック要素の書式設定、SmartArt、模擬テストについてp.245～285
　事前学習：テキストp.245～285を読み、Wordを操作に関して予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（2時間）

第９回：総合練習問題１
　　事前学習：模擬テスト問題１を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題１を実行して復習（２時間）
第10回：総合練習問題２
　　事前学習：模擬テスト問題２を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題２を実行して復習（２時間）
第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）　課題（20%）平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

限定した時間内（50分）で、文書作成ソフトウェアWordを使って下記のような処理などができるか。
関連する検定試験（日商PC検定　MOS試験）の合格者については、定期試験の合格と同等以上とする。

文書作成ソフトを使い、基本的な文書を速やかに作成できるか。
複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書を難なく作成できるか。
既存の文書に対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
『MOS攻略問題集 Word 2016』　日経BP　2018年
その他（受講上の注意）
情報リテラシーa　の受講を終えていることを前提とします。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用ｂ (Exercises in Information Literacy b)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2153	2単位	1年後期・ 2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

オフィスソフトの１つであるExcelを採り上げる。例題を基に、その機能や操作方法を理解し、大学生活やビジネス場面においても難なく活用できる能力を獲得することを目指す。

授 業 の 到 達 目 標

オフィスソフトExcelに関する知識とその機能を深く理解し、一般社会においても十分な情報活用能力を発揮できるようにマイクロソフト社のOffice Specialist試験（Excel2016）や、日本商工会議所の日商PC検定試験２級（データ活用）に合格できる能力レベルを目標としている。

表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフを速やかに作成できる。
既存の表やグラフに対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができる。
さらに、複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書への展開ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第１回：授業の進め方、実力診断用練習問題（日商PC検定試験問題）
　　事前学習：情報リテラシーｂのテキスト等を読み直し、Excelについて復習しておく（３時間）
　　事後学習：練習問題について復習（１時間）
第２回：ワークシートやブックの作成・書式設定p.1～46
　　事前学習：テキストp.1～46を読み、Excelを操作に関して予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（２時間）
第３回：ワークシートやブックのオプション、印刷設定p.47～83
　　事前学習：テキストp.47～83を読み、Excelを操作に関して予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（２時間）
第４回：ブックの検査、セルやセル範囲の作成・書式設定p.84～122
　　事前学習：テキストp.84～122を読み、Excelを操作に関して予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（２時間）
第５回：セル書式、データのまとめと整理p.123～166
　　事前学習：テキストp.123～166を読み、Excelを操作に関して予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（２時間）
第６回：テーブル、関数による集計p.167～209
　　事前学習：テキストp.167～209を読み、Excelを操作に関して予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（２時間）
第７回：関数を使用した論理演算、文字列操作、グラフ作成p.210～251
　　事前学習：テキストp.210～251を読み、Excelを操作に関して予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（２時間）
第８回：グラフ書式、オブジェクト、模擬テストについてp.252～274
　　事前学習：テキストp.252～274を読み、Excelを操作に関して予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習（２時間）

第９回：総合練習問題１
　　事前学習：模擬テスト問題１を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題１を実行して復習（２時間）
第10回：総合練習問題２
　　事前学習：模擬テスト問題２を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題２を実行して復習（２時間）
第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）　提出課題（20%）平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

限定した時間内（50分）で、表計算ソフトウェアExcelを使って下記のような処理などができるか。
関連する検定試験（日商PC検定　MOS試験）の合格者については、定期試験の合格と同等以上とする。

表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフを速やかに作成できるか。
既存の表やグラフに対しては、書式の変更や形式変換などの編集・加工ができるか。
複雑な作表や図などを取り込んだビジネス文書への展開ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
『MOS攻略問題集 Excel 2016』　日経BP　2018年
その他（受講上の注意）
情報リテラシーb　の受講を終えていることを前提とします。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習 a (Information Processing Practicum a)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2251	2 単位	2 年前期・ 3 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学はもちろんのこと、一般社会における情報システムの利用者として必要な情報化推進能力を得る。

授 業 の 到 達 目 標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験（iパス）」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。

参考　IT パスポート試験シラバス
（https://www.jitec.ipa.go.jp/1_13download/syllabus_ip_ver3_0.pdf）

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

テキストに従って進めるが、毎授業の15分間程度は演習問題を採りいれる。

第１回：ITパスポート試験の概説、サンプル問題
　　事前学習：テキスト「試験の概要」、「出題範囲」を読み、試験概要について予習する（0.5時間）
　　事後学習：サンプル問題の復習（0.5時間）
第２回：第１章 企業と法務（１）
　　事前学習：テキスト「１-１」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第３回：第１章 企業と法務（２）
　　事前学習：テキスト「１-２」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第４回：第２章 経営戦略
　　事前学習：テキスト「２-１」～「２-３」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第５回：第３章 システム戦略
　　事前学習：テキスト「３-１」～「３-２」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第６回：第４章 開発技術
　　事前学習：テキスト「４-１」～「４-２」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第７回：第５章 プロジェクトマネジメント
　　事前学習：テキスト「５-１」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第８回：第６章 サービスマネジメント
　　事前学習：テキスト「６-１」～「６-２」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）

第９回：第７章 基礎理論（１）
　　事前学習：テキスト「7-1」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第10回：第７章 基礎理論（２）
　　事前学習：テキスト「7-2」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第11回：第８章 コンピュータシステム
　　事前学習：テキスト「8-1」～「8-4」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第12回：第９章 技術要素（１）
　　事前学習：テキスト「9-1」～「9-2」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第13回：第９章 技術要素（２）
　　事前学習：テキスト「9-3」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第14回：第９章 技術要素（３）
　　事前学習：テキスト「9-4」～「9-5」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第15回：第10章 表計算、CBT試験対策
　　事前学習：テキスト「10-1」～「10-3」、「CBT試験対策」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
　　ITパスポート試験疑似体験用ソフトウェアで過去問題を試行（３時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）　演習課題（10%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（インターネット関連企業勤務）

・実務経験と授業内容との関連性
（IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるＩＴ技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。）

テキスト、参考図書

テキスト
『令和２-３年度版 ITパスポート試験 対策テキスト＆過去問題集』 FOM出版　2020年
参考図書
『令和02年 イメージ＆クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室』 技術評論社　2019年
『【令和２年度】いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集』 SBクリエイティブ　2020年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習b (Information Processing Practicum b)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2252	2単位	2年後期・ 3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学はもちろんのこと、一般社会における情報システムの利用者として必要な情報化推進能力を得る。

授 業 の 到 達 目 標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験(iパス)」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。

参考　IT パスポート試験シラバス
(http://www.jitec.ipa.go.jp/1_13download/syllabus_ip_ver3_0.pdf)

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

授業は、ITパスポート試験の過去問題演習に取り組むことを主体とし、前期授業の補足も併せて行う。

第1回：第1章 企業と法務(1)
　事前学習：Lesson01～8を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第2回：第1章 企業と法務(2)
　事前学習：Lesson09～16を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第3回：第2章 経営戦略(1)
　事前学習：Lesson17～22を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第4回：第2章 経営戦略(2)
　事前学習：Lesson23～29を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第5回：第3章 システム戦略
　事前学習：Lesson30～37を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第6回：第4章 開発技術
　事前学習：Lesson38～47を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第7回：第5章 プロジェクトマネジメント、第6章 サービスマネジメント
　事前学習：Lesson48～57を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第8回：第7章 基礎理論(1)
　事前学習：Lesson58～61を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)

第９回：第７章 基礎理論（２）
　　事前学習：Lesson62～65を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第10回：第８章 コンピュータシステム（１）
　　事前学習：Lesson66～74を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第11回：第８章 コンピュータシステム（２）
　　事前学習：Lesson75～83を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第12回：第９章 技術要素（１）
　　事前学習：Lesson84～91を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第13回：第９章 技術要素（２）
　　事前学習：Lesson89～93を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第14回：第９章 技術要素（３）
　　事前学習：Lesson94～101を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第15回：第９章 技術要素（４）
　　事前学習：Lesson102～112を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）　演習課題（20%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（インターネット関連企業勤務）

・実務経験と授業内容との関連性
（IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるＩＴ技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。）

テキスト、参考図書

テキスト
『 令和02-03年 ITパスポート 試験によくでる問題集』 技術評論社　2020年
参考図書
『令和２-３年度版 ITパスポート試験 対策テキスト＆過去問題集』 FOM出版　2020年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須
前期の「情報処理演習a」を受講している者を前提としている。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

キャリア・デザインⅡ （Career Design Ⅱ）			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2261	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果（教育目標）

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会の中での役割を主体的に果たしたながら、「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できる機会の提供を通じて、今後の大学生活の目標を設定する。

授　業　の　到　達　目　標

・「はたらく」ことの意味・意義について、十分に考えることができる。
・「はたらく」ことと大学生活での「学び」を関連づけて考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：キャリア・デザインとは
　事前学習：初回の授業ではキャリア・デザインの意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたライフストーリーについて、レポートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：ライフストーリー①
　事前学習：次回の授業ではゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、自分なりに調べておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：ライフストーリー②
　事前学習：次回の授業ではゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、自分なりに調べておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：ライフストーリー③
　事前学習：次回の授業ではゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、自分なりに調べておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：スキルアップ
　事前学習：次回の授業ではスキルと資格の必要性について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：ライフストーリー④
　事前学習：次回の授業では各自調査したライフストーリーについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：職業理解①
　事前学習：次回の授業では金融業界について考えるため、自分なりに調べておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
※金融業界は予定です（変更する場合があります）。

第８回：職業理解②
事前学習：次回の授業ではマスコミ業界について考えるため、自分なりに調べておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
※マスコミ業界は予定です（変更する場合があります）。

第９回：ライフステージ・イベント
事前学習：次回の授業ではライフステージについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：「はたらく」とは
事前学習：次回の授業では「はたらく」ことの意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：インターンシップ
事前学習：次回の授業では「インターンシップ」参加の意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：就職活動①
事前学習：次回の授業では就職活動の心がまえについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：就職活動②
事前学習：次回の授業では就職活動の心がまえについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：労働法
事前学習：次回の授業では「労働法」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：次回の授業では「はたらく」ことと大学生活での「学び」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物（70％）、出席状況（30％）

成　績　評　価　基　準

・「はたらく」ことの意味・意義について、十分に考えることができるか。
・「はたらく」ことと大学生活での「学び」を関連づけて考えることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（元情報通信会社管理職（人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当））

・実務経験と授業内容との関連性
（情報通信会社で管理職（人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当）経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。）

テキスト、参考図書

必用に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学実験 (Psychological Experiments)			担当教員	山本　雅代、森本　文人、山岸　厚仁、 青井　利哉、田中　千晶
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-F-2205	2単位	2年前期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学が科学であることを理解し、心理的問題をどのように研究していくのか、心理学研究の実験的実証的技法における基本的方法について学ぶ。
受講者はグループごとに、ミューラリヤー錯視、鏡映描写、認知的葛藤、反応時間、触2点閾の測定、系列位置効果などの様々な実験にあたる。(数名のグループに分かれ、順次全6課題の実験を体験する)。また、実験者と被験者の両方の役割を体験する。
　上記テーマについて先行研究などの情報収集を行い、各自で研究目的に従いデータをとり、収集したデータや情報の整理、分析、考察する方法を学ぶ。また、実験ごとにレポートを提出する。これにより卒業論文を書く上で重要な科学論文の形式を習得することを目指す。

授　業　の　到　達　目　標

1)心理学における実験方法や実証方法を習得する。
2)実験結果についての整理、分析や考察ができるようになる。
3)科学論文の執筆ができるようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：授業前にテキストで実験についての知識を学んでおくこと。(1時間)
　事後学習：授業で扱う実験内容についてテキストや関連する本を読んでおく。(1時間)
第2回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中)①　(実験)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第3回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中)②　(実験)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第4回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中)③　(実験)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第5回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中)④　(実験)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第6回：課題2(全5課題：鏡映描写(山岸)・認知的葛藤(青井)・反応時間(森本)・触2点閾の測定(田中)・系列位置効果(山本))①　(実験・グループワーク)
　事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。(1時間)
　事後学習：データを確認、実験についてまとめる。(1時間)

第７回：課題２（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第８回：課題３（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第９回：課題３（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第10回：課題４（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第11回：課題４（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第12回：課題５（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第13回：課題５（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第14回：課題６（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第15回：課題６（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
実験レポートが訂正、返却された場合には必ず見直し、復習すること。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

実験終了後に提出する実験レポート、実験、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【実験レポート 80%　各実験、授業への参加態度 20%】

成　績　評　価　基　準

心理学における実験方法や実証方法を習得できているか。
実験結果についての整理、分析や考察ができているか。
科学論文の執筆ができているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

（1）『心理学論文の書き方』 松井豊　河出書房新社　2010年
（2）『実験とテスト＝心理学の基礎（実習編）』 心理学実験市道研究会　培風館　1985年
その他、授業時プリント配布

その他(受講上の注意)

第1回目の授業（オリエンテーション）は必ず閲覧すること。受講に際しての注意事項があります。
実験ごとに課題の提出、レポート提出があります。各教員の指示に従って提出して下さい。またレポートの提出期限は必ず守ること。再提出等の指示がありますので連絡事項には注意して下さい。連絡を直接メールで行うことがありますので、自分の携帯アドレスを変更した場合には必ず大学に登録したアドレスも変更して下さい。
実験や実験の分析について分からないことが有る場合、先生に質問することは勿論ですが、ヘルプデスクを利用して下さい。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理測定実習 (Practice of Psychological Measurement)			担当教員	大森　慈子、森本　文人、山岸　厚仁、 伏田　幸平
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-F-2206	2単位	2年後期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心の測定における実験の意義を学習すると同時に、少人数グループで基本的な心理学実験をすることによって、心と行動を測定する際の様々な問題にふれる。また、レポートの作成を繰り返すことによって、測定結果を科学的事実として報告する方法を習得する。

授 業 の 到 達 目 標

■心理学実験の基礎的技術を身につける
■測定データに対する分析方法や考察のしかたを理解する
■心理学における科学的論文の書き方を習得する

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：「心理学実験」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
　事後学習：レポート作成マニュアルを熟読し、「心理学実験」で返却されたレポートを書き直す（1時間）
第2回：課題1（心的回転、または、対人距離）①
　事前学習：課題1に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題1レポートの「第1章　序論」を書く。（1時間）
第3回：課題1（心的回転、または、対人距離）②
　事前学習：課題1の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題1レポートの「第2章　方法」を書く。（1時間）
第4回：課題1（心的回転、または、対人距離）③
　事前学習：課題1の結果のデータを整理しておくこと。（1時間）
　事後学習：課題1レポートの「第3章　結果」を書く。（1時間）
第5回：課題1（心的回転、または、対人距離）④
　事前学習：課題1の結果から考察をし、まとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題1レポートを仕上げる。（1時間）
第6回：課題2（対人距離、または、心的回転）①
　事前学習：課題2に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題2レポートの「第1章　序論」を書く。（1時間）
第7回：課題2（対人距離、または、心的回転）②
　事前学習：課題2の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題2レポートの「第2章　方法」を書く。（1時間）
第8回：課題2（対人距離、または、心的回転）③
　事前学習：課題2の結果のデータを整理しておくこと。（1時間）
　事後学習：課題2レポートの「第3章　結果」を書く。（1時間）
第9回：課題2（対人距離、または、心的回転）④
　事前学習：課題2の結果から考察をし、まとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題2レポートを仕上げる。（1時間）

第10回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）①
　　事前学習：課題３に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートの「第１章　序論」を書く。（１時間）
第11回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）②
　　事前学習：課題３の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートの「第２章　方法」を書く。（１時間）
第12回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）③
　　事前学習：課題３の結果のデータを整理しておくこと。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートの結果の図表を仕上げる。（１時間）
第13回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）④
　　事前学習：課題３の検定結果の解釈をし、質問項目をまとめておくこと。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートの「第３章　結果」を書く。（１時間）
第14回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）⑤
　　事前学習：課題３の結果から考察をし、まとめておくこと。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートの「第４章　考察」を書く。（１時間）
第15回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）⑥
　　事前学習：課題３の全体の流れを再確認し、レポートの書き方の見直しをしておく。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートを仕上げる。（１時間）

＜第１回は全教員、第２ - 15回は４グループに分かれて、それぞれを大森・森本・山岸・伏田が担当＞
＜課題１～２は２つの課題を各４週行い、課題３は４つの中から学生が１課題を選択し６週間実施する＞

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：面接授業
第２回：面接授業
第３回：面接授業
第４回：面接授業
第５回：面接授業
第６回：面接授業
第７回：面接授業
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

４課題に対するレポート（60%）　平常点（40%）
（平常点は、必要回数以上の授業への出席に対し、参加状況と態度、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

■心理学実験の基礎的技術が身についているか
■測定データに対する分析方法や考察のしかたを理解しているか
■心理学における科学的論文の書き方を習得しているか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
＜参考図書＞ 日本心理学会認定心理士資格認定委員会「実験・実習で学ぶ心理学の基礎」（金子書房） 心理学実験指導研究会編「実験とテスト－実習編－」（培風館）
その他（受講上の注意）
■心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、心理学実験の単位を修得していること ■原則として、遅刻、欠席およびレポート提出の遅延は認めない
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理的アセスメント (Psychological Assessment)			担当教員	森　俊之
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2209	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理的アセスメント（観察法、面接法、検査法）の基礎について、講義と演習を交えながら学ぶ。心理的アセスメントの目的や意義、倫理等について学んだ後、具体的な演習を交えながら、観察法、面接法、検査法について学ぶ。実習した内容については、実習結果をまとめるレポート提出が課せられ、レポートの書き方についても、学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

・心理的アセスメントの目的や意義、倫理等について説明できる。
・心理的アセスメントの主要な方法について、それぞれの方法の意義や特徴、限界等について説明できるとともに、基礎的なアセスメント方法の一部を実施できる。
・心理的アセスメントの結果の記録や報告ができる。
・自分自身の性格や話し方の特徴などを多角的に分析し、説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：心理的アセスメントの目的、意義、倫理
　　事後学習：「日常におけるアセスメント」というレポートをまとめる（4時間）
第2回：観察法の理解①（講義）
　　事後学習：授業で学んだ観察法のポイントをまとめる（4時間）
第3回：観察法の理解②（実習）
　　事後学習：授業中の作業の続きを行う（4時間）
第4回：観察法の理解③（実習）
　　事後学習：授業で体験した観察実習の結果をレポートにまとめる（4時間）
第5回：面接法の理解①（講義）
　　事後学習：授業で学んだ面接法のポイントをまとめる（4時間）
第6回：面接法の理解②（実習）
　　事後学習：授業中の作業の続きを行う（4時間）
第7回：面接法の理解③（実習）
　　事後学習：授業で体験した面接実習の結果をレポートにまとめる（4時間）
第8回：心理検査法（講義）
　　事後学習：心理検査の妥当性・信頼性についてレポートをまとめる（4時間）
第9回：知能検査の理解①（講義）
　　事後学習：授業で学んだ検査を表にまとめる（4時間）
第10回：知能検査の理解②（実習）
　　事後学習：授業で体験した知能検査の結果をレポートにまとめる（4時間）
第11回：質問紙人格検査の理解①（講義）
　　事後学習：授業で学んだ検査を表にまとめる（4時間）
第12回：質問紙人格検査の理解②（実習）
　　事後学習：授業で体験した心理検査の結果をレポートにまとめる（4時間）
第13回：投映法その他の心理検査の理解①（講義）
　　事後学習：授業で学んだ検査を表にまとめる（4時間）

第14回：投映法その他の心理検査の理解②（実習）
　　事後学習：授業で体験した心理検査の結果をレポートにまとめる（4時間）
第15回：テストバッテリと総合的理解（講義）
　　事後学習：授業で学んだテストバッテリのポイントをまとめる（4時間）
第16回：期末試験
※各回（最終回を除く）とも授業の前半に、前回の授業後の事後学習の内容についての振り返り（数人の学生による発表を含む）を行う。（グループワーク）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：面接授業
第8回：面接授業
第9回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

授業後に課す課題をレポート（60%）として提出してもらうとともに、学期末に筆記試験（40%）を行い、両者により評価する。実習を伴うため、出席状況や受講態度が悪い場合は、厳しく減点する。

成　績　評　価　基　準

・さまざまな心理検査の種類を理解し、それぞれの検査の効用と限界について説明できるか。
・課題として取り上げた心理検査について、実施手順や分析手順を理解し、一通り実施できるか。
・自分自身の性格について多角的に分析し、他者に説明できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）

・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、心理的アセスメントの基礎について、その目的や意義、倫理などを解説する。）

テキスト、参考図書

＜テキスト＞願興寺礼子・吉住隆弘編「心理検査の実施の初歩」（ナカニシヤ出版、2011年発行）
そのほか、各検査毎に必要な資料を配付したり、参考図書を指示する。

その他（受講上の注意）

・実習を含むので、出席と熱心な受講態度を期待する。
・自分自身の性格等の自己開示が必要な場合がある。
・心理検査の学習者・実施者の倫理（授業時に説明）を守り、検査の知識を安易に使用しないこと。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理調査法 (Psychological Questionnaire Methods)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2211	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学の研究手法である質問紙調査法について理解し、実際の質問紙調査を通じて、調査票の作成から統計解析ソフトでの分析方法、レポートの書き方までを修得する。

授 業 の 到 達 目 標

①質問紙調査法の基礎的知識を習得する
②コンピュータを利用して基本的な統計解析を行うことができる。
③解析結果を基に，レポート（目的・方法・結果・考察）を作成できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（実際に調査を実施する）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション序章（質問紙法とは）
　事前学習：授業前にテキスト1の序章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業の内容を見直し，わからないところがあったら，図書館で調べたり，オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること（2時間）
第2回：質問紙作成の基礎1
　事前学習：授業前にテキスト1の1章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第3回：質問紙作成の基礎2
　事前学習：授業前にテキスト1の1章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第4回：質問紙法の実施方法
　事前学習：授業前にテキスト1の2章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第5回：コーディングと入力
　事前学習：授業前にテキスト1の3章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第6回：心理尺度の作成（信頼性・妥当性）
　事前学習：授業前にテキスト1の4章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第7回：量的資料収集のための質問紙の作成
　事前学習：授業前にテキスト1の5章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第8回：質的資料収集のための質問紙の作成
　事前学習：授業前にテキスト1の6章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第9回：心理尺度の作成（質問紙調査の実施）
　事前学習：授業前にテキスト1の7章を読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）

第10回：データの処理法：質的データの集計
　　事前学習：授業前にテキスト１の８章を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第11回：データの処理法：平均値の比較１
　　事前学習：授業前にテキスト１の９章１を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第12回：データの処理法：平均値の比較２
　　事前学習：授業前にテキスト１の９章２を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第13回：データの処理法：相関分析１
　　事前学習：授業前にテキスト１の10章１を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第14回：データの処理法：相関分析２
　　事前学習：授業前にテキスト１の10章２を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第15回：レポートの書き方
　　事前学習：事前に配布された資料を読み，質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）

本講義では実際に質問紙調査を行い，収集したデータを基に統計的分析やレポート（目的・方法・結果・考察）の書き方について学び，最終的にレポートの提出を求める。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業で課された小テストの内容（30%），課題レポートの内容（70%）により，総合的に評価をします

成　績　評　価　基　準

①質問紙調査法の基礎的知識を充分習得している。
②コンピュータを利用して基本的な統計解析を行うことができ，その解析方法が適切である。
③解析結果を基にレポート（目的・方法・結果・考察）を作成することができ，その内容が適切である。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他（授業内容に応じて提出を求める課題に対するフィードバックについて）
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト：鎌原雅彦・宮下一博・大野木裕明・中澤潤（編著）心理学マニュアル・質問紙法　北大路書房　2006年 参考文献：米川和雄・山崎貞政（著）超初心者向けSPSS統計解析マニュアル　北大路書房　2017年 小塩真司・西口利文（編）「質問紙調査の手順」ナカニシヤ出版　2014年
その他（受講上の注意）
授業時間以外にも，統計解析やレポート作成等の学習が必要になります。 各自，自律的・積極的に学習することが求められます。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

臨床心理学概論Ⅰ (Introduction to Clinical Psychology Ⅰ)			担当教員	稲木　康一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2221	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

臨床心理学の概説。
臨床心理学のなりたちと、臨床心理学の代表的な理論について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

臨床心理学のなりたちと代表的な理論について理解し、その概要を説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（eラーニング、リアクションペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（リアクションペーパー）
　事前学習：シラバスを熟読すること。（2時間）
　事後学習：テキストを購入して、「巻頭言」「はじめに」を読むこと。（2時間）
第2回：臨床心理学の歴史（日本）
　事前学習：テキスト第1章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第3回：臨床心理学の歴史（世界）
　事前学習：テキスト第2章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第4回：臨床心理学の定義
　事前学習：テキスト第3章を読むこと。（2時間）
　事後学習：What is Clinical Psychology？（テキストP.33）を翻訳すること。また、復習テストの準備をすること。（2時間）
第5回：臨床心理学の理論①（精神分析1）（復習テスト①）
　事前学習：テキスト第4章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第6回：臨床心理学の理論②（精神分析2）（復習テスト①のフィードバック）
　事前学習：テキスト第4章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第7回：臨床心理学の理論③（分析心理学1）
　事前学習：テキスト第5章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第8回：臨床心理学の理論④（分析心理学2）
　事前学習：テキスト第5章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第9回：臨床心理学の理論⑤（行動論・認知論1）
　事前学習：テキスト第6章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第10回：臨床心理学の理論⑥（行動論・認知論2）
　事前学習：テキスト第6章を読むこと。また、復習テストの準備をすること。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）

第11回：臨床心理学の理論⑦（人間性心理学１）（復習テスト②）
　　事前学習：テキスト第７章を読むこと。（２時間）
　　事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第12回：臨床心理学の理論⑧（人間性心理学２）（復習テスト②のフィードバック）
　　事前学習：テキスト第７章を読むこと。（２時間）
　　事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第13回：臨床心理学の理論⑨（コミュニティ・アプローチ）
　　事前学習：テキスト第10章を読むこと。（２時間）
　　事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第14回：臨床心理学の理論⑩（統合的アプローチ）
　　事前学習：テキスト第13章を読むこと。（２時間）
　　事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第15回：「臨床心理学」の各領域に関するまとめと定期試験対策
　　事前学習：ｅラーニングを活用して、職能団体のHPを閲覧すること。（２時間）
　　事後学習：ｅラーニングを活用して、職能団体のHPを閲覧すること。（２時間）
第16回：定期試験（Moodleで実施）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）、復習テスト（20%）、平常点（20%）
定期試験は指定持込用紙の持込を可とします。
復習テスト（授業時の課題に相当します）の内容は授業中に指示します。
平常点は受講態度（ｅラーニングの閲覧状況を含む）やリアクション・ペーパーの提出状況などで総合的に判断します。

成　績　評　価　基　準

臨床心理学のなりたちと代表的な理論に関して、重要な用語や概念を理解し説明することができる。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）

・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、心理臨床現場において基礎となる臨床心理学のなりたちと代表的な理論について講義する。）

テキスト、参考図書
「臨床心理学概論」 野島一彦・岡村達也（編） 遠見書房 2,400円＋税 ISBN：978-4-86616-053-5
その他（受講上の注意）
eラーニングを活用します。 eラーニングに投稿があったとき、携帯電話に情報が転送されるように設定してください。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

臨床心理学概論Ⅱ (Introduction to Clinical Psychology Ⅱ)			担当教員	稲木　康一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2222	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

各領域における心理療法（心理学的支援法）の心理学的臨床実践事例を学習する。
また、臨床実践における留意点を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応を概説できる。
地域支援の意義、良好な人間関係の築き方、プライバシーへの配慮、要支援者の関係者に対する支援、心の健康教育について概説できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（eラーニング、リアクションペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション・復習テスト①（リアクションペーパー）
　事前学習：「臨床心理学Ⅰ（「臨床心理学概論Ⅰ）」の内容を復習すること。（2時間）
　事後学習：同上。（2時間）
第2回：精神分析療法（代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界）
　（eラーニング・復習テスト①のフィードバック）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第3回：行動療法（代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第4回：来談者中心療法（代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第5回：受理面接：ラポール・主訴・経過の聴き方（良好な人間関係を築くコミュニケーション）
　援助構造・面接記録・守秘義務（プライバシーへの配慮）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：復習テスト②の準備をすること（2時間）
第6回：医療①：抑うつに対する認知行動療法・復習テスト②
　事前学習：復習テスト②の準備をすること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第7回：医療②：抑うつに対する認知行動療法（プライバシーへの配慮と多職種連携）
　（復習テスト②のフィードバック）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第8回：産業①：バーンアウトに対する評価と介入
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）

第９回：産業②：バーンアウトに対する評価と介入（論理情動行動療法にもとづく心の健康教育）
事前学習：日常生活において、バーンアウトの事例を探すこと。（２時間）
事後学習：日常生活において、不合理な信念の事例を探すこと。（２時間）
第10回：教育①：スクールカウンセリングの実際（良好な人間関係を築くコミュニケーション）・復習テスト③
事前学習：復習テスト③の準備をすること。（２時間）
事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（２時間）
第11回：教育②：スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー（要支援者の関係者への支援）
事前学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（２時間）
第12回：教育③：教室で使える心理アセスメント（心理アセスメント適用と倫理）
事前学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（２時間）
第13回：福祉①：ぜんそく予防の応用行動分析（地域支援の意義）
事前学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
事後学習：定期試験の準備を始めること。（２時間）
第14回：福祉②：ぜんそく予防の応用行動分析（心の健康教育）
事前学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
事後学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
第15回：「臨床心理学」の各領域の心理学的臨床実践に関するまとめと定期試験対策
事前学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
事後学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート試験（60%）、復習テスト（30%）、平常点（10%）
レポート試験はｅラーニングに問題用紙と解答用紙を配信します。
解答用紙に解答を記入のうえ、ｅラーニングに提出して頂きます。
第１回目の冒頭に、「臨床心理学Ⅰ（臨床心理学概論Ⅰ）」の内容について復習テストを行います。
復習テスト（授業時の課題に相当します）の内容は授業中に指示します。
平常点は受講態度（ｅラーニングの閲覧状況を含む）、リアクションペーパーの提出状況などで総合的に評価します。

成　績　評　価　基　準

講義で取り上げた心理療法について説明できる。
地域支援の意義、良好な人間関係の築き方、要支援者の関係者に対する支援、心の健康教育について理解できる。
また、プライバシーへの配慮と関係者との情報共有のかねあいについて意見を持つ。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）

・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、心理臨床現場において基礎となる臨床心理学のなりたちと代表的な理論について講義する。）

テキスト、参考図書

スライド資料や参考資料をｅラーニングに掲載します。

その他(受講上の注意)

ｅラーニングを活用します。
ｅラーニングに投稿があったとき、携帯電話に情報が転送されるように設定してください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

健康・医療心理学 (Health and Medical Psychology)			担当教員	渡辺　克徳
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2223	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

健康・医療心理学の基礎的かつ一般的な知識を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

公認心理師をはじめ心理職が保健医療領域で行う業務について理解し必要な知識を習得する。

授 業 の 到 達 目 標

健康・医療心理学の基本を説明することができる。
保健医療領域における心理職の専門性とその業務について説明することができる。
チーム医療の一員として心理職に期待されている事柄について説明することができる。
公認心理師が身につけておくべき事柄について説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：健康心理学
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：健康心理学におけるアセスメントと支援
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：ストレスマネジメント
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：各種の心理支援法
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
　小レポート課題（健康心理学のまとめ）
第5回：医療心理学
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：医療心理学におけるアセスメントと支援
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：精神科，児童精神科
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：院内型独立型心理室
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：心療内科
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：小児科
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：緩和医療
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：産業保健
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：地域保健活動の実際
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：災害心理学
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：多職種協働と医療連携
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

小レポート+最終レポート（85％）平常点（15％）
（平常点は、授業への参加状況・理解度チェックQ and Aで評価します。）

成　績　評　価　基　準

公認心理師が身につけておくべき健康心理学と医療心理学について説明することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（Moodleのフォーラム機能を用いていつでも疑問・質問に対応　）
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）

・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、心理職が保健医療領域で行う業務と専門性について講義する。）

テキスト、参考図書

宮脇稔・大野 太郎・藤本 豊・松野 俊夫『健康・医療心理学』医歯薬出版株式会社，2018
ISBN-13：978-4263265772

その他(受講上の注意)

講義は公認心理師養成カリキュラムに対応しています。日本心理学会が公開している大学カリキュラム・標準シラバス等も参考に学習してください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

発達心理学Ⅰ (Developmental Psychology Ⅰ)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2227	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

1．本講義では，人生の前半期（胎児期から児童期）の身体的変化および心理的変化について学ぶ。
2．生涯発達に関する主要理論について学ぶ。
3．発達心理学を科学的に研究する方法について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

・人間の生涯を通して展開される発達について理解する視点を獲得する。
・誕生から児童期までの各発達段階の特徴と心理的問題を説明することができる。
・多様な生き方を理解し，互いに認め合う態度を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：生涯発達心理の概要について
　事前学習：シラバスを読み，発達心理学の授業について理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第2回：発達の主要理論
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第3回：発達心理学の研究方法（発達メカニズムを解明する方法と発達過程を記述する方法）
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第4回：発達の規定要因（遺伝要因，環境要因，相互作用）
　事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第5回：乳児期の発達①（身体と運動機能）
　事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第6回：乳児期の発達②（知覚能力）
　事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）

第７回：乳児期の発達③（愛着・親子の心の絆）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第８回：主な発達理論のまとめと中間試験
事前学習：第１回目から７回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし，中間試験に臨むこと（２時間）
事後学習：中間試験問題を持ち帰り，自己採点をして間違った解答について復習をすること（２時間）
第９回：幼児期の発達①（言語とコミュニケーション）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：幼児期の発達②（遊び）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第11回：児童期の発達①（認知）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第12回：児童期の発達②（記憶と思考）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第13回：児童期の発達③（自己・自我）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第14回：児童期の発達④（社会性）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第15回：発達に関連する問題
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）

授業の進み方は，内容により前後することがあります。必ず授業に出席し，授業内容と配布するプリントに基づき，復習として各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

成績評価には，①授業毎に課される小テストまたは課題の内容（90%），②まとめの課題レポートの内容（10%）で総合的に評価をする。

成　績　評　価　基　準

・人間の生涯を通して展開される発達について，生涯発達的視点から理解しているか。
・誕生から児童期における各発達の特徴と心理的問題を説明することができるか。
・これまでの自分自身や他者の生き方をみつめ直し，生涯発達心理学の視点から考察できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

授業ごとに資料を配付する
テキストは特に設けない

その他（受講上の注意）

毎回の講義に小レポートの提出を課すので，必ず講義に出席し小レポートを提出すること。講義では，自分の意見をまとめ表現できるよう，心がけてほしい。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

発達心理学Ⅱ (Developmental Psychology Ⅱ)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2228	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

1．本講義では，人生の後半期（青年期から高齢期）の身体的変化および心理的変化について学ぶ。
2．身体的な加齢と，心理的変化との関係について学ぶ。
3．社会的変化が個人の発達にどのように影響するのかについて学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

①生涯を通して展開される発達について理解し解説できる
②青年期から成人後期までの各発達段階の特徴と心理的問題を説明することができる。
③多様な生き方について知識を習得し，心理的支援の方法について考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：青年期から成人後期にかけての発達の特徴
　事前学習：事前に青年期の発達に関する書籍を読み，あらかじめ疑問点などをまとめて授業に臨むこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第2回：青年期の発達①　青年期の心理の特徴
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第3回：青年期の発達②　自我アイデンティティの確立
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第4回：青年期の発達③　職業選択
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第5回：青年期の発達④　セクシュアリティ
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）

第６回：成人初期の発達①　恋愛
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第７回：成人初期の発達②　結婚
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第８回：青年期から成人初期のまとめと中間評価
事前学習：第１回目から７回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし，中間試験に臨むこと（２時間）
事後学習：中間試験問題を持ち帰り，自己採点をして間違った解答について復習をすること（２時間）
第９回：成人初期の発達③　　子育て
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：成人中期の発達①　　中年期の危機とライフサイクル
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第11回：成人中期の発達②　身体的機能の衰退と社会活動
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第12回：成人中期の発達③　認知機能と記憶の加齢変化
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第13回：成人後期の発達①　超高齢社会
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第14回：成人後期の発達②　喪失と死
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第15回：成人後期の発達③　サクセスフルエイジング
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）

授業の進み方は，授業内容により前後することがあります。必ず授業に出席し，授業内容と配布するプリントに基づき，復習として各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

成績評価には，①各回の講義で課される小テストまたは課題（90%），②まとめの課題レポート（10%）で総合的に評価をする。

成　績　評　価　基　準

①生涯を通して展開される発達について，どの程度正しく理解し適切に解説できるのか
②青年期から成人後期までの各発達段階の特徴と心理的問題について，どの程度適切に説明するできるのか
③多様な生き方について，どの程度正しく知識を習得し，心理的支援の方法について考えることができるのか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

参考文献：鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ（著）生涯発達心理学・有斐閣アルマ・2016年・ISBN978-4-641-2207-4
参考文献：佐藤眞一・高山緑・増本康平（著）老いのこころ・有斐閣アルマ・2014年・ISBN978-4-641-22016-4

その他（受講上の注意）

第一回目の講義内で、受講の方法や課題、課題の評価について説明する。必ず第一回目の講義から出席すること。講義では，毎回小テストや課題を課しそれを評価の対象とするので、講義は必ず受講すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

知覚・認知心理学 (Psychology of Perception and Cognition)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2230	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

知覚および記憶・言語・思考などの人間の認知に関するトピックについて学ぶ。認知心理学とは、環境との対応と環境に対する働きかけ、あるいは他者とのコミュニケーションといった、我々が生活していく上でその根幹となる機能について考えていく領域である。現象としてではなく、認知に関する理論や研究法について考察し、日常生活や社会における問題解決能力を身につけることを目指す。

授　業　の　到　達　目　標

・知覚・認知に関する理論について理解できる。
・知覚・認知に関する研究法について考察することができる。
・他者とのコミュニケーションを円滑にする方法を考えることができる。
・知覚・認知に関する知識をもとに、日常生活や社会における問題を考えることができる。
・発達障害における知覚・認知の問題について理解できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：認知心理学とは
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第2回：知覚［1］
　事前学習：錯視の例を調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第3回：知覚［2］
　事前学習：奥行知覚について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第4回：知覚［3］
　事前学習：聴覚について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第5回：注意
　事前学習：カクテルパーティー効果について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第6回：注意と発達障害
　事前学習：発達障害について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第7回：記憶［1］記憶の基本過程
　事前学習：記憶の2過程説について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）

第８回：記憶［２］短期記憶とワーキングメモリー
事前学習：「不思議な数字７±２」について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第９回：記憶［３］長期記憶（意味記憶、エピソード記憶、手続記憶）
事前学習：タルビングの記憶区分について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第10回：知識と記憶
事前学習：処理水準説について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第11回：スキーマとメタ記憶
事前学習：スキーマとメタ記憶について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第12回：言語の理解
事前学習：言語理解について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第12回：記憶・言語と発達障害
事前学習：言語発達の遅れを示す障害について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第13回：概念と推理
事前学習：概念獲得の研究を調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第14回：思考と問題解決
事前学習：問題解決について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：これまでの講義内容でわからないところをまとめ、講義中に質問すること。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回提出する課題（50%）、期末レポート（50%）

成 績 評 価 基 準

・知覚・認知に関する理論について説明することができるか。
・知覚・認知に関する研究法について考察することができるか。
・他者とのコミュニケーションを円滑にする方法を考えることができるか。
・知覚・認知に関する知識をもとに、日常生活や社会における問題を考えることができるか。
・発達障害における知覚・認知の問題について理解することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキストは使用せず適宜プリントを配布する。

その他(受講上の注意)

授業には積極的に参加し、指示された課題を提出ください。課題の提出をもって出席とします。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

神経・生理心理学 (Neuro and Psysiological Psychology)			担当教員	水田　敏郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2231	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

人を含めた動物全般の心的活動には脳が大きくかかわっています。この授業では、様々な心理機能の基盤となる脳を中心とした生理学的メカニズムを理解するために、前半では脳や身体の基本構造と働きについて、後半では心的活動と関連の深い生理的活動について、そのアプローチ法とともに解説します。

授 業 の 到 達 目 標

脳の基本構造と働きについて理解する。生理心理学的アプローチの基本について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（（学生は毎授業での疑問点や関心事、意見をe-ラーニング上に書き込み、それを集約して2週後にフィードバックすることを繰り返す）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（授業の進め方と概要）
　事前学習：「心理学概論」で学んだ生理学的心理学の内容について復習する。（2時間）
　事後学習：次回分のプリントについて熟読し、質問をまとめておく。（2時間）
第2回：脳の構造①
　事前学習：第2回分のプリント（神経の分類）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第2回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第3回：脳の構造②
　事前学習：第3回分のプリント（中枢神経系の構造）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第3回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第4回：脳の信号①：神経細胞のはたらき
　事前学習：第4回分のプリント（神経細胞の機能）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第5回：脳の信号②：神経系のはたらき
　事前学習：第5回分のプリント（神経細胞の機能と発達）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第6回：知覚のメカニズム
　事前学習：第6回分のプリント（知覚の生理学的基盤と障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第6回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第7回：記憶の脳内メカニズム
　事前学習：第7回分のプリント（記憶の生理学的基盤と障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第7回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第8回：学習の脳内メカニズム①
　事前学習：第8回分のプリント（学習の種類とその生理学的基盤）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第8回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第9回：学習の脳内メカニズム②
　事前学習：第9回分のプリント（学習の生理学的基盤とその障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第9回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）

第10回：情動がおこる仕組み①
事前学習：第10回分のプリント（情動の生理学的基盤）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第10回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第11回：情動がおこる仕組み②
事前学習：第11回分のプリント（情動の生理学的基盤とその障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第11回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第12回：睡眠・覚醒の神経メカニズム
事前学習：第12回分のプリント（睡眠・覚醒の神経メカニズムとその障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第12回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第13回：生理心理学の応用①（グループワーク）
事前学習：第13回分のプリント（意識・注意の生理心理学的メカニズムとその障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第13回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第14回：生理心理学の応用②
事前学習：第14回分のプリント（臨床心理学との接点）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第14回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第15回：生理心理学に関するまとめ
事前学習：各回分のプリント全体の整理と質問項目をまとめておく（２時間）
事後学習：第15回で解説したの内容について、整理しておく（２時間）
第16回：定期試験

各回の講義を受講した後、当該部分の配布資料をよく読んで復習してください。また、予習にあたっても次の授業の内容部分をよく見て、疑問点などをもって授業に臨んでください。事後学習で整理された質問については、次の授業回でグループワークをして整理し、授業の初めに議論したいと思います。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）　平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況、質問用紙の提出状況などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

脳の基本構造と働きについて説明することができるか。生理心理学的アプローチの基本について説明することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。資料の取得方法については、その都度指示します。
参考図書：「生理心理学と精神生理学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻　堀忠雄・尾崎久記監修　北大路書房（2017）
「生理心理学」 岡田隆　廣中直行・宮本孝史　サイエンス社（2005）

その他(受講上の注意)

身体と心の関係に対する基礎的な理解ができます。実験的な心理学研究に関心のある方には受講をすすめます。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会・集団・家族心理学Ⅰ (Social, Group and Family Psychology Ⅰ)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2235	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

人間の社会的行動について心理学の立場から解説する。
社会・集団・家族心理学Ⅰでは、社会の中の個人に注目し、自己意識、自己概念がどのように形成され、また個人が他者をどのように認知、理解し、自己の行動を表出させるのか、といった問題について解説する。
授業ではできるだけ実社会で起こっている現象をとりあげ社会心理的視点から理解していくことをめざす。

授　業　の　到　達　目　標

(1)社会心理学における基本的な概念について理解する。
(2)集団の中の個人の行動を理解する。
(3)現実社会での個人の行動を理解し、研究と結び付けて考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(ICT(Googleフォームを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：社会心理学について(ICT)
　事前学習：授業前に社会心理学についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと(2時間)
第2回：自己について(1)(ICT)
　事前学習：授業前に「自己・自己概念」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第3回：自己について(2)(ICT)
　事前学習：授業前に「自己・客体的自覚・没個性化」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第4回：社会的比較(ICT)
　事前学習：授業前に「社会的比較」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第5回：自己呈示について(ICT)
　事前学習：授業前に「自己呈示」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第6回：動機づけについて(ICT)
　事前学習：授業前に「動機づけ」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第7回：社会的動機(1)(ICT)
　事前学習：授業前に「社会的動機」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第8回：社会的動機(2)(ICT)
　事前学習：授業前に「社会的動機」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第9回：欲求不満・情動(ICT)
　事前学習：授業前に「欲求不満・情動」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)

第10回：対人認知（ICT）
　　事前学習：授業前に「対人認知」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第11回：対人魅力（１）（ICT）
　　事前学習：授業前に「対人魅力」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第12回：対人魅力（２）（ICT）
　　事前学習：授業前に「対人魅力」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第13回：対人魅力（３）（ICT）
　　事前学習：授業前に「対人魅力」関連についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第14回：対人魅力（４）（ICT）
　　事前学習：授業前に「対人魅力」関連についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：各講義における手書きノートを作るなどすることが望ましい（２時間）
第15回：まとめ確認テスト（ICT）
　　事前学習：各講義における手書きノートを作るなどすること（２時間）
　　事後学習：分からなかったポイントについてまとめておく（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題・小テスト、課題レポート、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【確認テスト50%　　課題・レポート・授業への参加態度50%】

成　績　評　価　基　準

社会心理学の基本的概念について説明できるか。
集団の中の個人の行動を理解できているか。
現実社会での個人の行動を理解し、研究と結び付けて考えることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

授業中に適宜資料を配布する。

その他（受講上の注意）
毎回課題の提出を求める。提出には、ムードルやGoogleフォームなどを使用する（各講義において指定）かならず提出すること。 回収後の結果について講義内にて提示し、内容について考察することがある。講義内容と自らの行動について結び付け理解を深めてください。 提出課題に遅延した場合、提出物は受け取るが、減点の対象となる。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会・集団・家族心理学Ⅱ (Social, Group and Family Psychology Ⅱ)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2236	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

人間の社会的行動について心理学の立場から解説する。
社会・集団・家族心理学Ⅱでは、社会の中の個人、集団の中の個人に注目して授業を行う。
現実社会で起こる様々な人間行動について過去の実験や研究を紹介しながら解説していく。
主なテーマは、社会的動機、集団や群衆行動、リーダーシップ、援助行動、攻撃行動、同調と服従などである。
また特別講義として、模擬社会ゲームに参加してもらうこととする。模擬社会ゲームは社会でおこる様々な現象や構造を理解するゲームであり、これに参加することにより大学生活ではあまり遭遇しない社会、集団の概念を理解し、心理的葛藤、集団間葛藤等を体験し、問題解決能力を向上させることができる。このような社会生活に近い体験学習を通じ人間の行動に対する理解をより深め、社会や社会の中の一部である自己を探求し、自己成長することを目指す。

授　業　の　到　達　目　標

1）社会心理学における基本的な概念について理解する。
2）集団葛藤やコミュニケーションスキルについて理解する。
3）日常生活における対人間、集団間の心理学的法則について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ICT（Googleフォームを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：授業について（ICT）
　事前学習：授業前に「環境や状況と心理学」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第2回：個人と集団（ICT）
　事前学習：授業前に「集団とは何か」関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第3回：集団討議・凝集性（ICT）
　事前学習：授業前に「凝集性」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第4回：集団意思決定（ICT）
　事前学習：授業前に「意思決定」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第5回：リーダーシップ（ICT）
　事前学習：授業前に「リーダーシップ」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第6回：同調と服従（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「同調」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第7回：同調と服従（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「服従」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）

第８回：囚人と看守実験（ICT）
　　事前学習：授業前に「役割取得」について関連する本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第９回：ジンバルド――トーク（ICT）
　　事前学習：授業前に「ジンバルド――」について関連する本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第10回：流言（１）（ICT）
　　事前学習：授業前に「流言」について今までに流行した流言についてまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第11回：流言（２）（ICT）
　　事前学習：授業前に「実際におこったうわさに関する事件」について調べること（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第12回：パニック行動（ICT）
　　事前学習：授業前に「パニック行動」関連ついての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第13回：集団環視（ICT）
　　事前学習：授業前に「他者の影響」について調べておくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第14回：援助行動（ICT）
　　事前学習：授業前に「援助行動、災害、防災意識」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第15回：まとめと小テスト（ICT）
　　事前学習：各講義における手書きノートを作るなどすること（２時間）
　　事後学習：分からなかった部分についてまとめる（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業中に実施する課題・小テスト、課題レポートを総合的に判断し評価する。
【小テスト50%　　課題レポート50%】

成　績　評　価　基　準

社会心理学における基本的概念について説明できるか。
集団葛藤やコミュニケーションスキルについて説明できるか。
日常生活における対人間、集団間の心理学的法則について理解できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
授業中に資料配布。
その他（受講上の注意）
最初にTeamsへの登録をお願いします。 基本的に講義形式で行う。より理解を深めるために必要に応じてVTR視聴、自己分析を実施する。その際、レポート課題の提出を求めることがある。 講義中にQRコードを読み取り、回答を送信するシステムを利用し（googleフォーム）、受講者の実際の行動について回答を求めることがある。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

産業・組織心理学Ⅰ (Industrial and Organizational Psychology Ⅰ)			担当教員	重森　雅嘉
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2233	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会や組織で必要とされる心理的スキルや知識を講義する。またコメントシートにより各自が当該事項について考え、グループディスカッションにより、それらを共有することにより深い理解をめざす。

授 業 の 到 達 目 標

社会や組織で必要とされる心理的なスキルや知識を理解し、簡潔に説明できる。またそれらについて自分の考えや疑問を示せる。積極的に社会や組織活動に取り組める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：産業・組織心理学の概略、授業の説明、グループディスカッション手法《グループディスカションで何を見るか》
事前学習：第1回目の授業内容について事前に調べておくこと。（2時間）
事後学習：《グループディスカションで何を見るか》について、レポート作成。（2時間）
第2回：経営理念《就職したい企業の経営理念を調べ考察》
事前学習：経営理念について事前に調べておくこと。（2時間）
事後学習：《就職したい企業の経営理念》に関するレポート（事後学習シート）作成及び修正。（2時間）
第3回：グループディスカッション：職場で必要とされる心理スキル《グループディスカッション結果》
事前学習：職場で必要とされる心理スキルについて調べておくこと。（2時間）
事後学習：《グループディスカッション結果》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（2時間）
第4回：社会人基礎力《仁愛大学で学べる社会人基礎力に関する考察》
事前学習：社会人基礎力について調べておくこと。（2時間）
事後学習：《仁愛大学で学べる社会人基礎力に関する考察》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（2時間）
第5回：気づき（自己モニタリング、平均以上効果、危険予知)《自分の自己モニタリング傾向に関する考察》
事前学習：気づき（自己モニタリング、平均以上効果、危険予知）について調べておくこと。（2時間）
事後学習：《自分の自己モニタリング傾向に関する考察》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（2時間）
第6回：人事評価と公正性《仁愛大学の評価の公正性について考察》
事前学習：人事評価と公正性について調べておくこと。（2時間）
事後学習：《仁愛大学の評価の公正性について考察》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（2時間）
第7回：グループディスカッション：理想のリーダー、メンバーの役割《グループディスカッション結果の整理と考察》
事前学習：理想のリーダー、メンバーの役割について調べておくこと。（2時間）
事後学習：《グループディスカッション結果の整理と考察》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（2時間）

第８回：リーダーシップ 《身近なリーダーに関する評価》
事前学習：リーダーシップについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：《身近なリーダーに関する評価》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第９回：自主的安全リーダー 《身近な自主的リーダー》
事前学習：自主的安全リーダーについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：《身近な自主的リーダー》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第10回：チームワーク（チームワークの特性、集団意思決定、集団極性化）、レポート課題説明《自分のチームでの役割》
事前学習：チームワーク（チームワークの特性、集団意思決定、集団極性化）について調べておくこと。（２時間）
事後学習：《自分のチームでの役割》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第11回：グループディスカッション：自分の仕事にプライドを持てるか《グループディスカッション結果の整理と考察》
事前学習：グループディスディスカッションのテーマについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：《グループディスカッション結果の整理と考察》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第12回：職業的自尊心、組織違反、組織事故 《具体的な組織事故や犯罪をあげて考察》
事前学習：職業的自尊心、組織違反、組織事故について調べておくこと。（２時間）
事後学習：《具体的な組織事故や犯罪をあげて考察》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第13回：属人主義、最終レポート課題 《身の回りの組織の属人主義傾向に関する考察》
事前学習：属人主義について調べておくこと。（２時間）
事後学習：《身の回りの組織の属人主義傾向に関する考察》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第14回：組織の安全文化の醸成、組織のレジリエンス 《目指すべき安全な職場の姿》
事前学習：組織の安全文化の醸成、組織のレジリエンスについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：《目指すべき安全な職場の姿》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第15回：グループワーク：ピアレビューチェック
事前学習：グループワークの準備しておくこと。（２時間）
事後学習：グループワークの結果について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）

授業外学修は，各回の授業に関する考察（事後学習シート）を課します（《》内各回２時間（２時間×15回＝30時間）。
また同じく授業外学修として，レポートの作成，修正を課します（30時間）。（30時間＋30時間＝60時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

レポート（30%）ピアレビュー（10%）事後学習シート（20%）授業コメント（30%）授業への取り組み（10%）

成 績 評 価 基 準

学習項目を簡潔に説明できるか、学習項目について自分の考えや疑問を示せるか、積極的に授業に取り組めるか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストはありません。毎回資料を配布します。

その他(受講上の注意)

携帯電話は使用禁止です。レポートは手書きは不可です。状況により座席指定の可能性があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

産業・組織心理学Ⅱ (Industrial and Organizational PsychologyⅡ)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2234	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

産業組織の中で働く人々の心理および行動について解説する。具体的には、ストレス、ワークモチベーション、勤労観等について解説する予定である。

授 業 の 到 達 目 標

産業組織の中で働く人々の心理、行動について理解できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ICT（Googleフォームを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（ICT）
　事前学習：産業・組織心理学についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分かったことをレポートにまとめておくこと（2時間）
第2回：モチベーション（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「モチベーション」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第3回：モチベーション（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「組織でのモチベーション」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第4回：モチベーション（3）（ICT）
　事前学習：授業前に「モチベーション」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第5回：リーダーシップ（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「リーダーシップの種類」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第6回：リーダーシップ（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「良いリーダーとはどのようなリーダーか」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第7回：個人と組織（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「個人と組織」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第8回：個人と組織（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「個人と組織」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第9回：職場のコミュニケーション（ICT）
　事前学習：授業前に「職場のコミュニケーション」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）

第10回：組織とストレス（1）（ICT）
　　事前学習：授業前に「ストレス」について関連する本を読み、自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第11回：組織とストレス（2）（ICT）
　　事前学習：授業前に「組織とストレス」について実際の事例をさがしておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第12回：組織とストレス（3）（ICT）
　　事前学習：授業前に「組織とストレス」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第13回：職場のメンタルヘルス（1）（ICT）
　　事前学習：授業前に「職場のメンタルヘルス」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第14回：職場のメンタルヘルス（2）（ICT）
　　事前学習：授業前に「職場のメンタルヘルス」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第15回：ワーキングプア（ICT）
　　事前学習：授業前に「自己意識」についての本を読んでおくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）

各回に関連する心理学的事象について講義前・講義後において理解を深めるよう努力すること。
その際、関連論文・参考文献等講義内にて指示する

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業中に実施する小テスト、課題レポートを総合的に判断し評価する。
【小テスト50%　課題・レポート50%】

成　績　評　価　基　準

産業組織の中で働く人々の心理および行動について、説明および考察することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
適宜授業で配布する。また、参考文献、関連文献を講義内で紹介する。
その他（受講上の注意）
最初にTeamsに登録下さい。 講義形式だが、より理解を深めるため、必要に応じてVTR視聴、自己分析、を実施する。 講義中にQRコードを読み取り、回答を送信するシステムを利用し（googleフォーム）、受講者の実際の行動、産業組織における様々な問題について回答を求めることがある。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学特別講義 (Special Lecture on Psychology)			担当教員	稲木康一郎、大森　慈子、杉島　一郎、 西村　則昭、水田　敏郎、三脇　康生、 森　　俊之、坂井　祐円、竹村　明子、 山本　雅代、吉水ちひろ、渡辺　克徳、 森本　文人、山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2239	2単位	2年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法や基礎的知識を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学科の全教員が1回の持ち回りで講義を行うオムニバス形式の授業である。各専任教員が専門とする心理学の諸分野を解説する。

授 業 の 到 達 目 標

心理学の諸分野について理解を深める。様々なトピックスに触れる中で、心理学に対する関心を高める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

オリエンテーション（学科ガイダンス時に実施する）
第1回：各教員が専門とする内容①西村　則昭
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第2回：各教員が専門とする内容②稲木　康一郎
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第3回：各教員が専門とする内容③大森　慈子
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第4回：各教員が専門とする内容④坂井　祐円
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第5回：各教員が専門とする内容⑤三脇　康生
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第6回：各教員が専門とする内容⑥杉島　一郎
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第7回：各教員が専門とする内容⑦水田　敏郎
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第8回：各教員が専門とする内容⑧竹村　明子
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）

第９回：各教員が専門とする内容⑨山岸　厚仁
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第10回：各教員が専門とする内容⑩森本　文人
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第11回：各教員が専門とする内容⑪吉水　ちひろ
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第12回：各教員が専門とする内容⑫山本　雅代
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第13回：各教員が専門とする内容⑬森　俊之
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第14回：各教員が専門とする内容⑭渡辺　克徳
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第15回：まとめ⑮大森　慈子
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）

＊担当教員全員が一回ずつ担当する授業になる。担当者の順はオリエンテーション時に伝える。
毎回担当教員が変わるため、疑問や予め知っておきたい事項があるときには、時間外（オフィスアワーなど）を活用して、担当教員に質問などをするようにして、予習・復習をする。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

小レポート（50%）　平常点（50%）
（毎回、授業後に小レポートを課す。平常点は授業への参加状況・受講態度などを総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

各授業において担当教員の説明する心理学的トピックについて理解を深めることができたか。また、あわせて関心や疑問をもつことができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（各回の担当教員による方法）
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
使用しない
その他（受講上の注意）
①３年生から始まるゼミ（心理学特別演習Ⅰ・Ⅱ）の担当教員や４年生の卒業研究のテーマを決めるうえで、重要な授業となります。週ごとに担当教員が変わるので、毎回出席してください。 ②スケジュールに変更がある場合は、学科ガイダンス（オリエンテーション）にて説明し、心理学科掲示板に掲示するので必ず事前に確認して臨んでください。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本の言語文化a (Japanese Language and Culture a)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2205	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

近代以降の日本文学とそれを原作とした映画を取り上げ、言語と文化・社会の変化について考える。文字表現による文学の特性に着目しながら、作中の日本語や文化・社会の表現について考察する。

授 業 の 到 達 目 標

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景の関係が理解できる。
・近代と現代の共通点・相違点を考え、日本の言語・文化について認識を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（課題提出）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの概要を把握しておく。（2時間）
　事後学習：資料と小テストの復習を行う。（2時間）
第2回：森鴎外
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料と小テストの復習を行う。（2時間）
第3回：小説「舞姫」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料と小テストの復習を行う。（2時間）
第4回：小説「舞姫」(2)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料と小テストの復習を行う。（2時間）
第5回：小説「舞姫」(3)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料と小テストの復習を行う。（2時間）
第6回：小説「舞姫」(4)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を復習し、提出課題を行う。（2時間）
第7回：泉鏡花
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料と小テストの復習を行う。（2時間）
第8回：小説「外科室」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料と小テストの復習を行う。（2時間）
第9回：小説「外科室」(2)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を復習し、提出課題を行う。（2時間）
第10回：伊藤左千夫
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料と小テストの復習を行う。（2時間）

第11回：小説「野菊の墓」(１)
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(２時間)
　　事後学習：資料と小テストの復習を行う。(２時間)
第12回：小説「野菊の墓」(２)
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(２時間)
　　事後学習：資料と小テストの復習を行う。(２時間)
第13回：小説「野菊の墓」(３)
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(２時間)
　　事後学習：資料と小テストの復習を行う。(２時間)
第14回：小説「野菊の墓」(４)
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(２時間)
　　事後学習：資料を復習し、提出課題を行う。(２時間)
第15回：まとめ
　　事前学習：期末レポートのテーマ設定、準備を行う。(２時間)
　　事後学習：資料と小テストの復習を行い、期末レポートに取り組む。(２時間)

新型コロナウイルス対応の授業形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第１回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第２回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第３回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第４回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第５回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第６回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第７回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第８回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第９回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第10回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第11回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第12回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第13回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第14回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第15回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)

成　績　評　価　方　法

期末レポート(40%)、小テスト・提出課題(40%)、平常点(20%)
(平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。)

成　績　評　価　基　準

提出課題：各作品の表現・内容や文化的・社会的背景等が理解できているか。
期末レポート：自ら設定したテーマについて十分に考察し、説得力のある結論が出せているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

１)授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２)事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３)小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４)定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５)その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

森鴎外・井上靖　『現代語訳　舞姫』　(ちくま文庫)　筑摩書房　2006年
泉鏡花　『外科室・海上発電 他五篇』(岩波文庫)　岩波書店　1991年
伊藤左千夫　『野菊の墓』(新潮文庫)　新潮社　1955年

その他（受講上の注意）
小テストは期間内に３回受けられるので、間違った部分を復習して受けなおすこと。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

言語コミュニケーション論 (Verbal Communication)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2206	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

コミュニケーションにおける言語の役割について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

円滑な人間関係を維持する上で、必要となる言語的要素について知識を得る。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：事前に言語を用いたコミュニケーションについて、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第2回：ことばと社会（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第3回：方言（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第4回：方言（2）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第5回：方言（3）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第6回：呼称（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第7回：呼称（2）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第8回：呼称（3）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第9回：対人関係の親密化（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第10回：対人関係の親密化（2）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）

第11回：自己開示（1）（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第12回：自己開示（2）（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第13回：自己呈示（1）（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第14回：自己呈示（2）（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第16回：定期試験

予習として、各回に関連する資料を読み、あらかじめ疑問点を考えておくこと。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）　授業内レポート（30%）　平常点（20%）
（平常点は、課題・質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

コミュニケーションにおいて、言語が果たす役割を説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

参考図書 原沢伊都夫 『日本語教師のための入門言語学』 スリーエーネットワーク 2016年
その他、適宜プリントを配布する。

その他（受講上の注意）
・遅刻３回で欠席１回とみなす。 ・必ず国語辞書（電子辞書可）を持参すること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報社会論 (Information and Society)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2207	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報サービスは、ビジネスの形態に大きく影響を与えます。たとえば、ブログやマイクロブログの登場により、個々人が情報を発信する社会が実現されました。その流れに伴い、個々人が発生した生の声を解析・操作する口コミマーケティングやモバイル端末と拡張現実の組み合わせによる広告モデルなど、最新のサービスに合わせたアプローチが数多く提案されています。本講義では、様々な情報サービスを題材として、「最新の技術やサービスを知る」、「知った技術やサービスがどのようにビジネスで活用されているかを把握する」、「モデル事例（社会における課題）を紹介し、その課題に対してどのような技術やサービスが適用できるかを考える」の3つの流れを繰り返し実施します。このことにより、社会に出た際に、最新の技術の知識を持っているだけではなく、その知識をどのように活かせばよいかを学ぶ力を身につけさせることを目的とします。

授　業　の　到　達　目　標

最新の技術やサービスを知り、知った技術やサービスをどのようにビジネスで活用できるかを提案する技術や知識を習得すること

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション　情報とは何か
　事前学習：シラバスをよく読み、自分なりの観点で『情報』の理解を深めること（2時間）
　事後学習：情報について理解し、世の中で利用されている情報について理解を深めること（2時間）
第2回：情報コミュニケーションツールの最新事例の紹介
　事前学習：世の中で利用されている情報コミュニケーションツールについて理解を深めること（2時間）
　事後学習：授業資料をよく読み、コミュニケーションツールとその成り立ちについて復習すること（2時間）
第3回：ビックデータとは何か
　事前学習：ビックデータという言葉について調べ、世の中でどのように利用されているのか事前学習すること（2時間）
　事後学習：次回の授業よりグループワークを行うため、世の中の情報コミュニケーションツールについて調査し、理解を深めること（2時間）
第4回：グループワーク①（情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：ツールの選定）
　事前学習：グループワークを円滑に進めるための方法について調査し、理解を深めること（2時間）
　事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（2時間）
第5回：グループワーク②（情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：ツールが利用されているサービスの収集）
　事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（2時間）
　事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（2時間）

第６回：グループワーク③（情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：各サービスの強みと弱みのまとめ）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（２時間）
第７回：グループワーク④（情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：発表用資料の作成）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：発表準備を行うこと（２時間）
第８回：発表（情報コミュニケーション）
事前学習：グループメンバーで集まり発表練習を行うこと（２時間）
事後学習：グループで集まり、グループの反省点、良かった点をまとめ総括を行うこと（２時間）
第９回：グループ分け、情報社会と就活
事前学習：前回のグループワークの反省を活かしつつ、グループワークを円滑に進めるための方法について調査し、理解を深めること（２時間）
事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（２時間）
第10回：グループワーク①（企業を採点しよう～企画・立案～）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（２時間）
第11回：グループワーク②（企業を採点しよう～調査～）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（２時間）
第12回：グループワーク③（企業を採点しよう～ヒアリング・分析～）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：グループで本日決まったことをまとめ、次回の授業までの各メンバーに割り当てられたタスクを進めること（２時間）
第13回：グループワーク④（企業を採点しよう～プレゼンテーション作成～）
事前学習：インターネットのみでなく、書籍やフィールドワークを利用して情報の収集を行うこと（２時間）
事後学習：発表準備を行うこと（２時間）
第14回：発表（情報社会と就活）
事前学習：グループメンバーで集まり発表練習を行うこと（２時間）
事後学習：グループで集まり、グループの反省点、良かった点をまとめ総括を行うこと（２時間）
第15回：外部講演（情報化社会を生き抜くために）
事前学習：講演内容については講義後半に説明する。その内容について自分なりに調べ事前学習すること（２時間）
事後学習：講義内容について事後レポートを記載し提出すること（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業中のグループワークでの発言と各グループの発表（１グループ15分程度×２）の内容および日々の発言内容等を加味して総合的に評価する。
発表（50%）　　平常点（50%）（平常点はディスカッションの参加度や発言内容を加味して総合的に判断する）

成　績　評　価　基　準

身の回りのさまざまな情報について主体的に読み解くことができるか。
最新の技術やサービスがどのようにビジネスで活用されているかを調査する力や，新しいビジネスを考案する知識を習得できているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

使用しない。

その他(受講上の注意)

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

公共政策 (Public Policy)			担当教員	竹内　直人
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2208	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

新聞記事から学生が自ら公共政策に関する記事を選ぶことを出発点とする。記事を手掛かりに、公共政策の基礎理論を分かりやすく解説するとともに、具体的な政策提案レポートに取り組む。

授 業 の 到 達 目 標

我々の暮す社会は自由な社会であること。自由であるからこそ、公共政策が必要であることを理解するとともに、地域や社会への関心を広げることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（政策提案レポート（企画書）作成）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：新聞から国、県、市町の「公共政策」を探す。
　　私たちの周りにはどんな「問題」があるか。
　　事前学習：公共政策に関する新聞を読み、記事を選んでくる。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第2回：公共政策とは何か
　　事前学習：配布資料の予習（2時間）
　　事後学習：配布資料の復習（2時間）
第3回：私たちが生活する社会の特徴＝自由な社会
　　事前学習：配布資料（旧民法）を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第4回：私たちが生活する社会の特徴＝組織社会
　　事前学習：配布資料（新聞記事）を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第5回：自由な社会の制度（契約自由と社会契約）を理解する。
　　事前学習：配布資料（民法555条、コモン・センス（抜粋））を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第6回：市民の自由を守る仕組み＝民事法と刑事法
　　事前学習：配布資料（民法709条、刑法235条、国家賠償法）を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第7回：人々の意識の変化（工業社会からポスト工業社会へ）
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第8回：少子高齢社会の課題
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（2時間）
第9回：外国人労働者の現状と課題（ビデオ視聴）
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（2時間）
　　事後学習：感想文の提出（2時間）

第10回：空き家問題の現状と課題
　　事前学習：配布資料（新聞記事）を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（２時間）
第11回：商店街の現状と課題
　　事前学習：配布資料（新聞記事）を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：配布資料（新聞記事）を事前に読む。（２時間）
第12回：高齢者の交通事故
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（２時間）
第13回：レポート・小論文の書き方①
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（２時間）
第14回：レポート・小論文の書き方②
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（２時間）
第15回：全体のまとめと復習
　　事前学習：配布資料を事前に読む。（２時間）
　　事後学習：授業で配布する要点（PPT）を復習する。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（80％）　平常点（20%）

成　績　評　価　基　準

自由な社会の特徴とその課題および公共政策の必要性について説明できること。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　■その他（次回の授業においてポイントの説明を行う。）
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他（添削と評価を行い返却する。）
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

秋吉貴雄（2017年）『入門　公共政策』（中公新書）

その他（受講上の注意）
次回の授業に使用する資料を事前に配布するので、必ず読んでおくこと。 政策提案レポートの提出を求めます。期日までに提出すること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発論Ⅰ (Study of Planning and Development Ⅰ)			担当教員	野尻　昌明
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2216	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本科目では、「企画開発」に必要となる知識の修得を目指します。
企業、組織、地域活性化のケーススタディをおこないながら、アイディア発想と論理的思考のためのフレームワーク、および誰にでも理解できるシンプルな「企画書作成」の技術について学びます。

授 業 の 到 達 目 標

・アイディアを発想し、書面（またはメディア）に定着させるための具体的方法をいくつか修得する。
・ものごとを企画するための論理的思考の基礎を修得する。
・「企画書」を作成する意義と基本的方法を理解する。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：企画開発に必要な知識（プランナーの基本行動、考える能力）
　事前学習：企画というものを理解し、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、企画についてリフレクションを実施すること。（2時間）
第2回：企画計画以前に確認すべきこと（なぜ企画するのか、発想、対象を思いやる力）
　事前学習：授業前に身の回りに派生している企画に気づき、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、企画発想・対象についてリフレクションを実施すること。（2時間）
第3回：課題の発見（対象となる企業・組織・個店の現状と悩み・要望とは）
　事前学習：授業前に注目する企業の改善点を考え、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、企画する意義のリフレクションを実施すること。（2時間）
第4回：企画目的の設定と対象者（誰が、誰に、何のために）
　事前学習：授業前に企画対象者の気持ちを理解し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、対象者についてのストーリーを想定すること。（2時間）
第5回：企画内容（アイデア・問題解決）
　事前学習：授業前に問題解決のためのアイディアを発想し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、情報収集などアイディア発想の準備をすること。（2時間）
第6回：期待する成果（何が得られるか）
　事前学習：授業前に企画による成果を想定し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、企画の成果について物語を書きあげておくこと。（2時間）
第7回：実施計画（作業工程・配分、スケジュール、コスト、留意点の確認）
　事前学習：授業前に企画計画の実施内容を理解し、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、実際の工程についての留意点をメモしておくこと。（2時間）
第8回：企画書制作に向けて①（コンセプトを考える）
　事前学習：授業前に企画にはどんな知識が必要かを考え、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、コンセプトについてのリフレクションを実施すること。（2時間）
第9回：企画書制作に向けて②（コピーライティングを考える）
　事前学習：授業前に企画書制作について、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、コピーライティングについての課題を完成すること。（2時間）

第10回：企画書制作に向けて③（デザイン・ビジュアル・動画等を考える）
事前学習：授業前に企画書制作について、質問があればまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業内容を振り返り、ビジュアル発想についてのリフレクションを実施すること。（２時間）
第11回：クリエイティブブリーフィング（グループ）
事前学習：授業前にクリエイティブを理解し、質問があればまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業内容を振り返り、チームの創造力について取材・研究・メモしておくこと。（２時間）
第12回：課題に対するグループディスカッション
事前学習：授業前にチームでの企画推進を理解し、質問があればまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業内容を振り返り、個々の能力についてリフレクションを実施すること。（２時間）
第13回：企画書を作る（企画書づくりのポイント）
事前学習：授業前に企画制作について、質問があればまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業内容を振り返り、企画書のためのメモを制作しておくこと。（２時間）
第14回：企画を提案する（プレゼンテーションの準備・技術）
事前学習：授業前にプレゼンツール・プレゼンテーション用のシナリオをまとめておくこと。（２時間）
事後学習：プレゼンテーションを振り返り、リフレクションを実施すること。（２時間）
第15回：講義のまとめとデブリーフィング（見直し、反省し、PDCAを理解する）
事前学習：授業前に企画制作を振り返り、改善点があればまとめておくこと。（２時間）
事後学習：15回の授業内容を振り返り、企画開発についてのレポートをまとめておくこと。（２時間）
第16回：最終試験

（※受講者数・状況により変更の場合あり）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題への取り組み・定期試験（50%）課題成果（30%）平常点（20%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度リアクションペーパーの内容、小課題等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・アイディア発想の知識を理解しているか
・論理的思考の知識を理解しているか
・コミュニケーションメディアに関する企画力・制作能力を高めることができているか。
・コミュニケーションの目的とする各種ベクトルを把握しながら、正しい表現能力を会得することができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
使用しない。
その他（受講上の注意）
他者の学ぶ時間を奪ったり、学ぶ姿勢を阻害するような行動に対しては厳しく対処します。各自、講義を通じて問題意識を醸成してください。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

地域経済論 (Regional Economics)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−AOC−2223	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義では、地域社会学的な視点から、地域の経済活動を「人びとの営み」として包括的に理解するために必要な理論と知識の枠組みを学びます。そのうえで、具体的事例をもとに地域のこれからの経済のあり様に対する考えを深めます。

授 業 の 到 達 目 標

・地域活動に関する経済学、社会学および地域開発を理解する知識を修得する。
・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいて意見を述べ、説明できる。
・講義で学んだ内容を実社会と関連付けて議論することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第2回：経済活動と社会・地域
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第3回：「地域活動」を捉える視角①
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第4回：「地域活動」を捉える視角②
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第5回：「地域活動」を捉える視角③　（討議（ディスカッション、ディベート））
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第6回：地域開発の理論①
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第7回：地域開発の理論②
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）

第８回：地域開発の理論③　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第９回：日本の地域開発の歴史①── 地域間格差の是正と全国総合開発計画
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第10回：日本の地域開発の歴史②── バブル経済とそれ以降の地域開発
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第11回：「来るべき経済」を考える ── 具体的な事例を考えてみる　（課題解決型学習（PBL）、討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第12回：具体的な地域経済①　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第13回：具体的な地域経済②　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第14回：具体的な地域経済③　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第15回：講義のまとめ（課題解決型学習（PBL）、討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめておくこと（２時間）
事後学習：本講義の全てのノートを見直して、要点をまとめて整理すること。また、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（４時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（70%）平常点（30%）
・平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します（出席点ではありません）。
・internet上のデータを安易に引用したり、他者の論文・レポートなどを盗用・剽窃したりした場合は、不可になります。

成　績　評　価　基　準

・経済学、社会学および地域開発を理解する知識を修得しているか。
・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいて意見を述べ、かつ批判的に説明できるか。
・講義で学んだ内容を実社会と関連付けて議論することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他（担当教員の研究室にて）
5）その他（ディスカッション・ディベートに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他（担当教員の研究室にて）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは特に指定しません。
参考図書は以下のとおりです。
佐藤泰裕, 2014,『都市・地域経済学への招待状』有斐閣

その他(受講上の注意)

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報システム論 (Introduction to Sociology b)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2224	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

情報システムを支える基盤技術(データベース、ネットワーク、セキュリティ、認証など)の概念と原理を現実社会の例と照らし合わせて学ぶ。
講義の内容によっては座学だけでなく、ディスカッション等も取り入れる場合がある。

授 業 の 到 達 目 標

情報システムに関する知識を習得した上で、利用者、導入者、管理者、開発者等の様々な視点から情報システムを分析し、提案できる能力を身に着ける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(スマホを用いた実習・課題)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：チュートリアル　情報とは何か
　　事前学習：シラバスを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　　事後学習：第1回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第2回：データの種類と拡張子について、コンピューターの特徴
　　事前学習：第1回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　　事後学習：第2回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第3回：高度情報化社会とコンピューター
　　事前学習：第2回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　　事後学習：第3回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第4回：コンピュータの仕組みと5大機能
　　事前学習：第3回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　　事後学習：第4回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第5回：第1回から第4回のまとめ
　　事前学習：第1回から第4回までの授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　　事後学習：第1回から第4回までの授業資料を読み、復習を行うこと(2時間)
第6回：情報の計算
　　事前学習：期末テストに向けて前回までの範囲をまとめること(2時間)
　　事後学習：第6回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第7回：情報の表現
　　事前学習：第6回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　　事後学習：第7回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第8回：ネットワークをつなぐ
　　事前学習：第7回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　　事後学習：第8回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)
第9回：ネチケットとインターネットの落とし穴
　　事前学習：第8回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)
　　事後学習：第9回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)

第10回：第６回目から第９回目計算問題まとめ
　　事前学習：第６回から第９回までの授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第６回から第９回までの授業資料を読み、復習を行うこと（２時間）
第11回：福祉と情報、プログラミング思考
　　事前学習：期末テストに向けて前回までの範囲を復習すること（２時間）
　　事後学習：第11回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第12回：情報システムにおけるアルゴリズム
　　事前学習：第11回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第12回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第13回：フローチャートの記述（実習）
　　事前学習：第12回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第13回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第14回：データベースについて（実習）
　　事前学習：第13回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第14回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第15回：デザイン思考について
　　事前学習：第14回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第15回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第16回：定期試験

この授業では、非常に多くの関連する用語について、その意味などを理解する必要があるので、情報関連の用語事典なども参考にすること。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験50%、授業内小テストおよび課題50％

成　績　評　価　基　準

情報システムの仕組みやネットワーク、コンピュータ、それらを制御する基盤技術について理解し、説明できているかを評価の基準とする。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他（　　）
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
授業は自作スライドを中心に行う。特定のテキストは指定しないが、参考図書については講義中に適宜紹介する。
その他（受講上の注意）
真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本の言語文化b (Japanese Language and Culture b)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2226	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

近代以降の日本文学とそれを原作とした映画を取り上げ、コミュニケーションの様相について考える。文字表現による文学、映像・音声表現による映画の特性に着目しながら、登場人物のコミュニケーションや文化・社会の表現について考察する。

授 業 の 到 達 目 標

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景の関係が理解できる。
・近代と現代の共通点・相違点を考え、コミュニケーションの様相について認識を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（課題提出）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの概要を把握しておく。（2時間）
　事後学習：復習課題の概要を把握しておく。（2時間）
第2回：宮沢賢治、童話「銀河鉄道の夜」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題1を行う。（2時間）
第3回：童話「銀河鉄道の夜」(2)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題1を行う。（2時間）
第4回：童話「銀河鉄道の夜」(3)、映画「銀河鉄道の夜」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、童話の復習課題1を提出する。（2時間）
第5回：映画「銀河鉄道の夜」(2)
　事前学習：配付資料を読み、原作との相違点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、映画の復習課題2を提出する。（2時間）
第6回：野坂昭如、小説「火垂るの墓」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題3を行う。（2時間）
第7回：小説「火垂るの墓」(2)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題3を行う。（2時間）
第8回：小説「火垂るの墓」(3)、映画「火垂るの墓」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題3を提出する。（2時間）
第9回：映画「火垂るの墓」(2)
　事前学習：配付資料を読み、原作との相違点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題4を提出する。（2時間）
第10回：小川洋子、小説「博士の愛した数式」(1)
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題5を行う。（2時間）

第11回：小説「博士の愛した数式」(２)
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(２時間)
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題５を行う。(２時間)
第12回：小説「博士の愛した数式」(３)、
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(２時間)
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題５を行う。(２時間)
第13回：小説「博士の愛した数式」(４)、映画「博士の愛した数式」(１)
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。(２時間)
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題５を提出する。(２時間)
第14回：映画「博士の愛した数式」(２)
　　事前学習：配付資料を読み、原作との相違点や関連事項について調べる。(２時間)
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題６を提出する。(２時間)
第15回：まとめ
　　事前学習：期末レポートのテーマ設定、準備を行う。(２時間)
　　事後学習：期末レポートに取り組む。(２時間)

新型コロナウイルス対応の授業形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第１回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第２回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第３回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第４回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第５回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第６回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第７回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第８回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第９回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第10回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第11回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第12回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第13回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第14回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第15回：遠隔授業　(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)

成　績　評　価　方　法

期末レポート(40%)、課題(40%)、平常点(20%)
(平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。)

成　績　評　価　基　準

復習課題：各作品の表現・内容や文化的・社会的背景等が理解できているか。
期末レポート：自ら設定したテーマについて、十分に考察し、説得力のある結論が出せているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

１)授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２)事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３)小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４)定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５)その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

宮沢賢治　『新編 銀河鉄道の夜』(新潮文庫)　新潮社　1989年
野坂昭如　『アメリカひじき・火垂るの墓』(新潮文庫)　新潮社　1972年
小川洋子　『博士の愛した数式』(新潮文庫)　新潮社　2005年

その他（受講上の注意）
授業で使用するPowerPointの資料を配付するので、気づいたこと･考えたことをノート欄に記入すること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語学Ⅱ (English Linguistics Ⅱ)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2230	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

英語学への理解を深め、体系的な英語の知識を身に付ける。国際共通語としての英語の運用面に焦点をあて、英語使用の多様性を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

英語の概要・背景を学び、異文化理解力および英語力を多面的に向上させる。中学校および高等学校での英語教育において必要な英語学的知見を身につける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、英語学Ⅰの復習を行うこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第2回：英語と社会的属性（1）地域方言（イギリスの地域方言的特徴・英語の変種と方言の関係）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第3回：英語と社会的属性（2）社会階層（階層方言・Trudgill (1943) によるイギリスのノリッジ調査・Labov (1966) によるアメリカのニューヨーク調査）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第4回：英語と社会的属性（3）ジェンダー（社会集団としてのジェンダー・英語運用にみられるジェンダー）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第5回：英語の発話行為（1）語用論とは（ソシュールのパロールとラング）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第6回：英語の発話行為（2）お礼（発話行為の仕組み・英語による「お礼」のストラテジー・「お礼」の日英比較）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第7回：英語の発話行為（3）侘び（「詫び」という発話行為・「詫び」の日英比較）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第8回：英語のポライトネス（1）協調の原理（談話分析・Grice・会話の含意）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）

第９回：英語のポライトネス（２）Brown & Levinson（1987）（ポライトネス理論・消極的面目と積極的面目）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第10回：英語のポライトネス（３）日米比較（日米の依頼行為にみるポライトネス）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第11回：談話分析とは（談話分析の研究対象）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第12回：英語文化とコミュニケーションスタイル（１）異文化コミュニケーション（国民文化・サブカルチャー）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第13回：英語文化とコミュニケーションスタイル（２）文化モデル（Hall（1976）モデル・Hofstede（1928）モデル）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第14回：英語文化とコミュニケーションスタイル（３）日英コミュニケーション（アカデミック談話にみる事例研究）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）

予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ疑問点等をまとめておいてください。講義を受けた後は、教科書の当該部分を見直して復習をしてください。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）　授業内レポート（30%）　平常点（20%）
（平常点は、課題・質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

英語学の基礎が理解できているのか。
英語コミュニケーションの観点より、異文化への理解ができているのか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：平賀正子（著）『ベーシック新しい英語学概論』 ひつじ書房　2016年
参考図書：よくわかる社会言語学（田中春美、田中幸子著、ミネルヴァ書房 平成27年）

その他(受講上の注意)

・遅刻3回で欠席1回とみなす。
・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英文講読 a (English Reading a)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2232	2 単位	2 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

小説、エッセイ、評論文、英字新聞や雑誌の記事、マニュアルなど多様な素材を用いて、英米文学や日常生活に必要な情報から文化論、環境問題、社会問題、教育問題など幅広いトピックをとりあげながら、読解力を養成する。

授 業 の 到 達 目 標

多読に親しみ、望ましい読書習慣を身につける。多様なリーディング・ストラテジーを理解し読みの目的に応じて使用できる。詩やスピーチを読んで暗唱できる。効果的な語彙学習の方法を知り語彙力を高めることができる。テキストに明示的に書かれていない内容を推測しながら読むことができる。英文パラグラフの構成を理解し、トピック、メインアイディアを把握できる。必要な情報を読み取り、その内容について自分の意見を述べることができる。物事を国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成する。中学校および高校で効果的なリーディングの指導ができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：多読：目的と読み方、望ましい読書習慣
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。（2 時間）
　事後学習：多読の目的と読み方、望ましい読書習慣を復習する。（2 時間）
第 2 回：多読：読書レポート、読書記録、本の選択
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：多読用の本を選択し、規則的に読む。（2 時間）
第 3 回：プレビューイング
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（2 時間）
第 4 回：スキャニング
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：スキャニングの練習をする。（2 時間）
第 5 回：レシテーション：英詩、発表（ストーリーテリング）
　事前学習：事前に詩人のプロフィールを読んでおく。（2 時間）
　事後学習：暗唱課題の英詩を読んで理解する。（2 時間）
第 6 回：スキミング
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：スキャニングの練習をする。（2 時間）
第 7 回：読みのストラテジー
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：読みのストラテジーを整理する。（2 時間）
第 8 回：語彙学習：辞書の活用
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：語彙学習：辞書の活用について復習し、課題をする。（2 時間）

第９回：語彙学習：品詞、語形成、文脈による語義の推測
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：品詞、語形成、文脈による語義推測の練習問題をする。（２時間）
第10回：情報収集のための読みとディスカッション（グループワーク）：環境問題
　　事前学習：事前に環境問題に関する資料を読む。（２時間）
　　事後学習：環境問題に関して、自分の意見を英語でまとめる。（２時間）
第11回：推論、レシテーション：スピーチ
　　事前学習：事前に人物のプロフィールを読む。（２時間）
　　事後学習：スピーチのスクリプトを読んで、理解する。（２時間）
第12回：パラグラフの理解：トピック、メインアイディア
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：パラグラフのトピック・メインアイディアについて復習課題をする。（２時間）
第13回：パラグラフの理解：パラグラフの構成
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：パラグラフの構成について復習課題をする。（２時間）
第14回：情報収集のための読みとディスカッション：社会問題
　　事前学習：事前に社会問題について調べておく。（２時間）
　　事後学習：社会問題の解決策を英語でまとめる。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：暗唱課題を復習する。（２時間）
　　事後学習：読みのストラテジー及びパラグラフの構成について復習課題をする。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題（25%）、授業への取り組み（25%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

１．多読（reading for pleasure）に親しむことができたか。
２．多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できるか。
３．詩やスピーチを読んで暗唱できるか。
４．効果的な語彙学習の方法を知り、語彙力を高めることができるか。
５．明示的に書かれていない内容を推測しながら読むことができるか。
６．英文パラグラフの構成を理解し、トピック、メインアイディアを把握できるか。
７．必要な情報を読み取り、その内容について自分の意見を述べることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：MORE READING POWER　Mikulecky, B.S., and L. Jeffries. Addison-Wesley Publishing Company.
参考図書：英字新聞、インターネット・雑誌等の記事、NetAcademy

その他(受講上の注意)

なるべく多く英語を読むように心がけ、望ましい読書習慣を身につけてもらいたい。主体的な学習を期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英文講読b (English Reading b)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2233	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

小説、エッセイ、評論文、英字新聞や雑誌の記事、マニュアルなど多様な素材を用いて、英米文学や日常生活に必要な情報から文化論、環境問題、社会問題、教育問題など幅広いトピックをとりあげながら、読解力を養成する。

授 業 の 到 達 目 標

多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できる。読んだ物語を英語で話すことができる。英文パラグラフの構成パターンを理解し、読む際に認識できる。新聞記事の見出しの規則や構成を理解し、必要な情報を読み取ることができる。読んだニュースを英語でレポートし、その内容に関して自分の意見を述べることができる。速読の方法を理解し、英文を速読できる。正確に深く精読して、読んだ内容について感想を述べることができる。物事を国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成する。中学校および高校で効果的なリーディングの指導ができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：リーディング・ストラテジー
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。（2時間）
　事後学習：リーディング・ストラテジーを整理し、復習する。（2時間）
第2回：ストーリーテリング（発表）
　事前学習：ストーリーテリング用のメモを作成し、リハーサルしておく。（2時間）
　事後学習：多読用の本を選択し、規則的に読む。（2時間）
第3回：英文構成パターン：列挙・連続（時系列）・比較のパターン
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：列挙・連続（時系列）・比較のパターンの復習課題をする。
　　多読用の本を規則的に読む。（2時間）
第4回：英文構成パターン：因果関係・問題解決のパターン
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：因果関係・問題解決のパターンの復習課題をする。
　　多読用の本を規則的に読む。（2時間）
第5回：英字新聞の読み方：記事の構成、見出しのルール、リード
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：英字新聞の記事の構成、見出しのルール、リードについて復習する。
　　多読用の本を規則的に読む。（2時間）
第6回：英字新聞の読み方：スキャニング、レポート
　事前学習：英字新聞の記事を読み、レポーティングの準備をする。（2時間）
　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（2時間）
第7回：ニュース・レポーティングとディスカッション（グループワーク）：社会問題
　事前学習：事前に社会問題に関する記事を読み、理解しておく。（2時間）
　事後学習：社会問題についての意見をまとめる。
　　多読用の本を規則的に読む。（2時間）

第８回：レシテーション：スピーチ
　　事前学習：事前に人物のプロフィールを読む。（２時間）
　　事後学習：スピーチのスクリプトを読んで、理解する。
　　多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第９回：速読：目的と読み方
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：速読の目的と読み方を復習する。
　　多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第10回：速読：読むスピードの測定方法・記録
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：速読の練習課題をし、読むスピードを記録する。
　　多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第11回：ニュース・レポーティングとディスカッション：教育問題（発表）
　　事前学習：事前に教育問題に関する記事を読み、理解しておく。（２時間）
　　事後学習：教育問題についての意見をまとめる。
　　多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第12回：精読の方法
　　事前学習：事前に精読用資料を読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第13回：精読：説明文
　　事前学習：事前に説明文を読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第14回：精読：小説
　　事前学習：事前に小説を読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：読みの目的に応じた読み方を再確認する。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題（25%）、授業への取り組み（25%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

１．多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できるか。
２．読んだ物語を英語で話すことができるか。
３．英文パラグラフの構成パターンを理解し、読む際に認識できるか。
４．新聞記事の見出しの規則や構成を理解し、必要な情報を読み取ることができるか。
５．読んだニュースを英語でレポートし、その内容に関して自分の意見を述べることができるか。
６．速読の方法を理解し、英文を速読できるか。
７．正確に深く精読して、読んだ内容について感想を述べることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：MORE READING POWER　Mikulecky, B.S., and L. Jeffries. Addison-Wesley Publishing Company.
参考図書：英字新聞、インターネット・雑誌・BBC・CNN等の記事、NetAcademy

その他(受講上の注意)

なるべく多く英語を読むように心がけ、望ましい読書習慣を身につけてもらいたい。主体的な学習を期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英米文化論 (Anglo-American Cultural Studies)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2234	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

英国および米国の文化と、世界の多様な文化とを対比しながら学んでいく。本授業では、「食」を手がかりに、英国・米国に加え、世界各国の食にまつわる伝統・文化についての知識と理解を深める。

授 業 の 到 達 目 標

・「食」を切り口とした、英国・米国を含む世界の多様な文化について学ぶ。
・上記の事柄に関し、調べ学習を通して理解を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（事前の調べ学習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：教科書に目を通すこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：Why are Jewish dietary laws so strict?
　事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：The reason why Muslims will not eat pork
　事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：Christianity did away with food taboos
　事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：The meat and drink taboos of Buddhism
　事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：America was once the world's leading whaling nation
　事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：Mussels are a "must" with spaghetti
　事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第8回：Is Paris best for tuna, and Southeast Asia best for red sea bream?
　事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第9回：Cultures that eat dog meat
　事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）

第10回：Snails are sold at fish shops
事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：Don't say "It's only an egg".
事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：Shabu-shabu and fondue
事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：Which is tastier, sukiyaki or gyunabe
事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：The relation between cacao and chocolate
事前学習：授業で扱うテーマについて調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業で課された課題について、レポートをまとめておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40%）、授業内課題（40%）、平常点（20%）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・「食」を切り口とした、英国・米国を含む世界の多様な文化に関する知識を身につけたか。
・上記の事柄に関し、調べ学習ができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

大橋久利、Baxter, Blake（2016）『食文化で知る東洋、西洋』成美堂

その他（受講上の注意）
本講義を受ける前に、「異文化理解a」「異文化理解b」の単位を取得すること。 ５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。 20分以上の遅刻は欠席とみなす。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発演習Ⅰ (Practice in Planning and Development Ⅰ)			担当教員	冨永　良史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2252	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

全てオンデマンドで進行します。
毎回の授業資料とe-Learning上でのフィードバックを熟読しながら学びを進めてください。
授業で扱う内容は以下の通りです。
・新しいアイディアを着想し、他者にわかりやすく魅力的に伝え、いかに協力を引き出すか、その条件を考えます。
・具体的には、実現可能性の高い企画書とはどのように書いていけばいいのかを多面的に検討します。
・教師からの多様な視点からの問いかけに従いながら、段階的に企画書の書き方を身につけます。

授　業　の　到　達　目　標

1．新しいモノゴトを着想する際の、基本的な思考方法を体験的に身につける。
2．他者に対して自分の企画を伝えるための留意点、基礎的な技術を体験的に身につける。
3．具体的な協力を引き出すための企画書の構成、表現の基礎を体験的に身につける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：これからの世界と企画開発力の関係
　事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（2時間）
　事後学習：提示された問いに対して自分の考えをまとめ、ミニレポートを作成する（2時間）
第2回：問題または秘めたる願望の発見
　事前学習：自分の日常にあるちょっとした問題を発見し、その背後に潜む願望を探る（2時間）
　事後学習：提示された問いに対して自分の考えをまとめ、ミニレポートを作成する（2時間）
第3回：ヒラメキを伝わるカタチにする
　事前学習：前回の気づきを発展させ、欲しい新商品・サービスのアイディアを出す（2時間）
　事後学習：提示された問いに対して自分の考えをまとめ、ミニレポートを作成する（2時間）
第4回：シーン（場面）を吟味する
　事前学習：自分の日常をさらに深く観察し、問題と欲求を発見する（2時間）
　事後学習：提示された問いに対して自分の考えをまとめ、ミニレポートを作成する（2時間）
第5回：シーンを掘り下げる
　事前学習：前回取り上げた日常のシーンをさらに微細に客観的に分析する（2時間）
　事後学習：提示された問いに対して自分の考えをまとめ、ミニレポートを作成する（2時間）
第6回：事例を収集する
　事前学習：自分のアイディアの周辺領域について事例を収集する（2時間）
　事後学習：提示された問いに対して自分の考えをまとめ、ミニレポートを作成する（2時間）
第7回：もしあなたが企画審査員だったら？
　事前学習：企画書を審査する立場だったら、どんな点に注目するかを想像する（2時間）
　事後学習：ここまでの集大成としての企画書を作成する（2時間）
第8回：企画はフリーとプレッシャーの間に生まれる
　事前学習：新たな企画開発に向けて、他者に役立つという視点でアイディアを集める（2時間）
　事後学習：提示された問いに対して自分の考えをまとめ、ミニレポートを作成する（2時間）

第９回：「読みたい」「やりたい」を引き出す
　　事前学習：「読みたい」と思える文章、「やりたい」と思えるアイディアとはどんな特性を持つのかをまとめる（２時間）
　　事後学習：提示された問いに対して自分の考えをまとめ、ミニレポートを作成する（２時間）
第10回：企画書の構成を考える
　　事前学習：企画書に求められる構成（表現項目と順序）の要点をまとめる（２時間）
　　事後学習：提示された問いに対して自分の考えをまとめ、ミニレポートを作成する（２時間）
第11回：締め切り前の最終確認
　　事前学習：企画書の提出前に、最終的に確認すべきポイントをまとめる（２時間）
　　事後学習：ここまでの集大成としての企画書を作成し、提出する（２時間）
第12回：妄想力を磨く
　　事前学習：これまでの授業をふりかえり、企画書に必要な要件を再確認する（２時間）
　　事後学習：提示された問いに対して自分の考えをまとめ、ミニレポートを作成する（２時間）
第13回：顧客体験を描く
　　事前学習：自分のアイディアは、顧客の立場からはどのように体験されるのかを確認する（２時間）
　　事後学習：提示された問いに対して自分の考えをまとめ、ミニレポートを作成する（２時間）
第14回：自分を追い込む時間
　　事前学習：完成間近の企画書を精査し、さらに完成度をあげるための要件を絞り出す（２時間）
　　事後学習：最後の集大成としての企画書を作成し、提出する（２時間）
第15回：要約力と説明力
　　事前学習：これまでの授業資料と提出レポートを通読し、学びの跡をふりかえる（２時間）
　　事後学習：これまでの学びについての総括レポートを作成し、提出する（２時間）

企画の準備を授業だけで完結させるのは困難であるため、授業外での調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施していることが必要になる。授業外での取り組み方が授業内での成果に大きく影響する。
一部例示したが、授業各回において、事前準備と事後まとめを求める。詳細は各回ごとに伝える。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

以下の２点からの総合評価。
１．レポートの提出状況（期限内の提出を出席とみなし、期限後は遅刻扱い）
２．レポートの内容
・指定された問いに答えているか
・授業資料に説明された考え方を活かしているか
・読み手にわかりやすい表現を工夫しているか

成　績　評　価　基　準

１．企画書を書くための要件を段階を踏んで学んでいるか（各回のレポート）
２．授業で示される企画書の要件を理解し、自分の表現に展開できているか（３回の企画書）
３．自分の学びの後を客観的にふりかえり、今後の学びの展望を持てているか（最終レポート）

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

毎回、e-Learningを通じて授業資料を配布する。

その他(受講上の注意)

「企画開発基礎演習」をベースとして、発展的に学ぶ科目であるため、受講を終えていることを推奨する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション技法Ⅰ (Communication Techniques Ⅰ)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2254	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

日常的・実用的な文章例やレポート・論文の文章例をもとに、その例の問題点を自分たちで考え、修正し、発表する。どのような人にどのような情報をどのような順序で書くか、読む人の側に立って書く力を身につける。

授 業 の 到 達 目 標

・対象や目的に沿った書き方を理解し、実践することができる。
・読む人の側に立った書き方を理解し、実践することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（課題提出）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストのトレーニング1～11、13, 14の最初の文章例に目を通す。（2時間）
　事後学習：資料を復習する。（2時間）
第2回：お知らせのメール（ディスカッション・課題提出）
　事前学習：テキストのトレーニング1を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第3回：レストランのメニュー（ディスカッション・課題提出）
　事前学習：テキストのトレーニング2を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第4回：問い合わせのメール（ディスカッション・課題提出）
　事前学習：テキストのトレーニング3を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第5回：注意書きやサービス案内（ディスカッション・課題提出）
　事前学習：テキストのトレーニング4を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第6回：お願いのメール（ディスカッション・課題提出）
　事前学習：テキストのトレーニング5を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第7回：お店やイベントの広告（ディスカッション・課題提出）
　事前学習：テキストのトレーニング6を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第8回：わかりやすいマニュアル（ディスカッション・課題提出）
　事前学習：テキストのトレーニング7を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第9回：場所や交通の案内（ディスカッション・課題提出）
　事前学習：テキストのトレーニング8を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第10回：企画や提案を出す（ディスカッション・課題提出）
　事前学習：テキストのトレーニング9を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）

第11回：ニュースレターを作る（ディスカッション・課題提出）
　　事前学習：テキストのトレーニング10を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第12回：アンケート用紙を作る（ディスカッション・課題提出）
　　事前学習：テキストのトレーニング11を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第13回：日本語弱者のことを考えて書く（ディスカッション・課題提出）
　　事前学習：テキストのトレーニング13を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第14回：レポートや論文を書く（ディスカッション・課題提出）
　　事前学習：テキストのトレーニング14を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
　　事前学習：これまでの授業で取り上げた問題点を確認し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40％）、課題（40％）、平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

・対象や目的に沿った書き方を理解し、実践することができるか。
・読む人の側に立った書き方を理解し、実践することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

『日本語を書くトレーニング』　第２版　野田尚史・森口稔著　ひつじ書房　2014年

その他（受講上の注意）

受身ではなく、自分たちで問題点を発見し、解決することが求められる。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション技法Ⅱ (Communication TechniquesⅡ)			担当教員	植月　百枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2255	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

コミュニケーションの原点は、相手の気持ちを察しながら自分の考えを的確に伝えることで、それを紡ぐのが「言葉」である。
授業では、「話す」「きく」の基本に加え、「報告」「説明」「プレゼンテーション」などの演習を通し言葉による自己表現力を高めていく。合わせて非言語コミュニケーションスキルを磨き、総合的なコミュニケーション能力の向上をめざす。

授　業　の　到　達　目　標

・言葉を使って、自分の考えや情報を的確に過不足なく相手に伝える。
・分かりやすく、相手の心をつかむ自己紹介、説明、報告、発表ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：コミュニケーションとは何か、真のコミュニケーション能力について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学修：失敗だったり、好ましくなかったコミュニケーションから自分の課題、目標を立ててみること（2時間）
第2回：コミュニケーション・スキルを身につける→必要性と理由
　事前学習：コミュニケーションの際に、特に気をつけていることはどのようなことかを考え、まとめておくこと（2時間）
　事後学修：テキストP8~11を読み返し、必要性を理解すること（2時間）
第3回：言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション
　事前学習：テキストP20~25を熟読すること。（2時間）
　事後学修：非言語コミュニケーションを具体的に理解し、実践すること（2時間）
第4回：報告①　遠隔コミュニケーション
　事前学習：遠隔授業で友人に会う機会が少ない。友人に近況報告をするには何をどのように伝えるか考え、話の組み立てをすること（2時間）
　事後学修：大学の友人に近況報告を動画でしてみよう。3分以内で報告動画を作成すること（2時間）
第5回：報告②　仕事をスムーズに進めるためのスキル
　事前学習：テキストP58～65を熟読し、「報告・連絡・相談」がどのような内容かを理解すること（2時間）
　事後学修：テキストP67のワークを完成させ提出すること（2時間）
第6回：「連絡」「相談」
　事前学習：テキストP58、59のプレワーク　シーン1、2を比較して感じたこと、気付いたことを記述しておくこと（2時間）
　事後学修：テキストP70ワーク4を完成させ提出すること（2時間）
第7回：話を聴くためのスキル
　事前学習：人の話に耳を傾けることは忍耐が必要である。どのような場合に話を聞けないか考えまとめること（2時間）
　事後学修：傾聴の意味を理解し、聴いていることを相手に伝える方法を日頃から実践すること（2時間）

第８回：理解を深めるためのスキル～質問・確認する～
事前学習：日常的な会話の場面で質問・確認を実践し、質問・確認の効果をまとめること（２時間）
事後学修：ゲストの話の内容をまとめ、感想と質問項目を提出すること（２時間）
第９回：情報を共有するためのスキル
事前学習：テキストP72～77を熟読し、考え方や理解力の異なる相手に情報を正しく伝え、理解させるスキルについて考えること（２時間）
事後学修：最寄りの駅から自宅までの経路を示し、たどり着けるよう案内する説明文を作成すること（２時間）
第10回：提案し、納得に導くためのスキル①説得
事前学習：テキストP80、81のプレワーク「説得のコミュニケーションシーン」を読んでどのように感じたか記述すること（２時間）
事後学修：テキストP86「説得の基礎ワーク」を読み課題を提出すること（２時間）
第11回：提案し、納得に導くためのスキル～プレゼンテーション①～
事前学習：プレゼンテーションは説得を目的とした提案型の発表である。テキストP83～85を読んで理解を深めること（２時間）
事後学修：第13回でプレゼンテーションの実践を行うので、テキスト89ページを参考に準備を進めること（２時間）
第12回：提案し、納得に導くためのスキル～プレゼンテーション②～
事前学習：プレゼンテーションのシナリオをテキストを参考にして実際に作成すること（２時間）
事後学修：プレゼンテーションの動画を作成する。プレゼンテーションは３分以内なので、うまくいかない時は工夫を凝らし、何度も挑戦して作成すること（２時間）
第13回：プレゼンテーション発表
事前学習：全員の動画を視聴するので、プレゼンテーションの基本をテキストで理解し直し、評価のポイントを、考えておくこと（２時間）
事後学修：友人のプレゼンテーションを見て、良い点、改善すべき点を確認し評価表を提出すること（２時間）
第14回：頭の中を整理するためのスキル
事前学習：テキストP50～53を熟読し、的確な判断、関連付け、メンバー間の連携の重要さを理解すること（２時間）
事後学修：テキストP56ワーク３「熟考、関連付け、優先順位付けの重要性について」200字以内にまとめて提出すること（２時間）
第15回：人前であがらないためのスキル
事前学習：自分自身のあがりについて考えてみよう。どういう場合に、どのように表れて、どのようになるのか言葉でまとめること（２時間）
事後学修：あがりの克服は慣れることが重要である。新聞やテキストの音読を、聞く人を想定し鏡の前などで練習するとよい（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）演習（25%）平常点（25%）
＊平常点は出席状況、遠隔授業への参加態度、動画作成での演習への取り組み姿勢等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・言葉を使って、自分の考えや情報を的確に過不足なく相手に伝えることができるか。
・遠隔授業で分かりやすく、相手の心をつかむ自己紹介、説明、報告、発表ができるか。
・ワークを通してコミュニケーションを円滑に行う能力を磨いているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

ワークで学ぶ『コミュニケーション・スキル』株式会社　西文社　　監修者　中村健壽

その他(受講上の注意)

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ライティング技法 (Writing Strategies)			担当教員	野尻　昌明
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2256	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

メディアにおけるライティングの違いを検証。各メディア特性を確認しながらメディア（ライティング）を制作し効果を学ぶ。
最終的にデジタルメディアに集結するコミュニケーションを、企画制作する。

授 業 の 到 達 目 標

コミュニケーションメディアに関する企画力・制作能力を高める。
コミュニケーションの目的とする各種ベクトルを把握しながら、正しい表現能力を会得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：コミュニケーションとコピーライティング
　事前学習：コミュニケーションツールとしてのコピー（広告用の言葉・フレーズ・惹句）について理解しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業中に示された各種コピーについてのメモをレポート化しておくこと。（2時間）
第2回：コピーライティング概論（新聞・TV・ポスター・web・各種）
　事前学習：授業前に各媒体から興味のあるクリエイティブ作品を選択、記録しておく。（2時間）
　事後学習：授業後、媒体特性を理解し選択したクリエイティブ作品についての分析を行う。（2時間）
第3回：コピーライティングの制作実践
　事前学習：前回与えられた課題について、複数のキャッチコピーと説明を用意しておく。（2時間）
　事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。（2時間）
第4回：作品の評価・ミーティング
　事前学習：選択したコピーについての十分な説明を準備しておく。（2時間）
　事後学習：評価されたコピーについてさらにブラッシュアップを行う。（2時間）
第5回：コンセプトの必要性（クライアント設定～制作～効果）
　事前学習：予告されたクライアントについいてのコンセプト（企業・地域・広報等）を準備しておく。（2時間）
　事後学習：学習したブラッシュアップ法によって、コンセプトを再度確認する・。（2時間）
第6回：設定クライアント（製品）①におけるミーティング（グループワーク）
　事前学習：設定クライアントについての予備知識を用意しておく。（2時間）
　事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。（2時間）
第7回：制作実践（課題1/コンセプトライティング）
　事前学習：設定クライアントがコピーを必要とする理由・目的を分析しておく。（2時間）
　事後学習：設定したコンセプトが正しいかどうかを、クライアント確認とともに精査する。（2時間）
第8回：制作実践（課題1/キャッチコピーライティング）
　事前学習：前回与えられた課題について、複数のキャッチコピーと説明を用意しておく。（2時間）
　事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。（2時間）
第9回：制作実践（課題1/ボディコピーライティング）
　事前学習：前回与えられた課題について、複数のボディコピーと説明を用意しておく。（2時間）
　事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。（2時間）

第10回：制作実践（課題１/ライティング発表）
　　事前学習：選択したコピーについての十分な説明を準備しておく。（２時間）
　　事後学習：評価されたコピーについてさらにブラッシュアップを行う。（２時間）
第11回：設定クライアント（製品）②におけるミーティング（グループワーク）
　　事前学習：設定クライアントについての予備知識を用意しておく。（２時間）
　　事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。（２時間）
第12回：制作実践（課題２/コンセプトライティング）
　　事前学習：設定クライアントがコピーを必要とする理由・目的を分析しておく。（２時間）
　　事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。（２時間）
第13回：制作実践（課題２/キャッチコピー＆ボディライティング）
　　事前学習：与えられた課題について、複数のキャッチ＆ボディコピーと説明を用意しておく。（２時間）
　　事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。（２時間）
第14回：制作実践（課題１～２についての総合企画書）
　　事前学習：課題１～２についてのプロセスを考慮しながら、企画骨子をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：指定された企画シートに沿って内容をまとめる。（２時間）
第15回：課題１～２における企画プレゼンテーション制作準備（プレゼンテーション）
　　事前学習：総括した企画を１枚のシートにまとめる。（２時間）
　　事後学習：担当教員とのディスカッション後、プレゼンテーションツールを作成しておく。（２時間）
第16回：最終試験

（※受講者数・状況により変更の場合あり）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題への取り組み・定期試験（50%）課題成果（30%）平常点（20%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

メディアを利用しての実践的制作プロセス（ライティング・コンセプトメイキング・企画）のスケジュール把握とデジタルツールへの効果的・効率的な情報運用。
コミュニケーションメディアに関する企画力・制作能力を高めることができているか。
コミュニケーションの目的とする各種ベクトルを把握しながら、正しい表現能力を会得することができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （広告ディレクター） ・実務経験と授業内容との関連性 （広告ディレクターとしての業務経験を有する教員が、各メディアにおけるコピーライティングの技法について演習を行う。）
テキスト、参考図書
使用しない
その他（受講上の注意）
原則としてコミュニケーション技法Ⅰ（２年前期）を履修したものに限る。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

メディア･コミュニケーション論 (Study of Media Communication)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2257	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画･マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報社会と呼ばれる今日では、様々なメディアが私たちの生活に深く入り込み、日常のコミュニケーションを通じて社会のあり様を大きく変えている。授業では、情報が溢れかえる時代において、物事の本質を問う力、考える力、および表現する力の向上を狙いとする。

授　業　の　到　達　目　標

・メディア理論に関して、その要諦と社会的意味の位置づけを説明することができる。
・メディアと社会の変容について分析することができる。また、自身の意見をもち考えを述べることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：メディア・コミュニケーションとは
　事前学習：初回の授業ではメディアの意味・役割について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：新聞①
　事前学習：次回の授業では新聞と社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：新聞②（グループワーク）
　事前学習：次回の授業では「新聞」に関するグループワークを行うので、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：新聞③（発表）
　事前学習：次回の授業では「新聞」に関する発表を行うので、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：聴覚メディア
　事前学習：次回の授業では聴覚メディアについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：視覚メディア
　事前学習：次回の授業では視覚メディアについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：ニューメディア
　事前学習：次回の授業ではニューメディアについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：ロゴ①
事前学習：次回の授業ではロゴについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：ロゴ②（発表）
事前学習：次回の授業ではロゴに関する発表を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：メディア・リテラシー①
事前学習：次回の授業ではメディア・リテラシーについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：メディア・リテラシー②
事前学習：次回の授業では紙媒体による情報発信について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：紙媒体①
事前学習：次回の授業では紙媒体による情報発信について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：紙媒体②
事前学習：次回の授業では紙媒体に関する発表を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：メディアと社会の変容
事前学習：次回の授業ではメディアと社会の変容ついて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：次回の授業では確認問題などを通して授業全体のまとめを行うので、これまでの授業内容を確認しておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物（70%）、平常点（30%）
※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断

成　績　評　価　基　準

・メディア理論に関して、その要諦と社会的意味の位置づけを説明することができるか。
・メディアと社会の変容について分析することができるか。また、自身の意見をもち考えを述べることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

必要に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

メディア・デザイン (Media Design)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2258	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

映像表現を用いたコミュニケーション方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。メディア（テレビ、ウェブ等）や目的（PV、CM等）に応じた映像表現の基本ルールの理解と平行して、コンピュータ（Mac）／スマートフォンのアプリケーションを用いた映像表現の技法を習得していく。

授　業　の　到　達　目　標

現在において動画コンテンツが有効とされている理由を理解する。映像表現の基本ルール・手法について理解する。コンピュータを用いた映像表現の技法を習得する。映像表現を駆使してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：制作ツールの紹介、データの管理方法、映像制作の流れ、著作権について（実習）
　事前学習（2時間）：教科書の目次を読み、教科書中の図案を見る
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの基本操作を覚える
第2回：撮影技法① 安全や周囲への配慮、カメラの構え方、カメラワーク（実習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：撮影技法の基本に基づいて撮影を更に試す
第3回：撮影技法② 三脚固定、タイムラプス、スロー（実習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：タイムラプスやスローの機能を更に試す
第4回：編集技法① カット編集、トランジション（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの操作を復習する、カット編集の基本を覚える
第5回：編集技法② テロップやサウンドの挿入（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの操作を復習する、テロップの作成方法を覚える
第6回：編集技法③ ワイプ、インサート編集、色補正（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの操作を復習する、色補正の方法を覚える
第7回：編集技法④ 時間操作（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの操作を復習する、タイプリマップの使い方を覚える
第8回：制作実践①SNS向け動画（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：素材となる動画を撮影する
　事後学習（2時間）：動画編集ソフトの操作を復習する、SNS用動画の様式を覚える
第9回：制作実践②インタビュー動画撮影（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）：コンテンツ（インタビュー内容）を準備する
　事後学習（2時間）：ロケ撮影をする

第10回：制作実践②インタビュー動画編集（課題解決型学習、グループワーク）
　　事前学習（２時間）：絵コンテを作成する
　　事後学習（２時間）：協同で編集し完成度を高める
第11回：期末課題制作① オリエンテーション、絵コンテの作成（課題解決型学習、フィールドワーク）
　　事前学習（２時間）：教科書を読み直して動画編集の基本について理解を深める
　　事後学習（２時間）：ロケハンをする
第12回：期末課題制作② 編集（課題解決型学習、実習）
　　事前学習（２時間）：撮影データを整理してMacに読み込んでおく
　　事後学習（２時間）：撮影をする
第13回：期末課題制作③ 編集、中間チェック（課題解決型学習、実習）
　　事前学習（２時間）：数人で途中経過をプレビューし意見交換する
　　事後学習（２時間）：担当教員からのフィードバックをもとに品質を高める
第14回：期末課題制作④ ブラッシュアップ、作品完成・提出（課題解決型学習、実習）
　　事前学習（２時間）：更に良い作品にするために何度もプレビューする
　　事後学習（２時間）：作品データを完成、データはEラーニングより提出する
第15回：期末課題制作⑤ プレゼンテーション（課題解決型学習、発表）
　　事前学習（２時間）：プレゼンテーションを準備する
　　事後学習（２時間）：他の学生の作品を鑑賞し批評する

その他、１～15回目を通して授業外で学習してほしいこと
・「技法」を意識して、日常流れている動画を別の視点で見る。
・センスを鍛えるために自主制作をする。
・疑問や知りたいことがあればオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：面接授業
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末課題作品（40%）　授業毎の作品（30%）　授業毎の小テスト・レポート（30%）

成　績　評　価　基　準

・映像表現の基本ルールが理解できているか。
・ツールを適切に使用できているか。
・映像表現の基本ルールを理解した上で、課題作品の制作ができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（WEBデザイナー）

・実務経験と授業内容との関連性
（WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、映像表現の技法について演習を行う。）

テキスト、参考図書

テキスト：河野緑「知識ゼロからはじめる Premiere Proの教科書 CC対応」ソシム株式会社 2019年
参考図書：授業内で紹介する

その他（受講上の注意）

撮影は必要に応じて授業時間外に実施することがある。
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン基礎 (Fundamentals of Project Design)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2262	2単位	2年通年	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

環境変化のスピードが加速するとともに、予測も困難になってきている今日において、正解を導き出す力よりも、正解のない答え・最善策をメンバーとともに模索していく力が求められている。授業では、多面的・複眼的思考により仮説を設定・プランを策定し、試行錯誤しながら自分達の結論を導き出すための問題解決型のコミュニケーション能力の向上を狙いとする。

授　業　の　到　達　目　標

・プロジェクトの特徴や意義について説明することができる。
・企画書を作成する上でのポイントについて説明するこができる。
・問題解決型プロジェクトの基本的な進め方について説明することができる。
・プランを実行することができる。
・評価を行い、改善策を検討することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：プロジェクトとは
　事前学習：初回授業ではプロジェクトの特徴について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：ＰＤＣＡ
　事前学習：次回の授業では評価・改善の重要性について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：コンセプトとストーリー
　事前学習：次回の授業ではコンセプト構築とストーリーの重要性について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：問題解決のアプローチ
　事前学習：次回の授業では問題解決のアプローチ方法について考えるので、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：問題点の設定
　事前学習：次回の授業では問題点を設定するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：課題の抽出
　事前学習：次回の授業では課題を抽出するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：対策の検討
　事前学習：次回の授業では対策を検討するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：レビュー①（グループワーク）
事前学習：次回の授業ではレビューを実施するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：レビュー②（グループワーク）
事前学習：次回の授業では（引続き）レビューを実施するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：アクションプラン
事前学習：次回の授業ではアクションプランを検討するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：対策の実施
事前学習：次回の授業では対策の実施にあたっての留意点について確認するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：報告会（発表）
事前学習：次回の授業ではプレゼンテーションをするので、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：報告会（発表）
事前学習：次回の授業ではプレゼンテーションをするので、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：報告会（発表）
事前学習：次回の授業ではプレゼンテーションをするので、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：次回の授業ではまとめをするため、これまでの授業の振り返りを行っておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物（50%）、平常点（50%）
※平常点：授業への参加状況、受講態度等を総合して判断するもの。

成　績　評　価　基　準

・プロジェクトの特徴や意義について説明することができるか。
・企画書を作成する上でのポイントについて説明することができるか。
・問題解決型プロジェクトの基本的な進め方について説明することができるか。
・プランを実行することができるか。
・評価を行い、改善策を検討することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（リアクションペーパー、発表資料に対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
元情報通信会社管理職（人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当）

・実務経験と授業内容との関連性
大規模プロジェクト（自治体防災システムの設計・構築、経済界幹部養成機関の立上げ・運営等）経験のある教員が、プロジェクトの進め方について、テーマの提示および解説を行う。

テキスト、参考図書

必要に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅡa (Oral CommunicationⅡa)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2265	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初に、テキストのトピック内の記事を読み、英文を読む訓練を行う。続いて語彙の確認や記事の背景を理解し、自分の意見やアイディアを整理する。各ユニットの最後に討論を行う。

授 業 の 到 達 目 標

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらに、その意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できることを目指す。また、物事を批評する力を身につけることを目指す。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：四季の描写、日本とアメリカ　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された四季の描写、日本とアメリカについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：四季の描写、日本とアメリカ　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された四季の描写、日本とアメリカについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：国内旅行　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された国内旅行について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：国内旅行　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された国内旅行について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：ハンバーガーの生い立ち　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたハンバーガーの生い立ちについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：ハンバーガーの生い立ち　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたハンバーガーの生い立ちについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第1,6,2ユニットを復習。（2時間）
　事後学習：テキストの第1,6,2ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：ファースト・フードと健康　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第16章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたファースト・フードと健康について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第9回：ファースト・フードと健康　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第16章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたファースト・フードと健康について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第10回：世界で最も幸せな国　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された世界で最も幸せな国について、ノートにまとめておくこと。（2時間）

第11回：世界で最も幸せな国　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された世界で最も幸せな国について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：間接喫煙　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された間接喫煙について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：間接喫煙　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された間接喫煙について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：甘い飲み物　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
事前学習：授業前にテキストの第５章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された甘い飲み物について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：甘い飲み物　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第５章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業前にテキストの第16,10,11,5ユニットを復習する。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できるか。
物事を批評する力を身につけているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト Life Topics: A Critical Thinking Approach to English Proficiency（総合英語ライフトピックス） Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2012.　NAN' UN-DO　ISBN 978-4-523-17689-3 （島岡丘, ジョナサン・バーマン著　出版社：南雲堂　2012） 参考図書 中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 高等学校習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
その他（受講上の注意）
Self-motivation and effort are very important for successful completion of this course.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅡb (Oral CommunicationⅡb)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2266	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初にテキストのトピック内の記事を読み、英文を読む訓練を行う。続いて語彙の確認や記事の背景を理解し、自分の意見やアイディアを整理する。各ユニットの最後に討論を行う。

授 業 の 到 達 目 標

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できることを目指す。また物事を批評する力を身につけることを目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：幽霊　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された幽霊について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：幽霊　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された幽霊について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：宇宙人とUFOは存在するか（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された宇宙人とUFOは存在するかについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：宇宙人とUFOは存在するか（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された宇宙人とUFOは存在するかについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：インターネットの発達（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたインターネットの発達について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：インターネットの発達（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたインターネットの発達について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第15,9,4ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第15,9,4ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：インターネットで買い物（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたインターネットで買い物について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第9回：インターネットで買い物（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたインターネットで買い物について、ノートにまとめておくこと。（2時間）

第10回：クレジットカードの罠　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第18章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたクレジットカードの罠について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第11回：クレジットカードの罠　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第18章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたクレジットカードの罠について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：遺伝子組換え　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第22章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された遺伝子組換えについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：遺伝子組換え（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第22章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された遺伝子組換えについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：整形　（文章の理解、語彙の確認）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された整形について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：整形　（課題を踏まえての討論）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業前にテキストの第8,18,22,12ユニットを復習する。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できるか。
物事を批評する力を身につけているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト Life Topics: A Critical Thinking Approach to English Proficiency　（総合英語ライフトピックス） Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2012. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17689-3 （島岡丘, ジョナサン・バーマン著　出版社：南雲堂　2012） 参考図書 中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
その他（受講上の注意）
Self-motivation and effort are very important for successful completion of this course.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

TOEIC英語Ⅰ （TOEIC EnglishⅠ）			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2269	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果（教育目標）

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

TOEICテストの各パートの出題形式を理解し 、問題に取り組むためのテクニックを学ぶ。TOEIC600点レベルの語彙400語を確かなものとする。

授 業 の 到 達 目 標

リスニング力・リーディング力の向上を図り、TOEICテストのスコアアップを目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第2回：Listening Part 1 写真描写問題（1）/ Reading Part 5　短文穴埋め問題（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第3回：Listening Part 1 写真描写問題（2）/ Reading Part 5 短文穴埋め問題（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第4回：Listening Part 1 写真描写問題（3）/ Reading Part 5　短文穴埋め問題（3）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第5回：Listening Part 2 応答問題（1）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第6回：Listening Part 2 応答問題（2）（実技）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第7回：Listening Part 2 応答問題（3）/　Reading Part 6　長文穴埋め問題（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第8回：Listening Part 3 会話問題（1）/ Reading Part 7　1つの文書（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第9回：Listening Part 3 会話問題（2）/ Reading Part 7　1つの文書（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第10回：Listening Part 3 会話問題（3）/ Reading Part 7　1つの文書（3）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）

第11回：Listening Part 4 説明文問題（1）/ Reading Part 7 複数の文書（1）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第12回：Listening Part 4 説明文問題（2）/ Reading Part 7 複数の文書（2）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第13回：Listening Part 4 説明文問題（3）/ Reading Part 7 複数の文書（3）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第14回：Listening Part 4 説明文問題（4）/ Reading Part 7 複数の文書（4）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第16回：定期試験

・英語教育センター主催のTOEIC IPを受験すること
・予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ辞書で未知語を調べておく。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：面接授業
第8回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

定期試験（50%） 授業内レポート（30%） 平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

TOEIC600点レベルに関わる語彙・文法・解答技術を習得したか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時 □仁大eラーニング □メール □その他
5）その他
□授業時 □仁大eラーニング □メール □その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
小石裕子　『はじめて受けるTOEIC（R）L&Rテスト 全パート完全攻略』 2018年 アルク TEX加藤　『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 2017年　朝日新聞出版 また、必要に応じて適宜ハンドアウトを配布する。
その他（受講上の注意）
・TOEIC英語Ⅱ との同時履修はできない。 ・遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。 ・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

メディア英語 (Media English)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2274	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

メディアに関わる英語と、多様な文化や価値観について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

メディアに関わる英語と、多様な文化や価値観を理解する能力を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：授業前にテキストの目次を見て、興味のあるトピックを1つ選び、選んだ理由を1つ考える。（2時間）
　事後学修：授業の復習をする。また、授業の進め方等についてわからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：Mothers, Single by Choice
　事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（2時間）
　事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：Fragrance by Design
　事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（2時間）
　事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：Fashionably Green
　事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（2時間）
　事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：Super Dad
　事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（2時間）
　事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：Inventive New Toys
　事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（2時間）
　事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：Relaxing with Yoga
　事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（2時間）
　事後学修：授業で議論した「国々の違い」をよく復習する。（2時間）
第8回：Healing with Balloons
　事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（2時間）
　事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（2時間）
第9回：Good Trash
　事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（2時間）
　事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（2時間）
第10回：Pet Rescue
　事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（2時間）
　事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（2時間）

第11回：Saving Art from the Big Spenders
事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（２時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：Tasty Business
事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（２時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：Musical Impact
事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（２時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：Flea Market, Brooklyn Style
事前学習：Building Your Vocabularyを予習する。（２時間）
事後学修：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ（授業内容の統括）
事前学習：これまでの授業内容をもとに、英文レポートを仕上げる。（２時間）
事後学修：全ての授業において学習した内容を復習する。特に、覚えていない単語を再確認し、覚える。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（70%）授業内レポート（10%）平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

多様な文化や価値観について理解したことを、英語で分析的に表現できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

Kanamori, T. and Smillie, B. (2009) "New York Streets" Kinseido

その他（受講上の注意）
５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなします。 20分以上の遅刻は欠席とみなします。 必ず英和辞書（電子辞書可）を持参してください。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英作文演習 (English Writing)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2275	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

パラグラフ・ライティングに焦点を当て、基本的なパラグラフ構成を学習する。ペア・グループ学習等の様々な言語活動を通して、ライティングにおける流暢さと正確さを追及する。

授 業 の 到 達 目 標

1．基本的なパラグラフ構成を理解し、意図することを読み手に効果的に伝えるパラグラフを書くことができる。
2．与えられたテーマについて、意図することを読み手に正確に伝えるパラグラフを、10分間で80語程度書くことができる。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・文書作成能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：トピックセンテンスの書き方（グループワーク）
　事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたトピックセンテンスについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：サポーティングセンテンスの書き方（グループワーク）
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたサポーティングセンテンスについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：コンクルーディングセンテンスの書き方（グループワーク）
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたコンクルーディングセンテンスについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：描写のパラグラフの書き方（グループワーク）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された描写のパラグラフについて、自分の描写のパラグラフを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（2時間）
第5回：物語のパラグラフの書き方（グループワーク　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された物語のパラグラフについて、自分の物語のパラグラフを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（2時間）
第6回：説明のパラグラフの書き方（グループワーク　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された説明のパラグラフについて、自分の説明のパラグラフを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（2時間）
第7回：復習（第1回～第6回）（グループワーク　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第1～6ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第1～6ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：まとまりとは（グループワーク）
　事前学習：授業前にテキストの第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（2時間）

第９回：結束とは（グループワーク　発表）
事前学習：授業前にテキストの第８と９章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第10回：プロセス について/ Process（グループワーク　発表）
事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第11回：理由と結果の書き方 / Reasons and Results（グループワーク　発表）
事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第12回：意見の書き方/ Opinions（グループワーク　発表）
事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第13回：復習（第８回～第13回）（グループワーク　発表）
事前学習：授業前にテキストの第７～12ユニットを復習。（２時間）
事後学習：テキストの第７～12ユニットを復習して、わからないところをノートにを書くこと。（２時間）
第14回：英作文発表の準備（グループワーク　発表）
事前学習：授業前に英作文を書き、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキストの第７～12ユニットを復習して、わからないところをノートにを書くこと。（２時間）
第15回：英作文の発表（発表）
事前学習：授業前に書いた作文の発表することを練習する。（２時間）
事後学習：テキストの第７～12ユニットを復習して、わからないところをノートにを書くこと。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用

成　績　評　価　方　法

授業での言語活動15%、毎時間の小テスト20%、課題15%、定期試験50%

成　績　評　価　基　準

１．基本的なパラグラフ構成を理解し、意図することを読み手に効果的に伝えるパラグラフを書くことができるか。
２．与えられたテーマについて、意図することを読み手に正確に伝えるパラグラフを、10分間で80語程度書くことができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
"Writing to Communicate 1 -Paragraphs-"　C. Boardman.　Pearson/Longman.　2008.

参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他(受講上の注意)

英和辞書、和英辞書、英英辞書を必ず持参すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

家族社会学 (Sociology of the Family)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2279	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

「家族」について、さまざまな視点から考える。また、多様な家族のあり方を知る。

授 業 の 到 達 目 標

「家族」はあまりに身近な存在であるがために、自分の知る「家族」だけが、当たり前のものだと考えがちである。しかし「家族」は普遍的なものではなく、時代や社会によって大きく異なり、また同じ社会の中でもさまざまである。授業を通じて、家族を社会学的な視点からみつめ、家族の歴史や多様性を理解することをめざす。
また、さまざまなライフイベント（就職・結婚・育児・離婚など）に関する制度や法律について適切に理解することをめざす。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（リアクション・ペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション：「家族」とは何か？
　事前学習：シラバスや参考図書に目を通しておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第2回：「家族」を捉える
　事前学習：「家族」の捉え方について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第3回：ジェンダー：男は仕事、女は家庭？
　事前学習：「ジェンダー規範」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第4回：ジェンダー：メディアとジェンダー
　事前学習：「家族とジェンダー」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第5回：「近代家族」の誕生①
　事前学習：「近代家族とは何か」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第6回：「近代家族」の誕生②
　事前学習：「日本の近代家族」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第7回：パートナーシップ①：未婚化・晩婚化・非婚化、婚活
　事前学習：「未婚化・晩婚化」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第8回：パートナーシップ②：異性、同性、SOGI
　事前学習：「性の多様性」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第9回：パートナーシップ③：結婚と事実婚、婚姻と子ども
　事前学習：「婚姻制度」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）

第10回：妊娠・出産・子育て①：育児の社会化、少子化、リプロダクティブヘルス・ライツ、妊活
事前学習：「少子化」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第11回：妊娠・出産・子育て②：育児を支える制度
事前学習：「育児」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第12回：妊娠・出産・子育て③：保育の課題、待機児童、保活
事前学習：「保育の課題」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第13回：ケアワーク①：家事労働
事前学習：「家事」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第14回：ケアワーク②：高齢社会介護
事前学習：「ケアワーク」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第15回：まとめ：社会の中の家族、家族をめぐる「選択」、家族の「課題」
事前学習：「家族のオルタナティブ」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、平常点（50%）
※平常点は受講態度、小テスト、小レポート、授業への参加状況等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

現在の家族に関する制度や法律について正しく理解できているか。
家族の多様性や歴史的な変化を正しく理解し、具体的な事例を用いて説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキストは指定しない。 参考図書として、落合恵美子『21世紀家族へ（第３版）』有斐閣（2004年） 中野円佳『「育休世代」のジレンマ ── 女性活用はなぜ失敗するのか？』光文社（2014年） 岩上真珠『ライフコースとジェンダーで読む家族（第３版）』有斐閣（2013年）　など。 また、授業中に適宜紹介する。
その他（受講上の注意）
受講生の関心に応じて、「授業の計画」に提示した内容から若干変更する可能性がある。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会調査法 (Social Research Methods)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2280	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的な方法を解説する。調査目的と調査方法、調査方法の決め方、調査企画と設計、仮説構成、全数調査と標本調査、無作為抽出、標本数と誤差、サンプリングの諸方法、質問文・調査票の作り方、調査の実施方法(調査票の配布・回収法、調査データの整理など)を学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

・調査票調査の手順を理解する。
・調査票調査におけるデータ収集法の違いについて理解する。
・適切な質問と回答選択肢を作成するための方法を習得する。
・無作為抽出の意義を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(模擬調査及およびパソコンを用いた演習)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの第1章を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第2回：調査方法の選択
　事前学習：テキストの第2章を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第3回：アンケート調査の進め方(1)　リサーチクエスチョン，仮説を構成する
　事前学習：テキストの第3章を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第4回：アンケート調査の進め方(2)　調査の企画
　事前学習：テキストの第4章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第5回：調査票作成の基礎(1)　仮説と質問項目
　事前学習：テキストの第4章(後半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第6回：調査票作成の基礎(2)　ワーディング
　事前学習：テキストの第6章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第7回：調査票作成の基礎(3)　質問文の形式と選択肢の構成
　事前学習：テキストの第6章(後半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第8回：サンプリング(1)　ランダム・サンプリングがなぜ必要か
　事前学習：テキストの第7章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)

第９回：サンプリング（２）　サンプリングと調査票の配布から回収まで
　　事前学習：テキストの第７章（後半）を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第10回：模擬調査
　　事前学習：テキストの第８章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第11回：調査データの作成（１）　エディティング，コーディング
　　事前学習：テキストの第９章（前半）を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第12回：調査データの作成（２）　データ入力，データクリーニング
　　事前学習：テキストの９章（後半）を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第13回：データ分析（１）　記述統計
　　事前学習：テキストの第10章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第14回：データ分析（２）　クロス表分析
　　事前学習：テキストの第12章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第15回：報告書の作成
　　事前学習：テキストの13章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

・定期試験（50%）
・課題提出・受講態度（50%）

成　績　評　価　基　準

・調査票調査の手順を理解できているか。
・調査票調査におけるデータ収集法の違いについて理解できているか。
・適切な質問と回答選択肢を作成するための方法を習得しているか。
・無作為抽出の意義を理解できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
『入門・社会調査法』（第三版）轟・杉野編　法律文化社　2017年
その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【B】〔調査設計と実施方法に関する科目〕に相当する。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報・社会調査基礎 (Fundamentals of Information and Social Research)			担当教員	織田　暁子、江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2281	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

この講義は、社会調査（量的調査・質的調査）に関する本の論文を読み、社会調査に関する基礎的な理解を目指す。毎回の講義をとおして、情報・社会調査の基礎体力を習得することを目的とする。なお、読む論文の順序は入れ替わることがある。

授 業 の 到 達 目 標

情報・社会調査のスキルと概念を理解したうえで、現代社会を分析する視角として用いることができるようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（織田・江南）
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業の内容を振り返り、e-learningを通じてリフレクションを実施する。（2時間）
第2回：論文講読方法の指導、担当者決定（織田・江南）
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（2時間）
第3回：【講義】課題論文の解説（織田・江南）
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（2時間）
第4回：論文報告（織田・江南）
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（2時間）
第5回：論文報告（織田・江南）
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（2時間）
第6回：論文報告（織田・江南）
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（2時間）
第7回：【講義】課題論文の解説（織田・江南）
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習すること（2時間）
第8回：論文報告（織田・江南）
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（2時間）
第9回：論文報告（織田・江南）
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（2時間）
第10回：論文報告（織田・江南）
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（2時間）

第11回：論文報告（織田・江南）
　　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（２時間）
　　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（２時間）
第12回：論文報告（織田・江南）
　　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（２時間）
　　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（２時間）
第13回：論文報告（織田・江南）
　　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（２時間）
　　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（２時間）
第14回：論文の要約（織田・江南）
　　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（２時間）
　　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（２時間）
第15回：まとめ（織田・江南）
　　事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：e-learningを通じて授業全体のリフレクションを実施する。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：面接授業
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レジュメの作成（40%）、プレゼンテーション（40%）、ディスカッションへの参加（20%）

成　績　評　価　基　準

情報・社会調査の基礎体力を習得できたか。講義中に扱った概念を用いて、日常生活世界の分析ができるようになったか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

必要な場合は講義内で指示します。

その他（受講上の注意）

講義で使用する論文は、保管場所を別途指示します。
必ず各自印刷の上で論文を読み、講義時に持参してください。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会調査方法論 (Social Data Analysis)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2283	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

この講義では、量的なデータを読み、正しく理解するために必要な統計学の知識について、基礎から説明していく。単純集計、度数分布、代表値、クロス集計などの記述統計データの読み方や、グラフの読み方、また、それらの計算や作成のしかた、さまざまな質的データの読み方と基本的なまとめ方を学ぶことで、官庁統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文を読めるようにする。

授 業 の 到 達 目 標

・必要に応じて、官庁統計を探し、それを読みこなせるようになる。
・基礎的な統計量について理解できるようになる。
・データをグラフなどを用いて要約できるようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（パソコンを用いた演習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの第1章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習する（2時間）
第2回：統計データとはなにか
　事前学習：テキストの第2章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習する（2時間）
第3回：統計データの入手方法　官庁統計を利用する
　事前学習：テキストの第3章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第3章の「課題」に取り組む（2時間）
第4回：統計データの読み方（1）　単純集計・度数分布
　事前学習：テキストの第4章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第4章の「課題」に取り組む（2時間）
第5回：統計データの読み方（2）　基本統計量：代表値・分散・標準偏差
　事前学習：テキストの第5章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第5章の「課題」に取り組む（2時間）
第6回：小テスト
　事前学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する（2時間）
　事後学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する（2時間）
第7回：統計データをグラフにする（1）　円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ
　事前学習：テキストの第7章（前半）を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第7章の「課題」に取り組む（2時間）
第8回：統計データをグラフにする（2）　ヒストグラム、散布図
　事前学習：テキストの第7章（後半）を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第7章の「課題」に取り組む（2時間）
第9回：関連性を探る（1）　相関係数
　事前学習：テキストの第8章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第8章の「課題」に取り組む（2時間）

第10回：関連性を探る（２）　クロス集計表
　　事前学習：テキストの第11章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第11章の「課題」に取り組む（２時間）
第11回：関連性を探る（３）　クロス集計表
　　事前学習：テキストの第12章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第12章の「課題」に取り組む（２時間）
第12回：小テスト
　　事前学習：これまでの授業で学んだパソコンの操作法について復習する（２時間）
　　事後学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する（２時間）
第13回：相関係数と因果関係　みかけの相関に騙されないために
　　事前学習：テキストの第10章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第10章の「課題」に取り組む（２時間）
第14回：質的データのまとめ方
　　事前学習：テキストの第13章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第13章の「課題」に取り組む（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：テキストの第14章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第14章の「課題」に取り組む（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）
平常点・小テスト・課題提出（50%）
（平常点は授業への参加状況・受講態度を総合的に判断します）

成　績　評　価　基　準

・必要に応じて、適切な官庁統計を探せているか。また、それを読みこなせているか。
・基礎的な統計量について理解できているか。
・データをグラフなどを用いて要約できるようになっているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
『社会調査のための統計データ分析』 廣瀬毅士・寺島拓幸　オーム社　2010年
その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【C】〔基本的な資料とデータの分析に関する科目〕に相当する。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

統計学 (Statistics)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2284	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会調査の統計的データをまとめたり分析したりするために必要な基礎的統計学を学ぶ。まず推測統計の論理として確率論の基礎、基本統計量、検定・推定理論とその応用、抽出法の理論を学び、その後変数間の関連を表す統計量として、クロス表の統計量、相関係数、回帰分析についての基礎を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

・統計的データをまとめることができる。
・推測統計に必要な知識と方法を理解している。
・変数間の関係性を表す統計量の知識と方法を持っている。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（パソコンを用いた演習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキスト第1章・第2章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：社会調査のデータと変数に関するそれぞれの名称を確認しておくこと（2時間）
第2回：記述統計と推測統計との違い
　事前学習：テキスト第3章・第4章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：記述統計と推測統計の違いについて確認する（2時間）
第3回：部分から全体を推測する　社会を知るための諸条件
　事前学習：テキスト第9章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：推測統計が可能な条件について確認する（2時間）
第4回：確率分布について（1）　二項分布・ポアソン分布
　事前学習：二項分布・ポアソン分布とは何か、調べておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと（2時間）
第5回：確率分布について（2）　正規分布・t分布
　事前学習：正規分布・t分布とは何か、調べておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと（2時間）
第6回：確率分布について（3）　カイ二乗分布・F分布
　事前学習：カイ2乗分布・F分布とは何か、調べておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと（2時間）
第7回：推定の論理（1）　中心極限定理
　事前学習：テキスト第10章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）
第8回：推定の論理（2）　信頼区間
　事前学習：テキスト第11章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）
第9回：推定の論理（3）　帰無仮説の考え方
　事前学習：テキスト第11章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）

第10回：検定の論理（１）　t検定
　　事前学習：テキスト第13章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第11回：検定の論理（２）　カイ二乗検定
　　事前学習：テキスト第12章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第12回：相関係数
　　事前学習：テキスト第５章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第13回：回帰分析
　　事前学習：テキスト第６章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第14回：回帰係数の検定
　　事前学習：テキスト第８章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：これまでの授業内容を復習し、疑問点や不明点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：面接授業
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、授業中の小レポートと受講態度（50%）

成　績　評　価　基　準

・統計的データをまとめることができるか。
・推測統計に必要な知識と方法を理解しているか。
・変数間の関係性を表す統計量の知識と方法を持っているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

『社会調査のための統計学――生きた実例で理解する――』　神林博史・三輪哲 著　技術評論社　2011年

その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【D】〔社会調査に必要な統計学に関する科目〕に相当する。 数学的知識を必要とするが、全員あまり数学的知識を持っていないものとして授業をすすめる。 なお、「社会調査方法論」で学ぶ記述統計学の知識を前提とする。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

データ解析法a (Qualitative Data Analysis a)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2285	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

この講義では、まず、さまざまな質的データの収集や分析方法について解説をおこなう。具体的には、聞き取り調査、参与観察法、会話分析の他、活字や映像などのメディア・テクスト(コンテンツ)に関する質的データの分析法について、実例を通して学ぶ。そのうえで、実習として、インタビュー調査の経験をしてもらう。

授　業　の　到　達　目　標

質的データの収集や分析方法を理解したうえで、実際にインタビュー調査を企画し、実施、報告をおこなうことができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第2回：量的調査の可能性と限界
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①第1章を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第3回：質的データとは何か(討議(ディスカッション、ディベート))
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献②を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)
第4回：質的調査の手法(1)インタビュー調査
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②のインタビュー調査に該当する部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。また、インタビューの手法についても理解しておくこと。(2時間)
第5回：質的調査の手法(2)参与観察法
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②の参与観察に該当する部分を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。また、出来れば参与観察による研究論文をciniiなどで調べ、読んでおくことが望ましい。(2時間)
第6回：質的調査の手法(3)会話分析　(討議(ディスカッション、ディベート))
　事前学習：前回のノートを見直し、上述の参考文献・論文等を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、会話分析に関する参考書籍(授業内に指示)を図書館等で調べ、精読すること。(2時間)
第7回：質的調査の手法(4)ドキュメント分析(活字メディア)
　事前学習：前回のノートを見直し、上述の参考文献を読んでおくこと。(2時間)。
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。(2時間)

第８回：質的調査の手法（５）ドキュメント分析（映像メディア）
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと。（２時間）。
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第９回：インタビュー法の習得（１）インタビューの企画　（フィールドワーク）
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと。（２時間）。
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークに関する書物を図書館等で調べ、精読すること。また、グループ内で実施するフィールドワークの方向性について議論し、検討すること。（２時間）
第10回：インタビュー法の習得（２）対象者と質問内容の決定　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと。（２時間）。
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、調査の最終準備を行うこと。（２時間）
第11回：インタビュー法の習得（３）インタビューの実施　　（グループワーク）
事前学習：前回のノートを見直し、インタビュー法の手順などを覚えてくること。（２時間）
事後学習：インタビューで得られたデータを記録し、グループ内で共有できるようにすること。（２時間）
第12回：調査データの分析（１）（討議（ディスカッション、ディベート）を実施）（グループワーク）
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと。（２時間）。
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、グループ内でデータ内容やレポートテーマ等を批判的に検討すること。（２時間）
第13回：調査データの分析（２）（課題解決型学習（PBL）を実施）
事前学習：前回のデータ分析をもとに、講義内で必要な資料収集やデータの精査をすすめること。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、グループ内で具体的な分析をおこなった上で、考察を行うこと。（２時間）
第14回：質的調査の可能性と限界
事前学習：これまでのノートや調査データを見直し、参考文献①②の該当箇所を読んでおくこと。（２時間）。
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：前回のノートを見直し、これまで学んだ内容、調査で得られたデータなどを整理すること。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、全ての講義内で講じられた内容を整理し、理解するように務めること。（４時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

講義中の発表、レポート（70%）平常点（30 %）
平常点は授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します（出席点ではありません）。

成　績　評　価　基　準

①質的調査法の長所・短所を理解しているか。
②質的調査、特にインタビュー調査を企画、実施し、かつその内容を報告できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他（具体的に記述：担当教員の研究室にて）
5）その他（講義内での討論・議論などに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他（具体的に記述：担当教員の研究室にて）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

参考文献①：大谷信介・後藤範章・小松洋・木下栄二編著『新・社会調査へのアプローチ――論理と方法』ミネルヴァ書房
参考文献②：佐藤郁哉著『フィールドワーク増補版――書を持って街へ出よう』新曜社

その他(受講上の注意)

私語等、講義を妨害する学生には退出してもらう。単位を与えない場合もある。受講生の理解度によって授業計画には変更を加える可能性がある。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

観光社会学 (Sociology of Tourism)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2291	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義では、「観光」という現象を理解するために必要な知識の枠組みを主に社会学・文化人類学の観点から学びます。また地域と観光の関係について、学外実習を踏まえながら、グループワークと個人ワークを通じて考えを深めます。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です

授 業 の 到 達 目 標

・観光における複数の立場を理解し、観光現象を論じることができる
・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいた議論ができるようになる
・コミュニケーション・ツールを活用し、グループワークを運営できる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を振り返り、e-learningを通じてリフレクションを実施すること。（2時間）
第2回：観光研究の輪郭――観光社会学と観光人類学
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第3回：社会現象としての観光の構造――構成要素と変遷
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第4回：RESAS（地域経済分析システム）からみる福井の観光動向
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第5回：オルタナティヴ・ツーリズム、エコ・ツーリズム　、Pro-Poor Tourism
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第6回：Special Interest Tourism①ー教育志向のツーリズム
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第7回：Special Interest Tourism②ー体験志向のツーリズム
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第8回：観光とまちづくり、あるいは観光まちづくり
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）

第９回：グループワーク①── テーマ設定とリサーチ（グループワーク）
事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること（２時間）
第10回：スタディ・ツーリズム実習（フィールドワーク）
事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、調査項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること（２時間）
第11回：グループワーク②── データの整理（グループワーク）
事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること（２時間）
第12回：グループワーク③── コンセプト・メイキング（グループワーク）
事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること（２時間）
第13回：グループワーク④── ブラッシュアップ（グループワーク）
事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること（２時間）
第14回：グループ課題の発表（プレゼンテーション）
事前学習：グループごとに発表準備を進めること（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。（２時間）
第15回：講義のまとめ
事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

グループ課題（20%）最終レポート（50%）平常点（30%）
平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

・観光現象における複数の立場を理解できたか
・各種統計や観察データをもとに観光現象を論じることができたか
・グループのメンバーと共同し、魅力的な観光プランを計画できたか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

特定のテキストは指定しません。講義中に適宜紹介します。

その他(受講上の注意)

・受講者の理解度により講義内容を変更することがあります
・固定メンバーによるグループワークがあるため、責任ある受講を求めます

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅲa (English Ⅲa)			担当教員	R　ダイクス
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2341	1単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

A pre-reading warm-up activity will be held before reading the essay for each unit. Comprehension exercises, including pair-work, will follow the introduction of new vocabulary. After discussing the topic in groups, a short writing exercise will be given.

授 業 の 到 達 目 標

The focus of the course is on developing reading and discussion skills. Students will learn about the world around them and then engage in thoughtful discussions in an effort to deepen their international understanding.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introductions（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Who Is J.K. Rowling? ①（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Who Is J.K. Rowling? ②（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：What Are Some New Year's Customs? ①（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：What Are Some New Year's Customs? ②（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Where Is Buckingham Palace? ①（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Where Is Buckingham Palace? ②（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第8回：Mid-term Examination / Why Are Cows Special In India? ①（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第9回：Why Are Cows Special In India? ②（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第10回：Why Do People Give Gifts For Weddings? ①（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第11回：Why Do People Give Gifts For Weddings? ②（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：What's Special About The Blowfish? ①（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）（ディスカッション）
第13回：What's Special About The Blowfish? ②（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Who Are The Sami? ①（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Who Are The Sami? ②（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Final Examination

Students are encouraged to consult the Internet for information on topics introduced in the textbook.

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

Proactive In-class Participation, Homework and Assignments - 25%
Mid-term Examination - 25%
Final Examination - 50%

成　績　評　価　基　準

Students will be evaluated on their contributions during in-class discussions and on assigned material as well as their performance on the mid-term and final evaluations.

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
Broukal, Milada. What A World Reading 1 : Amazing Stories from Around the Globe. Pearson Longman. ISBN 978-0-13-247267-8
その他（受講上の注意）
Active participation in class is essential for success in this course.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅲb (English Ⅲb)			担当教員	R　ダイクス
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2342	1単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

A pre-reading warm-up activity will be held before reading the essay for each unit. Comprehension exercises, including pair-work, will follow the introduction of new vocabulary. After discussing the topic in groups, a short writing exercise will be given.

授 業 の 到 達 目 標

The focus of the course is on developing reading and discussion skills. Students will learn about the world around them and then engage in thoughtful discussions in an effort to deepen their international understanding.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introductions（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Why Are Rain Forests Important? ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Why Are Rain Forests Important? ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：What Is Tornado Alley? ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：What Is Tornado Alley? ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Who Was Andrew Carnegie? ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Who Was Andrew Carnegie? ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第8回：Mid-term Examination / Why Do People Decorate Their Bodies? ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第9回：Why Do People Decorate Their Bodies? ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第10回：What Is Canada's Favorite Sport? ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：What Is Canada's Favorite Sport? ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：What's Special About New Zealand? ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：What's Special About New Zealand? ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Who Were The Men Sailing Dragon Ships? ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Who Were The Men Sailing Dragon Ships? ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Final Examination

Students are encouraged to consult the Internet for information on topics introduced in the textbook.

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

Proactive In-class Participation, Homework and Assignments - 25%
Mid-term Examination - 25%
Final Examination - 50%

成　績　評　価　基　準

Students will be evaluated on their contributions during in-class discussions and on assigned material as well as their performance on the mid-term and final examinations.

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
Broukal, Milada. What A World Reading 1: Amazing Stories from Around the Globe. Pearson Longman. ISBN 978-0-13-247267-8
その他（受講上の注意）
Active participation in class is essential for success in this course.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習 a (Information Processing Practicum a)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2251	2 単位	2 年前期・ 3 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学はもちろんのこと、一般社会における情報システムの利用者として必要な情報化推進能力を得る。

授 業 の 到 達 目 標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験（iパス）」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。

参考　IT パスポート試験シラバス
（https://www.jitec.ipa.go.jp/1_13download/syllabus_ip_ver3_0.pdf）

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

テキストに従って進めるが、毎授業の15分間程度は演習問題を採りいれる。

第１回：ITパスポート試験の概説、サンプル問題
　　事前学習：テキスト「試験の概要」、「出題範囲」を読み、試験概要について予習する（0.5時間）
　　事後学習：サンプル問題の復習（0.5時間）
第２回：第１章 企業と法務（１）
　　事前学習：テキスト「１-１」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第３回：第１章 企業と法務（２）
　　事前学習：テキスト「１-２」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第４回：第２章 経営戦略
　　事前学習：テキスト「２-１」～「２-３」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第５回：第３章 システム戦略
　　事前学習：テキスト「３-１」～「３-２」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第６回：第４章 開発技術
　　事前学習：テキスト「４-１」～「４-２」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第７回：第５章 プロジェクトマネジメント
　　事前学習：テキスト「５-１」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第８回：第６章 サービスマネジメント
　　事前学習：テキスト「６-１」～「６-２」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）

第９回：第７章 基礎理論（１）
　　事前学習：テキスト「7-1」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第10回：第７章 基礎理論（２）
　　事前学習：テキスト「7-2」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第11回：第８章 コンピュータシステム
　　事前学習：テキスト「8-1」～「8-4」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第12回：第９章 技術要素（１）
　　事前学習：テキスト「9-1」～「9-2」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第13回：第９章 技術要素（２）
　　事前学習：テキスト「9-3」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第14回：第９章 技術要素（３）
　　事前学習：テキスト「9-4」～「9-5」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
第15回：第10章 表計算、CBT試験対策
　　事前学習：テキスト「10-1」～「10-3」、「CBT試験対策」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、章末問題（２時間）
　　ITパスポート試験疑似体験用ソフトウェアで過去問題を試行（３時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）　演習課題（10%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（インターネット関連企業勤務）

・実務経験と授業内容との関連性
（IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるＩＴ技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。）

テキスト、参考図書

テキスト
『令和２-３年度版 ITパスポート試験 対策テキスト＆過去問題集』 FOM出版　2020年
参考図書
『令和02年 イメージ＆クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室』 技術評論社　2019年
『【令和２年度】いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集』 SBクリエイティブ　2020年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習b (Information Processing Practicum b)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2252	2単位	2年後期・ 3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学はもちろんのこと、一般社会における情報システムの利用者として必要な情報化推進能力を得る。

授 業 の 到 達 目 標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験(iパス)」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。

参考　IT パスポート試験シラバス
(http://www.jitec.ipa.go.jp/1_13download/syllabus_ip_ver3_0.pdf)

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

授業は、ITパスポート試験の過去問題演習に取り組むことを主体とし、前期授業の補足も併せて行う。

第1回：第1章 企業と法務(1)
　事前学習：Lesson01～8を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第2回：第1章 企業と法務(2)
　事前学習：Lesson09～16を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第3回：第2章 経営戦略(1)
　事前学習：Lesson17～22を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第4回：第2章 経営戦略(2)
　事前学習：Lesson23～29を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第5回：第3章 システム戦略
　事前学習：Lesson30～37を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第6回：第4章 開発技術
　事前学習：Lesson38～47を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第7回：第5章 プロジェクトマネジメント、第6章 サービスマネジメント
　事前学習：Lesson48～57を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)
第8回：第7章 基礎理論(1)
　事前学習：Lesson58～61を読み、予習する(2時間)
　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習(2時間)

第９回：第７章 基礎理論（２）
　　事前学習：Lesson62～65を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第10回：第８章 コンピュータシステム（１）
　　事前学習：Lesson66～74を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第11回：第８章 コンピュータシステム（２）
　　事前学習：Lesson75～83を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第12回：第９章 技術要素（１）
　　事前学習：Lesson84～91を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第13回：第９章 技術要素（２）
　　事前学習：Lesson89～93を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第14回：第９章 技術要素（３）
　　事前学習：Lesson94～101を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第15回：第９章 技術要素（４）
　　事前学習：Lesson102～112を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲、問題について復習（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）　演習課題（20%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（インターネット関連企業勤務）

・実務経験と授業内容との関連性
（IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるＩＴ技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。）

テキスト、参考図書

テキスト
『令和02－03年ITパスポート 試験によくでる問題集』 技術評論社　2020年
参考図書
『令和２－３年度版 ITパスポート試験 対策テキスト＆過去問題集』 FOM出版　2020年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須
前期の「情報処理演習a」を受講している者を前提としている。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(インターンシップ) (Fieldwork Practice(Internship))			担当教員	升田　法継、稲木　康一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2361	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・フィールドワーク科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本授業は、主として「福井県インターンシッププログラム」(3年生対象)に沿って、民間企業や各種団体、自治体等における就業体験(原則として5日間)を夏期休業中に行う。インターンシップ参加者(福井県外での参加者含む)は、事前の本学教員および主催者によるガイダンスや面接等を受講し、事後の報告会等に参加することを義務づけ、就業意識の高揚をねらう。

授　業　の　到　達　目　標

民間企業や各種団体・自治体等で就業体験(実習)を行い、以後の学習・研究のための動機付けを得ること、また社会人・職業人となるための自己認識、自己啓発につなげること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

■準備・事前研修期間
4月上旬：本学ガイダンスへの参加(学内実施)
4月上旬：インターンシップ志望動機書の提出(学内実施)
4月下旬：面接(学内実施)　※結果発表：5月上旬
4月下旬：合同ガイダンスへの参加(学外実施)
5月中旬：エントリーシートの提出(学内実施)
6月上旬：本学事前研修会への参加(学内実施)
6月下旬：就業体験先企業・団体の通知(学内実施)
7月中旬：事前研修会への参加(学内実施)

■就業体験期間
7月上旬～：就業体験先企業・団体と事前調整
8月上旬～9月下旬：就業体験

■事後研修期間
10月下旬：合同事後研修会および本学事後研修会への参加(学外実施)(グループワークおよび発表)
事後学習：授業で課された「インターンシップで学んだこと」について、レポートにまとめておくこと。
11月下旬：レポートの提出(学内実施)　※テーマ：インターンシップで学んだこと

※授業外の基本的な学習(60時間)方法として、就業体験先企業・団体の組織概要や事業内容について調べたり、あらかじめ疑問点を考えておくなどし、問題意識をもって就業体験に参加してください(予習)。また、就業体験、研修の内容や気づいたことなどを整理・確認するなどし、次回プログラムに備えてください(復習)。

新型コロナウイルス対応の授業形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：遠隔授業　(□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用)
第2回：遠隔授業　(□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用)
第3回：遠隔授業　(□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用)
第4回：遠隔授業　(□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用)
第5回：遠隔授業　(□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用)

第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

就業体験先企業・団体の評価（35%）、レポート（30%）、平常点（35%）
平常点は事前研修（ガイダンス・面接を含む）の参加状況、参加意欲（志望動機）等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

インターンシップ先の研修において、期待される行動・態度がとれているか。
就業体験をとおして、今後自己に必要な学習・研究について明確化することができているか。
民間企業や各種団体等での就業体験によって、自己の就業意識を向上することができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（元情報通信会社管理職（人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当））

・実務経験と授業内容との関連性
（情報通信会社で管理職（人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当）経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り（反省・成果の確認）の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。）

テキスト、参考図書

使用しない。

その他（受講上の注意）

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
・受講希望者には、「志望動機書」の提出および面接を行い、就業意欲を認めたうえで実施する。
・授業計画は、協力団体などの都合により、前後したり変更する場合がある。
・第１回キャリアガイダンスにおいてスケジュールなどについて説明するので、必ず出席すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理検査演習 (Training Course of Psychological Testing)			担当教員	吉水　ちひろ、坂井　祐円、青井　利哉
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2310	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法や基礎的知識を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

この授業では、心理検査の背景理論や実施方法について学習した後、実際に検査者と被検者の双方を体験する。これを通して、心理検査を正しく理解するだけでなく、その効用と限界の認識、さらに倫理性をわきまえた態度を身につけていく。また、一定の決められた実施法や解釈の仕方などを習得する中で、新たな自分への気づきや他者理解へと繋げることを目的とする。

授　業　の　到　達　目　標

・心理検査の種類を理解し、各検査の効用と限界について説明できる。
・心理検査の実施に際して、実施手順や分析手順を理解し施行できる。
・心理検査を用いるときの倫理的配慮や注意事項について説明することができる。
・自分自身の性格を多角的に分析し、他者に説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

この授業では、さまざまな心理検査について体験的学習を行うためにグループ別にて演習を行う。以下のように4週ごとに異なる検査について学ぶ。

第1回：オリエンテーション
　事前学習：心理的アセスメントを振り返り、基礎的な知識の復習をしておく。（2時間）
　事後学習：テキストを参照し、質問項目をまとめておく。（2時間）
第2回：アセスメントにおける心理検査法の役割・レポートの書き方についての説明
　事前学習：授業のテーマについてテキストを見直し、自分なりの意見をまとめておく。（2時間）
　事後学習：関連することを参考文献等で調べ、ポイントを整理しまとめておく。（2時間）
第3回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）①実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）
第4回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）②実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）
第5回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）③実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）
第6回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）④実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）
第7回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）①実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）
第8回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）②実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）

第９回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）③実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第10回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）④実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第11回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）①実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第12回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）②実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第13回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）③実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第14回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）④実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第15回：演習の振り返りとまとめ
事前学習：これまでの演習を復習しておく。（２時間）
事後学習：授業の到達目標に達しているかを確認する。（２時間）

※各検査の担当者は［　　］に示す通りである。質問紙法検査［青井］、投影法検査［吉水］、知能検査［坂井］
予習：テキストおよび参考文献を用いて各回で取り上げる心理検査について予習し、基本的な事柄について理解しておくこと。
復習：授業で体験した心理検査を通して、考えたことや感じたことをまとめておくこと。また、授業時間だけでは作業が終わらない場合は、残った作業を遂行して次回の授業に臨むこと。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業への参加状況や受講態度（60%）、検査ごとに作成する課題レポート（30%）、演習全体を通した小レポート（10%）などから総合的に評価する。心理検査を用いた演習を行うため、出席状況や受講態度が悪い場合は、厳しく減点する。

成　績　評　価　基　準

・心理検査の種類を理解し、各検査の効用と限界について説明できるか。
・心理検査の実施に際して、実施手順や分析手順を理解し施行できるか。
・心理検査を用いるときの倫理的配慮や注意事項について説明することができるか。
・自分自身の性格を多角的に分析し、他者に説明できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）

・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員の指導の下、心理検査法の背景理論や実施方法、効用と限界の認識について理解するために演習を行う。）

テキスト、参考図書

＜テキスト＞願興寺礼子・吉住隆弘（編）「心理検査の実施の初歩」（ナカニシヤ出版,2011年発行）
そのほか、各検査毎に必要な資料を配布したり、参考図書を指示する。

その他(受講上の注意)

・実習を含むので、出席と熱心な受講態度を期待する。
・自分自身の性格等の自己開示が必要な場合がある。
・心理検査の学習者・実施者の倫理（授業時に説明）を守り、検査の知識を安易に使用しないこと。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理面接演習 (Training Course of Clinical Interviewing)			担当教員	稲木　康一郎、坂井　祐円
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2312	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学分野で用いられる面接法（個人アプローチ・グループアプローチ）について学ぶ。
具体的には、心理面接法に関する基礎知識についての講義を行い、演習によって学生が体験的に学習する。

授 業 の 到 達 目 標

①心理面接法（個人アプローチ・グループアプローチ）の基本的な理論や技法を理解する。
②心理面接法を行う際に必要な倫理的態度を理解し、身につける。
③積極的な演習への参加を通して、人の意見を聞き自分の意見を言える能力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

２つのグループ（A・B）が交替で２つの演習（個人アプローチ・グループアプローチ）を行う。

全体の授業計画は以下のとおり。
第１回：　（全体授業）オリエンテーション・グループ分け【稲木・坂井】
第２回～第７回：（グループ別）A：個人アプローチ【坂井】、B：グループアプローチ【稲木】
第８回：　（全体授業）中間まとめと課題【坂井・稲木】
第９回～第14回：（グループ別）A：グループアプローチ【稲木】、B：個人アプローチ【坂井】
第15回：　（全体授業）演習全体のまとめと課題【稲木・坂井】
なお、演習の進行状況など、場合によっては、スケジュールが変更されることもあります。

以下に、Aグループの授業計画を示す。
第１回：全体授業　オリエンテーション・グループ分け
　事前学習：シラバスを熟読すること。（２時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、ｅラーニングを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第２回：講義　傾聴カウンセリングの理念とスキルについて
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
　事後学習：「ふり返り用紙」（講義の内容をまとめる・一人でできる傾聴ワークの感想）を提出すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、ｅラーニングを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第３回：演習　傾聴のスキル ── 受容・くり返し・明確化（ロールプレイ）
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
　事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（２時間）
第４回：演習　クライエントの語り（ロールプレイ）
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
　事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（２時間）

第５回：演習　カウンセラーからの質問（ロールプレイ）
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（２時間）
第６回：演習　沈黙とリード・対話と沈黙（ロールプレイ）
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（２時間）
第７回：演習　対話分析・フリートーク（ロールプレイ）
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（２時間）
第８回：全体授業　中間まとめと課題
事前学習：課題の準備をすること。（２時間）
事後学習：課題の復習をすること。（２時間）
第９回：講義　グループアプローチと多様なエクササイズについて
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、ｅラーニングを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：演習　アイスブレイキング（グループワーク）
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうしで話し合うこと。（２時間）
第11回：演習　アイスブレイキング実践編（グループワーク）
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうしで話し合うこと。（２時間）
第12回：演習　ＫＪ法（グループワーク）
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうしで話し合うこと。（２時間）
第13回：演習　価値のランキング（討議・ディスカッション）
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうしで話し合うこと。（２時間）
第14回：演習　ワールド・カフェ（討議・ディスカッション）
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：課題の準備をすること。（２時間）
第15回：全体授業　演習全体のまとめと課題
事前学習：課題の準備をすること。（２時間）
事後学習：課題の復習をすること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

授業への積極的な参加（45%）、および、課題（55%）で評価する。
授業への積極的な参加は、出席・態度・発言・ワークシートの内容などを総合的に評価する。
また、演習形式の授業であるため、授業への欠席や遅刻などは厳重に減点を行う。

成 績 評 価 基 準

①心理面接法の基礎的かつ実践的な知識が身についているか。
②心理面接法を行う際に必要な倫理的態度を理解し、身につけているか。
③演習に積極的に参加し、人の意見を聞き自分の意見を言える能力を身につけているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）

・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、心理面接法の基本的な理論や技法、必要な倫理的態度について解説する。）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキストはオリエンテーション時に示す。

その他(受講上の注意)

２つのグループに分かれ、交替して、個人アプローチとグループアプローチの２つの演習を行う。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

司法・犯罪心理学 (Forensic and Climinal Psychology)			担当教員	廣井　亮一
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2324	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

講義内容を3部で構成する。
第1部では、少年犯罪の現状をもとに現代の少年犯罪の特徴を考察する。
第2部では、少年非行の歴史的変遷をもとに、非行や犯罪につながる「攻撃性」の質的変質を説明したうえで、現代の社会問題になっている児童虐待と非行、現代型いじめについて講義する。
第3部では、ストーカー犯罪についての解説を行いながら司法臨床の必要性を明示する。
＊以上について、ワークとディスカッションを行いながら講義をすすめる。

授　業　の　到　達　目　標

・非行少年や犯罪者を十分に理解して、彼らの更生の援助ができる。
・人と人との関係性を修復することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：講義の進め方、犯罪心理学への導入
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読んで、疑問点、各自の考えを整理しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第2回：現代の少年犯罪の特徴
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第3回：少年犯罪の現状
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第4回：非行少年とは
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第5回：少年事件と家庭裁判所、犯罪者と地方裁判所
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第6回：少年非行の歴史的変遷－その1
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第7回：なぜ人を殺してはいけないのか
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第8回：少年非行の歴史的変遷－その2
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第9回：愛着障害と非行－広島少女遺体遺棄事件
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）

第10回：現代型いじめ
事前学習：テキストの第６章を読んで、疑問点、各自の考えを整理しておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第11回：現代の子どもの死生観
事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第12回：ストーカー犯罪の理解と対応－逗子ストーカー事件をもとに
事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第13回：ストーカー犯罪の検証－大阪府警の100ケースをもとに
事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第14回：非行・犯罪と攻撃性と依存性
事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト、配布資料、ノートで今まで総復習を行うこと。（２時間）
第15回：テストとまとめ
事前学習：テストに備えた学修をすること。（２時間）
事後学習：テストで分からなかった点をテキスト、配布資料等で学修すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

テスト（50％）。平常点（50％）：授業態度、出席等

成　績　評　価　基　準

・非行少年や犯罪者を十分に理解しているか。
・人と人との関係性を修復するために必要な知識を得たか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

テキスト：『司法・犯罪心理学 ── 司法臨床のアプローチ』 廣井亮一著　放送大学教育振興会　2020年３月
（＊テキストは予習・復習、講義とテストに使用するので、各自必ず準備すること）

その他（受講上の注意）
授業中のスマホ・携帯は禁止。パソコン使用については講義中に説明する。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育・学校心理学 (Educational and School Psychology)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2332	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

教育とは、子どもの発達と自己形成の支援を行うものである。このような「教育」について、心理学の視点から考える学問が教育心理学である。
本講義では，児童・生徒の発達や学習、人間関係に関する特徴について学び、各子どもに適切な学習指導や生徒指導について考察する。また標準的発達とは異なる特徴を示す児童・生徒についても，知識や理解を深め，彼らへの支援法について考えていく。

授 業 の 到 達 目 標

①児童・生徒の発達や学習の特徴，障害について，基本的な知識を習得できる
②教育心理学の理論や知見を基に学校教育について考えることができる
③現在の教育上の問題について，考察することができる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション：教育・学校心理学とは
　事前学習：シラバスを読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第2回：発達を促す
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第3回：動機づけ（欲求と内発的動機づけ）
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第4回：動機づけ（目標理論　原因帰属）
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第5回：問題解決としての学習
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）

第６回：学習指導法
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第７回：教育評価
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第８回：まとめと中間評価
事前学習：第１回目から７回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし，中間試験に臨むこと（２時間）
事後学習：中間試験問題を持ち帰り，自己採点をして間違った解答について復習をすること（２時間）
第９回：知的能力と教育
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：社会性の発達と教育
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第11回：学級集団の心理学
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第12回：発達障がいと特別支援教育
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第13回：不登校の理解
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第14回：いじめの理解
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第15回：学校不適応行動の理解
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）

日頃から教育に関連する書籍・新聞を読み，興味を持って授業に臨むこと

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

成績評価には，①授業毎に課される小テストと課題の内容（90%），②課題レポートの内容（10%）で総合的に評価をする。

成　績　評　価　基　準

①児童・生徒の発達や学習の特徴，障害について，基本的な知識をどの程度習得できているか
②教育心理学の理論や知見を基に学校教育について，どの程度適切に考えることができるか
③現在の教育上の問題について，どの程度論理的・具体的に考察することができるか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

・参考図書：櫻井茂男（編）たのしく学べる教育心理学　図書文化　2017年　ISBN978-4-8100-7690-5
・参考図書：水野治久（編著）教育・学校心理学　ミネルヴァ書房　2019年　ISBN978-4-623-08607-8
・参考図書：富永大介他（編）　教職をめざすひとのための発達と教育の心理学　ナカニシヤ出版　2016年　ISBN978-4-7795-1067-0

その他(受講上の注意)

毎回の講義に小レポートの提出を課すので，必ず講義に出席し小レポートを提出すること。講義では，自分の意見をまとめ表現できるよう，心がけてほしい。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

交通心理学 (Traffic Psychology)			担当教員	森本　文人
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2337	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

交通心理学の主な目標のひとつは，車社会における道路利用者の安全と事故の防止です．交通場面での安全確保と発生する事故の防止のためには，それらにつながる人的要因とそれ以外の要因について，心理学領域より明らかにされてきた事象を理解し，有効に活用することが求められます．
本授業では，交通心理学の歴史を紹介し，得られた研究成果をもとに，上記の目標につながる知見を獲得していきます．

授 業 の 到 達 目 標

■交通心理学の基礎的な概念と主要な研究成果について理解する．
■事故防止などの社会的問題の解決に向けて交通心理学の果たす役割・手法について理解する．
■福井の交通事情における地域特有の問題について説明できる．

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：交通心理学概説1
　事前学習：なし
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（2時間）
第2回：交通心理学概説2
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（2時間）
第3回：交通事故発生のメカニズム1
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（2時間）
第4回：交通事故発生のメカニズム2
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（2時間）
第5回：交通事故発生のメカニズム3
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（2時間）
第6回：リスク知覚1
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（2時間）

第７回：リスク知覚２
事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（２時間）
第８回：交通教育心理学１
事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（２時間）
第９回：交通教育心理学２
事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（２時間）
第10回：交通発達心理学
事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（２時間）
第11回：地域の交通心理学１（全国・国際比較）
事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（２時間）
第12回：地域の交通心理学２（福井編）
事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（２時間）
第13回：現代の交通システム１
事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（２時間）
第14回：現代の交通システム２
事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．授業内容を振り返る記述課題に回答する．（４時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100%）
（平常点は、授業への参加状況・課題提出状況とその内容などを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

■交通心理学の基礎的な概念と主要な研究成果について理解したか.
■事故防止などの社会的問題の解決に向けて交通心理学の果たす役割・手法について理解したか.
■福井の交通事情における地域特有の問題について説明できるか.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは使用しない.

その他(受講上の注意)

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

スポーツ心理学 (Sport Psychology)			担当教員	野田　政弘
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2338	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

スポーツ心理学は応用科学としてスポーツ行動における心理学的事象を解明し、それらに対処できるようにすることを目的としたものである。スポーツ全般における心理学的な諸問題をとりあげ今日までの研究成果に基づいて学習する。

授 業 の 到 達 目 標

スポーツ心理学の各領域（運動心理学、競技スポーツ心理学、健康スポーツ心理学、アダプテッドスポーツ心理学）の内容について理解し説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（授業の最後に今回の内容について意見を交換する）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：運動のメカニズム
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：運動学習の原理
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：効果的な運動指導
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：運動の制御
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：内発的動機づけと外発的動機づけ
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：目標設定と動機づけ
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（2時間）
第7回：スポーツにおける集団
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（2時間）
第8回：パーソナリティとスポーツ
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（2時間）
第9回：スポーツ選手と心理サポート
　事前学習：テキストの第Ⅱ部第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（2時間）

第10回：スポーツメンタルトレーニング
　　事前学習：テキストの第Ⅱ部第２章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（２時間）
第11回：スポーツカウンセリング
　　事前学習：テキストの第Ⅱ部第３章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：健康スポーツ心理学の基礎
　　事前学習：テキストの第Ⅲ部第１章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：健康増進を目的とした身体活動・運動の参加と継続
　　事前学習：テキストの第Ⅲ部第２章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：スポーツ傷害の心理学、バーンアウト（燃え尽き症候群）
　　事前学習：テキストの第Ⅲ部第３章、第４章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：アダプテッド・スポーツ心理学
　　事前学習：テキストの第Ⅳ部第１章～第４章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目についてノートにまとめておくこと。（２時間）

各回の講義の前にテキストを読んで概要を把握し、疑問点を整理しておく。
講義の後は、ノートや配布資料を見直して復習しておく。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

レポート（70%）、平常点（30%）。平常点は授業への参加状況、出席課題の提出及びその内容を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

スポーツ心理学の各領域（運動心理学、競技スポーツ心理学、健康スポーツ心理学、アダプテッドスポーツ心理学）の内容について理解し説明できる。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
荒木雅信編著「これから学ぶスポーツ心理学　改訂版」大修館書店 2018
その他（受講上の注意）
スポーツや運動に関するできごとや情報に積極的に関心を向けること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

臨床心理学演習 (Training Course of Clinical Psychology)			担当教員	渡辺　克徳、坂井　祐円
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−API−2355	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

2クラスに分かれ前後半7回ごとに、いずれかの教員の指導のもと、ペアまたは少人数のグループで、いろいろな対話や表現を体験する。これらの体験を通して、自己理解・他者理解を促すとともに、傾聴などカウンセリング等の対人援助の基本的態度を身に付ける。

授 業 の 到 達 目 標

カウンセリングにおける話の聴き方の基本を理解する。
自分自身のコミュニケーションの特徴について理解する。
ものの捉え方や考え方、コミュニケーションの仕方などの多様性について考える。
他者と円滑にコミュニケーションできる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション　【担当：渡辺、坂井　】
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：自他理解のためのグループ体験①　【担当：渡辺　】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：自他理解のためのグループ体験②　【担当：渡辺　】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：自他理解のためのグループ体験③　【担当：渡辺　】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：自他理解のためのグループ体験④　【担当：渡辺　】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第６回：自他理解のためのグループ体験⑤　【担当：渡辺　】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第７回：自他理解のためのグループ体験⑥　【担当：渡辺　】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：自他理解のためのグループ体験⑦　【担当：渡辺　】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回　箱庭療法①　講義　　箱庭療法とイメージ
事前学習：箱庭療法について積極的に関心をもち、関連する図書を読んでみる。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べるか、オフィスアワーを利用して担当教員に質問する。（２時間）
第10回　箱庭療法②　演習　　グループによる箱庭作り
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。（２時間）
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。（２時間）
第11回　箱庭療法③　演習　　箱庭を作る・見守る・解釈する
事前学習：どのような箱庭を作りたいのか、各自でイメージしてくる。（２時間）
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。（２時間）
第12回　箱庭療法④　演習　　夢と箱庭
事前学習：自分が見た夢について思い出し、ストーリーをまとめてくる。（２時間）
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。（２時間）
第13回　サイコドラマ①　講義　　サイコドラマとカタルシス
事前学習：サイコドラマについて積極的に関心をもち、関連する図書を読んでみる。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べるか、オフィスアワーを利用して担当教員に質問する。（２時間）
第14回　サイコドラマ②　演習　　サイコドラマの３つの基本技法と役割選択、練習
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。（２時間）
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。（２時間）
第15回　サイコドラマ③　演習　　サイコドラマの実演とシェアリング
事前学習：サイコドラマでの自分の役割をイメージして、技法を意識して練習してくる。（２時間）
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。（２時間）

※第１回の際にクラス分けを行う。第２回～第８回（前半）と第９回～第15回（後半）でそれぞれに異なる担当教員のもとで演習を行う。渡辺（言語的アプローチ）、坂井（表現芸術アプローチ）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成 績 評 価 方 法

授業中に課す課題（60%）と授業への参加態度（40%）で評価する。
授業への参加態度については、演習活動への積極性や授業中の発言の内容などから総合的に評価する。
体験型学習ですので出席を重視し、欠席は厳しく減点する。

成 績 評 価 基 準

カウンセリングにおける話の聴き方の基本について説明できるか。また、それを模擬的に実践できるか。
自分自身の考え方やコミュニケーションなどの特徴について説明できるか。
考え方やコミュニケーションの仕方の多様性について考えられるか。
他者と円滑にコミュニケーションが行えるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

授業時に資料を配付する。
そのほか、参考書については、授業時に随時、紹介する。

その他（受講上の注意）

授業の中で状況に応じて、自分の感じたことや考えたことについて他者に話してもらうことがある。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学的支援法 (Methods of Psychological Support)			担当教員	西村　則昭
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−APO−2351	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

無意識に着目する、フロイト以来の深層心理学的(力動的)心理療法を中心に学習する。

授 業 の 到 達 目 標

・無意識について実感をもって理解し、人間存在をより深く理解することができる。
・自己の無意識を見つめ、自分の将来像や人生設計を構築することができる。
・無意識の問題が心の病理と本質的な繋がりのあることを理解し、心を病んだ人の気持ちを理解し、寄り添うことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの著者である山中康裕と、力動的心理療法について調べておくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：攻撃性退行から道づくりへ1
　事前学習：テキストのpp.3－9を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：攻撃性退行から道づくりへ2
　事前学習：テキストのpp.9－13を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：攻撃性退行から道づくりへ3
　事前学習：テキストのpp.13－25を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：緘黙の入口と出口1
　事前学習：テキストのpp.26－32を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：緘黙の入口と出口2
　事前学習：テキストのpp.32－48を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第7回：反対の国からの帰還1
　事前学習：テキストのpp.49－67を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第８回：反対の国からの帰還２
　　事前学習：テキストのpp.67－78を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：反対の国からの帰還３
　　事前学習：テキストのpp.78－106を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：死者たちへの鎮魂歌
　　事前学習：テキストのpp.107－114を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：赤鬼・青鬼の夢
　　事前学習：テキストのpp.115－125を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当員に質問すること。（２時間）
第12回：『あんたお母さんじゃない』
　　事前学習：テキストのpp.126－137を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当員に質問すること。（２時間）
第13回：写真を媒体にした精神療法１
　　事前学習：テキストのpp.138－152を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当員に質問すること。（２時間）
第14回：写真を媒体にした精神療法２
　　事前学習：テキストのpp.152－173を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当員に質問すること。（２時間）
第15回：文通の中で自己を発見
　　事前学習：テキストのpp.174－205を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（50%）　小テスト（30%）　平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・力動的心理療法の考え方を正しく理解し、他の心理療法（特に「科学的」な心理療法）との違いを説明できるか。
・無意識という概念を正しく理解し、それを組み込んだ人生観や世界観を持つことができるか。
・心を病んだ人のことを適切に理解し、その心に寄り添う姿勢を持つことができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：山中康裕・『少年期の心』・中公新書・1978年
参考図書：西村則昭・『アニメと思春期のこころ』・創元社・2004年

その他(受講上の注意)

質問はメールでも受け付けます（nisimura@jindai.ac.jp）。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

精神疾患とその治療Ⅰ (Psychiatric Disorders and Treatments Ⅰ)			担当教員	三脇　康生
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−APO−2353	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

精神医学は日本が近代化される中で構築された。そこには日本の近代化の遅れが投影されている。その歴史を学び改善をする方向性について、外国のシステムを参考にしながら考える。具体的な病気についても、重い病気を中心に学ぶが、それが軽症化してきている現代社会の特徴についても考える。

授　業　の　到　達　目　標

歴史をふまえて日本の精神医療がどのように成立したか説明でき、他国と比較でき、これからの姿を各自で考えられること。さらに疾患の基礎知識を獲得すること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：精神病院の様子の紹介
　事前学習：精神病院に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第2回：近代精神医学の歴史　日本1
　事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第3回：近代精神医学の歴史　日本2　日本の状況に関して討議を行う
　事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第4回：近代精神医学の歴史　ヨーロッパ1
　事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。テキスト9−69ページを熟読する。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第5回：近代精神医学の歴史　ヨーロッパ2
　事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）

第６回：精神障害と人権
事前学習：人権に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、人権に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第７回：統合失調症１
事前学習：統合失調症に関係する新聞記事、ネット情報を集める。統合失調症の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第８回：統合失調症２
事前学習：統合失調症に関係する新聞記事、ネット情報を集める。統合失調症の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第９回：地域と病院の協力のしかた１
事前学習：地域に関係する新聞記事、ネット情報を集める。テキスト171－185ページを熟読する。地域精神医療の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第10回：地域と病院の協力のしかた２
事前学習：精神医療に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、地域精神医療の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第11回：気分障害１
事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第12回：気分障害２
事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第13回：気分障害３
事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第14回：パニック障害１
事前学習：パニック障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、パニック障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第15回：パニック障害２
事前学習：パニック障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、パニック障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポートも期末テストと同時に提出。期末テスト70%レポート30%で評価する。
テストにはかならずテキストを持ち込むこと。持ち込まないと、テストは受けられない。

成　績　評　価　基　準

日本の精神医療がどのように成立したかレポートを書かせ確認する。疾患の基礎知識についてテストを行い確認する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他（解答を配る）
5）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

テキスト・多賀茂　三脇康生「医療環境を変えるー制度を使った精神療法の実践と思想」京都大学学術出版会2008年

その他(受講上の注意)

学則上は5回まで欠席は認められているが、この講義では文系理系の多様な分野を扱うので3回までしか認めない。公式の用事がある場合は欠席に数えない。証明書を提出すること。まずこれをクリアーしたらテストを受けられる。
私語は一切禁じる。二度注意されたら自ら教室を去ること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

精神疾患とその治療Ⅱ (Psychiatric Disorders and TreatmentsⅡ)			担当教員	三脇　康生
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−APO−2354	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

精神疾患とその治療Ⅰは原因がわからない重病について学んだが、精神疾患とその治療Ⅱではその原因が現代社会で問題になっている病について学ぶ。災害や職場や学校での暴力から生じる病について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

現代はハラスメント社会とも呼ばれる状況にある。この外的なトラウマと精神分析的な精神的なトラウマの関係はフロイトですら明確には出来なかった。この二つのトラウマについて考え、各自の意見をこの問題に持てるようになり、ハラスメント社会を生き抜く方法を考える、

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：PTSDとは何か1
　事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第2回：PTSDとは何か2
　事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第3回：PTSDとは何か3
　事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第4回：PTSDとは何か4
　事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第5回：PTSDとは何か5　ここまでの内容で討議を行う
　事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第6回：解離
　事前学習：解離に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）

第７回：解離
事前学習：解離に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第８回：解離とと多重人格
事前学習：解離に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第９回：人格障害
事前学習：人格障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、人格障害に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第10回：社会的ひきこもり（摂食障害の説明も含む）1
事前学習：社会的引きこもりに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、引きこもりに関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第11回：社会的引きこもり２
事前学習：社会的引きこもりに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、引きこもりに関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第12回：社会的引きこもり３
事前学習：社会的引きこもりに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、引きこもりに関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第13回：東日本大震災特講
事前学習：東日本大震災に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、東日本大震災に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第14回：性同一性障害
事前学習：性同一性障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、性同一性障害に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第15回：現代社会において、それぞれ個人でできることは何だろうか？
事前学習：PTSDやハラスメントに関する本を図書館で読むこと。自分がバイトさきなどで経験したことを分析して考察することも出来る。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第16回　定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

平常点20パーセント　期末テスト50パーセント　レポート30パーセント
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

ハラスメント社会を深く理解し、それを切り抜ける方法を身につけたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他（解答を配る）
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

参考図書　就労と教育システムに関して：
大野正和『自己愛化する仕事』労働調査会　2011年　（レポートを書くとき必ず必要）
参考書　PTSDへのアートセラピーに関して：
三脇康生他　『アート×セラピー潮流』　フィルムアート社　2002年

その他（受講上の注意）

私語は厳禁とする。二度注意を受けたら自から教室を去ること。東日本大震災の講義は実施時期がゲスト講師の都合により変わり得るので注意すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

深層心理学 (Depth Psychology)			担当教員	西村　則昭
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−APO−2352	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

「本当の自分」とは何か、深層心理学の立場から考える。

授 業 の 到 達 目 標

・「本当の自分」とか「本当の幸福」が何か、自ら論理的（心理学的＝哲学的）に考え、イメージとしても思い描くことができる。
・本来的自己と非本来的自己、性別など、アイデンティティの問題について自ら考えたことに基づいて、自分の将来像や人生設計を構築することができる。
・アイデンティティの問題が心の病理と本質的な繋がりのあることを理解し、心を病んだ人の気持ちを理解し、寄り添うことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：フロイト、ユング、ラカンのことをインターネット等で調べ、自分の心理傾向に関していろいろと振り返っておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：同一化
　事前学習：ラカンの症例エメについて、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：ラカンの鏡像段階1
　事前学習：ラカンの「鏡像段階」という考え方について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：ラカンの鏡像段階2
　事前学習：ラカンの「双数的関係」と「寸断された身体」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：自我と主体1
　事前学習：ラカンの「自我」と「主体」の区別について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：自我と主体2
　事前学習：「自我心理学」と「防衛メカニズム」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第７回：ラカンの現実界
事前学習：ラカンの「現実界」という考え方について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：無気味なもの
事前学習：フロイトの論文「無気味なもの」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：写真論
事前学習：写真家のアッジェおよびアーバスについて、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：ファッション論
事前学習：デザイナーのシャネルおよび川久保玲について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：ラカンの象徴界１
事前学習：ラカンの「象徴界」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：ラカンの象徴界２
事前学習：ラカンの「父の名」という概念について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：ラカンの象徴界３
事前学習：ラカンの「対象ａ」という概念について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：性別
事前学習：「性同一性障害」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：禅に学ぶマインドフルネス
事前学習：臨済禅師と白隠禅師、そしてマインドフルネスについて、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

講義で説明したことを、自分の日常的な思考や観察される現象と重ね合わせ、理解を深めるようにしてください。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）、小レポート（30%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・深層心理学の考え方を自ら思索し直しつつ、「本当の自分」や「本当の幸福」を思索できるか。
・その上で、自分の将来像や人生設計を構築し、その意義を論理的（心理学的＝哲学的）に説明することができるか。
・心を病む人におけるアイデンティティの問題が何かを理解し、その心に寄り添う姿勢を持つことができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

テキストは使用しない。プリント資料を配布する。また参考文献は、適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

質問はメールでも受け付けます（nisimura@jindai.ac.jp）。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

生理心理学実習 (Training Course of Physiological Psychology)			担当教員	水田　敏郎、大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPI−2363	2単位	3年前期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学、特に生理心理学的実験研究の全過程について実習を行う。実験に関連した文献研究、問題設定、実験計画の立案と実行、さらに分析と結果に対する考察すべてを行う。特定の心理機能に注目し、その働き、メカニズムや変化を反映する指標とその記録や分析の方法を実習を通じて学ぶ。本授業では、感情・コミュニケーション・言語・注意・認知・記憶などの心理機能を主題として扱う。実験上の独立変数は先行研究（文献）の講読を通じて学生自身が選択し、従属変数にはテーマに即した生理心理学的指標、各種行動指標、質問紙などによる認知尺度を用いる。これらの過程で、生理心理学実験で用いる機器・装置類の取り扱い方や、各種刺激づくりを学生自らが体験、習得する。また、実験内容をレポートにまとめ、最終発表会を行うことで論文作成とプレゼンテーションのスキルを培う。

授　業　の　到　達　目　標

■先行研究等を参考に自ら進んで課題を設定する。
■実験に必要な事項を理解し、実験計画を立案することができる。
■実験の実施にあたって、履修者同士が協力して実行することができる。
■生理心理学的指標を中心に、様々な心理機能の評価に適した従属変数や尺度を用いることが出来る。
■実験結果に対して理論的に考察をすることができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：・オリエンテーション（通信テスト、授業の進め方）
　事前学習：「心理学実験」や「心理学基礎実験Ⅱ」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておく。（1時間）
　事後学習：生理心理学実験と一般の心理学実験の共通点と相違点についてまとめておく。（1時間）
第2回：・生理心理学的研究とは①「ヒトの生理反応からわかる心理的変化について①」(PBL)
　郵送内容物（テキスト、資料、電極類）確認と説明
　事前学習：送付資料のうち指定されたものを読み予習する。（1時間）
　事後学習：授業での解説部分を振り返り、疑問点などを項目にまとめる。（1時間）
第3回：・生理心理学的研究とは②「ヒトの生理反応からわかる心理的変化について②」(PBL、グループワーク)
　資料を用いた講義・演習（脳波を用いた心理学実験）
　事前学習：送付資料のうち指定されたものを読み予習する。（1時間）
　事後学習：授業での解説部分を振り返り、疑問点などを項目にまとめる。（1時間）
第4回：・生理心理学的研究とは③「ヒトの生理反応からわかる心理的変化について③」(PBL、グループワーク)
　資料を用いた講義・演習（心拍・呼吸を用いた心理学実験）
　事前学習：送付資料のうち指定されたものを読み予習する。（1時間）
　事後学習：授業での解説部分を振り返り、疑問点などを項目にまとめる。（1時間）
第5回：・生理心理学的研究とは④「ヒトの生理反応からわかる心理的変化について④」(PBL、グループワーク)
　資料を用いた講義・演習（眼球運動、皮膚電気活動を用いた心理学実験）
　事前学習：送付資料のうち指定されたものを読み予習する。（1時間）
　事後学習：授業での解説部分を振り返り、疑問点などを項目にまとめる。（1時間）

第６回：・生理心理学的研究とは⑤「実験設備と心理測定技術①」(PBL、グループワーク)
資料を用いた講義・演習（心拍、眼球運動を用いた心理学実験の精読）
ヒトを対象とした実験室見学（Teamsによる）
事前学習：送付資料のうち指定されたものを読み予習する。（１時間）
事後学習：授業での解説部分を振り返り、疑問点などを項目にまとめる。（１時間）
第７回：・生理心理学的研究とは⑥「実験設備と心理測定技術②」(PBL、グループワーク、討議)
資料を用いた講義・演習（心拍、眼球運動を用いた心理学実験の精読）
動物を対象とした実験室見学（Teamsによる）
実験方法計画
事前学習：送付資料のうち指定されたものを読み予習する。（１時間）
事後学習：授業での解説部分を振り返り、疑問点などを項目にまとめる。（１時間）
第８回：・予備実験準備（発表、実験、グループワーク）
生理心理学的指標の測定方法演習
行動指標・認知系尺度の測定方法演習
実験計画の立案、発表
事前学習：予備実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。実験計画の立案、レジュメ作成。（１時間）
事後学習：実験計画の修正。（１時間）
第９回：・予備実験①（実験、グループワーク）
生理心理学的指標、行動指標、認知系尺度（質問紙）を予備的に記録・分析する。
事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。（１時間）
事後学習：実験機器の調整。（１時間）
第10回：・予備実験②（実験、グループワーク）
本実験のデータ分析①
事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。（１時間）
事後学習：実験機器の調整。（１時間）
第11回：・本実験①（実験、グループワーク）
本実験の実施
データ分析方法の解説
事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。（１時間）
事後学習：実験データの分析。（１時間）
第12回：・本実験②（実験・実技、グループワーク）
結果の分析と中間報告
事前学習：中間報告に必要なレジュメ類の準備。（１時間）
事後学習：実験データの分析。（１時間）
第13回：・本実験のデータ分析①（グループワーク）
統計的仮説検定の説明・演習
レポートの書き方①
事前学習：レポートの書き方の予習と質問をまとめておく。（１時間）
事後学習：レポートの部分提出準備（１時間）
第14回：・本実験のデータ分析②（発表、グループワーク）
結果の解釈
レポートの書き方②
事前学習：レポートの書き方の予習と質問をまとめておく。（１時間）
事後学習：レポートの部分提出準備（１時間）
第15回：・実験のまとめ（発表、グループワーク、討議）
考察のポイント
先行研究の読み方
レポートの書き方③
事前学習：レポートの書き方の予習と質問をまとめておく。（１時間）
事後学習：レポート作成。（１時間）

全15回すべてを２名の教員が担当する。
グループごとに異なる主担当教員が指導を行う。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（60％）　平常点（40％）
（平常点は、授業の参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

■先行研究等を参考に自ら進んで課題を設定することができるか。
■実験に必要な事項を理解し、実験計画を立案することができるか。
■実験の実施にあたって、履修者同士が協力して実行することができるか。
■生理心理学的指標を中心に、様々な心理機能の評価に適した従属変数や尺度を用いることができるか。
■実験結果に対して理論的に考察をすることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

　テキストは使用しないが、実験実習マニュアルを配布する。
参考図書：「生理心理学と精神生理学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻　堀忠雄・尾崎久記監修　北大路書房（2017）
認定心理士資格準拠　実験・実習で学ぶ心理学の基礎　日本心理学会認定心理士資格認定委員会編　金子書房（2015）

その他（受講上の注意）

原則として、心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、心理学実験、心理測定実習の単位を修得していること。少人数グループでの活動が多くなります。個人の役割が明確になるので、責任感をもって課題に取り組んでください。実験は長時間におよぶこともあります。授業時間以外にもグループごとに協力してデータ整理などを行い、時間を有効に活用する必要があります。２年次の神経・生理心理学を履修し、人間の生理学的メカニズムについて学習しておくことが望ましい。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

行動解析実習 (Practice of Behavior Analysis)			担当教員	大森　慈子、森本　文人、山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPI−2364	2単位	3年後期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学における実験的研究のなかで用いられる行動指標の記録方法と解析技術を、実験実習を通じて身につける。具体的には、人や動物（ラット）を対象にして行われる心理学実験を数週間にわたり実施する。その中で、行動観察・記録に用いる測定装置に関する基本的知識、取り扱い技術を学び、実際に記録したデータを解析し、結果に対する考察を行う。

授 業 の 到 達 目 標

■自ら進んで課題が設定できる。
■実験に必要な事項を理解し、計画を立案しそれに基づき実行することができる。
■実験で用いる装置の基本的な知識をもち、適切に取り扱うことができる。
■人や動物の様々な行動を客観的に分析できる。
■関連文献を適切に講読し、実験結果に対して理論的な考察をすることができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
①心理学実験で用いられる行動指標について（授業全般、テーマ共通の概要）
②学生を方法論に基づいて設けられたテーマ別に3グループ（A：単一被験者を対象とした実験、B：2人以上の小集団を対象とした実験、C：動物（ラット）を対象とした実験）に分け、オリエンテーションを行う。

第2回以降の内容と進め方は以下の通り。
履修学生は5週間ごとに1つのテーマに関する実験を実施し、レポートとしてまとめた後に次のテーマへ移動（ローテーション）する。最終的には学生全員が3つの異なる方法論に基づく心理学実験を完遂する。

A：単一被験者を対象とした実験（担当：森本）
①単一被験者を対象とした実験で用いられる行動指標（文献講読）・・・・・1週（PBL、討議）
②単一被験者を対象とした実験で用いられる行動指標の測定（モーションキャプチャー、データグローブ等を用いた各種身体運動の記録、バイオセンサー等を用いた活動量の記録）・・・・・1週（PBL、実験、グループワーク）
③実際の実験を計画・実施・・・・・2週（PBL、グループワーク、実験、発表）
④③で行った実験データの行動解析と考察・・・・・1週（実技）（次週レポート提出）

B：2人以上の小集団を対象とした実験（担当：大森）
①2人以上の小集団を対象とした実験で用いられる行動指標（文献講読）・・・・・1週（PBL、討議）
②2人以上の小集団を対象とした実験で用いられる行動指標の測定（アイマークレコーダ──等を用いた視線行動の記録、小集団活動場面のＡＶ記録に基づく会話分析と行動解析）・・・・・1週（PBL、実験、グループワーク）
③実際の実験を計画・実施・・・・・2週（PBL、グループワーク、実験、発表）
④③で行った実験データの行動解析と考察・・・・・1週（実技）（次週レポート提出）

C：ラットを対象とした実験（担当：山岸）
①ラットなどの動物を対象とした実験で用いられる行動指標（文献講読）・・・・・１週（PBL、討議）
②ラットを対象とした実験で用いられる行動指標の測定（オープンフィールドや回転輪等を用いた活動量の記録、各種迷路を用いた学習実験での移動軌跡等の記録）・・・・・１週（PBL、実験、グループワーク）
③実際の実験を計画・実施・・・・・２週（PBL、グループワーク、実験、発表）
④③で行った実験データの行動解析と考察・・・・・１週（実技）（次週レポート提出）

A、B、Cの事前・事後学習については、原則以下の通り共通とする。
①事前学習：「生理心理学実習」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておく。（１時間）
事後学習：文献を講読し、内容をまとめ疑問点を明確にしておく。（１時間）
②事前学習：実験装置の準備、取り扱いについてあらかじめ予習しておく。（１時間）
事後学習：分析と実験結果の整理。（１時間）
③事前学習：実験計画の立案とレジュメ作成。（１時間×２）
事後学習：分析と実験結果の整理。（１時間×２）
④事前学習：実験結果のまとめ、発表準備、レジュメ作成。（１時間）
事後学習：レポート作成。（１時間）

実験心理学や生理心理学に関連する文献や卒業研究などを参考に、課題設定の方向性や具体的な実験方法について調べておくこと。
得られた実験データは、その都度、ノートにまとめたりパソコンなどに入力したりしておくこと。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：面接授業
第２回：面接授業
第３回：面接授業
第４回：面接授業
第５回：面接授業
第６回：面接授業
第７回：面接授業
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

実験レポート（60％）、平常点（40％）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

■自ら進んで課題が設定できるか。
■実験に必要な事項を理解し、計画を立案しそれに基づき実行することができるか。
■実験で用いる装置の基本的な知識をもち、適切に取り扱うことができるか。
■人や動物の様々な行動を客観的に分析できるか。
■関連文献を適切に講読し、実験結果に対して理論的な考察をすることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキストは使用しないが、実験実習マニュアルを配布する。 参考図書：「生理心理学と精神生理学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻　堀忠雄・尾崎久記監修　北大路書房（2017） 認定心理士資格準拠　実験・実習で学ぶ心理学の基礎　日本心理学会認定心理士資格認定委員会編　金子書房（2015）
その他（受講上の注意）
原則として、生理心理学実習の単位を修得していること。実験は長時間に及ぶこともあり、授業時間以外にもグループごとに協力してデータ整理などを行い、時間を有効に活用する必要がある。また、人や動物の生理学的メカニズムについて学習しておくことが望ましい。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人体の構造と機能及び疾病 (Human Body Structure, Function and Diseases)			担当教員	岸　慎治
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPO−2362	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

心身機能と身体構造及びさまざまな疾病や障害について概説できる。
心理に関する支援が必要な主な疾病について概説できる。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

公認心理師に必要な正常な人体のしくみを、その構成単位である細胞レベルから組織、器官、器官系レベルまで、構造と機能との密接な関連のもとに、体系的に理解できるよう教授する。心理に関する支援が必要な主な疾病について疾患診断・治療の概要を理解し、各臓器、各器官別の疾病の成因、病態、診断、治療、予防等を体系的に理解できるように教授する。

授 業 の 到 達 目 標

心身機能と身体構造及びさまざまな疾病や障害について概説できる。
心理に関する支援が必要な主な疾病について概説できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：細胞、組織
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第2回：消化器系、呼吸器系、血液系の構造と機能
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第3回：循環器系、泌尿器系、生殖期系、の構造と機能
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第4回：運動器系、内分泌系の構造と機能
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第5回：神経系の構造と機能①
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第6回：神経系の構造と機能②、感覚器系の構造と機能
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第7回：小児の成長発達と疾患
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）

第８回：生活習慣病①　肥満、脂質異常症　循環器疾患
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第９回：生活習慣病②　糖尿病
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第10回：加齢と疾患、運動器疾患
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第11回：神経疾患
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第12回：難病、がん①
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第13回：がん②　周産期医療
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第14回：感染症
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第15回：健康と健康増進の理解
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（40%）　平常点（60%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度・小テストの成績等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

心身機能と身体構造及びさまざまな疾病や障害、心理に関する支援が必要な主な疾病について概説できる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
人体の構造と機能及び疾病　竹田克彦、岩田 敦、小林 靖 編　医歯薬出
参考書
公認心理師の基礎と実践21　人体の構造と機能及び疾病　斉藤清二　清見書房

その他(受講上の注意)

講義中の私語は厳重に禁止し、減点対象とする。疑問点や不明点があればすぐに質問する事。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

比較心理学 (Comparative Psychology)			担当教員	山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPO−2361	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

動物の行動や認知機能について比較分析した諸研究を紹介しながら，比較心理学がどのような学問であるかの理解を深める。

授 業 の 到 達 目 標

科学原則に則った心理学の研究法を説明できる。
様々な認知機能について，ヒトとヒト以外の動物におけるそれぞれの特徴を説明できる事。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（リアクションペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

※授業毎にリアクションペーパーへの回答を求めます
第1回：比較心理学とは／動物の分類と進化
（事後学習：動物の分類と進化についてノートにまとめる（2時間））
第2回：比較心理学の歴史と研究法1
（事前学習：前回の復習・比較心理学の歴史と研究法について関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：心理学の歴史と研究法についてノートにまとめる（2時間））
第3回：比較心理学の歴史と研究法2
（事前学習：前回の復習・比較心理学の歴史と研究法について関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：心理学の歴史と研究法についてノートにまとめる（2時間））
第4回：動物の感覚1
（事前学習：前回の復習・動物の感覚について関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の感覚の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第5回：動物の感覚2
（事前学習：前回の復習・動物の感覚について関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の感覚の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第6回：動物の感覚3
（事前学習：前回の復習・動物の感覚について関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の感覚の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第7回：動物の本能1
（事前学習：前回の復習・動物の本能ついて関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の本能の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第8回：動物の本能2
（事前学習：前回の復習・動物の本能ついて関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の本能の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第9回：動物の学習1
（事前学習：前回の復習・動物の学習に関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の学習の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第10回：動物の学習2
（事前学習：前回の復習・動物の学習に関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の学習の特徴についてノートにまとめる（2時間））

第11回：動物の記憶
（事前学習：動物の記憶について関連箇所を調べる（２時間）
（事後学習：動物の記憶の特徴についてノートにまとめる（２時間））
第12回：動物のコミュニケーション
（事前学習：前回の復習・動物のコミュニケーションについて関連箇所を調べる（２時間））
（事後学習：動物のコミュニケーションの特徴についてノートにまとめる（２時間））
第13回：動物の思考１
（事前学習：前回の復習・動物の思考について関連箇所を調べる（２時間））
（事後学習：動物の思考の特徴についてノートにまとめる（２時間））
第14回：動物の思考２
（事前学習：前回の復習・動物の思考について関連箇所を調べる（２時間））
（事後学習：動物の思考の特徴についてノートにまとめる（２時間））
第15回：動物の社会性
（事前学習：前回の復習・動物の社会性について関連箇所を調べる（２時間））
（事後学習：動物の社会性についてノートにまとめる，これまでの講義内容の総復習（４時間））

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100%）
（平常点は、授業への参加状況・課題提出状況とその内容などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

科学原則に則った心理学の研究法を説明できるか。
様々な認知機能において，ヒトとヒト以外の動物におけるそれぞれの特徴を説明できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

参考図書：中島定彦著　「動物心理学～心の射影と発見～」昭和堂（2019）

その他（受講上の注意）

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

障害者・障害児心理学 (Psychology for Adults & Children with Disabilities)			担当教員	水田　敏郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPO−2366	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

感覚障害や知的障害、肢体不自由など様々な障害の概念について解説する。また、特に最も発生率の高い知的障害について分類や障害メカニズムについて解説し、心理的な特徴とその支援の方法について述べる。

授 業 の 到 達 目 標

障害の概念、定義について理解することができる。様々な障害について特定の基準をもとに分類することができる。知的障害の心理的な諸特徴と支援の方法について理解することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（学生は毎授業での疑問点や関心事、意見をe-ラーニング上に書き込み、それを集約して2週後にフィードバックすることを繰り返す）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス
　事後学習：次回分のプリントについて熟読し、質問をまとめておく。（2時間）
第2回：障害の概要と定義
　事前学習：第2回分のプリント（障害の概要と定義）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第2回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第3回：知的障害のアセスメント①
　事前学習：第3回分のプリント（知的障害のアセスメント①）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第3回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第4回：知的障害のアセスメント②（小レポート）
　事前学習：第4回分のプリント（知的障害のアセスメント②）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第5回：感覚の発達と障害
　事前学習：第5回分のプリント（感覚の発達と障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第5回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第6回：知覚の発達と障害①
　事前学習：第6回分のプリント（知覚の発達と障害①）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第6回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第7回：知覚の発達と障害②（小レポート）
　事前学習：第7回分のプリント（知覚の発達と障害②）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第7回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第8回：学習の発達と障害
　事前学習：第8回分のプリント（学習の発達と障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第8回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第9回：言語の発達と障害①
　事前学習：第9回分のプリント（言語の発達と障害①）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第9回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）

第10回：言語の発達と障害②
事前学習：第10回分のプリント（言語の発達と障害②）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第10回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第11回：運動の発達と障害①
事前学習：第11回分のプリント（運動の発達と障害①）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第11回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第12回：運動の発達と障害②
事前学習：第12回分のプリント（運動の発達と障害②）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第12回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第13回：知的障害以外の発達障害
事前学習：第13回分のプリント（知的障害以外の発達障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第13回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第14回：障害と支援（小レポート）
事前学習：第14回分のプリント（障害と支援）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第14回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第15回：障害者心理学に関するまとめ
事前学習：各回分のプリント全体の整理と質問項目をまとめておく（３時間）
事後学習：第15回で解説したの内容について、整理しておく（３時間）

各回の講義を受講した後、当該部分の配布資料をよく読んで復習してください。また、予習にあたっても次の授業の内容部分をよく見て、問題意識をもって授業に臨んでください。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（70％）　平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況、質問用紙の提出状況などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

障害の概念、定義について説明することができるか。様々な障害について特定の基準をもとに分類することができるか。知的障害の心理的な諸特徴と支援の方法について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
講義資料は適宜配布する。
その他（受講上の注意）
障害に対する理解を得たり、疑問点を解決しようとするなど、目的意識をもって受講することを期待します。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

福祉心理学 (Psychology for Social Welfare)			担当教員	坂井　祐円
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPO−2365	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

福祉心理学は応用心理学の一端として発展してきた学問であり、主には高齢者や障害者、生活困窮者、養育的保護を必要とする児童等を対象とする。授業では、生きるうえで苦しい立場で置かれがちな人々に対する適切な心理支援とは何かを考えていく。また、福祉心理学は、すべての人々がより豊かに、幸福に生きることにつながるwell-being(よりよい生き方、あり方)の考えにつながる学問であることを明らかにする。

授 業 の 到 達 目 標

・様々な福祉現場における心理支援のあり方と課題を理解する。
・福祉現場における心理職の立場、他職種との連携について理解する。
・福祉社会について自分なりの考え方や見方をもち、福祉的な生き方や幸福についての理解を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(小レポート)

授業の計画及び授業外の学習方法

オンデマンドによる講義形式ですすめる。必要に応じて視聴覚教材を用いながら、福祉現場での心理支援の実際について学んでいく。

第1回：社会福祉と心理支援
　福祉 welfare ＝幸福 という考え方　well-being・ノーマライゼーションの考え方、福祉現場での心理支援の諸相
　事前学習：シラバス全体に目を通し授業全体の流れとイメージを掴んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第2回：暴力被害者への心理支援
　事前学習：DVや社会的暴力について、図書館やメディアなどで調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第3回：児童虐待への心理支援の実際
　事前学習：児童虐待の分類、児童相談所の役割について、図書館やメディアなどで調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第4回：子どもと親への心理支援の実際
　事前学習：子どもの貧困や近年の家族問題の課題やについて、図書館やメディアなどで調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第5回：不登校と引きこもりへの心理支援の実際
　事前学習：不登校・ひきこもりの現状、厚生労働省のひきこもりガイドラインについて、図書館やメディアなどで調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第6回：生活困窮者・貧困者への心理支援
　事前学習：日本の相対的貧困率や、生活困窮者の現状について、図書館やメディアなどで調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)

第７回：障害・疾病のある人への心理支援
事前学習：障害とは何なのか、障害者や疾病をもつ人の心理的特徴について、図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第８回：精神障害者への心理支援
事前学習：精神障害者の差別の歴史、優性思想について、図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第９回：高齢者への心理支援
事前学習：高齢者の心理的特徴について、発達心理学をもとに復習していくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第10回：高齢者をめぐる社会問題と心理支援
事前学習：認知症の問題、地域社会包括支援センターの役割などを、図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第11回：自殺予防の心理支援
事前学習：自殺者数の推移、自殺予防についての国の政策などを図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第12回：災害被災者への心理支援
事前学習：災害被災者の心理的特徴や、災害ボランティアについて、図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第13回：介護・療育する家族への心理支援の実際
事前学習：介護する人の心理、バーンアウトや感情労働について、図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第14回：福祉支援者への心理支援
事前学習：心理的援助とは何か、コミュニティ心理学について、図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第15回：幸福な社会と人生について考える
事前学習：幸福とは何か、福祉社会とどのようにつながるのかについて、自分なりの意見や考えをまとめておくこと（２時間）
事後学習：学んだ内容についてノートにまとめ、さらに関心のある内容について調べておくことておくこと（２時間）

毎回、授業（動画配信）後に「小レポート」を実施する。
日常生活の中で、福祉に関するニュースなどに関心を持つだけでなく、福祉の現場で心理職として働くことになったときのことを想像し、自分はどんなことができるかなどを考えながら授業に臨んでください。
最後に、課題レポートを提出してもらいます。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題レポート（40%）、平常点（15%）、小レポート（45%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などから総合的に判断します）

成　績　評　価　基　準

・様々な福祉現場における心理支援のあり方と課題を理解できたか。
・福祉現場における心理職の位置、多職種との連携について理解し、説明できるか。
・福祉社会について、自分なりの考え方や見方をもつことができたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

テキストは特に指定しない。配信後の動画は閲覧可能にする。
また、PPTのPDF化した資料も、各回の１週間後に閲覧可能にする。

その他(受講上の注意)

授業の進行状況によって、授業計画に変更を加える可能性もある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会心理学演習 (Training Course of Social Psychology)			担当教員	山本　雅代、竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPI−2372	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

社会心理学領域の問題を、どのように研究していくのかについて、実験実証的技法を用いて学ぶ。受講者は2グループに分かれ、順次、社会・集団心理学的課題（対人魅力・集団ゲームを通しての集団間コンフリクト）と社会心理学的調査課題（対人関係調査）に取り組む。課題ごとに先行研究の情報収集、実験・調査の実施（被験者・実験者双方を経験）、データ収集と分析、結果のまとめ、考察する方法について、実習を通して学ぶ。その中で、研究計画をたて、実行する力を身につける。また、ディスカッション・研究発表やレポート提出をおこなう。これにより社会心理学的な研究の方法や発表の仕方を学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

1）社会心理学領域における考え方、実験・実証方法を習得する。
2）データの分析方法や結果のまとめ方を学び、考察、集団討議ができるようになる。
3）目的に沿って研究計画をたて、実行する力をにつける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

現在の授業計画及び授業外の学習方法
この授業では，多様な社会心理学的研究を体験するために2つのグループ（A・B）に分かれ，7週ごとに社会心理学的実験課題【担当：山本】と社会心理学的調査課題【担当：竹村】について，実験者と被験者の双方を体験する。

第1回：オリエンテーション
　　事前学習：授業前に社会心理学の関する知識を学んでおくこと。（2時間）
　　事後学習：実験する内容について関連する本を読んでおく。（2時間）

Aグループ
第2回：社会心理学的実験課題①（対人魅力実験①）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（2時間）
　　事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（2時間）
第3回：社会心理学的実験課題②（分析・結果・考察）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。（2時間）
　　事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（2時間）
第4回：社会心理学的実験課題③（まとめとレポート作成）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について理解しておくこと。（2時間）
　　事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（2時間）
第5回：社会心理学的実験課題④（対人魅力実験②・計画・方法）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（2時間）
　　事後学習：概念、実験計画の内容・方法についてまとめる。（2時間）
第6回：社会心理学的実験課題⑤（実験・ディスカッション）
　　事前学習：実験計画の内容・方法を確認、実験の手順や概念について理解しておくこと。（2時間）
　　事後学習：データや授業内容を確認、実験についてまとめる。（2時間）

第７回：社会心理学的実験課題⑥（分析・結果の確認・発表）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。（２時間）
事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（２時間）
第８回：社会心理学的実験課題⑦（まとめとレポート作成）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について確認しておくこと。（２時間）
事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（２時間）
第９回：社会心理学的調査課題①（対人関係調査の説明）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：社会心理学的調査課題②（データの収集と入力）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：収集した資料に関して，コンピュータにデータ入力をおこなう（２時間）
第11回：社会心理学的調査課題③（分析方法１）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）
第12回：社会心理学的調査課題④（分析方法２）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（２時間）
第13回：社会心理学的調査課題⑤（方法・結果の書き方）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）
第14回：社会心理学的調査課題⑥（目的・考察の書き方）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）
第15回：社会心理学的調査課題⑦（まとめとレポート作成）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（２時間）

Ｂグループ
第２回：社会心理学的調査課題①（対人関係調査の説明）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第３回：社会心理学的調査課題②（データの収集と入力）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：収集した資料に関して，コンピュータにデータ入力をおこなう（２時間）
第４回：社会心理学的調査課題③（分析方法１）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）
第５回：社会心理学的調査課題④（分析方法２）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（２時間）
第６回：社会心理学的調査課題⑤（方法・結果の書き方）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）

第７回：社会心理学的調査課題⑥（目的・考察の書き方）
　　事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）
第８回：社会心理学的調査課題⑦（まとめとレポート作成）
　　事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（２時間）
第９回：社会心理学的実験課題①（対人魅力実験①）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（２時間）
　　事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（２時間）
第10回：社会心理学的実験課題②（分析・結果・考察）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（２時間）
第11回：社会心理学的実験課題③（まとめとレポート作成）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について理解しておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（２時間）
第12回：社会心理学的実験課題④（対人魅力実験②・計画・方法）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（２時間）
　　事後学習：概念、実験計画の内容・方法についてまとめる。（２時間）
第13回：社会心理学的実験課題⑤（実験・ディスカッション）
　　事前学習：実験計画の内容・方法を確認、実験の手順や概念について理解しておくこと。（２時間）
　　事後学習：データや授業内容を確認、実験についてまとめる。（２時間）
第14回：社会心理学的実験課題⑥（分析・結果の確認・発表）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（２時間）
第15回：社会心理学的実験課題⑦（まとめとレポート作成）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について確認しておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

各２つのレポート課題や授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【レポート課題 60%　実験・授業への参加態度 40% 】

成　績　評　価　基　準

社会心理学における実験方法や実証方法が習得できているか。結果についての整理、分析や考察ができ、論理的に議論できているか。科学論文の執筆ができているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

特になし。随時資料を配布する。

その他(受講上の注意)

第１回目の授業（オリエンテーション）では、受講に際しての注意を行うので、必ず出席すること。課題レポートに関して、各教員の指示に従い、期限を守り提出すること。再提出等の指示があった場合には、指示に従い期限までに再提出すること。連絡事項は基本的に掲示で行うが、場合によりメールで連絡することがある。自分の携帯アドレスを変更した場合には、必ず大学に登録したアドレスも変更すること。出席できない場合は、あらかじめ連絡すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

多変量解析演習 (Multivariate Statistical Analysis)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPI−2373	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学のデータを用いて、多変量解析（因子分析，重回帰分析など）の基本的な考え方を理解した上で、実際の心理調査データを用いて分析手法を学ぶ。また、各自がテーマを決定し調査票を作成し、得られたデータを統計解析ソフトで分析し、その結果に対する解釈や考察の方法を学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

調査票を作成し、統計解析ソフトを利用して多変量解析（因子分析，重回帰分析）を行える知識を修得することを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：多変量解析とは？
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第2回：多変量解析を用いた心理学研究論文の講読1
　事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第3回：多変量解析を用いた心理学研究論文の講読2
　事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第4回：因子分析1
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（4時間）
第5回：因子分析2（実習を含む）
　事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第6回：因子分析3（実習を含む）
　事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第7回：因子分析4（実習を含む）
　事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）

第８回：因子分析５
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（４時間）
第９回：重回帰分析１
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（４時間）
第10回：重回帰分析２
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（４時間）
第11回：重回帰分析３（実習を含む）
事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（４時間）
第12回：重回帰分析４（実習を含む）
事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（４時間）
第13回：調査のレポート作成１
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（４時間）
第14回：調査のレポート作成２（実習を含む）
事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（４時間）
第15回：講義のまとめ
事前学習：これまでの授業でわかなかったことなどを考えておき、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）、毎回提出する課題（50%）

成　績　評　価　基　準

多変量解析（因子分析・重回帰分析など）について理解し、説明ができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

＜テキスト＞山際勇一郎・服部環（2016）．文系のためのSPSSデータ解析　ナカニシヤ出版

その他(受講上の注意)

受講には、２年次の「心理調査法」の単位を取得していることが望ましいです。授業時間以外にも、解析、レポート作成等の学習が必要になります。真に、多変量解析をマスターしたい学生のみ受講してください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

消費者心理学 (Consumer Psychology)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPO−2371	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

私たちは毎日何気なく消費行動を行っている。一方で企業は、どのようなモノやサービス、状況であれば消費行動が行われるのか研究し、戦略を練る。消費者マインドがどのような法則に従って変動するのか、企業はそれをどのように捉えようとしているのか、社会心理学や行動経済学等の視点を取り入れながら解説する。

講義では消費者行動の基礎的な知識を習得するとともに、国内外における企業のマーケティング戦略をとりあげながら応用について学んでいくこととする。

授　業　の　到　達　目　標

1）消費者心理学における基本的な概念を理解する。
2）消費行動や意思決定について理解する。
3）消費者リスクについて理解する。
4）実社会における企業戦略について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ICT（Googleフォームを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：消費者心理について（ICT）
　事前学習：授業前に消費行動についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと（2時間）
第2回：行動経済と心理学（ICT）
　事前学習：授業前に「行動経済と心理学」に関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第3回：消費者の意志決定（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「知覚」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第4回：消費者の意思決定（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「選択的注意」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第5回：消費者の意思決定（3）（ICT）
　事前学習：授業前に「消費者の意思決定（1）」に関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第6回：消費者の意思決定（4）（ICT）
　事前学習：授業前に「消費者の意思決定（2）」に関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第7回：消費者の態度（1）（ICT）
　事前学習：授業前に「消費行動」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第8回：消費者の態度（2）（ICT）
　事前学習：授業前に「説得」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）

第９回：消費者の態度（３）（ICT）
　　事前学習：授業前に「態度や態度変容」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと。（２時間）
第10回：広告と消費行動（１）（ICT）
　　事前学習：授業前に「広告」についてどのようなものが心に残っているかまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第11回：広告と消費行動（２）（ICT）
　　事前学習：授業前に「広告と消費行動」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第12回：広告と消費行動（３）（ICT）
　　事前学習：授業前に「広告と消費行動」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第13回：消費行動と企業戦略（ICT）
　　事前学習：授業前に「消費行動と企業戦略」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第14回：口コミと消費行動（ICT）
　　事前学習：授業前に「口コミと消費行動」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第15回：まとめと確認テスト（ICT）
　　事前学習：各講義における手書きノートを作るなどする（２時間）
　　事後学習：分からなかったポイントについてまとめておく（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題・レポート、確認テスト・授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【確認テスト50%　課題・レポート・授業への参加態度50%】

成　績　評　価　基　準

消費者行動についての基本的概念が理解できたか。
消費者リスクについて説明できたか。
実社会における企業戦略を分析できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
授業中に資料を配布する
その他（受講上の注意）
毎回課題の提出を求める。提出には、ムードルやGoogleフォームなどを使用する（各講義において指定）かならず提出すること。 回収後の結果について講義内にて提示し、内容について考察することがある。講義内容と自らの行動について結び付け理解を深めてください。 提出課題に遅延した場合、提出物は受け取るが、減点の対象となる。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

産業カウンセリング (Industrial Counseling)			担当教員	黒田　優希
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPO−2375	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

産業カウンセリングの実際や職場のメンタルヘルス対策について学習する。

授 業 の 到 達 目 標

産業現場における問題や、メンタルヘルス対策について、自分の考えを持つ。
自身のストレスに気づき、対処する技能について知る。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、産業現場の問題　−働くことは『　』より大切か−
　事前学習：現在の日本の職場環境についてニュースなどで調べておく。（2時間）
　事後学習：講義で扱った内容について情報収集を行う。新聞記事を読む。（2時間）
第2回：産業をとりまく環境の変化　−文明の利器は人を幸せにするか−
　事前学習：産業の歴史について調べておく。（2時間）
　事後学習：講義で扱った内容について情報収集を行う。（2時間）
第3回：働く人の心の病　−うつ病は誰の責任か−
　事前学習：うつ病について知識を得ておく。（2時間）
　事後学習：様々なタイプのうつ病について調べる。講義の中で紹介した文献を調べる（2時間）
第4回：うつ病からの回復、休職と復職　−もしうつ病になったらどうなる−
　事前学習：活用できる資源、制度について調べておく。（2時間）
　事後学習：講義で扱った内容について情報収集を行う。（2時間）
第5回：自殺の問題と対策　−自殺は個人の自由意思によるか−
　事前学習：自殺者数の推移や自殺対策、国による考えの違いについて調べる。（2時間）
　事後学習：自殺対策について復習をする。講義の中で紹介した文献を調べる。（2時間）
第6回：多様な精神疾患の紹介、ここまでの論点のまとめ
　事前学習：うつ病以外の精神疾患について調べておく。ここまでの資料を読み直す。（2時間）
　事後学習：中間レポートの課題について、情報を収集する。（2時間）
第7回：ストレスの理論　−労働者のストレス−
　事前学習：ストレスのモデルについて調べておく。（2時間）
　事後学習：自身にとってのストレッサーやストレス反応について検討をする。（2時間）
第8回：ストレスと健康　−ストレスチェックの導入−
　事前学習：ストレスによる健康被害やストレスチェック制度について調べる。（2時間）
　事後学習：ストレスチェックに関連した情報を振り返る。働き方改革について調べる。（2時間）
第9回：ストレスマネジメントとコーピング　−セルフケアの重要性−
　事前学習：ストレスコーピングについて情報収集を行う。（2時間）
　事後学習：自身がすでに行っている対処法について振り返る。（2時間）
第10回：セルフケア①　−リラックスして働いてみる−　（実習）
　事前学習：リラクゼーションの方法について調べておく。自分なりのリラックス法を振り返る。（2時間）
　事後学習：講義の中で実習したリラックス法を試してみる。（2時間）

第11回：セルフケア②　－物事の受け止め方を変えてみる－　（実習・ディスカッション）
　　事前学習：認知行動療法について文献で調べておく。（２時間）
　　事後学習：講義で使用したワークシートを用いてみる。（２時間）
第12回：セルフケア③　－自己主張をしてみる－（実習）
　　事前学習：アサーティブなコミュニケーションについて調べておく。自分のスタイルを考える。（２時間）
　　事後学習：アサーティブなコミュニケーションについて、講義の内容をもとに考える。（２時間）
第13回：セルフケアのまとめ
　　事前学習：自分自身のストレッサーやライフイベントを把握し整理しておく。（２時間）
　　事後学習：ストレスとコーピングのワークシートを作成する。（２時間）
第14回：事例をもとに考える　（ディスカッション）
　　事前学習：事例を多角的に理解するため、ここまでに学習したことについて振り返る。（４時間）
第15回：産業カウンセリングに関するまとめ　－働くことは『　』より大切か－
　　事前学習：期末レポートの課題について、わからないところを質問する。（２時間）
　　事後学習：期末レポートを作成する。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：面接授業
第２回：面接授業
第３回：面接授業
第４回：面接授業
第５回：面接授業
第６回：面接授業
第７回：面接授業
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

中間レポート（30%）＋期末レポート（30%）＋平常点（40%）
（平常点は授業の参加状況、受講態度、質問カードの提出内容などで総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

産業領域におけるメンタルヘルスについて、問題点と対策が説明できるか。
ストレスへの対応について説明ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

参考図書については講義の中で紹介する。

その他（受講上の注意）

授業の進行状況によって、授業計画に変更を加える可能性もある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

関係行政論 (Legal and Administrative Systems)			担当教員	岸野　　徹、白崎　俊一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPO−2374	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野で心理職が活動する際に、どのような法律や制度がかかわっており、どのような役割が求められているかについて講義する。報道事例など身近な題材を通して理解を深める。

授 業 の 到 達 目 標

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野で心理職が活動する際に、どのような法律や制度がかかわっており、どのような役割が求められているかについて理解し、概説できる。社会における心理職の役割への関心と自覚を持つ。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：保健医療分野における法規や制度について：白崎
　事前学習：保健医療分野の法規や制度について調べる（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第2回：保健医療分野における心理社会的課題と事例検討：白崎
　事前学習：保健医療分野における心理社会的課題について調べる（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第3回：前2回の授業の補足および保健医療分野関係するトピックス（新聞記事などから考える）：白崎
　事前学習：保健医療分野に関係する新聞記事などについて調べる（2時間）
　事後学習：保健医療分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（2時間）
第4回：学校・教育分野に関する法律と制度の概要：岸野
　事前学習：学校や教育に関する法律にどのようなものがあるかを調べる。（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第5回：スクールカウンセリング・教育相談における法的対応の実際：岸野
　事前学習：過去に出会ったスクールカウンセラーからのかかわり内容や印象についてまとめる（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第6回：いじめ・不登校・特別支援教育等における法的対応の実際：岸野
　事前学習：いじめ、ひきこもり、発達障がいに関する新聞記事等の収集（2時間）
　事後学習：教育分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（2時間）
第7回：刑事事件・矯正・更生保護における法制度の実際：岸野
　事前学習：刑事事件の捜査、裁判、刑の執行について調べておく（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第8回：少年事件における法制度の実際：岸野
　事前学習：少年事件の取り扱いの流れについて調べておく（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第9回：家庭裁判所、被害者・加害者支援の法制度の実際：岸野
　事前学習：家庭裁判所がとりあつかう家事事件について調べる（2時間）
　事後学習：司法・犯罪分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（2時間）

第10回：児童福祉・児童虐待について：白崎
事前学習：児童福祉・児童虐待について調べる（２時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（２時間）
第11回：障害福祉・高齢者福祉について：白崎
事前学習：障害福祉・高齢者福祉について調べる（２時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（２時間）
第12回：前２回の授業の補足および福祉分野関係するトピックス（新聞記事などから考える）：白崎
事前学習：福祉分野に関係する新聞記事などについて調べる（２時間）
事後学習：福祉分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（２時間）
第13回：産業・労働分野の法令について：白崎
事前学習：産業・労働分野の法令について調べる（２時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（２時間）
第14回：労働者の心の健康に関する法令や指針について：白崎
事前学習：労働者の心の健康に関する法令や指針について調べる（２時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（２時間）
第15回：前２回の授業の補足および産業・労働分野関係するトピックス（新聞記事などから考える）：白崎
事前学習：産業・労働分野に関係する新聞記事などについて調べる（２時間）
事後学習：産業・労働分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：面接授業
第２回：面接授業
第３回：面接授業
第４回：面接授業
第５回：面接授業
第６回：面接授業
第７回：面接授業
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

レポート（60%）平常点（40%）（レポートは保健医療、福祉、産業・労働の３分野から一つ、教育、司法・犯罪の２分野から一つの合計２本提出）

成　績　評　価　基　準

学習項目を簡潔に説明できるか、学習項目について自分の考えや疑問を示せるか、積極的に授業に取り組めるか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

『臨床心理学112号公認心理師のための法律入門』境　泉洋（編）　金剛出版

その他（受講上の注意）
携帯電話は使用禁止です。レポートの手書きは不可です。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学特別演習Ⅰ (Special Psychology SeminarⅠ)			担当教員	稲木康一郎、大森　慈子、杉島　一郎、 西村　則昭、水田　敏郎、森　　俊之、 坂井　祐円、竹村　明子、山本　雅代、 吉水ちひろ、渡辺　克徳、森本　文人、 山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-OPI-2381	4単位	3年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の準備段階として、学生自ら研究課題を設定することを目標にして演習を行います。テーマの設定に必要な文献や図書を精読し、発表や議論などを行います。(配属先のゼミの担当教員によって演習内容は異ります。)

授 業 の 到 達 目 標

自らの研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に講読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回～30回：各担当教員の進め方に沿って行われる。
ゼミによっては、ディスカッションや発表が取り入れられたり、自分の研究課題を設定し、実験や調査などの計画を立て実行することがある。
(課題解決型学習)(討議)(グループワーク)(発表)(実験、実技)
第1回～30回の事前学習：担当教員の指示に従って準備を行う(2時間)。
第1回～30回の事後学習：担当教員の指示に従って学習を進める(2時間)。

新型コロナウイルス対応の授業形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第2回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第3回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第4回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第5回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第6回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第7回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第8回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第9回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第10回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第11回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第12回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第13回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第14回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第15回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第16回：面接授業
第17回：面接授業
第18回：面接授業
第19回：面接授業

第20回：面接授業
第21回：面接授業
第22回：面接授業
第23回：面接授業
第24回：面接授業
第25回：面接授業
第26回：面接授業
第27回：面接授業
第28回：面接授業
第29回：面接授業
第30回：面接授業

成　績　評　価　方　法

レポートや発表（50%）　平常点（50%）
（レポートや発表の形式は担当教員により異なります。平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

自らの研究課題を設定することができるか。研究課題に関連する文献などを適切に講読できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（レポートや発表、平常点に対するフィードバックについて）
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（各ゼミの担当教員の方法）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

担当教員から指示されます。

その他（受講上の注意）

担当教員から指示されます。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネス能力論 (Study of Business Skills)			担当教員	野尻　昌明
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2318	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

企業と社会、企業と生活者を結び、ビジネス・コミュニケーション（広報・広告・メディア・社内外）の在り方について仮想企業を想定し実践を通して学習します。

授 業 の 到 達 目 標

IT、グローバリゼーション、パーソナル化、少子高齢化によって急速に変化するビジネスを的確にとらえ、コミュニケーションの新たな価値創造を養うことを目的とします。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1部「株式会社コミュニケーション学科＝(株)COM」と事業※仮想企業(株)COMを設定し、事業･人･組織を学ぶ。
企業イメージを創る
第1回：企業イメージ①（イメージをつくるということ）。
　事前学習：会社のため、自分のため、社会のため、はたらくとはどういうことかをまとめておく。（2時間）
　事後学習：企業人を知ることで、自分ならなにを起こせるかをレポートする。（2時間）
第2回：企業イメージ②（企業・商品・製品イメージをプロモーションするということ）。
　事前学習：今までになかった商品・製品を考えておく。（2時間）
　事後学習：発想を変えることで、開発できる製品を創造してみる。（2時間）
第3回：企業イメージ③（技術イメージ/技術を社会に紹介するということ）。
　事前学習：インダストリアルの背景にある発想、発明を調査しておく。（2時間）
　事後学習：商品・製品の存在理由を複数レポートする。（2時間）
第4回：企業イメージ④（ブランドイメージ/ブランドは想いから生まれるということ）。
　事前学習：使っている製品や、広告から得るブランドイメージを複数社準備しておく。（2時間）
　事後学習：（株）COMのブランドイメージは何かを研究しておく。（2時間）
第5回：企業イメージは「理念」によって生まれる。
　事前学習：各企業の理念とイメージについて研究しておく。（2時間）
　事後学習：（株）COMの企業理念を考察してみる。（2時間）

第2部「株式会社コミュニケーション学科＝（株）COM」と人間
企業イメージを売る
第6回：（株）COMの理念と、人間。
　事前学習：（株）COMの理念にはどんな人間像が想定されるかを考察しておく。（2時間）
　事後学習：理念に従うとはどういうことなのかを自分に置き換え考える。（2時間）
第7回：（株）COMの行動指針とスローガン。
　事前学習：各企業におけるスローガンを複数選択し、その意味を探っておく。（2時間）
　事後学習：スローガン制作を学び、（株）COMに応用する。（2時間）
第8回：（株）COMのイメージ戦略とコスト。
　事前学習：各企業におけるイメージ戦略を複数選択しておく。（2時間）
　事後学習：短期・中期・長期イメージ戦略を学び（株）COMへの応用を考える。（2時間）

第９回：（株）COMのクリエイティブイメージ。
　　事前学習：広報におけるクリエイティブを、自由に記録しておく。（２時間）
　　事後学習：クリエイティブ制作を学び（株）COMへの応用を考える。（２時間）
第10回：（株）COMの広告表現（ビジネスを言葉にするということ）。
　　事前学習：一貫した企業広告を選択しておく。（２時間）
　　事後学習：広告のノウハウを学び、（株）COMに応用をまとめる。（２時間）

第３部「株式会社コミュニケーション学科＝（株）COM」と組織
企業イメージを残す
第11回：（株）COMとは「ひとり企業」の組織である。
　　事前学習：自分ができるクリエイティブ（仕事）とは何かをまとめておく。（２時間）
　　事後学習：ひとりで完結できることを探求し、成立させてみる。（２時間）

企業イメージを伝える
第12回：（株）COMの企業パンフレットをつくる。
　　事前学習：企業パンフレット（webにも応用可）を複数選択しておく。（２時間）
　　事後学習：企業内での自分の役割、得意分野を探求する。（２時間）
第13回：ひとりひとりの能力が理念に行き着くその時、組織のパワーとなる。
　　事前学習：（株）COMの理念と、自分の能力の重なりを探っておく。（２時間）
　　事後学習：理念と能力を反応させることで、どのような表現が可能かを考える。（２時間）
第14回：パーソナルページが１冊となり「（株）COM企業パンフレット」となる。
　　事前学習：パンフレット内の自分ページのラフを完成させておく。（２時間）
　　事後学習：自分ページのブラッシュアップを行い次回授業に備える。（２時間）
第15回：「（株）COM企業パンフレット」のブラッシュアップ。
　　「自分とは、（株）COMとは」を、プレゼンテーションする。（グループワーク・プレゼンテーション）
　　事前学習：自分ページの役割を発表する準備を行う。（２時間）
　　事後学習：自分ページと他ページのバランスを考慮し、さらなる応用を考える。（２時間）
第16回：定期試験

※履修人数、状況等により内容・計画第１部～３部を変更する場合があります。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題への取り組み・最終試験（50%）課題成果（30%）平常点（20%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

実践的で現場型の※少数人数教育を通じて、これからのビジネスを理解・創造できる人材育成を目指します。
基本的な職業能力を源にしてなお「自立・独立型」の幅広い知識とともに成長することを期待します。
組織の中にあっても幅広いコミュニケーション能力ですべての分野を網羅する思考を持つ企業人（ひとり企業）への可能性があるかを見極めます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

なし

その他(受講上の注意)

ライティング技法（2年後期）を履修したものが望ましい。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネスコミュニケーション研究 (Business Communication)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−ABC−2319	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報通信媒体を介したバーチャルコミュニケーションが著しく拡大している今日において、ますます対面のコミュニケーション能力の重要性が問われる時代となっている。授業では、実社会において自身の個性や資質をより活かせるようにするための実践的なコミュニケーション能力の向上を狙いとする。

授 業 の 到 達 目 標

・コミュニケーション能力を高めるための視点や要件について説明することができる。
・他者とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

授業では、組織や職場における基本的なコミュニケーションパターンを学ぶとともに、コミュニケーション力を高めるためのアプローチ方法について考えていく。

第1回：組織とは
　事前学習：初回の授業では「組織」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：ビジネスコミュニケーションの特徴
　事前学習：次回の授業ではビジネスコミュニケーションの特徴について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：管理部門と現場のコミュニケーション①
　事前学習：次回の授業では「管理部門」と「現場」のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：管理部門と現場のコミュニケーション②
　事前学習：次回の授業では前回に続き「管理部門」と「現場」のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：現場力を高めるコミュニケーション
　事前学習：次回の授業では「現場力」を高めるコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：上司と部下のコミュニケーション
　事前学習：次回の授業では上司と部下のコミュニケーションの留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（2時間）

第７回：会議のコミュニケーション
事前学習：次回の授業では会議の進め方における留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：交渉のコミュニケーション①
事前学習：次回の授業では「対立」の背景・原因について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：交渉のコミュニケーション②
事前学習：次回の授業では「説得」の要件について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：テキストのコミュニケーション（ディスカッション）
事前学習：次回の授業では「効果的な議事録・メール」について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：自分とのコミュニケーション
事前学習：次回の授業では自己分析について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：ES（ディスカッション）
事前学習：次回の授業では「ＥＳ」作成にあたっての留意点について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：面接
事前学習：次回の授業では「面接」の留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：グループディスカッション
事前学習：次回の授業では「グループディスカッション」の留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：確認問題
事前学習：次回の授業では確認問題を実施するので、これまでの授業内容を確認しておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物（70%）、出席状況（30%）

成　績　評　価　基　準

・コミュニケーション能力を高めるための視点や要件について説明することができるか。
・他者とのコミュニケーションが円滑に行えるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（元情報通信会社管理職（人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当））

・実務経験と授業内容との関連性
（情報通信会社で管理職（人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当）経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。）

テキスト、参考図書

必用に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本文化論 (Japanese Culture)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2327	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

近代以降に書かれた小説・詩をもとに、〈日本〉について考える。近代国家構築に関する意識や戦前・戦後の〈日本〉の姿、現在の〈日本〉の多様性などへの理解を通して、〈日本〉の歴史・文化を批評的に捉える眼を養う。

授 業 の 到 達 目 標

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景の関係が理解できる。
・近代と現代の共通点・相違点を考え、自己の〈日本〉観を見直し、認識を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（課題提出）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの概要を把握しておく。（2時間）
　事後学習：復習課題の概要を把握しておく。（2時間）
第2回：森鴎外「普請中」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題1を提出する。（2時間）
第3回：国木田独歩「武蔵野」（1）
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題2を行う。（2時間）
第4回：国木田独歩「武蔵野」（2）
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題2を提出する。（2時間）
第5回：太宰治「十二月八日」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題3を提出する。（2時間）
第6回：中島敦「マリヤン」（1）
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題4を行う。（2時間）
第7回：中島敦「マリヤン」（2）
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題4を提出する。（2時間）
第8回：牛島春子「祝という男」（1）
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題5を行う。（2時間）
第9回：牛島春子「祝という男」（2）
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題5を提出する。（2時間）
第10回：金鍾漢「幼年」「辻詩　海」「合唱について」「くらいまつくす」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：配付資料を確認し、復習課題6を提出する。（2時間）

第11回：小島信夫「アメリカン･スクール」（１）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題７を行う。（２時間）
第12回：小島信夫「アメリカン･スクール」（２）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題７を提出する。（２時間）
第13回：小島信夫「アメリカン･スクール」（３）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題８を行う。（２時間）
第14回：目取真俊「水滴」（１）
　　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：配付資料を確認し、復習課題８を提出する。（２時間）
第15回：目取真俊「水滴」（２）、まとめ
　　事前学習：期末レポートのテーマ設定、準備を行う。（２時間）
　　事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40％）、課題（40％）、平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

課題：各作品の表現・内容や文化的・社会的背景等が理解できているか。
期末レポート：自ら設定したテーマについて十分に考察し、説得力のある結論が出せているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

飯田祐子・日高佳紀・日比嘉高編『文学で考える〈日本〉とは何か』・翰林書房・2016年

その他（受講上の注意）

授業で使用するPowerPointの資料を配付するので、気づいたこと･考えたことをノートに取りながら受講すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発論Ⅱ (Study of Planning and Development Ⅱ)			担当教員	浅野　桃子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2351	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本科目では、「企画開発」のために、アートを軸にしたプロジェクトを中心に、様々な情報をリサーチし得て、自分の情報として活用し、個やグループでの小さなプロジェクトを創造し積み重ねていく。

授 業 の 到 達 目 標

・得た情報を考察し、自らの企画の接点を見出す。
・個のキャラクターや知識や経験や技術を理解し、動くことのできる機会や活動を見つける。
・プロジェクトを創造し、得られた気づきや発見を次のプロジェクトにつなげる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション/イントロダクション（講義の目的と自己分析、アンケート）
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクションを実施し補足する。（2時間）
第2回：ワーク1 広義の意味での「デザイン」や「アート」に関連した企画の事例
　事前学習：活動事例を調べておく。（2時間）
　事後学習：講義を参考に活動事例においての自分の意見をまとめておく。（2時間）
第3回：ワーク2 広義の意味での「デザイン」や「アート」に関連した企画の事例
　事前学習：活動事例を調べておく。（2時間）
　事後学習：講義を参考に活動事例においての自分の意見をまとめておく。（2時間）
第4回：広義の意味での「デザイン」や「アート」の企画についての考察1
　事前学習：次回の講義内容を予習する。（2時間）
　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（2時間）
第5回：広義の意味での「デザイン」や「アート」の企画についての考察2
　事前学習：次回の講義内容を予習する。（2時間）
　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（2時間）
第6回：ワーク3「デザイン」や「アート」について試行する。
　事前学習：ワーク3_1に必要な道具や環境を準備しておく。（2時間）
　事後学習：講義内でできなかったことを補完する。（2時間）
第7回：ワーク3「デザイン」や「アート」について試行する。
　事前学習：ワーク3_2に必要な道具や環境を準備しておく。（2時間）
　事後学習：講義内でできなかったことを補完する。（2時間）
第8回：広義の意味での「デザイン」や「アート」の企画についての考察3
　事前学習：次回の講義内容を予習する。（2時間）
　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（2時間）
第9回：広義の意味での「デザイン」や「アート」の企画についての考察4
　事前学習：次回の講義内容を予習する。（2時間）
　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（2時間）
第10回：広義の意味での「デザイン」や「アート」の企画についての考察5
　事前学習：次回の講義内容を予習する。（2時間）
　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（2時間）

第11回：広義の意味での「デザイン」や「アート」の企画についての考察６
　　事前学習：次回の講義内容を予習する。（２時間）
　　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（２時間）
第12回：広義の意味での「デザイン」や「アート」の企画についての考察７
　　事前学習：次回の講義内容を予習する。（２時間）
　　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（２時間）
第13回：特別ゲスト講義　※外部ゲスト招聘
　　事前学習：次回の講義内容を予習する。（２時間）
　　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（２時間）
第14回：最終レポート これまでの全講義内容を振り返り考察を深めリサーチを進める。
　　事前学習：次回の講義内容を予習する。（２時間）
　　事後学習：最終レポートの制作を始める。（２時間）
第15回：講義全体のまとめ/最終レポートに反映させる。
　　事前学習：最終レポートの制作を続ける。（２時間）
　　事後学習：最終レポートの制作を続け指定の期間に提出する。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

最終レポート（40%）、平常点（60%）※平常点は講義への積極的な参加状況、レポートの提出と内容を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

・様々なリサーチの手段や方法を用い多くの情報を得て、それらを考察し、活用ができているか。
・積極的に意見を延べ、自らを表現し、活動を生み出し、プロジェクトを企画できているか。
・講義を通して、創造力を養い、企画立案に活かせているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

特定のテキストや参考図書は指定しない。講義中に適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

この科目は、後期の「企画開発演習Ⅱ」の受講要件。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発演習Ⅱ (Practice in Planning and DevelopmentⅡ)			担当教員	浅野　桃子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2353	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本科目は、授業は、PBL (Project Based　Learning) 形式で実際に「企画を開発する」演習。基本的にグループでプロジェクトを構想し、企画立案、試行し実践します。プレゼンテーションと個人やグループ間での意見交換や評価も行います。なお、プロジェクトは学外の行政や民間企業などと協力し進行していきます。

授 業 の 到 達 目 標

・視野を広く持ち創造力を発揮し、企画立案する。
・グループや協力する個人や団体と密にコミュニケーションを取り、プロジェクト進行し発展させることができる。
・実際にプロジェクトを行い、得られた気づきや発見を自らの研究分野や活動につなげていく。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習 (PBL)　□討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション/ウォーミングアップ1
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクション(レポート/アンケート)を提出し補足する。(2時間)
第2回：ウォーミングアップ2　プロジェクトを再考する
　事前学習：各自でプロジェクトを再度リサーチしまとめておく。(2時間)
　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクション(レポート/アンケート)を提出し補足する。(2時間)
第3回：エクササイズ　プロジェクトを考察する周辺を知る
　事前学習：授業の内容を振り返る。(2時間)
　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクション(レポート/アンケート)を提出し補足する。(2時間)
第4回：プロジェクトを企画立案する(グループワーク)
　事前学習：企画立案において必要な情報を得ておく。(2時間)
　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクション(レポート/アンケート)を提出し補足する。(2時間)
第5回：プロジェクトを構想する①
　事前学習：企画立案において必要な情報を得ておく。(2時間)
　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクション(レポート/アンケート)を提出し補足する。(2時間)
第6回：プロジェクトを構想する②
　事前学習：企画立案において必要な情報をさらに得ておく。(2時間)
　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクション(レポート/アンケート)を提出しさらに補足する。(2時間)
第7回：プロジェクトを試行する①
　事前学習：プロジェクトの細部を詰めておく。(2時間)
　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクション(レポート/アンケート)を提出し補足する。(2時間)

第８回：プレゼンテーション
　　事前学習：プロジェクトをプレゼンテーションする準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクション（レポート/アンケート）を提出し補足する。（２時間）
第９回：プロジェクトを試行する②
　　事前学習：授業の内容を振り返る。（２時間）
　　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクション（レポート/アンケート）を提出し補足する。（２時間）
第10回：プロジェクトを試行する③（グループワーク/対面授業）
　　事前学習：授業の内容を振り返る。（２時間）
　　事後学習：グループの役割や進行を確認し、ミーティングや作業を進行する。（２時間）
第11回：プロジェクトを試行する④（グループワーク）
　　事前学習：グループでコミュニケーションを取り、プロジェクトの準備をする。（２時間）
　　事後学習：グループの役割や進行を確認し、ミーティングや作業を進行する。（２時間）
第12回：プロジェクトを試行する⑤（グループワーク）
　　事前学習：グループでコミュニケーションを取り、プロジェクトの準備をする。（２時間）
　　事後学習：グループの役割や進行を確認し、ミーティングや作業を進行する。（２時間）
第13回：最終プレゼンテーション（発表/グループワーク）
　　事前学習：プロジェクトをプレゼンテーションする準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクション（レポート/アンケート）を提出し補足する。（２時間）
第14回：最終レポート（意見交換/評価）
　　事前学習：最終プレゼンテーションを振り返る。（２時間）
　　事後学習：グループでこれまで授業の内容と最終プレゼンテーションを振り返りまとめをしておく。（２時間）
第15回：最終レポート/まとめ
　　事前学習：個人でこれまで授業の内容と最終プレゼンテーションのまとめをしておく。（２時間）
　　事後学習：全ての授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクション（レポート）を提出する。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：面接授業
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：面接授業
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

最終プレゼンテーション（20%）、期末レポート（20%）、平常点（60%）

成　績　評　価　基　準

・他者や地域との関係を大切し、粘り強く試行錯誤を繰り返すことが出来、前向きにプロジェクトを進行できたか。
・個やグループで積極的に意見を延べ、自らを表現し、活動を生み出し、プロジェクトを企画し実践できているか。
・授業を通して、創造力を発揮し、企画立案やプロジェクトの試行と実践に活かせているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

特定のテキストや参考図書は指定しない。講義中に適宜紹介する。

その他(受講上の注意)

本科目は、「企画開発論Ⅰ」、「企画開発演習Ⅰ」、「企画開発論Ⅱ」に連なる演習科目。
そのため、受講にあたり上記の科目を修得していることを前提で演習を進める。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

マルチメディア演習 (Practice in Multimedia)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2359	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

ウェブメディアにおけるコミュニケーション方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。ウェブメディアの理解と共に、ウェブサイト制作の技法（HTML／CSSによるページ制作、スマートフォン最適化）を習得していく。

授 業 の 到 達 目 標

現在におけるウェブメディアの役割を理解する。ウェブサイトの構築手法および技法を習得する。ウェブを介してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ウェブ概論、制作ツールの紹介、制作の流れ（実習）
　事前学習（2時間）：普段の生活でよく利用するウェブサイトを10個ピックアップする
　事後学習（2時間）：制作の流れを覚える
第2回：Web制作の基礎① 見出し、本文、コンテンツの埋め込み（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、HTMLの基礎を覚える
第3回：Web制作の基礎② 見出し、画像、リンク（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する
第4回：Web制作の基礎③ CSSによるスタイリング（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、CSSの記法を理解する
第5回：Web制作の基礎④ Web用に画像を編集して利用する（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、用途に応じた画像の形式を覚える
第6回：Web制作の基礎⑤ CSSによるレイアウト
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、レイアウトの方法を覚える
第7回：Web制作の基礎⑥ 見やすくレイアウトする（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、余白をつける方法を覚える
第8回：Web制作の基礎⑦ 線と内側の余白（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、さらに見やすくする方法を覚える
第9回：Web制作の基礎⑧ %でレイアウトする（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、レスポンシブデザインを理解する
第10回：Web制作の基礎⑨ セレクタの書き方（実習）
　事前学習（2時間）：前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）：エディタの操作を復習する、CSSの記法を理解する

第11回：Web制作の基礎⑩ 複数ページのWebサイトを作成する（実習）
事前学習（２時間）：前回の授業で配布された資料を読む
事後学習（２時間）：エディタの操作を復習する、複数ページの構成方法を理解する
第12回：期末課題制作① コンテンツの準備（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）：これまでの配布資料を読み直しウェブ制作の技法について理解を深める
事後学習（２時間）：コンテンツを準備する
第13回：期末課題制作② HTMLの作成（グループワーク、実習）
事前学習（２時間）：コンテンツを準備する
事後学習（２時間）：グループでレビューを行い、作品の完成度を高める
第14回：期末課題制作③ CSSの作成（グループワーク、実習）
事前学習（２時間）：更に良い作品にするためにブラッシュアップをする
事後学習（２時間）：グループでレビューを行い、作品の完成度を高める
第15回：期末課題制作④ 全体調整、完成、プレゼンテーション（実習、発表）
事前学習（２時間）：プレゼンテーションを準備する
事後学習（２時間）：作品データを完成、データはEラーニングより提出する、他の学生の作品を鑑賞し批評する

その他、１～15回目を通して授業外で学習してほしいこと
・「使いやすさ」「デザインパターン」を意識して、日常利用しているウェブサイトやアプリを別の視点で見る。
・センスを鍛えるために自主制作をする。※制作ツールは無料で利用可能
・疑問や知りたいことがあればチャットやオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末課題作品（40%）　授業毎の作品（30%）　授業毎の小テスト・レポート（30%）

成　績　評　価　基　準

・ウェブの基本が理解できているか。
・ツールを適切に使用できているか。
・ウェブの基本を理解した上で、課題作品の制作ができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （WEBデザイナー） ・実務経験と授業内容との関連性 （WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、WEBサイト制作の技法について演習を行う。）
テキスト、参考図書
テキスト：使用しない 参考図書：授業内で紹介する
その他（受講上の注意）
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

デザイン実務演習 (Practice in Business Design)			担当教員	橋本　洋子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2360	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画･マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

コミュニケーションとビジュアル・デザインに関する知識を基に、その伝達手段のエレメントとしての表現方法について、演習を通して試行・研究する。また、プレゼンテーションを行い伝わるデザインかを検証する。

授 業 の 到 達 目 標

コミュニケーション手段の一つとして、正確に伝わる効果的表現をすることができ、さらに、独創的な伝達方法を提案できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション / 伝わると伝えるについて ……＜課題1 :「とっても嬉しい自分」提出＞
事前学習：「伝わる・伝える」の違いを考え・辞書等で調べる（2時間）
事後学習：課題「とっても嬉しい自分」を仕上げる（2時間）
第2回：伝わるを試してみよう！（形だけで表現）……＜課題2 :「カタチだけで表現」提出＞
事前学習：抽象的な表現とは何か調べる（2時間）
事後学習：伝わるを意識し、表現方法の修正をする（2時間）
第3回：色の持つ役割 ……＜課題3 :「配色で伝わる？」提出＞
事前学習：社会で使われている色（使われ方・ルール・効果など）について調べる（2時間）
事後学習：色の持つ効果をまとめる（2時間）
第4回：配色のイメージ表現 ……＜課題4 :「配色イメージ表現」提出＞
事前学習：色の持つイメージ（赤＝エネルギッシュ等）を調べる（2時間）
事後学習：配色イメージ表現の課題の再検討・修正（2時間）
第5回：錯視 ……＜課題5 :「基本の錯視を体験」提出＞
事前学習：基本の錯視について調べる（2時間）
事後学習：錯視の課題プリントを仕上げる（2時間）
第6回：最小限の表現 説明と制作……＜課題6 :「最小限の表現で『日本昔ばなし』のポスター」提出＞
事前学習：誰もが知っている「日本昔ばなし」を調べる（2時間）
事後学習：最小限の表現の課題仕上げる（2時間）
第7回：色のユニバーサルデザイン……
＜課題7：カラーユニバーサルデザインについて、自分の考えや気づいたこと等を1000文字程度でまとめ提出＞
事前学習：どのような配慮が必要か調べ・考える（2時間）
事後学習：ユニバーサルデザインの要点を整理する（2時間）
第8回：イベント企画①（規則と内容）……＜課題8 :「誰かのためのイベント企画」提出＞
事前学習：授業内で行えるイベント案を複数考える（2時間）
事後学習：案の見直し（2時間）
第9回：イベント企画②（コンセプトと内容）……＜課題9 :「イベント企画のコンセプト」提出＞
事前学習：コンセプトについて調べる（2時間）
事後学習：イベント内容の見直し（2時間）

第10回：イベント企画・コンセプトの修正 ……＜課題10：「企画・コンセプトの見直し」提出＞
事前学習：８回・９回の修正案を考える（２時間）
事後学習：できるだけ具体的な改善案を考える（２時間）
第11回：フライヤーをデザインする①文字情報 ……＜課題11：「必要な文字情報」提出＞
事前学習：フライヤーに必要な文字情報は何か考える（２時間）
事後学習：キャッチコピーについて調べる（２時間）
第12回：フライヤーをデザインする②ビジュアル ……＜課題12：「ビジュアル」提出＞
事前学習：ビジュアルの効果について調べる（２時間）
事後学習：ビジュアルを仕上げる（２時間）
第13回：課題展覧会①（今までの課題の中から優秀な作品を展覧する）……
＜課題13：他の人の作品を観、課題の再提出＞
事前学習：自分のこれまでの全ての課題を振り返る（２時間）
事後学習：最低１課題を再提出できるように仕上げる（２時間）
第14回：フライヤーの完成を目指す ……＜課題14：「イベントのフライヤー」を提出＞
事前学習：レイアウトについて調べる（２時間）
事後学習：フライヤーで伝えたいことは何か再確認（２時間）
第15回：課題博覧会②・前期の振り返り ……＜課題15：他の人の作品を観、課題の再提出＞
事前学習：課題14回の振り返り（２時間）
事後学習：再提出の課題はないか他作品を参考に考える（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題の成果65%　課題の修正力（課題フィードバックに対して再提出できているか）35%

成　績　評　価　基　準

身の廻りのコミュニケーション成立のために、ビジュアルデザインの基礎知識を合理的かつ効果的に活用し、また、その効果を考察して、修正することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

・岡嶋克典・（一財）日本色彩研究所 著『色彩検定 公式テキスト UC級』　株式会社グラフィック社　2018年
・坂本信二 著　『デザイン入門教室［特別講義］』　SBクリエイティブ株式会社　2018年

その他（受講上の注意）
授業時以外においても、生活内での現状調査等を伴う。 課題に関連する情報収集など積極的に考察・行動し、独自のプレゼンテーションができるように工夫・練習に努めるよう。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン演習 (Practice in Project Design)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2363	2単位	3年通年	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

2年生～4年生の3年間という長期的展望に立って、年度を重ねながら最終的に学年を超えたコラボレーションでプロジェクトを生み出し、実現する授業に育てていく。プロジェクトはチーム単位で学内外の諸課題の解決に取り組み、学生自らが主体的にアイディアを出し、目標・計画を立て、実行し、評価し、改善・革新していく。

授 業 の 到 達 目 標

学生自ら授業・プロジェクトを生み出し、展開していけること。学生相互に学び合うだけでなく、異なるプロジェクトの間で学び合い、多様な学生・プロジェクトが触発しあいながら、次年度の授業・プロジェクトに向けた基盤・展望・意欲が形成できること。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、プロジェクトチームの編成
　事前学習：前年度の企画内容をまとめておく（2時間）
　事後学習：チームメンバーと交流し、互いの得意な領域を確認しておく（2時間）
第2回：企画内容、実施計画の検討（グループワーク）
　事前学習：企画内容、実施計画についてのグループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：企画の立案、修正を行う（2時間）
第3回：実施計画書の作成（グループワーク）
　事前学習：企画内容、実施計画についてのグループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：実施計画書の加筆修正を行う（2時間）
第4回：実施計画書のレビュー（グループワーク）
　事前学習：レビューのための事前準備をする（2時間）
　事後学習：レビューの結果に沿って、実施計画書を加筆修正し、承認されるレベルに仕上げる（2時間）
第5回：実施計画書のプレゼンテーション（グループワーク）
　事前学習：プレゼンテーションの事前準備をする（2時間）
　事後学習：フィードバックの結果に沿って、実施計画書を加筆修正する（2時間）
第6回：プロジェクトの実施準備①（グループワーク）
　事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく（2時間）
　事後学習：進捗を確認し、遅延がないように準備をすすめる（2時間）
第7回：プロジェクトの実施準備②（グループワーク）
　事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく（2時間）
　事後学習：進捗を確認し、遅延がないように準備をすすめる（2時間）
第8回：プロジェクトの実施準備③、中間レビュー（グループワーク）
　事前学習：中間レビューの事前準備をする（2時間）
　事後学習：進捗を確認し、遅延がないように準備をすすめる（2時間）
第9回：プロジェクトの実施準備④、最終レビュー（グループワーク）
　事前学習：最終レビューの事前準備をする（2時間）
　事後学習：最終チェックをして完成度を高める（2時間）

第10回：プロジェクトの実施①（グループワーク）
　　事前学習：実施当日の計画を確認しておく（２時間）
　　事後学習：実施結果について、反省をまとめておく（２時間）
第11回：プロジェクトの評価、改善①
　　事前学習：実施結果の評価および改善策について、グループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（２時間）
　　事後学習：企画を改善する（２時間）
第12回：プロジェクトの実施準備⑤（グループワーク）
　　事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく（２時間）
　　事後学習：最終チェックをして完成度を高める（２時間）
第13回：プロジェクトの実施②（グループワーク）
　　事前学習：実施当日の計画を確認しておく（２時間）
　　事後学習：実施結果について、反省をまとめておく（２時間）
第14回：プロジェクトの評価、報告書・ポスターの作成（グループワーク）
　　事前学習：報告書・ポスター作成のためのコンテンツを準備しておく（２時間）
　　事後学習：報告書・ポスターの完成度を高める（２時間）
第15回：プロジェクトの報告（グループワーク）
　　事前学習：報告の事前準備をする（２時間）
　　事後学習：フィードバックの結果に沿って、報告書やポスターを修正し、次年度の参照資料として掲示・保存をする（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

課題に対する取組み内容・提出物（80%）、平常点（20%）

成　績　評　価　基　準

・プロジェクトを生み出し、展開できているか。
・プロジェクトチームに貢献できているか、また、プロジェクトチームとして成果がでているか。
・プロジェクトの進め方（基本）について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （WEBデザイナー） ・実務経験と授業内容との関連性 （WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、企画制作について演習を行う。）
テキスト、参考図書
特に使用しない。参考となる資料は必要に応じて配布する。
その他（受講上の注意）
一貫してチーム編成にて作業を進行する。価値観の違いを面白がり、触発しあい、生み出しあう姿勢を持つこと。 授業の進捗に応じて柔軟に内容を変更していく。詳細説明は第１回に行うので、必ず出席すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語コミュニケーションa (English Communication a)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2367	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

世界の様々な出来事について述べている記事を聞いて読む。さらに、記事の内容から自分の意見や考えを英語で書き、最後に他者と話し合う。

授 業 の 到 達 目 標

色々なトピックスに関する十分な理解を深める。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ナウル島の問題（食べ物の選択はどんな影響を与えますか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：ナウル島の問題（食べ物の選択はどんな影響を与えますか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：情熱（情熱とは何ですか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：情熱（情熱とは何ですか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：良い教師の影響（良い教師はどんな影響を与えますか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：良い教師の影響（良い教師はどんな影響を与えますか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第2,3,4ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第2,3,4ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：ユーモアと笑い（何が面白いですか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第9回：ユーモアと笑い（何が面白いですか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）

第10回：デートの心得（デートのルールは何ですか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
事前学習：授業前にテキストの第６章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課されたデートの心得について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第11回：デートの心得（デートのルールは何ですか。書く、話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第６章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課されたデートの心得について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：栄養と運動（栄誉と運動について。聞く、読む）（グループワーク　討議）
事前学習：授業前にテキストの第７章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：栄養と運動（栄誉と運動について。書く、話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第７章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：脳の異なる層（脳の異なる層について。聞く、読む）（グループワーク　討議）
事前学習：授業前にテキストの第８章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された脳の異なる層について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：脳の異なる層（脳の異なる層について。書く、話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第８章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業前にテキストの第5,6,7,8ユニットを復習する。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

色々なトピックスに関する十分な理解を深めているか。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につけているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
Life Topics: Deeper Connections（総合英語ライフトピックス３）
Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2016. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17823-1
（島岡丘, ジョナサン・バーマン著　出版社：南雲堂　2016）

参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

Students must be fully prepared and proactively participate in each in-class activity.
This is not a lecture course. This course is taught exclusively in English.

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語コミュニケーションb (English Communication b)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2368	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

世界の様々な出来事について述べている記事を聞いて読む。さらに、記事の内容から自分の意見や考えを英語で書き、最後に他者と話し合う。

授 業 の 到 達 目 標

色々なトピックスに関する十分な理解を深める。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：テクノロジー中毒（テクノロジーの弱点。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：テクノロジー中毒（テクノロジーの弱点。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：ミラーニューロン（ミラーニューロンとは何ですか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：ミラーニューロン（ミラーニューロンとは何ですか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：幸福追求の理科（人間はどうやって幸せになるの。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された幸福追求の理科について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：幸福追求の理科（人間はどうやって幸せになるの。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された幸福追求の理科について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第9,10,11ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第9,10,11ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：糖分の中毒（糖分が多くなるとどのような影響が現れるのか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された糖分の中毒について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第9回：糖分の中毒（糖分が多くなるとどのような影響が現れるのか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された糖分の中毒について、ノートにまとめておくこと。（2時間）

第10回：結婚の進化（結婚の進化について。 聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第11回：結婚の進化（結婚の進化について。 書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：アクティブリスニング（アクティブリスニングについて。 聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：アクティブリスニング（アクティブリスニングについて。 書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：男性の脳、女性の脳（男性の脳、女性の脳について。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された男性の脳、女性の脳について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：男性の脳、女性の脳（男性の脳、女性の脳について。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業前にテキストの第12,13,14,15ユニットを復習する。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

色々なトピックスに関する十分な理解を深めているか。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につけているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
Life Topics: Deeper Connections（総合英語ライフトピックス３）
Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2016. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17823-1
（島岡丘, ジョナサン・バーマン著　出版社：南雲堂　2016）

参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

Much outside-class preparation is necessary in order to fully participate in this course.
This course is taught exclusively in English.

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

TOEIC英語Ⅱ （TOEIC EnglishⅡ）			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2370	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果（教育目標）

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

TOEICテストの問題に取り組むためのテクニックを向上させる。TOEIC730点レベルの語彙300語を習得する。

授　業　の　到　達　目　標

リスニング力・リーディング力の向上を図り、TOEICテストのさらなるスコアアップを目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第2回：Listening Part 2 応答問題（1）/ Reading Part 5　短文穴埋め問題（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第3回：Listening Part 3 会話問題（1）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第4回：Listening Part 4 説明文問題（1）/ Reading Part 7　1つの文書（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第5回：Listening Part 1 写真描写問題（1）/ Reading Part 5 短文穴埋め問題（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第6回：Listening Part 2 応答問題（2）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第7回：Listening Part 3 会話問題（2）/ Reading Part 7　1つの文書（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第8回：Listening Part 4 説明文問題（2）/ Reading Part 5　短文穴埋め問題（3）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第9回：Listening Part 1 写真描写問題（2）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（3）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第10回：Listening Part 2 応答問題（3）/ Reading Part 7　1つの文書（3）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）

第11回：Listening Part 3 会話問題（3）/ Reading Part 5 短文穴埋め問題（4）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第12回：Listening Part 4 説明文問題（3）/ Reading Part 6 長文穴埋め問題（4）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第13回：Listening Part 1 写真描写問題（3）/ Reading Part 7 複数の文書（4）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第14回：Listening Part 2 応答問題（4）/ Reading Part 5 短文穴埋め問題（5）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：事前にテキストを読み、附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第16回：定期試験

・英語教育センター主催のTOEIC IPを受験すること
・予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ辞書で未知語を調べておく。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：面接授業
第10回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業 （□オンデマンド □リアルタイム ■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業 （■オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

定期試験（50%） 授業内レポート（30%） 平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

TOEIC730点レベルに関わる語彙・文法・解答技術を習得したか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時 □仁大eラーニング □メール □その他
5）その他
□授業時 □仁大eラーニング □メール □その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

小石裕子　『はじめて受けるTOEIC（R）L&Rテスト 全パート完全攻略』 2018年 アルク
TEX加藤　『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 2017年　朝日新聞出版
また、必要に応じて適宜ハンドアウトを配布する。

その他（受講上の注意）

・履修条件として、下記のどれかに該当すること。
「TOEIC英語Ⅰ履修済」
「TOEIC スコア600点以上」
「実用英語検定準1級合格」
・TOEIC英語Ⅰとの同時履修はできない。
・遅刻3回で欠席1回とみなす。
・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネス英語a (Business English a)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2371	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

ビジネスを行う上で必要とされる英語表現とマナーについて学ぶ。主にペアワークを用いて、学生主体の英会話の練習を中心に行う。

授 業 の 到 達 目 標

ビジネスで多用される英語表現を使うことが出来る。
職務上でのやり取りを英語でスムーズに行うことができる。
ビジネス上のマナーを理解している。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introduction / Business English　（一部ディスカッション）
　事前学習：シラバスとテキストのIntroductionとContentsに目を通し、質問事項をメモにまとめておくこと。（2時間）
　事後学修：授業のシラバスの説明を参考にして、自己の到達目標をまとめること。（2時間）
第2回：Lesson 1 : Indtoducing Yourself to a Business Colleague
　事前学習：授業前にテキストのUnit 1を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学修：授業中に学んだ会話表現を用いて、初めて会う目上の人への自己紹介を作成する。（2時間）
第3回：Lesson 2 : Making a Self-Introduction at a business Meeting
　事前学習：授業前にテキストのUnit 2を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学修：授業中に学んだ会話表現を用いて、会議の場での自己紹介を作成する。（2時間）
第4回：Lesson 3 : Introducing Business Guests to Colleagues
　事前学習：授業前にテキストのUnit 3を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学修：授業中に学んだ会話表現を用いて、同僚（友人でもよい）を来訪者に紹介する文を作成する。（2時間）
第5回：Lesson 4 : Leaving a Message on an Ansering Machine or Voice Mail
　事前学習：授業前にテキストのUnit 4を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学修：どこかの店に電話をかける状況を設定し、授業中に学んだ会話表現を用いて、伝言文を作成する。（2時間）
第6回：Lesson 5 : Leaving a Message by Phone
　事前学習：授業前にテキストのUnit 5を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学修：授業中に学んだ会話やリスニングCDから、電話応対表現をまとめる。（2時間）
第7回：Lesson 6 : Taking a Message in Person for a Colleague
　事前学習：授業前にテキストのUnit 6を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学修：授業中に学んだ会話やリスニングCDから、応対表現をまとめる。（2時間）
第8回：Lesson 7 : Getting Ready to Go: Checking-In at the Airport
　事前学習：授業前にテキストのUnit 7を音読し、わからない単語を調べる。（2時間）
　事後学修：空港のチェックイン時に希望の席を伝える文を授業中に学んだ表現を用いて作成する。（2時間）

第９回：Lesson 8 : Getting through Immigration and Customs
事前学習：授業前にテキストのUnit 8 を音読し、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：空港の入国審査時に渡航目的を伝える文を授業中に学んだ表現を用いて作成する。（２時間）
第10回：Lesson 9 : Settling into your Hotel
事前学習：授業前にテキストのUnit 9 を音読し、会話状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：ホテル内での「トラブル」を１つ設定し、解決を要望する文を作成する。（２時間）
第11回：Lesson 10: Conducting a Business Meeting
事前学習：授業前にテキストのUnit 10を音読し、会議の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：授業中に学んだ会話やリスニングCDから、会議での表現をまとめる。（２時間）
第12回：Lesson 11: Making Appointments with Customers
事前学習：授業前にテキストのUnit 11を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：テキストのDialogueやMini-Dialoguesのいずれかを利用し、「約束をする」会話文を作成する。（２時間）
第13回：Lesson 12: Making Small-Talk with Colleagues
事前学習：授業前にテキストのUnit 12を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：授業中に学んだ会話やリスニングCDの表現を利用し、Small-Talk文を作成する。（２時間）
第14回：Lesson 13: Writing and Responding to Business-Related E-Mails
事前学習：授業前にテキストのUnit 13を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：テキストのMini-Dialoguesのいずれかのemailに対する質問をするemail文を作成する。（２時間）
第15回：Lesson 14: Writing and Responding to an Informal E-Mail
事前学習：授業前にテキストのUnit 14を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（２時間）
事後学修：テキストのMini-Dialoguesを参考に、友人にイベント開催についてのemail文を作成する。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）授業への積極的参加および授業毎の発表内容（50%）

成　績　評　価　基　準

ビジネス上用いられる英語表現を使用することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
Leonard, T. J. (2006) "Business as Usual" Seibido BBC Learning English http://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/features/english-at-work
その他（受講上の注意）
５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。 20分以上の遅刻は欠席とみなす。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネス英語b (Business English b)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2372	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

国内外の企業の歴史について英語で学ぶ。読解能力を高めるための語彙を増やす。

授 業 の 到 達 目 標

各企業の歴史について英語で読むことができる。
各企業の歴史について経営的な観点から理解することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（調べ学習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introduction
　事前学習：教科書に目を通すこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：Lesson 1: Kirin
　事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：Lesson 2: Edwin
　事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：Lesson 3: NPC
　事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：Lesson 4: Kobayashi Pharmaceutical
　事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：Lesson 5: Itochu
　事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：Lesson 6: Kameda Seika
　事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第8回：Lesson 7: Urawa Red Diamonds
　事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第9回：Lesson 8: Terumo
　事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）
第10回：Lesson 9: Daiseki
　事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（2時間）

第11回：Lesson 10: Kikkoman
事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：Lesson 11: Shoei
事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：Lesson 12: Yamaha
事前学習：本授業の企業について調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：Various Companies 1
事前学習：興味のある企業について調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：Various Companies 2
事前学習：興味のある企業について調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：面接授業
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40%）、授業内課題（40%）、平常点（20%）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

国内外で活躍する企業の歴史を理解したか。
英語の読解能力が身に付いたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

Hayashi, Brenda., 岡田圭子、嶋林昭治、鈴木充夫『Moving ahead in the 21st Century: 12 Forward-looking Companies』（2009）松柏社

その他（受講上の注意）
５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。 20分以上の遅刻は欠席とみなす。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語文章表現法 (English Essay Writing)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2276	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

書くプロセスを重視したコミュニカティブ・ライティングにより、メッセージを効果的にわかりやすく読み手に伝えるライティングの力を養成する。

授 業 の 到 達 目 標

英語でのライティング能力を高め、メッセージをグローバルに発信できるコミュニケーション能力を育成する。プロセス･ライティングの方法を理解し、英文を書く際に用いることができる。パラグラフの構成・展開の方法、多様なパラグラフの書き方、エッセイの構成、アウトラインの書き方や効果的なイントロダクション・コンクルージョンの書き方を理解し、文章の統一性やまとまりに留意して、英文を書くことができる。中学校および高校で効果的なライティングの指導ができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：プロセス・ライティングの理解
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で学習したプロセス・ライティングについての復習課題をする。（2時間）
第2回：書く前の活動
　事前学習：事前にテキストの第1章を読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：書く前の活動の内容、ブレインストーミングの方法について復習課題をする。（2時間）
第3回：パラグラフの構成について
　事前学習：事前にテキストの第2章を読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：パラグラフの構成について復習課題をする。（2時間）
第4回：パラグラフの展開のしかた
　事前学習：事前にテキストの第3章を読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：パラグラフの展開のしかたについて復習課題をする。（2時間）
第5回：まとめ①（第1回～4回の内容についての復習）、グループワーク（ピアエディティング）
　事前学習：事前にテキストの第1章～第3章を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：他者からのコメントを元に作文を書き直す。（2時間）
第6回：記述・プロセスパラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第4章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：記述・プロセスパラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）
第7回：意見パラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第5章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：意見パラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）
第8回：比較・対比パラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第6章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：比較・対比パラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）
第9回：問題・解決パラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第7章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：問題・解決パラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）

第10回：まとめ②（第６回～９回の内容についての復習）、ディスカッション・発表（AD-Task）
　　事前学習：事前にテキストの第４章～第７章を復習し、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：課題作文を書く。（２時間）
第11回：エッセイの構成について
　　事前学習：事前にテキストの第８章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：エッセイの構成について復習課題をする。（２時間）
第12回：エッセイのアウトラインの書き方
　　事前学習：事前にテキストの第９章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：エッセイのアウトラインの書き方について復習課題をする。（２時間）
第13回：序論および結論の書き方
　　事前学習：事前にテキストの第10章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：序論および結論の書き方について復習課題をする。（２時間）
第14回：統一性と首尾一貫性
　　事前学習：事前にテキストの第11章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：統一性と首尾一貫性について復習課題をする。（２時間）
第15回：まとめ③（第11回～14回の内容についての復習）、ディスカッション・発表（PS-Task）
　　事前学習：事前にテキストの第８章～第11章を復習し、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：課題作文を書く。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題（25%）、授業への取り組み（25%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

1．Process writing の方法を理解し、英文を書く際に用いることができるか。
2．パラグラフの構成を理解し、それを踏まえて英文を書くことができるか。
3．パラグラフの展開の方法を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
4．記述パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
5．プロセスパラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
6．意見パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
7．比較・対比パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
8．問題・解決パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
9．エッセイの構成を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
10．アウトラインの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
11．効果的なイントロダクション・コンクルージョンの書き方を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
12．統一性やまとまりのある英文を書くことができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Writing Essays: From Paragraph to Essay　Zemach, D. E.　MACMILLAN LANGUAGE HOUSE　2013
他に随時プリントを使う。

その他(受講上の注意)

なるべく多く英文を書いて、書くことに対する抵抗が少なくなるよう努力してもらいたい。主体的な学習を期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語学研究 (Studies on English Linguistics)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2377	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

言語学観点に基づき、英語を体系的に分析・理解する手法を学ぶ。国際共通語としての英語の構造面に焦点をあて、異文化コミュニケーションで営まれる英語を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

英語という言語の概要・背景を学び、確かな異文化理解力および英語力を育成する。中学校および高等学校での英語教育において必要な英語学的知見を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、「英語学Ⅱ」の復習をすること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第2回：英語の非言語コミュニケーション（1）近接空間学（人との距離関係と位置関係・空間把握）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第3回：英語の非言語コミュニケーション（2）パラ言語学（話し方と声の出し方によるコミュニケーションへの意味づけ）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第4回：英語の非言語コミュニケーション（3）身体動作学（身振り・手振り・表情・姿勢）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第5回：語彙からみる英語らしさ（1）歴史的観点（イギリス英語とアメリカ英語に見られる借用語・日本語からの借用語）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第6回：語彙からみる英語らしさ（2）認知的観点（英語らしいカテゴリー化・英語らしい喩え方）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第7回：語彙からみる英語らしさ（3）婉曲語法と政治的正しさ（婉曲的語法と政治的正しさの機能）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第8回：文法からみる英語らしさ（1）文法関係（主語・述語・目的語・補語）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）

第９回：文法からみる英語らしさ（２）品詞（動詞と名詞にみる英語らしさ）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第10回：文法からみる英語らしさ（３）構文（英語らしい構文と言い回し）（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第11回：音韻からみる英語らしさ（１）音声学と音韻論（言語音の物理的側面）（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第12回：音韻からみる英語らしさ（２）英語の音声（音素・母音と子音・音節とモーラ）（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第13回：音韻からみる英語らしさ（３）英語のアクセント・イントネーション・リズム（語レベルの音韻現象・文と発話レベルの音韻現象）（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第14回：音韻からみる英語らしさ（４）国際共通語的観点（共通語としてのintelligibilityに関わる音韻的特徴）（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ疑問点等をまとめておいてください。講義を受けた後は、教科書の当該部分を見直して復習をしてください。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）　授業内レポート（30%）　平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

英語学の基礎が理解できているのか。
英語コミュニケーションの観点より、英語の発話を分析することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキスト：平賀正子（著）『ベーシック新しい英語学概論』 ひつじ書房 2016年 参考図書：英語学を学ぼう：英語学の知見を英語学習に活かす（高橋勝忠著、開拓社 平成29年）
その他（受講上の注意）
遅刻３回で欠席１回とみなす。必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英米文学研究 (British and American Literature)			担当教員	原口　　治
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OBO−2378	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

イギリス文学（＝小説、詩、演劇、批評）の著名な諸作品の解説及び原典（抜粋）を精読し、作品の政治、文化的背景等の知識を深めることで、文学研究の基礎的能力を修得します。尚、最終的に個人発表と定期試験の基準達成が必須です。

授　業　の　到　達　目　標

文学研究により自他の個性の多様性を理解し、多様な集団・組織の中でのコミュニケーション能力の育成を目指します。また、課題や個人プレゼンテーション、及び定期試験の実施により、様々な情報の収集及び選択能力の養成を図ります。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：テキストP 1 ～ P343 本講義のガイダンス，図書館における事前学習及び事後学習方法の各種指導
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（2時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（2時間）

第2回：テキストP217～P240 イギリス小説（Ⅰ）・『プライドと偏見』，『オリヴァ ── ・テュイスト』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（2時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（2時間）

第3回：P270～P292 イギリス小説（Ⅱ）・『嵐が丘』，『ダロウェイ夫人』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（2時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（2時間）

第4回：テキストP161～P188 イギリス小説（Ⅳ）・『ロビンソン・クルーソー』，『ガリバー旅行記』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（2時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（2時間）

第5回：テキストP196～P216 イギリス詩（Ⅰ）・ワーズワス，キーツ（ロマン派詩人）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（2時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（2時間）

第６回：テキストＰ140～Ｐ160 イギリス詩（Ⅱ）・ブレイク，ロバート・バーンズ
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第７回：テキストＰ２～Ｐ29 イギリス詩（Ⅲ）・『ベオウルフ』，『カンタベリー物語』，『サーガーウェンと円卓の騎士』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第８回：テキストＰ293～Ｐ308 イギリス演劇（Ⅰ）・『ピグマリオン』，『マイ・フェア・レディ』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第９回：テキストＰ60～Ｐ73 イギリス演劇（Ⅱ）・演劇創世記
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第10回：テキストＰ96～Ｐ107 イギリス演劇（Ⅲ）・『ジェームス朝』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第11回：テキストＰ74～Ｐ94，Ｐ310～Ｐ311 イギリス演劇（Ⅳ）・シェイクスピア（Ⅳ）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第12回：テキストＰ284～Ｐ292『ダウントン・アビー』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第13回：テキスト発表会準備（個別指導）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第14回：テキストＰ１～Ｐ343　発表会（個人プレゼンテーション及び討議）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第15回：テキストＰ１～Ｐ343　発表会（個人プレゼンテーション及び討議）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第16回：テキストＰ１～Ｐ343 定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験 60％ 毎回の課題提出 10％　個人発表（講義に関する任意のテーマについてのプレゼンテーション）30％

成　績　評　価　基　準

イギリス文学の作品や文化研究を通して、自他の個性の多様性を理解し、発表等において自分の意見を公表できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

秋篠 憲一（他）　『イギリス文学への招待』　朝日出版社　1999年

その他（受講上の注意）

講義（特に第１回）において、本講義受講上の注意や説明等を詳細に行ないます。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

現代社会研究 (Studies of Contemporary Society)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2382	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力□課題解決能力

授　業　の　内　容

テレビドラマや映画、マンガなどのメディアを分析するための理論や手法について学ぶ。授業では、メディア分析の実例について学んだ後、自らデータを収集し、分析、考察する。社会学的な視点から批判的にメディアを読み解き、分析、考察する力を養う。

授 業 の 到 達 目 標

メディアリテラシーの理論や手法を身につけ、社会学的な視点からメディアを読み解こことができるようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　事前学習：自分自身の「メディアの体験」について、自分なりの考えや意見をまとめる（2時間）
　事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（2時間）
第2回：メディア・リテラシーを学ぶ①
　事前学習：授業内で指示された参考文献の講読や課題に取り組むこと。（2時間）
　事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（2時間）
第3回：メディア・リテラシーを学ぶ②
　事前学習：授業内で指示された参考文献の講読や課題に取り組むこと。（2時間）
　事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（2時間）
第4回：メディアとジェンダー①
　事前学習：授業内で指示された参考文献の講読や課題に取り組むこと。（2時間）
　事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（2時間）
第5回：メディアとジェンダー②
　事前学習：授業内で指示された参考文献の講読や課題に取り組むこと。（2時間）
　事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（2時間）
第6回：スポーツとジェンダー
　事前学習：授業内で指示された参考文献の講読や課題に取り組むこと。（2時間）
　事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（2時間）
第7回：スポーツとナショナリズム
　事前学習：授業内で指示された参考文献の講読や課題に取り組むこと。（2時間）
　事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（2時間）
第8回：メディアミックスとアダプテーション①
　事前学習：授業内で指示された参考文献の講読や課題に取り組むこと。（2時間）
　事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（2時間）
第9回：メディアミックスとアダプテーション②
　事前学習：授業内で指示された参考文献の講読や課題に取り組むこと。（2時間）
　事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（2時間）
第10回：メディアを分析する①　テキスト分析
　事前学習：授業内で指示された参考文献の講読や課題に取り組むこと。（2時間）
　事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（2時間）

第11回：メディアを分析する②
事前学習：授業内で指示された参考文献の講読や課題に取り組むこと。（２時間）
事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（２時間）
第12回：メディアとプロパガンダ
事前学習：授業内で指示された参考文献の講読や課題に取り組むこと。（２時間）
事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（２時間）
第13回：プレゼンテーション①
事前学習：プレゼンテーションを行うための準備をすること。（２時間）
事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（２時間）
第14回：プレゼンテーション②
事前学習：プレゼンテーションを行うための準備をすること。（２時間）
事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。（２時間）
第15回：プレゼンテーションとまとめ
事前学習：これまでのノートやレジュメを見直し、講義の要点や質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：ノートやレジュメを見直し、講義内で示された文献や映像作品を確認する。またプレゼンテーションをもとにレポートを執筆する（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：面接授業
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40％）　平常点（60％）
平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します（出席点ではありません）。

成　績　評　価　基　準

メディアリテラシーの理論や手法を理解しているか
自らデータを収集し、社会学的な視点からメディアを読み解くことができるか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

テキストは指定しない。参考図書は、授業中に適宜紹介する。

その他（受講上の注意）
私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。 受講生の理解度にあわせて授業計画・テキスト等に変更を加える可能性があります。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

データ解析法b (Quantitative Data Analysis b)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2386	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

社会学的データ分析で用いる基礎的な多変量解析法について、その基本的な考え方と主要な計量モデルを解説する。分散分析や単回帰分析そして重回帰分析を中心に、その考え方と実際の使い方を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

・データのタイプに応じて、適切な分析手法を選択できるようになる。
・多変量解析の考え方を理解できるようになる。
・多変量解析の基礎的な手法を、コンピューターソフトを用いて実践出来るようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（パソコンを用いた演習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：これまでの授業で使用したテキストで記述統計学・推測統計学について復習しておく（2時間）
　事後学習：統計ソフトの使い方を確認しておく（2時間）
第2回：復習（1）──尺度水準、記述統計量
　事前学習：記述統計量の求め方について確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第3回：復習（2）──検定の考え方
　事前学習：検定とは何か、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第4回：多変量解析の考え方：変数をコントロールするとは、どういうことか？
　事前学習：変数のコントロールとは何か、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第5回：分散分析の理論と演習
　事前学習：分散分析とはどのような分析か、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第6回：単回帰分析の理論と演習
　事前学習：単回帰分析とはどのような分析か、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第7回：重回帰分析の理論と演習（1）
　事前学習：重回帰分析とはどのような分析か、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第8回：重回帰分析の理論と演習（2）──独立変数が2つの場合
　事前学習：独立変数が2つの場合の重回帰分析について、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第9回：重回帰分析の理論と演習（3）──独立変数が3つ以上の場合
　事前学習：独立変数が3つの場合の重回帰分析について、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）

第10回：カテゴリカル・データの間の連関を探る（1）
　　事前学習：カテゴリカル・データとは何か、確認しておくこと（2時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第11回：カテゴリカル・データの間の連関を探る（2）
　　事前学習：カテゴリカル・データの連関について確認しておくこと（2時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第12回：因子分析と主成分分析
　　事前学習：主成分分析とは何か、確認しておくこと（2時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第13回：因子分析の理論と演習（1）
　　事前学習：因子分析とは何か、確認しておくこと（2時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第14回：因子分析の理論と演習（2）
　　事前学習：因子分析と主成分分析の違いについて確認しておくこと（2時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：統計分析を用いたレポートを執筆する（2時間）
　　事後学習：レポートを修正する（2時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（30%）　平常点（70%）
（平常点は提出物・小テスト・レポートを総合的に判断します）

成　績　評　価　基　準

・データのタイプに応じて、適切な分析手法を選択できているか。
・多変量解析の考え方を理解できているか。
・多変量解析の手法を、コンピューターソフトを用いて実践出来ているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキストは定めない。
その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【E】〔多変量解析の方法に関する科目〕に相当する。 「社会調査方法論」、「統計学」、SPSSの使い方の知識を前提として、授業をすすめる。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プログラミング (Programming)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2387	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

プログラミングの実習では、基礎的なプログラミングについて学んでいきます。前半はプログラミングの知識について学んでいきます。プログラム言語には様々な種類がありますが、本実習ではPythonとVBAを扱います。そして、後半は、実際にプログラミングを行います。プログラミングを行うことで、自身の想像したアルゴリズムをフローチャートとして可視化しそれをコーディングする力を養います。これらの能力を養うことで、企業や地域社会における様々問題を解決するために必要な論理的思考力を育みます。

授 業 の 到 達 目 標

自分の問題解決手段の一つとしてプログラミングを利活用することが可能となること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス　プログラミングの基本と種類、開発環境
　事前学習：シラバスについてよく読み、プログラミングの概念について調査すること（2時間）
　事後学習：プログラミングの基本と種類についての資料を熟読し、理解すること（2時間）
第2回：プログラミングの基礎　マイクロビットの開発環境（双方向型理解度チェック）
　事前学習：マイクロビットの開発方法やスタイルについて調査すること（2時間）
　事後学習：マイクロビットの開発環境について慣れ、課題に取り組むこと（2時間）
第3回：プログラミングの基礎　マイクロビットの基礎
　事前学習：マイクロビットの仕組みについて理解し、コーディングに慣れること（2時間）
　事後学習：マイクロビットの基礎課題に取り組むこと（2時間）
第4回：マイクロビットを使ったプログラミング実習　フローチャートの記述（双方向型理解度チェック）
　事前学習：マイクロビットに搭載された各センサーの実装方法を習得すること（2時間）
　事後学習：マイクロビットの基礎課題について取り組むこと（2時間）
第5回：マイクロビットを使ったプログラミング実習　プログラミングの実装
　事前学習：マイクロビットの付随アクセサリーの実装方法を理解すること（2時間）
　事後学習：発表の準備に取り掛かること（2時間）
第6回：マイクロビットを使ったプログラミング発表
　事前学習：応用課題の発表準備に取り組むこと（2時間）
　　なお､発表の仕方等については､事前学習用教材として短期大学のオンデマンド教材を用いて学習すること
　事後学習：他の発表に用いられた工夫や技術について考察し、まとめること（2時間）
第7回：Pythonの基礎　開発環境
　事前学習：Pythonという言語について事前に学習し、その特徴を理解すること（2時間）
　事後学習：Pythonのコーディング環境について学ぶこと（2時間）
第8回：Pythonを使った手続き型プログラミング
　事前学習：Pythonを使ったコーディング環境でサンプルプログラムを作成すること（2時間）
　事後学習：Pythonを使った手続き型プログラミングの基本構文を理解すること（2時間）

第９回：Pythonを使ったプログラミング　対話型プログラミング　実装
　　事前学習：Pythonを使った基本的なコーディングについて学ぶこと（２時間）
　　事後学習：繰り返し構造、順次構造、条件分岐について理解を深めること（２時間）
第10回：Pythonを使ったプログラミング　対話型プログラミング　検証・実験
　　事前学習：順次構造、繰り返し構造、条件分岐を使ったプログラムのコーディングに取り組むこと（２時間）
　　事後学習：応用課題の発表準備を行うこと（２時間）
第11回：Pythonプログラムの発表
　　事前学習：応用課題の発表準備に取り組むこと（２時間）
　　事後学習：他の発表に用いられた工夫や技術について考察し、まとめること（２時間）
第12回：VBAの基礎
　　事前学習：VBAという言語について事前に学習し、その特徴を理解すること（２時間）
　　事後学習：VBAのコーディング環境について学ぶこと（２時間）
第13回：VBAの応用
　　事前学習：VBAを使ったコーディング環境でサンプルプログラムを作成すること（２時間）
　　事後学習：VBAを使った手続き型プログラミングの基本構文を理解すること（２時間）
第14回：VBAの応用
　　事前学習：順次構造、繰り返し構造、条件分岐を使ったプログラムのコーディングに取り組むこと（２時間）
　　事後学習：VBAの関数を調査し、それを利用する練習に取り組むこと（２時間）
第15回：VBAの応用
　　事前学習：インターネットで調査しながらプログラムのコーディングに取り組むこと（２時間）
　　事後学習：応用課題に取り組み提出を行うこと（２時間）

プログラミングの書籍は出版社から様々なものが販売されている。
講義のみで不明瞭な点があった場合は、自分にあった書籍で学習し、補完に取り組むこと

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：面接授業
第２回：面接授業
第３回：面接授業
第４回：面接授業
第５回：面接授業
第６回：面接授業
第７回：面接授業
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

授業の評価方法
演習課題・宿題（50%），応用課題（50%）
授業中に演習課題を提出できなかった場合、宿題とする
十分な提出期間を設けているため、必ず提出すること
定期試験は実施しない

成　績　評　価　基　準

・情報システムの仕組みやネットワーク、コンピュータ、それらを制御する基盤技術について理解できているか
・自分の問題解決手段の一つとしてプログラミングを利活用することが可能か以上の二つを評価の基準とする。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

門脇香奈子『これからはじめるExcelVBAの本』技術評論社（2019年）
参考図書については講義中に適宜紹介する.

その他(受講上の注意)

真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報・社会調査演習 a (Practice in Information and Social Research a)			担当教員	織田　暁子、江南　健志、 サンドロヴィッチ　ティムール
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2388	2 単位	3 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

調査の企画から報告書の作成までにまたがる社会調査の全過程をひととおり実習を通じて体験的に学習する。調査の企画、仮説構成、調査項目の設定、質問文・調査票の作成、対象者・地域の選定、サンプリング、調査の実施（調査票の配布・回収）、エディティング、集計、分析、仮説検証、報告書の作成までを通して行っていく。

授　業　の　到　達　目　標

・社会調査の企画と実施ができるようになる。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できるようになる。
・統計ソフトを使いこなせるようになる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：オリエンテーションとグループ決定
　事前学習：量的調査法と質的調査法の違いについて確認しておくこと（2 時間）
　事後学習：自分が選択した調査法について復習しておくこと（2 時間）
第 2 回：グループごとにテーマについての話し合い（1）
　事前学習：調査テーマについて下調べをしておくこと（2 時間）
　事後学習：テーマに関連する文献を調査する（2 時間）
第 3 回：グループごとにテーマについての話し合い（2）
　事前学習：テーマに関連する文献を読んでおくこと（2 時間）
　事後学習：調査テーマを決定する（2 時間）
第 4 回：テーマについてのグループ発表
　事前学習：調査テーマについての発表資料を作成する（2 時間）
　事後学習：授業での指摘を受けて、資料を修正する（2 時間）
第 5 回：テーマについての文献レビュー
　事前学習：テーマに関連する文献を複数探す（2 時間）
　事後学習：文献レビューをまとめる（2 時間）
第 6 回：仮説構成（1）
　事前学習：テーマに関連する複数の仮説を立てる（2 時間）
　事後学習：仮説を修正する（2 時間）
第 7 回：仮説構成（2）
　事前学習：仮説に関連する文献を収集する（2 時間）
　事後学習：仮説に関連する文献をまとめる（2 時間）
第 8 回：仮説の発表
　事前学習：発表資料を作成する（2 時間）
　事後学習：発表資料を修正する（2 時間）
第 9 回：質問作成（1）
　事前学習：質問項目を検討する（2 時間）
　事後学習：質問項目を修正する（2 時間）

第10回：質問作成（２）
　　事前学習：質問選択肢を検討する（２時間）
　　事後学習：質問選択肢を修正する（２時間）
第11回：質問案発表
　　事前学習：発表資料を作成する（２時間）
　　事後学習：発表資料を修正する（２時間）
第12回：質問紙の作成（１）
　　事前学習：質問紙の内容を検討する（２時間）
　　事後学習：質問紙の内容を修正する（２時間）
第13回：質問紙の作成（２）
　　事前学習：質問紙のレイアウトを検討する（２時間）
　　事後学習：質問紙のレイアウトを修正する（２時間）
第14回：実査準備（１）
　　事前学習：調査対象について検討する（２時間）
　　事後学習：調査計画を修正する（２時間）
第15回：実査準備（２）
　　事前学習：調査場所・日時について検討する（２時間）
　　事後学習：質問紙を修正・調整し、印刷する（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
（平常点はグループでの活動への積極性や発表の評価等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・社会調査の企画と実施ができるようになっているか。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できているか。
・統計ソフトを使いこなせているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

授業開始時に各教員から指示がある。

その他（受講上の注意）

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する「社会調査士」資格に必要な標準カリキュラムのG科目に対応するものである。本年度後期に開講される「情報・社会調査演習b」と連続して受講すること。情報・社会調査演習aあるいはbのみの履修は認めない。
また、この授業は授業時間を使って調査を企画・実施する演習科目である。無断欠席は禁じる。事前連絡がある場合も欠席は３回までとする。
初回授業で、質的調査・量的調査のクラス分けを行う。

・質的調査班の履修条件は下記のとおり。
①既に「社会学入門（旧カリ：社会調査法I）」「社会調査法（旧カリ：社会調査法II）」「データ解析法a」を履修済であること。

・量的調査班の履修条件は下記のとおり。
①既に「社会学入門（旧カリ：社会調査法I）」「社会調査法（旧カリ：社会調査法II）」「社会調査方法論」を履修済であること。
②「データ解析法b」を受講すること、もしくは履修済であること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報・社会調査演習 b (Practice in Information and Social Research b)			担当教員	織田　暁子、江南　健志、 サンドロヴィッチ　ティムール
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2389	2 単位	3 年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

調査の企画から報告書の作成までにまたがる社会調査の全過程をひととおり実習を通じて体験的に学習する。調査の企画、仮説構成、調査項目の設定、質問文・調査票の作成、対象者・地域の選定、サンプリング、調査の実施（調査票の配布・回収）、エディティング、集計、分析、仮説検証、報告書の作成までを通して行っていく。

授　業　の　到　達　目　標

・社会調査の企画と実施ができるようになる。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できるようになる。
・統計ソフトを使いこなせるようになる。
・自分の主張を論理的に報告書にまとめられるようになる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：実査①
　事前学習：実査のアポイントメントを調整する・実査を行う（2 時間）
　事後学習：実査のデータの管理・整理（2 時間）
第 2 回：実査②
　事前学習：実査のアポイントメントを調整する・実査を行う（2 時間）
　事後学習：実査のデータの管理・整理（2 時間）
第 3 回：コーディング・データ整理①
　事前学習：エディティング・コーディングガイドを作成する（2 時間）
　事後学習：コーディング作業を行う（2 時間）
第 4 回：コーディング・データ整理②
　事前学習：入力マニュアルを作成する（2 時間）
　事後学習：データ入力作業を行う（2 時間）
第 5 回：コーディング・データ整理③
　事前学習：クリーニングガイドを作成する（2 時間）
　事後学習：クリーニング作業を行う（2 時間）
第 6 回：データ分析①
　事前学習：データ分析の方針を立てる（2 時間）
　事後学習：データ分析の方針を修正する（2 時間）
第 7 回：データ分析②
　事前学習：単純集計を確認する（2 時間）
　事後学習：データを概観し、エラーを確認する（2 時間）
第 8 回：データ分析③
　事前学習：分析モデルについて検討する（2 時間）
　事後学習：データ分析を行う（2 時間）
第 9 回：データ分析④
　事前学習：データ分析を行う（2 時間）
　事後学習：データ分析結果を修正する（2 時間）

第10回：データ分析⑤
　　事前学習：データ分析を行う（２時間）
　　事後学習：データ分析結果を修正する（２時間）
第11回：報告書作成①
　　事前学習：報告書原稿を執筆する（２時間）
　　事後学習：報告書原稿を修正する（２時間）
第12回：報告書作成②
　　事前学習：報告書原稿を執筆する（２時間）
　　事後学習：報告書原稿を修正する（２時間）
第13回：報告書作成③
　　事前学習：報告書原稿を執筆する（２時間）
　　事後学習：報告書原稿を修正する（２時間）
第14回：報告書作成④
　　事前学習：レイアウトを調整する（２時間）
　　事後学習：レイアウトを修正する（２時間）
第15回：報告書作成⑤
　　事前学習：校正作業を行う（２時間）
　　事後学習：データを修正する（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：面接授業
第５回：面接授業
第６回：面接授業
第７回：面接授業
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
（平常点はグループでの活動への積極性や発表や報告書の評価等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・社会調査の企画と実施ができるようになっているか。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できているか。
・統計ソフトを使いこなせているか。
・自分の主張を論理的に報告書にまとめられているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　■メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
授業開始時に各教員から指示がある。
その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、「社会調査士」資格に必要な標準カリキュラムのG科目に対応するものである。本年度前期に開講された「情報・社会調査演習a」と継続して受講すること。情報・社会調査演習bのみの履修は認めない。履修者の調査演習報告書の執筆をもって、単位認定を行う。 また、この授業は授業時間を使って調査を企画・実施する演習科目である。無断欠席は禁じる。事前連絡がある場合も欠席は３回までとする。 質的調査班・量的調査班とも、受講条件は下記のとおり。 ・同一年度・同一クラスの「情報・社会調査演習a」の単位を取得していること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企業と情報 (Business Activities and Informatics)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−OOC−2390	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

授業では、企業と(企業にとって人・モノ・金に次ぐ第4の経営資源といわれる)情報の関わりについて考察し、情報化社会における企業活動の概況や課題について理解を深めることを狙いとする。

授 業 の 到 達 目 標

・ホームページや新聞から企業に関する情報を収集し、自身の考えを述べることができる。
・情報社会における企業のしくみや課題について説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：企業と経済活動
　事前学習：初回の授業では経済のしくみについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：企業形態とガバナンス
　事前学習：次回の授業では組織文化の影響について考えるため、組織文化がもたらすものについて自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：組織文化と企業理念①
　事前学習：次回の授業では組織文化と企業理念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：組織文化と企業理念②
　事前学習：次回の授業では組織文化と企業理念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：マーケティング①
　事前学習：次回の授業ではイノベーションの基本概念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：マーケティング②(グループワーク)
　事前学習：次回の授業ではマーケティング関連のグループワークを行うので、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第7回：マーケティング③(発表)
　事前学習：次回の授業ではマーケティング関連の発表を行うので、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第8回：経営戦略
　事前学習：次回の授業では経営戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
　事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)

第９回：事業戦略
事前学習：次回の授業では事業戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：ビジネスモデル
事前学習：次回の授業ではビジネスモデルについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：リーダーシップ①
事前学習：次回の授業ではリーダーシップの基本概念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：リーダーシップ②
事前学習：次回の授業ではセルフ・リーダーシップについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：日本経済と労働市場
事前学習：次回の授業では日本経済と労働市場について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：多角化戦略
事前学習：次回の授業では多角化戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：次回の授業では確認問題などを通じて授業全体のまとめを行うため、これまでの内容を確認しておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、自身で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物（70%）平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、提出物の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

・ホームページや新聞から企業に関する情報を収集し、自身の考えを述べることができるか。
・情報社会における企業のしくみや課題について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （元情報通信会社管理職（人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当）） ・実務経験と授業内容との関連性 （情報通信会社で管理職（人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当）経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。）
テキスト、参考図書
必要に応じて、授業中に提示します。
その他（受講上の注意）
「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、前後したり変更する場合があります。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ｉa (Special Seminar in Communication Ｉa)			担当教員	大河　晴美、加藤　優子、紺渡　弘幸、 矢橋　知枝、安彦　智史、江南　健志、 織田　暁子、Ｍ　ハウカ、升田　法継、 吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−G−2393	2単位	3年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

地域の文化創造・発展に向けて課題解決に主体的に取り組む力を身につけ、地域社会や産業界のリーダーとなる意欲を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の準備段階として、学生自らが問題意識を持ち、研究課題を設定できるようになることを目標とする。そのために、文献、論文、資料、データを精読し、ディスカッションや発表を行う。(配属先のゼミによって、演習内容は異なる。)
研究課題によっては、企業や自治体等の外部団体と連携し、実際のデータ分析や課題解決に取り組んだり、地域連携活動を行ったりすることがある。

授業の到達目標

自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

演習のテーマについて基礎的知識を養うための研究・実践を行う。
概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマや学生の問題意識に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。
(例)
第1回：オリエンテーション(各ゼミで取り扱うテーマに沿った先行研究の提示、ディスカッション)
　事前学習：自らが取り組みたいテーマについて考え、まとめてくる。(2時間)
　事後学習：輪読の対象となる先行文献を学ぶ。(2時間)
第2回：輪読(発表、ディスカッション)
　事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間)
　事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)
第3回：輪読(発表、ディスカッション)
　事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間)
　事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)
第4回：輪読(発表、ディスカッション)
　事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間)
　事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)

第５回：輪読（発表、ディスカッション）
事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。（２時間）
第６回：輪読（発表、ディスカッション）
事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。（２時間）
第７回：第１～６回の先行研究を振り返り、自らの研究テーマを決める（ディスカッション）
事前学習：これまで輪読した先行研究を振り返り、研究テーマを決めてくる。（２時間）
事後学習：ディスカッションにて得られた知見をもとに、研究テーマに対する考えを深める。（２時間）
第８回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第９回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第10回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第11回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第12回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第13回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第14回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第15回：まとめと今後の課題について（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマをより明確にし、発表できるようにする。（２時間）
事後学習：ディスカッションで指摘された課題も考慮し、自らの研究テーマをレポートにまとめる。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

自らの問題意識を明確にできているか。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　■メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

必要に応じて指示する。

その他（受講上の注意）

担当教員から指示がある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ｉb (Special Seminar in Communication Ｉb)			担当教員	大河　晴美、加藤　優子、紺渡　弘幸、 矢橋　知枝、安彦　智史、江南　健志、 織田　暁子、M　ハウカ、升田　法継、 吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−G−2394	2単位	3年後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

地域の文化創造・発展に向けて課題解決に主体的に取り組む力を身につけ、地域社会や産業界のリーダーとなる意欲を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の準備段階として、学生自らが問題意識を持ち、研究課題を設定できるようになることを目標とする。そのために、文献、論文、資料、データを精読し、ディスカッションや発表を行う。(配属先のゼミによって、演習内容は異なる。)
研究課題によっては、企業や自治体等の外部団体と連携し、実際のデータ分析や課題解決に取り組んだり、地域連携活動を行ったりすることがある。

授　業　の　到　達　目　標

自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読できる。論文の書き方、調査の仕方の基礎を身につける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

演習のテーマについて専門的知識を深めるための研究・実践を行う。概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマや学生の問題意識に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。
(例)
第1回：オリエンテーション
　事前学習：卒業論文のテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
　事後学習：自らの卒業論文テーマについて文献調査等を通し考えを深める。(2時間)
第2回：論文の書き方：学術論文を書く上での注意点(ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第3回：論文の書き方：背景(発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第4回：論文の書き方：背景(発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第5回：論文の書き方：背景(発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第6回：論文の書き方：定義(発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第7回：論文の書き方：定義(発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)

第８回：論文の書き方：定義（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第９回：論文の書き方：定義（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第10回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第11回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第12回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第13回：論文の書き方：結果の示し方（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第14回：論文の書き方：結果の示し方（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第15回：論文の書き方：まとめと参考文献（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

※　授業の実施形態は、配属先のゼミによって異なる。

第１回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

卒業研究に取り組むことができるだけの専門的な知識をつけられているか。文献などの講読を通して、自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定できるようになったか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　■メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
必要に応じて指示する。
その他（受講上の注意）
問題意識の明確化、研究課題の設定のために必要な、本演習以外の授業を履修すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

学校臨床心理学 (Clinical Psychology in Schools)			担当教員	廣澤　愛子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−APO−2456	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

学校現場で生じている問題のうち、臨床心理学的支援が有効に働く課題について、その実態と支援の在り方を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

学校現場における有効な臨床心理学的支援を、他者と議論し、情報を収集し、自ら主体的に考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：臨床心理学とは── 理論的背景 ──
　事前学習：臨床心理学とは何かについて、インターネットを使って調べ、自分の言葉で説明する。（2時間）
　事後学習：授業を踏まえて、臨床心理学とは何かについて、自分の新たな考えを追加し、事前学習の時点で考えていた説明を修正する。（2時間）
第2回：臨床心理学とは── グループワークを通して ──
　事前学習：前回の授業後にまとめた「臨床心理学とは何か」について、他者に伝わる言葉でまとめ、配布資料を作る。（2時間）
　事後学習：他者の意見を聴き、自分の「臨床心理学とは何か」の定義を加筆修正する。（2時間）。
第3回：学校における臨床心理学的支援の実際その1 ── 特別支援教育に係わる支援の在り方 ──
　事前学習：実践事例を事前に読み、自分なりに理解したことをまとめておく（2時間）
　事後学習：教員の授業を踏まえて、実践事例における支援方法について、自分なりの考えをまとめておく（2時間）
第4回：特別支援教育に係わる支援についてのグループディスカッション
　事前学習：グループディスカッションで配布する資料を作成する（2時間）
　事後学習：グループディスカッションで出た他者の意見を踏まえ、グループ全体の意見をまとめた資料を作成する（2時間）
第5回：グループごとのプレゼンテーション①
　事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する（2時間）
　事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分の考えを再構成する（2時間）
第6回：学校における臨床心理学的支援の実際その2 ── いじめに係わる支援の在り方 ──
　事前学習：事前に支援事例を読み、理解を深める（2時間）
　事後学習：いじめ事例への対応について、自分なりの考えをまとめる（2時間）
第7回：いじめについてのグループディスカッション
　事前学習：グループディスカッションに提示するための資料を作成する（2時間）
　事後学習：他の人のの発表も踏まえ、自分の考えを再構成する（2時間）
第8回：グループごとのプレゼンテーション②
　事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する（2時間）
　事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分たちのグループの考えを再構成する（2時間）。
第9回：学校における臨床心理学的支援の実際その3 ── 保護者支援について ──
　事前学習：事前に資料を読み、理解を深める（2時間）
　事後学習：授業を踏まえて、保護者支援の要諦について、自分の考えをまとめる。（2時間）。

第10回：保護者支援についてのグループディスカッション
事前学習：グループディスカッションで配布する資料を作成する（2時間）。
事後学習：他の人の意見を聴いて、自分の意見を再構成してまとめる（2時間）。
第11回：グループごとのプレゼンテーション③
事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する（2時間）
事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分たちのグループの考えを再構成する（2時間）。
第12回：学校現場でも活用できる心理技法の紹介――体験実習を通して――
事前学習：事前に資料を読み、理解を深める（2時間）
事後学習：実習を踏まえて、技法の特性についてまとめる。（2時間）。
第13回：心理技法の実際――その用い方と有効性――
事前学習：この技法を使った支援事例を検索し、まとめる。（2時間）
事後学習：技法についての授業を踏まえて、技法の応用方法についてまとめる（2時間）
第14回：心理技法についてのグループディスカッション
事前学習：これまでの授業の中で、最も印象に残ったトピックについて自分の考えをまとめる。（2時間）
事後学習：グループディスカッションを通して、学校における臨床心理学が果たす役割について自分の考えをまとめる。（2時間）
第15回：総括
事前学習：プレゼンテーションのための資料を作成する（2時間）
事後学習：他の人の発表も踏まえて、自分の資料を再構成して提出する（2時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

小レポート（40%）+ディスカッション（30%）+プレゼンテーション（30%）

成　績　評　価　基　準

他者と議論し、的確に情報を収集し、それらを踏まえて主体的に考え、課題解決に導くことができているか。さらに、その解決策を他者に分かりやすく提示することができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

テキストは使用せず、適宜、授業の中で紹介するか、講師がレジュメを配布する。

その他（受講上の注意）
※授業の積み重ねの中で、自分なりの考えや観点を生成していくことを心がけてください。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

障害者心理学 (Psychology of the Disabled)			担当教員	水田　敏郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−ABC−2466	2単位	4年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

感覚障害や知的障害、肢体不自由など様々な障害の概念について解説する。また、特に最も発生率の高い知的障害について分類や障害メカニズムについて解説し、心理的な特徴とその支援の方法について述べる。

授 業 の 到 達 目 標

障害の概念、定義について理解することができる。様々な障害について特定の基準をもとに分類することができる。知的障害の心理的な諸特徴と支援の方法について理解することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（学生は毎授業での疑問点や関心事、意見をe-ラーニング上に書き込み、それを集約して2週後にフィードバックすることを繰り返す）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス
　事後学習：次回分のプリントについて熟読し、質問をまとめておく。（2時間）
第2回：障害の概要と定義
　事前学習：第2回分のプリント（障害の概要と定義）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第2回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第3回：知的障害のアセスメント①
　事前学習：第3回分のプリント（知的障害のアセスメント①）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第3回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第4回：知的障害のアセスメント②（小レポート）
　事前学習：第4回分のプリント（知的障害のアセスメント②）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第5回：感覚の発達と障害
　事前学習：第5回分のプリント（感覚の発達と障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第6回：知覚の発達と障害①
　事前学習：第6回分のプリント（知覚の発達と障害①）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第6回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第7回：知覚の発達と障害②（小レポート）
　事前学習：第7回分のプリント（知覚の発達と障害②）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第7回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第8回：学習の発達と障害
　事前学習：第8回分のプリント（学習の発達と障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第8回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第9回：言語の発達と障害①
　事前学習：第9回分のプリント（言語の発達と障害①）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第9回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）

第10回：言語の発達と障害②
事前学習：第10回分のプリント（言語の発達と障害②）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第10回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第11回：運動の発達と障害①
事前学習：第11回分のプリント（運動の発達と障害①）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第11回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第12回：運動の発達と障害②
事前学習：第12回分のプリント（運動の発達と障害②）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第12回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第13回：知的障害以外の発達障害
事前学習：第13回分のプリント（知的障害以外の発達障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第13回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第14回：障害と支援（小レポート）
事前学習：第14回分のプリント（障害と支援）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第14回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第15回：障害者心理学に関するまとめ
事前学習：各回分のプリント全体の整理と質問項目をまとめておく（３時間）
事後学習：第15回で解説したの内容について、整理しておく（３時間）

各回の講義を受講した後、当該部分の配布資料をよく読んで復習してください。また、予習にあたっても次の授業の内容部分をよく見て、問題意識をもって授業に臨んでください。

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（70％）　平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況、質問用紙の提出状況などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

障害の概念、定義について説明することができるか。様々な障害について特定の基準をもとに分類することができるか。知的障害の心理的な諸特徴と支援の方法について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
講義資料は適宜配布する。
その他（受講上の注意）
障害に対する理解を得たり、疑問点を解決しようとするなど、目的意識をもって受講することを期待します。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会福祉概論 (Survey of Social Welfare)			担当教員	下山　久之
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPO−2476	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会保障および、社会福祉とは何かについて考える。現代社会において、福祉は、医療・教育とともに、私たちのよりよい生活に必要不可欠なものである。その福祉の理念やあゆみ、ソーシャルワークと政策の連関など仕組みと方法を解説し、基礎的な理解を深める。

授　業　の　到　達　目　標

ソーシャルワーク実践と福祉政策の関連性を理解することができる。
社会保障の基礎的な枠組みを理解することができる。
社会福祉の専門職と対象者観について理解を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション 福祉とはその語源を探る、学習の仕方の説明－視点と枠組み－等
　事前学習：社会福祉や地域の福祉の取組など身近な福祉の取り組みについて新聞記事やメディア、書籍を読んで自身の理解を深めておくこと。（2時間）
　事後学習：講義で紹介した書籍等を通じて復習、福祉の枠組みについてまとめておく（2時間）
第2回：社会の変化と福祉
　事前学習：現代社会の変化とそれに伴う社会的課題について考えておく（2時間）
　事後学習：講義資料をもとに復習し、現代社会の中での社会的課題について考えをまとめておく（2時間）
第3回：福祉と福祉政策
　事前学習：現代社会における社会福祉制度をまとめておく（2時間）
　事後学習：社会福祉の拡大と限定についてまとめておく（2時間）
第4回：福祉の思想と哲学
　事前学習：福祉は、どのような思想のもとに展開されてきたのかを予習しておく（2時間）
　事後学習：福祉の思想と、市場の論理と倫理ついて参考文献等からまとめる（2時間）
第5回：社会政策と福祉政策
　事前学習：社会政策と福祉政策の関係について予習しておく（2時間）
　事後学習：社会政策の体系と社会福祉政策についてまとめる。（2時間）
第6回：福祉政策の発展過程
　事前学習：近代化と福祉政策の形成過程について予習する。（2時間）
　事後学習：戦後改革と高度経済成長期の福祉政策を理解しておく。（2時間）
第7回：少子高齢化時代の福祉政策
　事前学習：1970年代の福祉政策と1990年代および2000年以降の福祉政策についての調べておく。（2時間）
　事後学習：社会の変化に合わせて福祉政策が変動してくる過程をまとめる。（2時間）
第8回：福祉政策における必要と資源
　事前学習：福祉政策における必要と需要の考え方について予習する。（2時間）
　事後学習：必要の判定と福祉政策の資源についてまとめる。（2時間）
第9回：福祉政策の理念・主体・手法
　事前学習：福祉政策の多様な理念について予習する。（2時間）
　事後学習：福祉政策の手法と政策決定過程・評価について理解を深める。（2時間）

第10回：福祉政策の関連領域
事前学習：福祉政策の関連領域について予習しておく。（２時間）
事後学習：雇用政策、教育政策、住宅政策と福祉政策の関連性についてまとめておく（２時間）
第11回：社会福祉制度の体系
事前学習：社会福祉制度の構造について理解を深めておく（２時間）
事後学習：社会福祉制度と福祉サービスについてまとめておく。（２時間）
第12回：福祉サービスの提供
事前学習：福祉サービスの提供過程について予習しておく。（２時間）
事後学習：福祉サービスの運営管理部門についてまとめておく（２時間）
第13回：福祉サービスと援助活動
事前学習：相談援助の原則・視点・考え方と方法について予習しておく。（２時間）
事後学習：地域福祉への展開についてまとめておく（２時間）
第14回：福祉政策の国際比較
事前学習：欧米の福祉政策について予習しておく（２時間）
事後学習：欧米と東アジア諸国の福祉政策の共通点と相違点をまとめる（２時間）
第15回：福祉政策の課題と展望
事前学習：社会不安と福祉政策の課題について予習しておく。（２時間）
事後学習：包括的福祉政策への展開について考える。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート試験（60%）　小レポート（40%）

成　績　評　価　基　準

社会福祉および社会保障の理念と政策・実践の連関を理解することができるか。
社会保障の基礎的な枠組みを理解することができるか。
社会福祉の専門職と対象者観について理解を深めるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（レポート提出後）
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

テキスト『新・社会福祉士養成講座４　現代社会と福祉（第４版）』中央法規出版

その他（受講上の注意）
社会保障の理解を通じて、身近な福祉の取り組みを自身の生活に生かす。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学特別演習Ⅱ (Special Psychology SeminarⅡ)			担当教員	稲木康一郎、大森　慈子、杉島　一郎、 西村　則昭、水田　敏郎、森　　俊之、 坂井　祐円、竹村　明子、山本　雅代、 吉水ちひろ、渡辺　克徳、森本　文人、 山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-OPI-2482	4単位	4年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の計画・実行段階として、心理学特別演習Ⅰで学生自らが設定した課題の解決にむけて、それらを遂行するために考えられる様々なアプローチ方法を立案します。さらに、それらの中から実行が妥当かつ可能なものを選択・吟味していきます。その際に、必要な文献や図書を精読し、発表や議論などを行います。(担当教員によって演習内容は異ります。)

授　業　の　到　達　目　標

自ら設けた研究課題に向けて、研究のアプローチ方法を吟味し選択する能力を身につける。研究を実施できる。
研究課題に関連する文献などを適切に講読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回～30回：各担当教員の進め方に沿って取り組んでいく。
特別演習Ⅰ同様、授業では、ディスカッションや発表が取り入れられる。
ゼミによっては、自分の研究課題を設定し、実験や調査などの計画を立て実行する。
(課題解決型学習)(討議)(グループワーク)(発表)(実験、実技)
各受講生の課題解決に向けて必要と思われる本演習以外の授業を履修し、または以前に受講した授業で関連のある内容について全般的に復習する。

第1回～30回の事前学習：担当教員の指示に従って準備を行う(2時間)。
第1回～30回の事後学習：担当教員の指示に従って学習を進める(2時間)。

新型コロナウイルス対応の授業形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第2回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第3回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第4回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第5回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第6回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第7回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第8回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第9回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第10回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第11回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第12回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)

第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第16回：面接授業
第17回：面接授業
第18回：面接授業
第19回：面接授業
第20回：面接授業
第21回：面接授業
第22回：面接授業
第23回：面接授業
第24回：面接授業
第25回：面接授業
第26回：面接授業
第27回：面接授業
第28回：面接授業
第29回：面接授業
第30回：面接授業

成　績　評　価　方　法

レポートや発表（50%）　平常点（50%）
（レポートや発表の形式は担当教員により異なります。平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

自ら設けた研究課題に向けて、研究のアプローチ方法を立案し選択する能力を身につけることができたか。研究を実施できたか。研究課題に関連する文献などを適切に講読できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（レポートや発表、平常点に対するフィードバックについて）
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（各ゼミの担当教員の方法）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

担当教員から指示されます。

その他（受講上の注意）

担当教員から指示されます。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

卒業研究 (Graduation Research)			担当教員	稲木康一郎、大森　慈子、杉島　一郎、 西村　則昭、水田　敏郎、森　　俊之、 坂井　祐円、竹村　明子、山本　雅代、 吉水ちひろ、渡辺　克徳、森本　文人、 山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-OPI-2483	6単位	4年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学特別演習Ⅰ・Ⅱを通して学生自らが設定した研究テーマや計画をもとに、研究を進めて卒業論文に仕上げます。

授 業 の 到 達 目 標

心理学研究として適切な課題の設定を行う。妥当な研究の方法を選択する能力を身につける。結果の分析能力とそれらに対して考察する力を身につけ、レポート(論文)としてまとめ発表することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

担当教員の指導に従って取り組んでいきますが、おおむね以下のようなスケジュールになります。

4～5月　課題・研究計画の立案と決定
6～8月　研究の実行
9～10月　結果の分析
11～12月　考察や論文のまとめ
1月下旬～2月上旬　卒業研究発表会
(課題解決型学習)(討議)(グループワーク)(発表)(実験、実技)
※卒業研究発表会に関しては全学生が同じスケジュールで行われますが、それまでのスケジュールは配属先のゼミにより異なることがあります。
担当の教員から適宜指示されます。

新型コロナウイルス対応の授業形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第2回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第3回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第4回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第5回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第6回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第7回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第8回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第9回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第10回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第11回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)

第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第16回：面接授業
第17回：面接授業
第18回：面接授業
第19回：面接授業
第20回：面接授業
第21回：面接授業
第22回：面接授業
第23回：面接授業
第24回：面接授業
第25回：面接授業
第26回：面接授業
第27回：面接授業
第28回：面接授業
第29回：面接授業
第30回：面接授業

卒業研究発表会

成　績　評　価　方　法

論文（50%）　平常点（40%）　発表（10%）
（平常点は卒業研究と発表への参加・取り組み状況や、取り組む態度などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

心理学研究として適切な課題が設定されているか。妥当な研究の方法を選択する能力が身についているか。結果の分析能力とそれらに対して考察する力を身につけ、レポート（論文）としてまとめ発表することができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（論文、平常点、発表に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（各ゼミの担当教員の方法、および、卒業研究発表会）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

担当教員から指示されます。

その他（受講上の注意）

心理学の様々な専門分野から自らがテーマや方法を決めて研究を進めます。4年間の集大成ともいえる研究となります。全力で取り組んでください。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

デザインマネジメント論 (Design Management)			担当教員	浅野　桃子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2461	2単位	4年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画･マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

広義の意味での「デザイン」や、「アート」の知識や経験をもとにして、これからの世界や社会の現状から未来をもしくは課題を、創造力を用いクリアにし、よりよいわたしたちの生き方の契機を思考し試行する。

授 業 の 到 達 目 標

思考/試行したことが実際にどういう反応反響は起こるのか、どういう表現ができるのかを調査理解し、自らの研究や活動に活かしていく。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション/イントロダクション（講義の目的と自己分析、アンケート）
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業の内容を振り返り、指定の方法を通じてリフレクションを実施し補足する。（2時間）
第2回：ワーク1 広義の意味での「デザイン」や「アート」の活動事例
　事前学習：活動事例を調べておく。（2時間）
　事後学習：講義を参考に活動事例においての自分の意見をまとめておく。（2時間）
第3回：ワーク2 広義の意味での「デザイン」や「アート」の活動事例
　事前学習：活動事例を調べておく。（2時間）
　事後学習：講義を参考に活動事例においての自分の意見をまとめておく。（2時間）
第4回：広義の意味での「デザイン」や「アート」についての考察1
　事前学習：次回の講義内容を予習する。（2時間）
　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（2時間）
第5回：広義の意味での「デザイン」や「アート」についての考察2
　事前学習：次回の講義内容を予習する。（2時間）
　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（2時間）
第6回：ワーク3「デザイン」や「アート」について試行する。
　事前学習：ワーク3_1に必要な道具や環境を準備しておく。（2時間）
　事後学習：講義内でできなかったことを補完する。（2時間）
第7回：ワーク3「デザイン」や「アート」について試行する。
　事前学習：ワーク3_2に必要な道具や環境を準備しておく。（2時間）
　事後学習：講義内でできなかったことを補完する。（2時間）
第8回：広義の意味での「デザイン」や「アート」についての考察3
　事前学習：次回の講義内容を予習する。（2時間）
　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（2時間）
第9回：広義の意味での「デザイン」や「アート」についての考察4
　事前学習：次回の講義内容を予習する。（2時間）
　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（2時間）
第10回：広義の意味での「デザイン」や「アート」についての考察5
　事前学習：次回の講義内容を予習する。（2時間）
　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（2時間）

第11回：広義の意味での「デザイン」や「アート」についての考察６
　　事前学習：次回の講義内容を予習する。（２時間）
　　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（２時間）
第12回：広義の意味での「デザイン」や「アート」についての考察７
　　事前学習：次回の講義内容を予習する。（２時間）
　　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（２時間）
第13回：特別ゲスト講義　※外部ゲスト招聘
　　事前学習：次回の講義内容を予習する。（２時間）
　　事後学習：講義の内容を振り返りまとめておく。（２時間）
第14回：最終レポート これまでの全講義内容を振り返り考察を深めリサーチを進める。
　　事前学習：次回の講義内容を予習する。（２時間）
　　事後学習：最終レポートの制作を始める。（２時間）
第15回：講義全体のまとめ/最終レポートに反映させる。
　　事前学習：最終レポートの制作を続ける。（２時間）
　　事後学習：最終レポートの制作を続け指定の期間に提出する。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

最終レポート（40%）、平常点（60%）※平常点は講義への積極的な参加状況、レポートの提出と内容を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

・これまでの知識や経験、技術を活かし、独自の視点でアイディアが展開できているか。
・客観的なデータによる分析やクリエイティブな表現により、魅力的な内容ができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

テキスト：使用しない
参考図書：授業内で紹介する

その他（受講上の注意）

授業内容が前後したり変更する場合がある（授業内で事前に告知する）。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン研究 (Research on Project Design)			担当教員	野尻　昌明
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2464	2単位	4年通年	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

2年生～4年生の3年間という長期的展望に立って、年度を重ねながら最終的に学年を超えたコラボレーションでプロジェクトを生み出し、実現する授業に育てていく。プロジェクトはチーム単位で学内外の諸課題の解決に取り組み、学生自らが主体的にアイディアを出し、目標・計画を立て、実行し、評価し、改善・革新していく。

授 業 の 到 達 目 標

学生自ら授業・プロジェクトを生み出し、展開していけること。学生相互に学び合うだけでなく、異なるプロジェクトの間で学び合い、多様な学生・プロジェクトが触発しあいながら、次年度の授業・プロジェクトに向けた基盤・展望・意欲が形成できること。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、前年度実績のプレゼンテーション、プロジェクトチームの編成
　事前学習：前年度の企画内容をまとめておく（2時間）
　事後学習：チームメンバーと交流し、互いの得意な領域を確認しておく（2時間）
第2回：企画内容、実施計画の検討、制作プロデュースの理解（グループワーク）
　事前学習：企画内容、実施計画についてのグループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：企画の立案、修正を行う（2時間）
第3回：実施計画書の作成（グループワーク）
　事前学習：企画内容、実施計画についてのグループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：実施計画書の加筆修正を行う（2時間）
第4回：実施計画書のプロデュース、レビュー（グループワーク）
　事前学習：レビューのための事前準備をする（2時間）
　事後学習：レビューの結果に沿って、実施計画書を加筆修正し、承認されるレベルに仕上げる（2時間）
第5回：実施計画書のプレゼンテーション（グループワーク）
　事前学習：プレゼンテーションの事前準備をする（2時間）
　事後学習：フィードバックの結果に沿って、実施計画書を加筆修正する（2時間）
第6回：プロジェクトの実施準備①スケジュール・品質管理、制作サポート（グループワーク）
　事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく（2時間）
　事後学習：進捗を確認し、遅延がないように準備をすすめる（2時間）
第7回：プロジェクトの実施準備②スケジュール・品質管理、制作サポート（グループワーク）
　事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく（2時間）
　事後学習：進捗を確認し、遅延がないように準備をすすめる（2時間）
第8回：プロジェクトの実施準備③、中間レビュー（グループワーク）
　事前学習：中間レビューの事前準備をする（2時間）
　事後学習：進捗を確認し、遅延がないように準備をすすめる（2時間）
第9回：プロジェクトの実施準備④、最終レビュー（グループワーク）
　事前学習：最終レビューの事前準備をする（2時間）
　事後学習：最終チェックをして完成度を高める（2時間）

第10回：プロジェクトの実施①、記録（グループワーク）
　　事前学習：実施当日の計画を確認しておく（２時間）
　　事後学習：実施結果について、反省をまとめておく（２時間）
第11回：プロジェクトの評価、改善①
　　事前学習：実施結果の評価および改善策について、グループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（２時間）
　　事後学習：企画を改善する（２時間）
第12回：プロジェクトの実施準備⑤（グループワーク）
　　事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく（２時間）
　　事後学習：最終チェックをして完成度を高める（２時間）
第13回：プロジェクトの実施②（グループワーク）
　　事前学習：実施当日の計画を確認しておく（２時間）
　　事後学習：実施結果について、反省をまとめておく（２時間）
第14回：プロジェクトの評価、報告書・ポスターの作成（グループワーク）
　　事前学習：報告書・ポスター作成のためのコンテンツを準備しておく（２時間）
　　事後学習：報告書・ポスターの完成度を高める（２時間）
第15回：プロジェクトの報告（グループワーク）
　　事前学習：報告の事前準備をする（２時間）
　　事後学習：フィードバックの結果に沿って、報告書やポスターを修正し、次年度の参照資料として掲示・保存をする（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する取組み内容・提出物（80%）、平常点（20%）

成　績　評　価　基　準

・プロジェクトを生み出し、展開できているか。
・プロジェクトチームに貢献できているか、また、プロジェクトチームとして成果がでているか。
・プロジェクトの進め方（基本）について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
特に使用しない。参考となる資料は必要に応じて配布する。
その他（受講上の注意）
一貫してチーム編成にて作業を進行する。価値観の違いを面白がり、触発しあい、生み出しあう姿勢を持つこと。授業の進捗に応じて柔軟に内容を変更していく。詳細説明は第１回に行うので、必ず出席すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

異文化コミュニケーション (Cross-Cultural Communication)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2473	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

記事の分析と批判的思考に焦点を当て、異文化コミュニケーション構成を学習する。ペア・グループ学習等の様々な言語活動を通して、論理的な議論における流暢さと正確さを追及する。

授 業 の 到 達 目 標

グローバルな課題について、記事を読む。各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。記事の内容からディスカッションをする。与えられた課題について、各学生が口頭発表をする。異文化コミュニケーションや批判的思考能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：今日の世界の異文化コミュニケーション（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された今日の世界の異文化コミュニケーションについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：異文化コミュニケーションのための英語（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された異文化コミュニケーションのための英語について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：人間のコミュニケーションの重要な特徴（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された人間のコミュニケーションの重要な特徴について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：文化という概念（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された文化という概念について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：言語と思考（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された言語と思考について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：コミュニケーション・スタイル（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたコミュニケーション・スタイルについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第7回：1～6の復習（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第1～6ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第1～6ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：人間の心理とコミュニケーション（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された人間の心理とコミュニケーションについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）

第９回：言語行為と文化（グループワーク　討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第８章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された言語行為と文化について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第10回：ステレオタイプと異文化コミュニケーション（グループワーク　討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第９章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたステレオタイプと異文化コミュニケーションについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第11回：異文化コミュニケーションにおける文化調整（グループワーク　討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された異文化コミュニケーションにおける文化調整について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：高等教育における文化コミュニケーション（グループワーク　討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された高等教育における文化コミュニケーションについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：海外留学と異文化適応（グループワーク　討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された海外留学と異文化適応について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：将来のための異文化協力（グループワーク　討議　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された将来のための異文化協力について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：７～13の復習（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第７～13ユニットを復習して、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された第７～13ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（２時間）
定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用

成　績　評　価　方　法

授業での言語活動（25％）、課題（25％）、定期試験（50％）

成　績　評　価　基　準

自分の意見や考えを伝える力を身につけることができたか。
記事の内容からディスカッションをすることができるか。
与えられた課題について、各学生が口頭発表をすることができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
英語学習者のため異文化コミュニケーション・Intercultural Communication for English Language Learners in Japan（トロイマコナキー, 古家聡、櫻井千佳子著）出版社：南雲堂　2017. ISBN: 978-4-523-178466-0

参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

Active participation is essential in this class. Instruction in this class is entirely in English.

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

現代文化研究 (Contemporary Cultural Studies)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2492	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

社会学の対象としての「文化現象」は、今日では様々なサブカルチャーを含めて多岐にわたります。そこで、多様な文化のあり方を概観するとともに、現代社会について考える社会学的な枠組み・視点の獲得を目指します。

授 業 の 到 達 目 標

現代社会に見られる文化事象に関心をもち、自分自身の問題として自身の経験や自身をとりまく社会状況と関連付けて考察する習慣を身につけること。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第2回：文化と社会学――文化社会学の射程――
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「序」を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第3回：現代文化の諸相――現代文化へのまなざし――①都市の文化
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「Ⅰ現代文化へのまなざし」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第4回：現代文化の諸相――現代文化へのまなざし――②消費文化
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「Ⅰ現代文化へのまなざし」を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第5回：現代文化の諸相――現代文化へのまなざし――③情報文化
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「Ⅰ現代文化へのまなざし」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第6回：現代文化の諸相――現代文化へのまなざし――④文化と権力
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「5 文化と権力」を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）

第７回：メディアと記号①　メディアの変容
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「６ メディアの変容」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第８回：メディアと記号②　映像文化
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「７ 映像文化の三つの位相」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第９回：メディアと記号③　音楽文化
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「８ ポピュラー音楽の社会学」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第10回：メディアと記号④　活字メディア
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「９〈少年-マンガ-雑誌〉という文化」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第11回：メディアと記号⑤　スポーツ
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第12回：日常の文化と社会学①　ファッション
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「11 ファッションという制度」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第13回：日常の文化と社会学②　観光
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献「12 観光と文化」を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第14回：日常の文化と社会学③　恋愛
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第15回：まとめ（課題解決型学習（PBL）を実施）
事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめ、討論できるできるようにまとめておくこと（４時間）
事後学習：本講義の全てのノートを見直して復習し整理すること。また、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

レポート（50%）　平常点（50%）
・平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します（出席点ではありません）。
・internet上のデータを安易に引用したり、他者の論文・レポートなどを盗用・剽窃したりした場合は不可となります。

成 績 評 価 基 準

・自らでテーマを設定し、必要なデータを収集することが出来るか。
・事実に基づいて意見を述べ、かつ批判的に考察できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

遠藤英樹 著『現代文化論　社会理論で読み解くポップカルチャー』ミネルヴァ書房

その他（受講上の注意）

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ⅱa (Special Seminar in CommunicationⅡa)			担当教員	大河　晴美、紺渡　弘幸、矢橋　知枝、 安彦　智史、江南　健志、織田　暁子、 M　ハウカ、升田　法継、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2495	2単位	4年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究につなげる。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の完成に向けて、3年次のコミュニケーション特別演習Ⅰa,bで明確化した問題意識に基づき、研究テーマを確定する。次に、研究・調査・実践に必要となるアプローチを探求し、テーマとの整合性や妥当性を探る。そのために、専門的な文献、論文、データなども含めた精読を行うとともに、ディスカッションや発表を行うことで、卒業研究の計画立案および策定を行う。

授　業　の　到　達　目　標

自らの問題意識に基づいて設定した研究課題を遂行するために必要な、適切なアプローチを吟味し、選択する能力を身につける。課題に関連する文献などを適切に精読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

研究テーマ、研究計画の策定および研究計画書の提出を行い、それぞれの研究テーマについて、適切な研究、調査、実践を進める。
概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマをおよび学生の課題設定に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。

（例）
第1回：オリエンテーション
　　事前学習：卒業論文のテーマについてレポートをまとめる。（2時間）
　　事後学習：自らの卒業論文テーマについて文献調査等を通し考えを深める。（2時間）
第2回：論文の全体構造を明らかにする：目的の設定（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（2時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第3回：論文の全体構造を明らかにする：研究対象の設定（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（2時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第4回：論文の全体構造を明らかにする：研究方法の設定（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（2時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第5回：論文の全体構造を明らかにする：研究計画書の作成（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（2時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第6回：論文の全体構造を明らかにする：研究計画書の作成（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（2時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第7回：論文の全体構造を明らかにする：目次部分の作成（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（2時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）

第８回：論文の全体構造を明らかにする：目次部分の作成（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第９回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第10回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第11回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第12回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第13回：文献調査を進める：仮説の設定（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第14回：文献調査を進める：仮説の設定（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第15回：まとめと課題（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会に関して、卒業研究で取り組むための適切な研究・実践課題設定を行えるようになっているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　■メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
担当教員から適宜指示する。
その他（受講上の注意）
研究計画の遂行のために必要な本演習以外の授業を履修する。それとともに、今までに履修してきた授業の中で、研究課題と関連のある内容を再確認しておく。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ⅱb (Special Seminar in Communication Ⅱb)			担当教員	大河　晴美、紺渡　弘幸、矢橋　知枝、 安彦　智史、江南　健志、織田　暁子、 M　ハウカ、升田　法継、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2496	2単位	4年後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究につなげる。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の完成段階として、自らが設定した課題を適切に遂行できるよう、担当教員の指導のもと、研究を進める。卒業研究の課題を、論理的かつ説得的にまとめていき、卒業研究を完成させる。

授 業 の 到 達 目 標

自らの研究課題を、適切なアプローチに基づき遂行し、卒業研究として論理的かつ説得的に完成できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

受講生自身のテーマについて調査を実施し、結果の分析考察を行い、論理的かつ説得的に伝えられるようにまとめる。

概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマをおよび学生の課題設定に依拠した指導に従い、PBL、ディスカッション、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。

（例）
第1回：オリエンテーション
　　事前学習：自らの卒業論文テーマについて前期で行ったことをまとめる。（2時間）
　　事後学習：試験的調査の準備に取り組む。（2時間）
第2回：試験的調査の開始（フィールドワーク）
　　事前学習：調査方法について吟味する。（2時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第3回：試験的調査の修正（フィールドワーク）
　　事前学習：試験的調査結果に基づき、調査方法について改善する。（2時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第4回：調査（フィールドワーク）
　　事前学習：調査を行う。（2時間）
　　事後学習：調査結果をまとめる。（2時間）
第5回：調査（フィールドワーク）
　　事前学習：調査を行う。（2時間）
　　事後学習：調査結果をまとめる。（2時間）
第6回：「方法論」の作成（発表）
　　事前学習：実施した調査方法について、「方法論」をまとめる。（2時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）
第7回：「分析」「考察」の作成（発表）
　　事前学習：調査結果に基づいた分析、考察部分をまとめる。（2時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）
第8回：卒業論文全体の作成（発表）
　　事前学習：「はじめに」にあたる部分を作成する。（2時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）

第９回：卒業論文全体の作成（発表）
　　事前学習：「おわりに」にあたる部分を作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第10回：卒業論文全体の作成（発表）
　　事前学習：卒業論文の全文を完成させる。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第11回：卒業論文要旨作成（発表）
　　事前学習：卒業論文要旨を作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第12回：卒業論文要旨作成（発表）
　　事前学習：卒業論文要旨を完成させる。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第13回：卒業研究発表準備（発表）
　　事前学習：卒業研究発表のためのPPTを作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第14回：卒業研究発表準備（発表）
　　事前学習：卒業研究発表のためのPPTを作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第15回：卒業研究発表準備（発表）
　　事前学習：卒業研究発表のためのPPTを完成させる。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

※　授業の実施形態は、配属先のゼミによって異なる。

第１回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会に関して、卒業研究で取り組むための分析や実践の結果を考察し、まとめられるようになっているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　■メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
担当教員から適宜指示する。
その他（受講上の注意）
担当教員から適宜指示する。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

卒業研究 (Graduation Research)			担当教員	大河　晴美、紺渡　弘幸、矢橋　知枝、 安彦　智史、江南　健志、織田　暁子、 M　ハウカ、升田　法継、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2497	6単位	4年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究としてまとめる。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

コミュニケーション学特別演習Ⅰ・Ⅱを通して、学生が自ら研究テーマや研究計画を設定する。それに基づき、探求を深め、これまでの研究や実践を論理的かつ説得的な形で、卒業研究としてまとめる。

授 業 の 到 達 目 標

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会それぞれの領域において、適切な問題意識に基づいた課題設定を行えるようになる。設定した課題について分析・研究や実践を行うための方法を適切に選択できるようになる。分析や実践の結果を考察し、まとめることが出来るようになる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

概ね以下の通りだが、学生個人の研究の進捗に応じ、指導には、PBL、発表、ディスカッション、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングも適宜含まれる。学生はこれらの学びを通し、主体的に研究に取り組む。

４～５月　研究・実践のテーマと研究計画の策定、研究計画書の提出

５～８月　研究・実践の実行

９～10月 研究・実践結果の分析・考察

11～12月　卒業研究の仕上げ、提出

１月上旬　卒業研究要旨の執筆、提出

１～２月　卒業研究発表会（口頭試問の機能も兼ねる、卒業試験）

※卒業研究発表会に関しては全学生が同じスケジュールで行われる、それまでのスケジュールは配属先のゼミにより異なることがある。担当の教員から適宜指示がある。

新型コロナウイルス対応の授業形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

※　授業の実施形態は、配属先のゼミによって異なる。

第１回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

第６回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：面接授業または遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

卒業研究成果物（60％）　卒業研究発表会におけるプレゼンテーション（口頭試問）（20％）　平常点（20％）
平常点は、卒業研究への取り組み状況やその姿勢などを総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会のそれぞれの領域において、適切な問題意識に基づく課題設定を行えているか。設定した課題について、分析・研究や実践を行うための方法が適切に選択されているか。分析や実践の結果を考察し、まとめることが出来ているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他（卒業研究に対するフィードバックについて）
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　■その他（各ゼミの担当教員の方法および発表会）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

担当教員から適宜、紹介、指示がある。

その他（受講上の注意）

卒業研究とは、４年間で習得した能力、およびこれまでの研究・実践を結集して、論理的かつ説得的にまとめるものである。主体的かつ積極的に取り組むことはもちろん、研究計画をしっかりと策定して研究を進展させていくことが肝要である。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教職論 (Theory of Teacher Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2202	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

教員とは、どのような役割を期待され、どのような環境で、どのような仕事をしているのか。本授業は、これらの問いに対して主に法的、歴史的見地から考察する。また、事例研究を通して様々な教師像を検討することにより、受講生各自が適性を判断し、よりよい教職像を展望する機会としたい。

授 業 の 到 達 目 標

・現代の学校教育や教職の社会的意義を説明できる。
・今日の教員に求められる役割や資質能力について説明したうえで、自己の教職像を展望することができる。
・教員の職務内容の全体像や服務上・身分上の義務を説明できる。
・学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：授業内容に関連する情報を検索し、学修計画をさらに固める。（2時間）
第2回：教師はどのような仕事をしているのか
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第3回：学校に関わる様々な職業について
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第4回：チームとしての学校
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第5回：よい教師とはどのような教師なのか
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第6回：教師像の諸相――聖職者、労働者、専門家
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第7回：どうすればよい教師になれるのか
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第8回：教員養成制度について
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第9回：教員養成の歴史
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第10回：教員に求められる専門性とは何か
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）

第11回：教員の身分について
　　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（２時間）
　　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（２時間）
第12回：教員の任用について
　　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（２時間）
　　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（２時間）
第13回：教員の服務について
　　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（２時間）
　　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（２時間）
第14回：教員にとって研修のもつ意味
　　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（２時間）
　　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（２時間）
　　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）
平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況と、授業時の課題の内容をもとに評価する。）

成　績　評　価　基　準

・現代の学校教育や教職の社会的意義を説明できるか。
・今日の教員に求められる役割や資質能力について説明できるか。
・教員の職務内容の全体像や服務上・身分上の義務を説明できるか。
・学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について説明できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト：授業時に適宜資料を配布する。 参考図書：磯田一雄編『日本の教育課題　9　教師と子どもとのかかわり』東京法令出版　1999年
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育原理 (Principles of Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2101	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

私たちは、誰もが教育を受けた経験があるがゆえに、教育について考える際に、自らの経験のみに依拠してしまうことになりがちである。本授業では、教育に関する基本的概念を修得し、それをもとに、多様な教育の理念や教育の歴史、思想を概観することにより、自らの経験のみに依拠することなく教育について考察する力量の形成を目指す。

授業の到達目標

・教育の基本的概念を用いて、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を説明することができる。
・教育の歴史に関する基礎的知識を踏まえて、過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を概説し、その変遷のなかで生まれた多様な教育の理念を説明することができる。
・教育に関する様々な思想が、いかなる理念や歴史的背景をもとに生まれてきたかについて説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：授業内容に関連する図書を検索し、読書計画を立てる。（2時間）
第2回：教育の基本的概念（1）── 子どもの権利について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：教育の基本的概念（2）── 教育における愛と暴力
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：教育の基本的概念（3）── 乳幼児期から老年期までの発達について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：日本教育史（1）── 家族や社会のなかの教育
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：日本教育史（2）── 塾と学校の登場
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：日本教育史（3）── 義務教育制度成立史
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：西洋における教育の思想と歴史（1）── 古代ギリシア、ローマの教育
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第9回：西洋における教育の思想と歴史（2）── コメニウスと一斉教授について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第10回：西洋における教育の思想と歴史（3）── ルソーにおける子どもの発見について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第11回：西洋における教育の思想と歴史（4）── 自律を目指した思想家たち
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第12回：西洋における教育の思想と歴史（5）── 教育制度の思想的基礎
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第13回：教育と福祉の関係 ── 家庭、地域、学校の役割について
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第14回：現代における教育の課題 ── 生涯学習の観点から
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）
平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況、および授業時の課題の内容をもとに評価する。）

成　績　評　価　基　準

・教育の基本的概念を用いて、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を説明することができるか。
・教育の歴史に関する基礎的知識を踏まえて、過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を概説し、その変遷のなかで生まれた多様な教育の理念を説明することができるか。
・教育に関する様々な思想が、いかなる理念や歴史的背景をもとに生まれてきたかについて説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト：プリントを配布する。 参考図書：高橋陽一『教育通義』武蔵野美術大学出版局　2013年
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育心理学 (Educational Psychology)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2203	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、運動発達、言語発達、認知発達、社会性等の発達について各年齢段階の特徴を理解し、代表的な理論を学び、それらを踏まえた学習を支える具体的な指導に関する基礎的な考え方を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

・幼児、児童及び生徒の心身の発達と学習の過程及び特徴を理解する
・幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：教育心理学の目的と課題および学修のポイント
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第2回：新生児・乳児期の発達～生物的発達を中心に
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第3回：幼児期の発達～自我の発達、ことばの発達
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第4回：社会性の発達～エリクソン、コールバーグ等の発達理論
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第5回：認知・思考の発達～ピアジェの発達理論（1）
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第6回：認知・思考の発達～ピアジェの発達理論（2）
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を整理する。わからないところがあったら、フォーラムやメールを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：児童期・青年期の発達～身体発達、運動発達、人格形成、集団づくり
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第8回：発達の諸相～知能と創造性
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）

第９回：学習の原理～ワトソン、スキナー、ソーンダイク等の学習理論
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第10回：学習理論の応用～行動療法、CAI、発見学習、アクティブラーニング
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第11回：記憶～記憶理論と学習法
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第12回：動機づけと原因帰属～内発的動機づけと外発的動機づけ、自己効力、原因帰属、動機づけの諸理論
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第13回：教授・学習過程～主体的な学習活動を支える指導法と協働学習（ディスカッションを含む）
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第14回：教育評価と測定、教育統計
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第15回：生徒理解と学級集団（ディスカッションを含む）
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回行う課題（50%）、定期試験（50%）

成　績　評　価　基　準

・幼児、児童及び生徒の心身の発達と学習の過程及び特徴を理解しているか。
・幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付けているか。
・発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解しているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：『よくわかる学校教育心理学』ミネルヴァ書房　2010年
参考図書：中学校教育課程実践講座　総則 ── 平成29年改訂（天笠 茂（編著），ぎょうせい，2017）
教育心理学ハンドブック（日本教育心理学会編，有斐閣，2003年）
教育心理学（第３版）（子安増生・田中俊也・南風原朝和・伊東裕司，有斐閣，2015年）
小学校学習指導要領解説（平成29年３月公示）　文部科学省
中学校学習指導要領解説（平成29年３月公示）　文部科学省
高等学校学習指導要領解説（平成30年３月公示）　文部科学省

その他(受講上の注意)

教職科目であるため、受け身的に受講するのではなく、常に自らが教壇に立った場合を想像して授業に臨むこと。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育経営論 (Educational Administration)			担当教員	奥谷　崇
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2308	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

日本国憲法・教育法規・学習指導要領に示される教育経営の理念を理解する。教育・学校・児童生徒を巡る諸課題を教育経営の観点から理解を深め、学校と地域の連携の意義と取り組み及び学校安全について自らの切実な課題として主体的に理解できるようにグループ討議を重視する。

授 業 の 到 達 目 標

中学校・高等学校教育・食の教育や教育行政機関の目的とその実現について教育経営の観点から理解し、社会の状況の変化と学校教育へ影響・課題・教育施策の動向の基礎的知識を身につけ、学校と地域との連携と協働の仕方を理解し、学校管理下での事件・事故・食の安全・災害の実情を踏まえて学校安全の目的と取り組みを理解することが出来る。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：教育経営論の理念と学習計画について
　事前学習：教育経営論で身に付けたいことや考えたいことや教育に関する疑問点をノートにまとめてくること。（2時間）
　事後学習：現在の自分の教育観を見つめ、まとめ、疑問点などをまとめておくこと。（2時間）
第2回：我が国の幼・保教育及び小学校教育の変遷と課題について
　事前学習：学習指導要領解説総則編P146～P157で我が国の教育の変遷を整理しておくこと。（2時間）
　事後学習：教育とは何か、教育経営とは何か、教育の変遷を整理しておくこと。（2時間）
第3回：子どもの生活の変化と子どもの問題及び解決策について
　事前学習：子どもの問題で気になる問題とその理由及び解決策を考えてくること。（2時間）
　事後学習：考えた子どもの問題の解決策と今後の取り組み計画をまとめておくこと。（2時間）
第4回：我が国の教育課題と学習指導要領の改訂について
　事前学習：新聞で取り上げられている教育課題に対し、自分の考えや疑問をノートに書いてくること。（2時間）
　事後学習：教育課題を繰り返さずに解決するための施策を考え、共感的に共有し合うこと。（2時間）
第5回：世界の教育の実態と教育改革の現状について
　事前学習：世界各国の教育事情を集め、それぞれの課題と取り組みを紹介できるようにしてくること。（2時間）
　事後学習：特徴的な課題と対策をまとめ、今後の世界の教育の改革について考えを整理すること。（2時間）
第6回：学校経営の理念と学校組織の在り方について
　事前学習：特徴的な学校経営を行う学校の実践を調べて情報交換が出来るようにしてくること。（2時間）
　事後学習：大きな教育成果を挙げている学校の取り組みや先駆者の思想や実践をまとめておくこと。（2時間）
第7回：憲法・教育法規・関連法規と学校教育について
　事前学習：日本国憲法・教育基本法・学校教育法を熟読してくること。（2時間）
　事後学習：特に日本国憲法と教育基本法の精神をまとめ、整理しておくこと。（2時間）
第8回：教育行政の仕組みと課題について
　事前学習：我が国の教育行政の仕組みと改善したい問題をまとめてくること。（2時間）
　事後学習：教育行政と学校教育の課題と改善策をまとめておくこと。（2時間）
第9回：学校経営と学校評価の基礎理論について
　事前学習：向上・改善のための実践と評価の大切さについて具体例を挙げて考えてくること。（2時間）
　事後学習：学校評価の具体例を整理し、学校経営の充実・改善の取り組みを整理しておくこと。（2時間）

第10回：学級経営の仕組みと学級経営の課題について
事前学習：改善したい学級経営上の課題と解決策を考え、整理してくること。（２時間）
事後学習：様々な学級経営上の課題を整理し、対応改善策をまとめておくこと。（２時間）
第11回：教職員と学校外の関係機関との連携・協働について
事前学習：閉ざされた学校が開かれた学校へと移り変わった理由を考えてくること。（２時間）
事後学習：教職員の開かれた意識形成のためにどうしたらよいかについてまとめておくこと。（２時間）
第12回：学校と地域との連携・協働と教職員の使命について
事前学習：各地域の実践例に触れ、紹介できるようにしてくること。（２時間）
事後学習：主な実践を整理し、今後取り組んでいきたいプランをもてるようにすること。（２時間）
第13回：開かれた学校づくりの課題と解決について
事前学習：新聞記事で取り上げられる学校紹介記事を用意し、発表できるようにしてくること。（２時間）
事後学習：多様な取り組みを整理し、開かれた学校づくりの大切さに挑むことができるようにしておく。（２時間）
第14回：学校で起こる事件、事故、災害の実情と学校安全の具体策について
事前学習：具体事案をもとに未然防止策と事前指導の在り方を考えてくること。（２時間）
事後学習：家庭・地域ぐるみで子どもの安全を守る対策を整理しておくこと。（２時間）
第15回：学校、地域の安全管理と安全指導の徹底について
事前学習：居住地域の防災体制や学校の安全管理と指導の現状について考えてくること。（２時間）
事後学習：地域の安全・防災の充実のために積極的に行動できるようにすること。（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験50％ 学習への意欲的な姿勢とノート30％ グループ討議20％

成　績　評　価　基　準

中学校・高等学校教育・食の教育や教育行政機関の目的とその実現について教育経営の観点から理解しているか。
社会の状況の変化と学校教育へ影響・課題・教育施策の動向の基礎的知識を身につけているか。
学校と地域との連携と協働の仕方を理解し、学校管理下での事件・事故・食の安全・災害の実情を踏まえて学校安全の目的と取り組みを理解しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
＜テキスト＞ 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（平成29年７月 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編（平成30年７月 文部科学省） ＜参考図書＞ 教育小六法（市川須美子・小野田正利・勝野正章・窪田眞二・中嶋哲彦・成嶋隆著 岳陽書房 平成28年） 中学校学習指導要領解説 外国語編（平成29年７月 文部科学省） 高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編（平成30年３月公示 文部科学省）
その他（受講上の注意）
私語・無気力厳禁。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

特別支援教育論 (Theory of Special Educational Needs)			担当教員	乙部　貴幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2219	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

本授業では、心身の障害や生活環境による困難を抱える幼児・児童・生徒の状態像を理解するとともに、適切に支援していくための基本的な考え方を身につける。また、特別支援教育を支える理念、制度、仕組みを理解し、それを実現するための協働体制について理解する。このため、講義を中心としながら、適宜ワークシートなどを用いて自ら考える機会を持ちながら授業を進めていく。

授 業 の 到 達 目 標

通常の学級にも在籍している、発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等がある幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション：特別な支援を必要とする児童および生徒
　事後学習：ワークシート1「教科書の中で自分が最も関心のある章を要約してまとめよう」（4時間）
第2回：特別支援教育を支える理念：特別支援教育とは何か
　事前学習：「特別支援教育」をキーワードとして、様々な記事を読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.3～p.19を熟読すること（2時間）
第3回：障害の状態像と支援方法の理解①：知的能力障害とダウン症
　事前学習：「知的障害」「ダウン症」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.141～p.153を熟読すること（2時間）
第4回：障害の状態像と支援方法の理解②：自閉症スペクトラム障害
　事前学習：「自閉症」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.115～p.128を熟読すること（2時間）
第5回：障害の状態像と支援方法の理解③：注意欠如・多動性障害
　事前学習：「ADHD」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.105～p.113を熟読すること（2時間）
第6回：障害の状態像と支援方法の理解④：限局性学習障害と協調運動障害
　事前学習：「LD」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.97～p.105を熟読すること（2時間）
第7回：障害の状態像と支援方法の理解⑤：視覚・聴覚障害
　事前学習：「視覚障害」「聴覚障害」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.177～p.195を熟読すること（2時間）
第8回：障害の状態像と支援方法の理解⑥：コミュニケーションの障害
　事前学習：「言語障害」「構音障害」「吃音」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.134～p.140を熟読すること（2時間）
第9回：障害の状態像と支援方法の理解⑦：肢体不自由と病弱
　事前学習：「脳性まひ」「ネフローゼ症候群」などの子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.155～p.175を熟読すること（2時間）

第10回：生活環境による特別な教育的ニーズの理解と支援
事前学習：「子どもの貧困」をキーワードとして、様々な記事を読むこと（２時間）
事後学習：ワークシート２「子どもを育てるにはどれくらいお金がかかるかを調べてみよう」（２時間）
第11回：問題行動と発達のグレーゾーン
事後学習：ワークシート３「校内またはクラス内で弱い立場にいる生徒の背景を考えよう」（４時間）
第12回：特別支援教育に関する制度とその仕組み
事前学習：県内の特別支援学校のホームページを見て、どのような活動を行っているか調べること（２時間）
事後学習：教科書p.21～p.37を熟読すること（２時間）
第13回：教育の形態とインクルーシブ教育
事後学習：「インクルーシブ教育」「合理的配慮」をキーワードとして、様々な記事を読むこと（３時間）
事後学習：教科書p.18～p.19を熟読すること（１時間）
第14回：個別の指導計画を作成する意義と方法
事後学習：教科書p.77～p.94を熟読すること（２時間）
第15回：支援体制の構築と連携の重要性
事後学習：教科書３章および13～16章を熟読すること（６時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業内で提示するワークシート（30%）、定期試験（70%）

成　績　評　価　基　準

１．授業において説明する主要な概念・用語を正確に理解しているか。
２．子どもやその保護者の視点から支援を考えることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
はじめての特別支援教育 ── 教職を目指す大学生のために 改訂版（柘植雅義、渡部匡隆、二宮信一、納富恵子 編、有斐閣、平成26年）

参考書・参考資料等
子どもの発達と学校［第３版］Ⅱ　特別支援教育への理解（宮川充司、大野久、谷口明子、大野木裕明 編、ナカニシヤ出版、令和元年）
特別支援教育総論：インクルーシブ時代の理論と実践（川合紀宗、若松昭彦、牟田口辰己 編、北大路書房、平成28年）
特別支援教育の基礎・基本 新訂版（独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所、ジアース教育新社、平成27年）
応用行動分析で特別支援教育が変わる ── 子どもへの指導方略を見つける方程式（山本淳一、池田聡子 編、図書文化社、平成17年）

その他（受講上の注意）

インターネットは事例の宝庫です。本授業では準備学習においてネット上の様々な事例を検索し、読んで、各自各様の思いを巡らせてほしいのですが、同時にそれらは一面的なものの見方をしているものも少なくありません。立場による捉え方の違いを常に意識しながら取り組んでください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育課程論 (Theory of Education Curriculum)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2205	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

教育課程とは、学習指導要領によって示される基準にもとづいて、各学校が編成する教育計画のことである。本授業では、学習指導要領（特に「前文」と「第1章」）を精読することを通じて、上記の到達目標を達成できるよう努める。また、過去の学習指導要領についても理解を深め、教育課程編成とそのマネジメントの意義を、歴史的観点からも考察できる力量を培う。

授業の到達目標

・学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を説明できる。
・各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション──教育課程とは何か
　事前学習：シラバスをよく読んで、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：関連図書を検索したうえで、読書計画を立てる。（2時間）
第2回：学習指導要領とは何か
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：学習指導要領を読む（1）──「教育課程の役割」について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：学習指導要領を読む（2）──「教科等横断的な視点」について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：学習指導要領を読む（3）──「教育課程の編成」について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：学習指導要領を読む（4）──「教育課程の実施と学習評価」について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：学力とは何か
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：評価は何のために行なうのか
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第9回：学習評価からカリキュラム・マネジメントへ
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第10回：学習指導要領の歴史的変遷（1）──1940年代後半
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第11回：学習指導要領の歴史的変遷（２）――1950～60年代
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：学習指導要領の歴史的変遷（３）――1970～80年代
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：学習指導要領の歴史的変遷（４）――1990年代以降
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：いわゆる「ゆとり教育」とは何だったのか
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80％）
平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況と授業時の課題の提出状況により判断する）

成　績　評　価　基　準

・学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を説明できるか。
・各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を説明できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
・テキスト 小学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省） ・参考図書 授業時に指示する。
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅰ (English Language Teaching Methodology Ⅰ)			担当教員	フッド　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2204	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

英語教育の目的について考え、英語でディスカッションする。先行研究をもとに、第2言語習得理論および外国語教授法についての基本的な知識および理解を深める。学習指導要領の内容を踏まえ、どのように学習指導計画を立てるかについて基本的な理解を図る。

授 業 の 到 達 目 標

英語教育の目的について理解し、言語習得および外国語教授法について基本的な知識を得、学習指導計画についての基本的な考え方を理解する。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Team等）　■発表・プレゼンテーション（Teams等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：15回の全体計画と学修のポイント、成績評価と学習の仕方
　事前学習：この講座を受講する目的・理由を発表できるようにしてくる。（2時間）
　事後学習：英語教員になるために今後どのように自己研鑽をすすめるかレポートにする。（2時間）
第2回：英語教育の目的――英語学習の意義、教育の目的と英語教育（ディスカッション）
　事前学習：自分が小学校、中学校、高校で英語を学習してきた意義と、個人的目的について発表できるようにしてくる。（2時間）
　事後学習：英語学習の教育的意義、社会的意義をレポートにまとめる。（2時間）
第3回：英語教育の指導目標1――学習指導要領（ディスカッション）
　事前学習：自分が受けて来た小学校、中学校、高校の英語教育はどのような目的で行われてきたと思うか、そのように思う理由を含めて発表できるようにして来る。（2時間）
　事後学習：自分が受けて来た英語教育が、学習指導要領に明記された目標を達成するためにどのようにされていたと考えるかレポートにまとめる。（2時間）
第4回：英語教育の指導目標2――コミュニケ――ション能力の構成要素（ディスカッション）
　事前学習：自分が英語でコミュニケーションをとる時に必要と思われる能力を分析してくる。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力の構成要素の中で、自分の能力で更に努力を要する能力は何か、そしてそれはどのように習得できるかレポートにまとめる。（2時間）
第5回：第2言語習得理論と外国語教授法1－聞くこと、話すこと（ディスカッション）
　事前学習：listeningとspeakingの能力を自分がどのように身に着けて来たか発表できるようにまとめてくる。（2時間）
　事後学習：listeningとspeakingの指導において大切なことをレポートにまとめる。（2時間）
第6回：第2言語習得理論と外国語教授法2－読むこと、書くこと（ディスカッション）
　事前学習：readingとwritingの能力を自分がどのように身に着けて来たか発表できるようにまとめてくる。（2時間）
　事後学習：readingとwritingの指導において大切なことをレポートにまとめる。（2時間）
第7回：第2言語習得理論と外国語教授法3－4技能の統合（ディスカッション、プレゼンテーション）
　事前学習：現実の生活において、どのように4技能をコミュニケーションに使っているか発表できるようにまとめてくる。（2時間）
　事後学習：高校で使用されている教科書の中から1レッスンを選び、4技能を統合した指導過程を考える。（2時間）
第8回：第2言語習得理論と外国語教授法4－文字、語彙、音声の指導（ディスカッション、プレゼンテーション）
　事前学習：自分の語彙（スペリングを含む）、発音の学習方法をまとめてくる。（2時間）
　事後学習：文字、語彙、音声の指導において大切な点をレポートにまとめる。（2時間）

第９回：第２言語習得理論と外国語教授法５－文法の指導（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：文法事項をひとつ選び、指導を想定した案を用意してくる。（２時間）
事後学習：文法の指導において大切なことをレポートにまとめる。（２時間）
第10回：第２言語習得理論と外国語教授法６－教材及びICTの活用（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：インターネット利用してどんな語学学習ができるかリサーチしてくる。（２時間）
事後学習：言語教育教材にどのようなものがあり、どのように利用できるかレポートにまとめる。（２時間）
第11回：英語指導過程１－学習到達目標の設定、指導計画、生徒の理解（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：授業の中で、生徒がどれくらいわかっているか、どのように理解できるかまとめてくる。（２時間）
事後学習：学習指導計画において大切なこと、どのように目標設定すべきか、レポートにまとめる。（２時間）
第12回：英語指導過程２－教材研究の仕方、生徒の理解（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：授業を準備するとき、どのようなことをしなければならないか考えてくる。（２時間）
事後学習：教材研究のポイント、どのように生徒の学習を把握できるか、レポートにまとめる。（２時間）
第13回：英語指導過程３－授業計画（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：中学校で使用されている教科書の中から１レッスン選び、授業計画を立ててくる。（２時間）
事後学習：事前学習で立てた授業計画を修正し、書き直す。（２時間）
第14回：英語指導過程４－マイクロティーチング（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：前回の授業を踏まえ、マイクロティーチングの準備をする。（２時間）
事後学習：今回のマイクロティーチングの反省をレポートにまとめる。（２時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
事前学習：これまでの授業を振り返り、理解が不足していると思われる項目をまとめてくる。（２時間）
事後学習：事前学習で理解が不足していたとした項目について理解を深めたことをまとめる。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第16回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業での活動および課題40％、小テスト30％、定期試験30％

成　績　評　価　基　準

・英語教育の目的について理解しているか。
・言語習得および外国語教授法について基本的な知識を得たか。
・学習指導計画についての基本的な考え方を理解できたか。
・積極的に議論に参加できたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■　仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
『統合的英語科教育法』村野井 仁 他　成美堂　2012年
『小学校学習指導要領』(平成29年３月公示　文部科学省)
『中学校学習指導要領』(平成29年３月公示　文部科学省)
『高等学校学習指導要領』(平成30年３月公示　文部科学省)

参考図書
『改訂版 英語教育用語辞典』白畑知彦 他 大修館書店　2011年

その他(受講上の注意)

この授業はほとんど全て英語で行われる。ディスカッションへの積極的な参加を重視する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅱ (English Language Teaching MethodologyⅡ)			担当教員	フッド　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2206	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

実際の授業展開を想定し指導計画を立て、模擬授業および評価テスト作成をし、その内容について改善点などを英語で議論する。小学校の外国語活動・英語ならびに中学校、高校の英語の授業ビデオ視聴などを通し、小・中・高・大の英語教育の連携はどうあるべきかを英語で議論する。また、それぞれの校種の教科書の中で異文化理解がどのように扱われているかを調べ、英語教育の中で生徒の異文化理解をどう深めていくべきか英語で議論する。

授　業　の　到　達　目　標

学習指導過程および評価について理解を深め、小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教材、並びに小・中・高・大の英語教育の連携、異文化理解教育について基本的な知識及び理解を得る。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：15回の全体計画と学修のポイント、成績評価と学習の仕方（ディスカッション）
　事前学習：前期に学習したことを復習してくる。（2時間）
　事後学習：後期の自分の目標をレポートにする。（2時間）
第2回：学習指導案の立て方1－目標設定、生徒理解、教材研究（ディスカッション）
　事前学習：学習指導案を立てる時に大切なことをまとめてくる。（2時間）
　事後学習：学習指導案を立てる時の目標設定、教材研究、生徒の理解度の把握において、大切なことをレポートにまとめる。（2時間）
第3回：学習指導案の立て方2－授業の組み立て方（ディスカッション）
　事前学習：中学校で使われている教科書の中から1レッスン選び、学習指導案を書いて来る。（2時間）
　事後学習：今回の授業を基に、学習指導案を書き直す。（2時間）
第4回：学習指導案の立て方3－マイクロティーチング（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
　事前学習：前回の授業の事後学習で書き直した学習指導案を使ってマイクロティーチングをする準備をしてくる。（2時間）
　事後学習：今回のマイクロティーチングの反省をレポートにまとめる。（2時間）
第5回：学習指導案の立て方4－Team-Teachingでの授業の組み立て方（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
　事前学習：中学校で使われている教科書の中から1レッスン選び、ティーム・ティーチングを想定した学習指導案を書いて来る。（2時間）
　事後学習：今回の授業を基に、学習指導案を書き直す。（2時間）
第6回：学習指導案の立て方5－Team-Teaching形態でのマイクロティーチング（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
　事前学習：前回の授業の事後学習で書き直した学習指導案を使ってマイクロティーチングをする準備をしてくる。（2時間）
　事後学習：今回のマイクロティーチングの反省をレポートにまとめる。（2時間）
第7回：評価1－学習到達目標と評価（ディスカッション、プレゼンテーション）
　事前学習：生徒の学習評価をする際、何が大切か考えを発表できるようにして来る。（2時間）
　事後学習：学習到達目標と評価の関係、大切なことをレポートにまとめる。（2時間）
第8回：評価2－評価の仕方（ディスカッション、プレゼンテーション）
　事前学習：マイクロティーチングで扱ったレッスンの到達度を図る評価方法を考えてくる。（2時間）
　事後学習：今回の授業を基に、事前学習で考えた評価方法の反省をレポートにする。（2時間）

第９回：評価３－言語テストの作成と実施（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：前回の授業を基に、評価テストを作成してくる。（２時間）
事後学習：今回の授業を基に、事前学習で作成した評価テストの反省をレポートにする。（２時間）
第10回：小学校の外国語活動と外国語科１－学習指導要領と教材（ディスカッション）
事前学習：小学校の英語教育の課題をリサーチして来る。（２時間）
事後学習：学習指導要領を読み直し、小学校から高校までの英語科の目標が、生徒の英語学習をどのように発展させようとしているか、レポートにまとめる。（２時間）
第11回：小学校の外国語活動と外国語科２－指導の実際（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：小学校の外国語活動の授業を視聴し、感想をまとめてくる。（２時間）
事後学習：小学校の外国語活動と英語科の授業の課題をまとめ、どのように解決すべきか考えをレポートにまとめる。（２時間）
第12回：小・中・高・大の英語教育の連携（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：自分の小学校からの英語学習について、どのように発展してきたかまとめてくる。（２時間）
事後学習：小・中・高・大の英語教育の連携について、課題および大切なことをレポートにまとめる。（２時間）
第13回：異文化理解教育１－英語教育の中での異文化理解教育の意義と目的（ディスカッション）
事前学習：自分が受けて来た英語の授業の中で、どのように異文化理解教育がなされていたかまとめてくる。（２時間）
事後学習：英語教育の中での異文化理解教育の意義と目的をレポートにまとめる。（２時間）
第14回：異文化理解教育２－教材の扱い方（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：中学校の教科書を吟味し、異文化理解教育がどのようにされようとしているか考えてくる。（２時間）
事後学習：中学校の教科書の中から１レッスン選び、そのレッスンを使って異文化理解のための学習指導案をレポートにする。（２時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
事前学習：これまでに学習したことを振り返り、理解が不足していることをまとめてくる。（２時間）
事後学習：事前学習でまとめたことについて、わかったことをまとめる。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業での活動および課題40％、小テスト30％、定期試験30％

成　績　評　価　基　準

・学習指導過程および評価について理解が深まったか。
・小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教材、並びに小・中・高・大の英語教育の連携、異文化理解教育について基本的な知識及び理解を得たか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
『統合的英語科教育法』村野井 仁 他　成美堂　2012年
『小学校学習指導要領』(平成29年３月公示　文部科学省)
『中学校学習指導要領』(平成29年３月公示　文部科学省)
『高等学校学習指導要領』(平成30年３月公示　文部科学省)

参考図書
『改訂版 英語教育用語辞典』白畑知彦 他 大修館書店　2011年

その他(受講上の注意)

この授業はほとんど全て英語で行われる。ディスカッションへの積極的な参加を重視する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅲ (English Language Teaching MethodologyⅢ)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2309	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

学習指導案の書き方、授業展開の方法、指導技術について理解を深めるとともに、具体的な指導事例の検討を通して効果的な指導法を学ぶ。さらに、個別に学習指導案を作成し、模擬授業を実施する機会を持つ。模擬授業の検討・評価を通して、実践的な指導力を身につける。

授 業 の 到 達 目 標

中学校及び高等学校の学習指導要領及び教科書に基づき、学習到達目標及び指導計画授業の組み立て、学習指導案の作成、基本的な指導法や授業評価について理解し、実際に授業を行うことができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、学習指導要領
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。（2時間）
　事後学習：新旧学習指導要領を比較し、変更点を確認する。（2時間）
第2回：教科書、学習到達目標設定と指導計画
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：実際に中・高で使用されている英語科教科書に目を通す。（2時間）
第3回：授業の構成、学習指導案の作成
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業の構成、学習指導案の作成について復習する。（2時間）
第4回：中学校の授業例
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：中学校の授業例を参考にして授業の組み立てを復習する。（2時間）
第5回：高等学校の授業例
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：高等学校の授業例を参考にして授業の組み立てを復習する。（2時間）
第6回：授業の工夫（1）：Warm-up と Review（プレゼンテーション）
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業におけるWarm-up及びReviewのしかたを復習する。（2時間）
第7回：授業の工夫（2）：文法・文型の導入（プレゼンテーション）
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業における文法・文型の導入のしかたを復習する。（2時間）
第8回：授業の工夫（3）：コミュニケーション活動（プレゼンテーション）
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。（2時間）

第９回：授業の工夫（４）：語彙の導入と指導（プレゼンテーション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（２時間）
　　事後学習：授業における語彙の導入と指導のしかたを復習する。（２時間）
第10回：授業の工夫（５）：教科書本文の指導（プレゼンテーション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（２時間）
　　事後学習：授業における教科書本文の指導のしかたを復習する。（２時間）
第11回：模擬授業（発表）・検討と評価（１）：Warm-up と Review（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業におけるWarm-up及びReviewのしかたを復習する。（２時間）
第12回：模擬授業（発表）・検討と評価（２）：文法・文型の導入（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における文法・文型の導入のしかたを復習する。（２時間）
第13回：模擬授業（発表）・検討と評価（３）：コミュニケーション活動（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。（２時間）
第14回：模擬授業（発表）・検討と評価（４）：語彙の導入と指導（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における語彙の導入と指導のしかたを復習する。（２時間）
第15回：模擬授業（発表）・検討と評価（５）：教科書本文の指導（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における教科書本文の指導のしかたを復習する。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題・小テスト・模擬授業（35%）、授業への取り組み（15%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

１．学習指導要領や授業準備に必要な事柄について理解できているか。
２．学習指導案の書き方を理解し、作成できるか。
３．授業の組み立ての基本を理解できているか。
４．基本的な指導法や指導技術を理解し、活用できるか。
５．授業評価の観点を知り、客観的に授業を評価できるか。
６．ICTを効果的に指導に活用できるか。
７．模擬授業を通して、実際に指導できるようになったか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
英語科教育実習ハンドブック（改訂版）（米山朝二、杉山敏、多田茂著　大修館書店　平成25年）
英語教育用語事典　（白畑知彦、冨田?一、村野井仁、若林茂則著　大修館書店　平成24年）

参考資料
小学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他(受講上の注意)

主体的な学習を通して、教師に必要な指導力を身につけることを期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅳ (English Language Teaching MethodologyⅣ)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2313	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

コミュニケーション能力を高める英語の授業を行うために必要な理論について理解を深めるとともに、そのための効果的な指導法を学ぶ。個別に学習指導案を作成し、模擬授業を実施する機会を持ち、その検討・評価を通して、実践的な指導力を身につける。

授 業 の 到 達 目 標

コミュニケーション能力の養成における課題を理解し、それを踏まえてコミュニケーション能力を養成する効果的な指導法についての知識やスキルを身につける。模擬授業を通して、指導法や指導技術を実際に活用できるようにする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：日本の英語教育とめざすべき目標
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：日本の英語教育とめざすべき目標について復習する。（2時間）
第2回：学習指導要領と「3つの資質・能力」及び「5つの領域」
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：学習指導要領と「3つの資質・能力」及び「5つの領域」について復習する。（2時間）
第3回：コミュニケーション能力について
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力について復習する。（2時間）
第4回：コミュニケーション能力の養成のための指導に関する理論
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキスト読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力の養成のための指導について復習する。（2時間）
第5回：コミュニケーション能力養成の問題点
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力養成の問題点について復習する。（2時間）
第6回：コミュニケーション能力養成のための効果的な指導法
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力養成のための効果的な指導法について復習する。（2時間）
第7回：コミュニケーション能力の養成と学習者要因
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力の養成と学習者要因について復習する。（2時間）
第8回：コミュニケーション能力の養成と評価
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力の養成と評価について復習する。（2時間）

第９回：コミュニケーション能力の養成と小学校・中学校・高等学校間の連携
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（２時間）
　　事後学習：コミュニケーション能力の養成と小学校・中学校・高等学校間の連携について復習する。（２時間）
第10回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（１）導入・発問の工夫（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における導入・発問の工夫を復習する。（２時間）
第11回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（２）教科書本文の扱い（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における教科書本文の扱い方を復習する。（２時間）
第12回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（３）コミュニケーション活動（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。（２時間）
第13回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（４）言語形式・意味・機能（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における言語形式・意味・機能の対応づけを復習する。（２時間）
第14回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（５）スキルの統合（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業におけるスキルの統合のしかたを復習する。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における指導方法全般を復習する。（２時間）

定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題・小テスト・模擬授業（35%）、授業への取り組み（15%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

１．コミュニケーション能力とその養成における問題点について理解できているか。
２．コミュニケーション能力を養成する効果的な指導法について理解できているか。
３．模擬授業を通して、指導法や指導技術を活用できるようになったか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
意見・考え重視の視点からの英語授業改革（大下邦幸監修、東京書籍、平成26年）
英語教育用語事典（白畑知彦、冨田?一、村野井仁、若林茂則著、大修館書店、平成24年）

参考図書
小学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
コミュニカティブ・クラスのすすめ（大下邦幸編著　東京書籍　平成21年）

その他(受講上の注意)

主体的な学習を通して、教師に必要な指導力を身につけることを期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

道徳教育の理論と方法 (Theory and Methods of Moral Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2314	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

学校で道徳教育をいかに行うかが大きな課題となっている。本授業では、この古くて新しい課題について理解を深めたうえで、学習指導要領に示される道徳教育の目標や内容について考察していく。これと並行して、グループごとに指導案を作成し、順次模擬授業を実施してもらう。これらの作業を通じて、道徳教育の指導法について検討していく。

授 業 の 到 達 目 標

・道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を説明できる。
・道徳教育における指導計画の必要性を理解したうえで教材研究を行い、適切な指導法にもとづく授業計画を立てることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他（模擬授業）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：参考図書を検索し読書計画を立てるとともに、指導案の作成計画を立てる。（2時間）
第2回：道徳教育の難しさ（1）── 道徳は知識なのか行為なのか
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：道徳教育の難しさ（2）── 宗教と道徳について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：道徳教育の難しさ（3）── 評価のあり方について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：道徳性発達理論についての考察
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：学習指導要領を読む ── 第1章「総則」、第3章「特別の教科　道徳」
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：教材研究（1）──『心のノート』と『私たちの道徳』を中心に
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：教材研究（2）── 読み物教材の使い方
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第9回：日本における道徳教育の歴史
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第10回：指導法の検討（1）── インカルケーション
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第11回：指導法の検討（２）── ディベート
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：指導法の検討（３）── モラルジレンマ
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：指導法の検討（４）── ロールプレイ
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：指導法の検討（５）── 構成的グループエンカウンター
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第16回：定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）
指導案の内容（25％）
平常点（25％）
（平常点は、授業への参加状況、授業時の課題の内容、模擬授業に対する講評の内容をもとに評価する。）

成　績　評　価　基　準

・道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を説明できるか。
・道徳教育における指導計画の必要性を理解したうえで教材研究を行い、適切な指導法にもとづく授業計画を立てることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト：「小学校学習指導要領」（平成29年３月告示　文部科学省）、「中学校学習指導要領」（平成29年３月告示　文部科学省） 参考図書：授業時に指示する。
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

特別活動及び総合的な学習時間の指導法 (Teaching method of an extraordinary and overall learning time)			担当教員	伊禮　三之
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2218	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方、指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付けるとともに、総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解する。また、特別活動の意義、目標及び内容と、特別活動の指導の在り方を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。また、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。
特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体であり、学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：学習指導要領における特別活動と総合的な学習の時間の意義・目標
　事前学習：学習指導要領における特別活動と総合的な学習の時間の意義・目標を読んで、要点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに特別活動と総合的な学習の時間の意義・目標について、リフレクションシートにまとめる。（2時間）
第2回：教育課程における特別活動の位置づけや総合的な学習の時間の果たす役割
　事前学習：中・高校の学習指導要領の総則の教育課程の編成に関する部分を読み、特別活動の位置づけや総合的な学習の時間の果たす役割等について、要点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：講義をもとに特別活動の位置づけや総合的な学習の時間の果たす役割等について、リフレクションシートにまとめる。（2時間）
第3回：特別活動の目標と各活動・学校行事の目標との関連（ワークシップ）
　事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』の特別活動の目標と各活動等の目標との関連する部分を読み、要点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、特別活動の目標と各活動等の目標との関連についてリフレクションシートにまとめる。（2時間）
第4回：学級活動の実際 ── グループワークによる人間関係づくり（グループワークと発表）
　事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』の学級・HR活動の部分を読み、要点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに学級活動の目標や内容等について、リフレクションシートにまとめる。（2時間）
第5回：生徒会活動の特質 ── 実践事例を通して考える（ワークシップとグループワーク、発表）
　事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』の生徒会活動の部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の生徒会活動に関する体験を簡単に書いて準備すること。（2時間）
　事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに生徒会活動の目標と内容等について、リフレクションシートにまとめる。（2時間）

第６回：クラブ活動、学校行事の体験を記録し交流する ── その特質のリメイク（ワークシップとグループワーク、発表）
事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』のクラブ活動・学校行事の部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自のクラブ活動・学校行事に関する体験を簡単に書いて準備すること。（２時間）
事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとにクラブ活動・学校行事の目標と内容等について、リフレクションシートにまとめる。（２時間）
第７回：特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画と内容の取り扱い
事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』の指導計画の作成と内容の取扱いの部分を読み、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画と内容の取り扱いについてリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第８回：総合的な学習の時間の年間指導計画の作成
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の指導計画の作成の部分を読み、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、総合的な学習の時間の指導計画についてリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第９回：探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の学習指導の部分を読み、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力についてリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第10回：総合的な学習の時間における「考えるための技法」の活用
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の「考えるための技法」の部分を読み、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、「考えるための技法」についてリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第11回：現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題（ワークシップとグループワーク、発表）
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の各学校が定める内容の当該部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の当該テーマに関する体験を簡単に書いて準備すること。（２時間）
事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに、当該テーマについて考えたことをリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第12回：地域や学校の特色に応じた課題（ワークシップとグループワーク、発表）
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の各学校が定める内容の当該部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の当該テーマに関する体験を簡単に書いて準備すること。（２時間）
事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに、当該テーマについて考えたことをリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第13回：児童・生徒の興味・関心に基づく課題（ワークシップとグループワーク、発表）
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の各学校が定める内容の当該部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の当該テーマに関する体験を簡単に書いて準備すること。（２時間）
事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに、当該テーマについて考えたことをリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第14回：特別活動と総合的な学習の時間の評価
事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』『解説　総合的な学習の時間編』の評価の部分を読み、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、特別活動と総合的な学習の時間の評価についてリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第15回：「特別活動」及び「総合的な学習の時間」で求められる教師の力量（討議）
事前学習：これまでの学習から「特別活動」や「総合的な学習の時間」で求められる教師の力について、自分の考え整理し、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：「特別活動」及び「総合的な学習の時間」で求められる教師の力量についてのデスカッションををもとに、改めてその教師の力についてリフレクションシートにまとめる。（２時間）

定期試験は実施しない。

新型コロナウイルス対応の授業形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第１回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第２回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第３回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第４回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第５回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第６回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第７回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第８回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第９回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第10回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第11回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第12回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第13回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第14回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第15回：遠隔授業　(□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)

成　績　評　価　方　法

毎回のＡ４表裏１枚のリフレクション・レポート（30％）、特別活動及び総合的な学習の時間における体験レポート（20％×２回）、講義終了後の最終レポート（30％）で総合的に評価する。

成　績　評　価　基　準

特別活動の意義や目標及び内容を理解しているか。
特別活動の指導の在り方を理解しているか。
総合的な学習の時間の意義や各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解しているか。
総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付けているか。
総合的な学習の時間の指導と評価の考え方及び実践上の留意点を理解しているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキスト
中学校学習指導要領解説　総合的な学習の時間編（平成29年７月　文部科学省）
中学校学習指導要領解説　特別活動編（平成29年７月　文部科学省）
高等学校学習指導要領解説　総合的な探究の時間編（平成30年７月 文部科学省）
高等学校学習指導要領解説　特別活動編（平成30年７月　文部科学省）
参考図書
総合的な学習の時間の指導法［教職課程コアカリキュラム対応　大学用テキスト　理論と実践の融合］(平成30年10月　日本文教出版)

その他(受講上の注意)

総合的な学習の時間には、環境、国際化、福祉、人権、情報など、既存の教科や学問の枠組みでは解決が困難な問題に直面する現代的な問題を取り上げることも多いため、日頃から地球温暖化など現代的なテーマの話題に積極的に触れておくこと。また、いじめ等の社会的な教育問題についても新聞等で積極的に触れておくこと。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育の方法と技術 (Teaching Methods and Skills)			担当教員	篭谷　隆弘
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2207	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

プリント資料やウェブ上の資料を参考に教育方法の理論について解説する。関連する事項について各自の考えをもとに、他の受講者と授業内やオンライン上での対話・議論を行う。オンラインフォーラムにおいては、授業テーマに関する自身の考えを述べながら、他者との議論を深める必要がある。また実際に情報機器を活用して教材を作成し、それが適切なものであるかを相互評価する。学習指導案を作成し、それにもとづく模擬授業を行った後、評価を行う。教材制作・模擬授業準備においては、市販のソフトウェア関連の書籍やウェブ上の資料を参考に、授業時間外にも作業を行う必要がある。

授業の到達目標

教育方法に関する基礎的な理論や授業を構成する要件（カリキュラム・児童・教員・教材等）を理解し、設計・実施・評価といった実践に向けての指導技術を身につける。
また、授業に際して情報機器をどのように活用すると効果的か、子どもの情報活用能力の育成にどのような教材を作成し活用すると良いかを考え、それらに関する基礎的な能力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　■その他（オンラインでのディスカッション・相互評価）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：授業の目的・計画・評価方法の説明。学校・教育の現状と課題
　事後学習：学習管理システム（LMS）のフォーラム上に自身の意見を記述する。（2時間）
第2回：カリキュラム、指導法、主体的・対話的で深い学び
　事後学習：LMSのフォーラムにて他者の意見を読み、コメントする。（オンラインディスカッション）
　LMSのフォーラム上に自身のアイデアを記述する。（3時間）
第3回：学習指導要領、指導計画、学習指導案、教材・教具
　事後学習：動画教材を作成しLMSのワークショップに提出する。（6時間）
第4回：教育の情報化、情報機器の活用、情報モラル、メディアリテラシー
　事後学習：LMSのワークショップに提出された動画教材を評価する。（オンラインでの相互評価）
　LMSのフォーラム上に自身の意見を記述する。（4時間）
第5回：デジタル教科書、デジタル教材
　事後学習：LMSのフォーラム上に自身の意見を記述する。（4時間）
第6回：Webサービスを利用したアンケートや問題の作成と分析
　事後学習：Webアンケートを作成しLMSのフォーラムに投稿する。（4時間）
第7回：ストーリー型教材の設計（テーマ設定、展開）
　事後学習：Webアンケートを回答する。ストーリー型教材のテーマを決め素材データを準備する。（4時間）
第8回：ストーリー型教材の制作（画像・写真・音・アニメーションの活用）（実技）
　事後学習：Webアンケートを分析する。ストーリー型教材を完成させワークショップに提出する。（5時間）
第9回：プログラミングと論理的思考について
　事後学習：ストーリー型教材を評価する。ミニプログラムを作成する。（2時間）
第10回：プログラミングによる教材の設計（思考、判断、手順）
　事後学習：教材プログラムを作成する。（4時間）
第11回：プログラミングによる教材の制作（実技）
　事後学習：教材プログラムを完成させる。（6時間）
第12回：教育メディアを活用した模擬授業の計画（グループワーク）
　事後学習：グループで模擬授業の役割分担と指導案を決める。（2時間）

第13回：教育メディアを活用した模擬授業の実施と評価（グループ発表）（発表・グループワーク）
事前学習：模擬授業の準備を行なう。（２時間）
事後学習：模擬授業の評価を記録する。（２時間）
第14回：教育メディアを活用した模擬授業の実施と評価（ディスカッションと改善提案）（発表・グループワーク）
事前学習：模擬授業の準備を行なう。（２時間）
事後学習：模擬授業の評価を記録する。（２時間）
第15回：まとめ（評価の集計と分析）（グループワーク）
事後学習：模擬授業の評価集計・分析を行なう。授業全体の振り返りを行いレポートとしてまとめる。（６時間）

定期試験は行わない

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　■リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課せられた課題・成果物を提出していることを重視して評価する。
受講態度（10%）、前半内容に関連する課題と制作物（30%）、後半内容に関する制作物（40%）、模擬授業内容と相互評価（20%）

成　績　評　価　基　準

授業の設計・実施・評価等に関する知識を修得しているか。
教材や教育メディアの選択・構成・活用等に関する力量が身についているか。
模擬授業について周到に準備を行い、的確に実施できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
プリント資料および学習支援システムでのリソースにて提示する。

参考図書
教育方法論（教職課程シリーズ）（谷田貝公昭・成田国英・林邦雄著　一藝社　平成16年）
教育の方法と技術（教育学のポイント・シリーズ）（柴田義松・山崎準二著　学文社　平成17年）
参考資料：
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
プリント資料および学習支援システムでのリソースを利用する。
オンラインフォーラムにおいて、授業テーマに関する自身の考えを述べ、他者との議論も深める必要がある。
教材制作・模擬授業準備においては、市販のソフトウェア関連の書籍やWWWの資料を参考に、授業時間外にも作業を行う必要がある。

その他（受講上の注意）

欠席した場合には、授業の進度を確認し次週に備えること。 模擬授業に関連して準備・練習を十分行うこと。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

生徒・進路指導論 (Educational Guidance and Consultation)			担当教員	小林　仁章
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2310	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わる，すぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

生徒一人ひとりの人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めていく指導・援助の在り方を理解する。特に、規範意識・倫理観の低下やいじめ・不登校等時代の変化に応じた今日的な課題に対して、組織的・体系的な取り組み方や指導原理について理解を深める。また、キャリア教育を推進するため、人間関係能力や将来設計能力等の意義について理解を深める。

授 業 の 到 達 目 標

生徒の社会的な資質を高め、自己を生かす、統合的な活動を企画するための基礎理論と実践的な視点を理解する。
生徒の今日的な発達課題について理解し、多様な指導・援助の仕方を身につける。
主体的な進路の選択・決定を促す基本原理を理解する。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：生徒指導の意義と課題
　事前学習：授業前にテキストの第1章第1節を読み、質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめ,提出（2時間）
第2回：教育課程における生徒指導の位置付け
　事前学習：授業前にテキストの第1章第2節を読み、質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめ、提出（2時間）
第3回：生徒指導における児童生徒理解
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み，質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめ、提出（2時間）
第4回：学校における生徒指導体制
　事前学習：授業前にテキストの第4章第1節～第2節を読み，質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめ、提出（2時間）
第5回：生徒指導と教育相談
　事前学習：授業前にテキストの第5章第1節～第2節を読み，質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ，課題をレポートにまとめ、提出（2時間）
第6回：教育相談の実際
　事前学習：授業前にテキストの第5章第3節～第4節を読み、質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめ、提出（2時間）
第7回：教育を支えるもの（生徒指導の根幹にあるもの）
　事前学習：別途配付資料を読み、質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめ、提出（2時間）
第8回：生徒指導の進め方1～全体に対する指導
　事前学習：授業前にテキストの第6章Ⅰの第1節～第3節を読み，質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめ、提出（2時間）
第9回：生徒指導の進め方2～個別の課題への指導①（少年非行・暴力・家出等）
　事前学習：授業前にテキストの第6章Ⅱの第1節～第5節，第11節を読み、質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ，課題をレポートにまとめ、提出（2時間）
第10回：生徒指導の進め方3～個別の課題への指導②（不登校、いじめ等）
　事前学習：授業前にテキストの第6章Ⅱの第6節、第12節から第13節を読み，質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめ、提出（2時間）

第11回：生徒指導の進め方４～個別の課題への指導③（性・自殺・児童虐待等）
事前学習：授業前にテキストの第６章Ⅱの第８節～第10節を読み、質問事項をまとめておくこと（２時間）
事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめ、提出（２時間）
第12回：生徒指導と法教育～校則・体罰と懲戒等
事前学習：授業前にテキストの第７章を読み、質問事項をまとめておくこと（２時間）
事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ，課題をレポートにまとめ、提出（２時間）
第13回：進路指導の意義と課題
事前学習：進路指導に関する別途配付資料を読み、質問事項をまとめておくこと（２時間）
事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ，課題をレポートにまとめ、提出（２時間）
第14回：キャリア教育の推進
事前学習：キャリア教育に関する別途配付資料を読み、質問事項をまとめておくこと（２時間）
事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめ、提出（２時間）
第15回：学校における進路指導体制
事前学習：進路指導体制に関する別途配付資料を読み、質問事項をまとめておくこと（２時間）
事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ，課題をレポートにまとめ、提出（２時間）
定期試験

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

小レポート（30%）、授業中の積極的発表（20%）、定期試験（50%）

成　績　評　価　基　準

生徒の社会的な資質を高め、自己を生かし、統合的な活動を促進するための基本的な条件等を説明することができるか。
生徒の発達段階に応じた今日的な課題を分析し、適切な指導・援助の方法を選択し、その根拠を説明することができるか。
主体的な進路の選択・決定を促す基本原理を説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）課題レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト：「生徒指導提要」文部科学省参考図書：授業時に随時示す

その他（受講上の注意）

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育相談 (Educational Counseling)			担当教員	佐々木　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2415	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

教育相談の意義と理論の理解が、実践技術を裏打ちするものとなるために、いじめ、不登校など各種架空事例を用いて、問題の所在や対応策の検討を行う。
教育相談における様々な予防促進的支援技術の体験学習を行う。

授 業 の 到 達 目 標

学校における教育相談の意義と理論を理解する。教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事項を含む）を理解する。教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：15回の全体計画と学習のポイント及び到達目標の説明。教育相談の視点から学校という場、資源について。グループディスカッション。（ディスカッション）
事後学習：チーム学校に関し、指示した課題について、調べレポートにまとめておくこと。（3時間）
第2回：教育相談に生かす心理学的理解；見立て。事例検討で学ぶ、問題の背景、影響要因、資質のとらえ方。心理・社会的側面、学習・発達的側面のとらえ方。傾聴訓練を含むグループディスカッション。（ディスカッション）
事前学習：第1回に配布した資料を熟読しておくこと。（2時間）
事後学習：見立てについて、理解したことをレポートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：教育相談に生かす心理学的理解；介入。事例に即して、教育相談のチーム作り、介入プランの立て方。開発的、予防的援助。グループディスカッション。傾聴訓練。（グループワーク）
事前学習：第2回に配布した事例について、自分なりの介入プランを立てること。（2時間）
事後学習：介入プランの立て方について、ポイントをレポートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：不登校の現状、対策の有効性について。文科省の調査研究報告等にあたり、多角的視点による対応の考察。（プレゼンテーション）
事前学習：文科省の調査研究報告等前回の授業で指示した資料を調べまとめ、レポートにすること。（3時間）
事後学習：学校現場でどのような対応が望ましいか、学んだことをまとめておくこと。（2時間）
第5回：子供の貧困について。架空事例に触れ、学校生活での問題の現れ方、介入に際して配慮すべきこと、活用できる社会資源。（ディスカッション）
事前学習：日本の実態と、どのような対策がなされているか調べレポ──トにまとめておくこと。（2時間）
事後学習：子どもの貧困について、保育、幼児教育、学校現場でどのような対応が可能か、学んだことをまとめておくこと。（2時間）
第6回：いじめ理解、いじめ対応の基礎知識。非行について教育相談の意味。（ディスカッション）
事前学習：いじめ防止対策推進法について調べ、レポートにまとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で検討したこと、学んだことについて、まとめておくこと。（2時間）
第7回：発達障害の学校での現れ方。発達障害の流動性。支援のための人格発達仮設。発達障害支援シートの活用。保護者支援。外部機関との連携。（ディスカッション）
事前学習：発達支援シートについて調べて、ディスカッションの資料になるように、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：二次障害の予防と対応、連携についてまとめておくこと。（2時間）

第８回：予防開発的アプローチとしてのSSTの意味。SSTの用い方。SSTワークの体験。現場で使われているSSTの道具の体験。（グループワーク）
事前学習：第７回に配布した資料を熟読し、チェックリストを完成しておくこと。（２時間）
事後学習：授業で、自分で作った宿題の回答を試みること。（２時間）
第９回：SSTで開発できる分野。自分を振り返り、SSTを活用する。（グループワーク）
事前学習：児童生徒の相談内容からのSSTについて、模擬課題を考えておくこと。（２時間）
事後学習：教育相談においてSSTの効果的適応法についてまとめておくこと。（２時間）
第10回：予防開発的アプローチとしてのアサーティブトレーニングの意味。自尊感情、対等性、誠実であること、人権。自己理解、他者理解。（グループワーク）
事前学習：第９回に配布した資料を熟読し、質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：SSTとアサーティブネスの関係について、まとめておくこと。（２時間）
第11回：アサーティブトレーニングに基づいた、葛藤場面への対処。DESC。ワークの体験。（グループワーク）
事前学習：第10回に配布した資料を熟読し、質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：自分にとってのアサーティブネスについて検討し、レポートにすること。（２時間）
第12回：事件・事故・災害対応。危機管理について。緊急事態における教育相談の役割。チームのあり方。保護者支援。（ディスカッション）
事前学習：児童生徒を取り巻くリスクについて、想定し、対応策を考え、書き出しておくこと。（２時間）
事後学習：サイコロジカルファーストエイドにつて要点をまとめておくこと。（２時間）
第13回：学齢期の精神科疾患の基礎知識。学校での現れ方。専門機関との連携。
事前学習：第12回に配布した資料を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：支援のための連携機関について、図に整理すること。（２時間）
第14回：リラクゼーションとは。ストレスマネージメントについて。体験学習。教育相談での活かし方。（グループワーク）
事前学習：第13回に指示した、リラクゼーションの技法についてあらかじめ調べておくこと。（２時間）
事後学習：教育現場のストレスマネージメントの有効性について、レポートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：ふりかえり。今まで学んだことの振り返り。改めて事例をもとに、見立て、介入プランの試作。
事前学習：授業全体を振り返り、疑問や質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：参考図書について、指示した要点を確認しておくこと。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

小レポート（50％）　平常点（50％）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

いじめ、不登校、発達障害について基礎知識を習得している。支援プランを提案できる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
藤田哲也監修『絶対役立つ教育相談』ミネルヴァ書房

参考図書
西本絹子著『教師のための初等教育相談』萌文書林
小野田正利、藤川信夫監修『体験型ワークで学ぶ教育相談』大阪大学出版会
河合隼雄著『こころの子育て-誕生から思春期までの48章』朝日新聞社

その他(受講上の注意)

都度資料を配布し、レポートを課していきますので、本教科のためのファイルを用意してください。
予習復習については、授業時に資料や課題を指示します。また授業で行う体験学習に積極的に取り組んでください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

事前・事後指導 (Guidance for Teaching Practice)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2311	1単位	3年～4年	実習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

教育実習Ⅰ・教育実習Ⅱのための事前指導及び事後指導を行う。中学校・高等学校の生徒を指導する教師としての心構えを持つとともに、教育実習の目的・内容・方法及び留意事項を理解し、充実した実習が行えるよう準備する。実習終了後は評価・反省をし、課題を明確にする。

授 業 の 到 達 目 標

1．教育実習の意義・目的を理解する。
2．中学校・高等学校の教育現場の状況や教育環境を理解する。
3．教育実習に臨むしっかりとした心構えを持つ。
4．授業実習に必要な知識・指導法や技術を確認する。
5．教育実習を振り返り、評価・反省して、自身の課題を明確にする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

3年次
第1回：教職課程ガイダンス：全体指導、教育実習の予定、受講資格等の説明
　事前学習：事前にシラバスや学生便覧に目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：授業で学習した内容を復習する。(0.5時間)
第2回：教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に 関する講義、ディスカッション
　事前学習：事前に講義のテーマについて調べ、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：講義で学習した内容について復習する。(0.5時間)
第3回：学校見学（高等学校）：教育実習における注意事項、朝読書・朝礼参観
　事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：学校見学で学んだことを振り返る。(0.5時間)
第4回：学校見学（高等学校）：授業参観、高等学校施設見学
　事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：学校見学で学んだことを振り返り、レポートを書。(0.5時間)
第5回：教育実習Ⅱ反省会：上級生が教育実習について発表、質疑応答・意見交換、（ディスカッション）、実習に向けてのアドバイス
　事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：教育実習についての発表から学んだことを整理し、教育実習に備える。(0.5時間)
第6回：教育実習Ⅰの準備：「教育実習の手引き」、「教育実習ノート」に基づく実習直前の具体的な指導
　事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：授業で確認したことを振り返る。(0.5時間)
第7回：教育実習Ⅰのための直前指導（高等学校）：高等学校の教育現場の状況や現場を取り巻く環境、生徒理解・指導の心構え等に関する講義
　事前学習：教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：直前指導で理解・確認したことを振り返る。(0.5時間)
第8回：教育実習Ⅰのための直前指導（高等学校）：教科指導（授業実習）に関する講義
　事前学習：教科指導の基本事項を復習し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：直前指導で理解・確認したことを振り返る。(0.5時間)
第9回：教育実習Ⅰのための事前指導：実習直前の模擬授業（発表）に基づく指導
　事前学習：直前指導で学んだことを踏まえて模擬授業の準備をする。(0.5時間)
　事後学習：模擬授業を振り返り、不十分な点を改善する。(0.5時間)

第10回：研究授業についての指導：指導教員による研究授業についての指導助言
事前学習：研究授業の準備をする。（0.5時間）
事後学習：研究授業を振り返り、改善のポイントを整理しておく。（0.5時間）
第11回：教育実習Ⅰ反省会：実習生による実習報告・反省（発表）、意見交換（ディスカッション）、実習レポートの作成、自己点検
事前学習：教育実習Ⅰの反省をし、発表の準備をする。（0.5時間）
事後学習：実習レポートを作成する。（0.5時間）

4年次
第12回：教育実習Ⅱのための事前指導：教育実習Ⅱ、事前・事後指導の予定確認・指導等
事前学習：教育実習の手引きを読み返しておく。（0.5時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習する。（0.5時間）

指導等
第13回：教育実習Ⅱのための事前指導：教育実習カードの作成、教育実習Ⅱへの心構え、教材研究等についての指導、特別講義に関する準備
事前学習：教育実習の手引きを読み返しておく。（0.5時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習する。（0.5時間）
第14回：教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義
事前学習：事前に講義のテーマについて調べ、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
事後学習：講義で学習した内容について復習する。（0.5時間）
第15回：教育実習Ⅱのための事前指導：実習直前の模擬授業（発表）に基づく指導
事前学習：模擬授業の準備をする。（0.5時間）
事後学習：模擬授業を振り返り、不十分な点を改善する。（0.5時間）
第16回：教育実習Ⅱ反省会：実習生による実習についての発表、意見交換（ディスカッション）。実習レポートの作成、自己点検、教育実習履修のまとめ『実習のてびき』をよく読んで、実習について理解を深めておくとともに、課題に取り組み、教育実習に備える。実習後は、評価・反省をしっかりして実習レポートをまとめ自分自身の課題を明確にする。
事前学習：教育実習Ⅰの反省をし、発表の準備をする。（0.5時間）
事後学習：実習レポートを作成する。（0.5時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題・模擬授業（50%）、平常点（50%）
（平常点は、授業への参加状況と受講態度から判断します。）

成　績　評　価　基　準

1．教育実習の意義・目的を説明できるか。
2．中学校・高等学校の教育現場の状況や教育環境を理解について理解できているか。
3．しっかりとした心構えを持って、教育実習に臨むことができたか。
4．授業実習に必要な知識・指導法や技術を身につけていたか。
5．教育実習を振り返り、評価・反省して、自身の課題を明確にできたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート（平成31年度版）」

その他(受講上の注意)

充実した教育実習ができるように日頃から、教師としての知識や技能を自主的に身につけるよう努力することを期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育実習Ⅰ (Teaching Practice Ⅰ)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2312	2単位	3年(9月)	実習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

高等学校における2週間の教育実習（観察実習・参加実習・授業実習）

授 業 の 到 達 目 標

1．確かな心構えを持って実習に臨む。
2．授業の教材研究がしっかりできる。
3．指導態度が真剣で、意欲的である。
4．生徒をよく理解しようと努める。
5．教科外指導にも熱心に取り組む。
6．実習ノートを欠かさず提出する。
10. 実習レポートはよくまとめられている。
11. 実習ノートは内容のある記録ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

事前指導
・教職課程ガイダンス：全体指導、教育実習の予定、受講資格等の説明
・教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義、ディスカッション
・学校見学（高等学校）：教育実習における注意事項、朝読書・朝礼参観
・学校見学（高等学校）：授業参観、高等学校施設見学
・教育実習Ⅱ反省会：上級生が教育実習について発表、質疑応答・意見交換、（ディスカッション）、実習に向けてのアドバイス
・「教育実習の手引き」、「教育実習ノート」に基づく実習直前の具体的な指導
・実習Ⅰのための直前指導（高等学校）：高等学校の教育現場の状況や現場を取り巻く環境、生徒理解・指導　の心構え等に関する講義
・実習Ⅰのための直前指導（高等学校）：教科指導（授業実習）に関する講義
・実習直前の模擬授業（発表）に基づく指導

教育実習校（高等学校）における実習
1．オリエンテーション（実習校の概要や特色、指導方針等の確認、指導教員との打ち合せ等）
2．教育実習（観察・参加・授業実習の諸活動。教材研究・学習指導案の作成、授業・生徒指導等の実習体験等）
3．研究授業（実習生が行う教育実習の総仕上げの授業実践）
4．研究授業の反省会（研究授業後の実習校教員からの指導、ディスカッション）教育実習先の高等学校について、あらかじめ資料等を読んで理解を深めておく。

日頃から教育実習に必要な知識・技能をしっかり身につけておく。

事後指導
・研究授業についての指導：指導教員による研究授業についての指導助言
・教育実習Ⅰ反省会：実習生による実習報告・反省（発表）、意見交換（ディスカッション）、実習レポートの作成、自己点検

新型コロナウイルス対応の授業形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第１回：面接授業
第２回：面接授業
第３回：面接授業
第４回：面接授業
第５回：面接授業
第６回：面接授業
第７回：面接授業
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

平常点100%（教育実習校からの評価、レポート、実習ノートなどを総合して評価する。）

成　績　評　価　基　準

1．指導に必要な基礎学力・知識が十分にあるか。
2．よく教材研究・工夫がなされていたか。
3．指導態度は真剣で、意欲が感じられたか。
4．生徒をよく理解しようと努めていたか。
5．指導能力はあるか、指導態度は良かったか。
6．教科外指導にも熱心に取り組んだか。
7．勤務態度はまじめで、実習への熱意が感じられたか。
8．事務・実務能力はあるか。
9．実習ノートの提出はきちんとしていたか。
10．実習レポートはよくまとめられていたか。
11．実習ノートは内容のある記録ができていたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他（実習に対するフィードバックについて）
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（実習における評価および課題は「事前・事後指導」においてフィードバックする。）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート（平成31年度版）」、
指定教科書

その他(受講上の注意)

実習校での注意事項を遵守し、充実した実習になるよう努力することを期待する。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育実習Ⅱ（Teaching PracticeⅡ）			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2416	2単位	4年（6月）	実習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果（教育目標）

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

中学校における2週間の教育実習（観察実習・参加実習・授業実習）

授 業 の 到 達 目 標

1．確かな心構えを持って実習に臨む。
2．授業の教材研究がしっかりできる。
3．指導態度が真剣で、意欲的である。
4．生徒をよく理解しようと努める。
5．教科外指導にも熱心に取り組む。
6．実習ノートを欠かさず提出する。
10．実習レポートはよくまとめられている。
11．実習ノートは内容のある記録ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

事前指導
・教職課程ガイダンス：全体指導、教育実習の予定、受講資格等の説明
・教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義、ディスカッション
・学校見学（高等学校）：教育実習における注意事項、朝読書・朝礼参観
・学校見学（高等学校）：授業参観、高等学校施設見学
・「教育実習の手引き」、「教育実習ノート」に基づく実習直前の具体的な指導
・実習Ⅱのための直前指導（高等学校）：高等学校の教育現場の状況や現場を取り巻く環境、生徒理解・指導の心構え等に関する講義
・実習Ⅱのための直前指導（高等学校）：教科指導（授業実習）に関する講義
・実習直前の模擬授業（発表）に基づく指導

教育実習校（中学校）における実習
1．オリエンテーション（実習校の概要や特色、指導方針等の確認、指導教員との打ち合せ等）
2．教育実習（観察・参加・授業実習の諸活動。教材研究・学習指導案の作成、授業・生徒指導等の実習体験等）
3．研究授業（実習生が行う教育実習の総仕上げの授業実践）
4．研究授業の反省会（研究授業後の実習校教員からの指導、ディスカッション）　教育実習先の中学校について、あらかじめ資料等を読んで理解を深めておく。
日頃から教育実習に必要な知識・技能をしっかり身につけておく。

事後指導
・研究授業についての指導：指導教員による研究授業についての指導助言
・教育実習Ⅱ反省会：実習生による実習報告・反省（発表）、意見交換（ディスカッション）、実習レポートの作成、自己点検

新型コロナウイルス対応の授業形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第１回：面接授業
第２回：面接授業
第３回：面接授業
第４回：面接授業
第５回：面接授業
第６回：面接授業
第７回：面接授業
第８回：面接授業
第９回：面接授業
第10回：面接授業
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：面接授業
第14回：面接授業
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

平常点100%（教育実習校からの評価、レポート、実習ノートなどを総合して評価する。）

成　績　評　価　基　準

１．指導に必要な基礎学力・知識が十分にあるか。
２．よく教材研究・工夫がなされていたか。
３．指導態度は真剣で、意欲が感じられたか。
４．生徒をよく理解しようと努めていたか。
５．指導能力はあるか、指導態度は良かったか。
６．教科外指導にも熱心に取り組んだか。
７．勤務態度はまじめで、実習への熱意が感じられたか。
８．事務・実務能力はあるか。
９．実習ノートの提出はきちんとしていたか。
10．実習レポートはよくまとめられていたか。
11．実習ノートは内容のある記録ができていたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他（実習に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（実習における評価および課題は「事前・事後指導」においてフィードバックする。）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート（平成31年度版）」、
指定教科書

その他(受講上の注意)

実習校での注意事項を遵守し、充実した実習になるよう努力することを期待する。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教職実践演習 (Teaching Profession Practical Exercises)			担当教員	紺渡　弘幸、奥谷　　崇、フッド　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2417	2単位	4年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

基礎的指導技術修得の確認・強化及び実践的指導力の育成

授 業 の 到 達 目 標

1．教職の意義・教員の職務と役割について理解する。
2．生徒理解や学級経営について理解する。
3．教科指導・生徒指導について理解する。
4．英語指導の基本的指導技術を身につける。
5．英語指導に有用なマクロストラテジーを理解し、使用できる。
6．ティーム・ティーチングの意義・目的を理解する。
7．ティーム・ティーチングの方法を理解し、実施することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

奥谷崇担当分（5回）
第1回：教職の意義、教職員の職務と役割、生徒に対する使命と責任の重さについて事例研究・ロールプレーイング・グループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学修：実習を通して教職員の職務の尊さを実感した体験をできるだけ書き上げてくること。（2時間）
　事後学修：教職員の職務の内容を整理し、要点を書き上げておくこと。（2時間）
第2回：生徒理解と学級経営について事例研究・グループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学修：実習を通して気になった生徒指導と学級経営の問題点を書き上げてくること。（2時間）
　事後学修：生徒指導と学級経営の要点をまとめ、自分が力を入れて取り組みたいことを書いておくこと。（2時間）
第3回：教科や生徒指導の方法についての事例研究・グループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学修：教科指導や生徒指導で、どんな苦労をしたか、結果についてまとめてくる。（2時間）
　事後学修：教科指導や生徒指導で実習を通して学んだことをまとめてくること。（2時間）
第4回：学校現場の調査研究とグループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学修：学校での先生方の勤務と苦労についてまとめてくること。（2時間）
　事後学修：特に学校現場の諸問題を整理し、解決策をまとめておくこと。（2時間）
第5回：社会性や対人関係能力についての確認とまとめ（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学修：児童生徒の社会性・対人関係能力の問題について解決策を考えてくる。（2時間）
　事後学修：社会性・対人関係能力の様々な問題の解決策をまとめておくこと。（2時間）
フッド晴美担当分（5回）
第6回：ティーム・ティーチング－意義と目的
　事前学習：自分が中学校・高校で受けたティーム・ティーチングで行われた英語の授業について、それらの授業がどのように自分の英語学習に効果的であったかをまとめておく。（2時間）
　事後学習：ティーム・ティーチングの意義と目的を、第2言語習得研究の成果と日本の学校英語教育の目的に照らし合わせ、レポートにまとめること。（2時間）
第7回：ティーム・ティーチング－現状と課題
　事前学習：自分が中学校・高校で受けたティーム・ティーチングで行われた英語の授業を振り返り、どのような点が問題であったかまとめておく。（2時間）
　事後学習：ティーム・ティーチングの現状と課題を、授業のディスカッションおよび配布された資料に基づいてまとめ、どのようにその課題を解決すべきか自分の考えをまとめる。（2時間）

第８回：ティーム・ティーチング－目標設定・指導計画・ALTとの話し合いの持ち方
事前学習：ティーム・ティーチングの授業での目標設定、ALTとの話し合いについて大切だと思うことをまとめておく。（２時間）
事後学習：今回の授業でディスカッションしたことに基づき、教育実習で実施したティーム・ティーチングで改善すべき点をまとめ、どのように改善すべきか考えをまとめる。（２時間）
第９回：ティーム・ティーチング－授業実践①
事前学習：教育実習で実施した授業の内容を、ティーム・ティーチングですることを想定して指導案を作り直し、模擬授業の準備をしてくる。（２時間）
事後学習：今回の模擬授業の良かった点、改善すべき点についてまとめる。（２時間）
第10回：ティーム・ティーチング－授業実践②・評価の仕方
事前学習：前回の模擬授業の目標がどれくらい達成したかを評価する評価テストを考えてくる。（２時間）
事後学習：ティーム・ティーチングを効果的に実施するための要点を、５回の授業を通して得た知見に基づき、まとめる。（２時間）

紺渡弘幸担当分（５回）
第11回：基本的指導技術－Warm-up・Reviewとマクロストラテジー（１）Diversity
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（Warm-up・Review）とマクロストラテジー（Diversity）について復習する。（２時間）
第12回：基本的指導技術－文法・文型の導入とマクロストラテジー（２）Quality
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（文法・文型の導入）とマクロストラテジー（Quality）について復習する。（２時間）
第13回：基本的指導技術－文法・文型を用いた活動とマクロストラテジー（３）Quantity
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（文法・文型を用いた活動）とマクロストラテジー（Quantity）について復習する。模擬授業の準備（学習指導案・教材の作成）をする。（２時間）
第14回：基本的指導技術－語彙の導入・指導とマクロストラテジー（４）Collaboration
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（語彙の導入・指導）とマクロストラテジー（Collaboration）について復習する。模擬授業の準備（学習指導案・教材の作成）をする。（２時間）
第15回：基本的指導技術－教科書本文の読解指導とマクロストラテジー（５）Autonomy
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（教科書本文の読解指導）とマクロストラテジー（Autonomy）について復習する。（２時間）

新型コロナウイルス対応の授業形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：面接授業
第12回：面接授業
第13回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：遠隔授業　（□オンデマンド　□リアルタイム　■オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：面接授業

成　績　評　価　方　法

課題（30%）、平常点（70%）
（平常点は授業への参加状況、グループ討論、模擬授業などの取り組みを総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

1．教職の意義・教員の職務と役割について理解できているか。
2．生徒理解や学級経営について理解できているか。
3．教科指導・生徒指導について理解できているか。
4．基本的指導技術を授業に活用できるか。
5．英語指導に有用なマクロストラテジーを理解し、授業で使用できるか。
6．ティーム・ティーチングの意義・目的を理解できているか。
7．ティーム・ティーチングの方法を理解し、実施することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

なし。

その他(受講上の注意)

自ら積極的に教員になる上で必要な知識・技能を再確認し、実際に活用できるようにするとともに、教師としての資質を向上させることができるよう努力を期待する。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。